

はじめに

人と自然の博物館にとって、05年は新展開の4年目に当たり、ネクストミュージアムで検討を行ってきた次のステップへ向けての基本構想の策定がかたちを整えてきた年でした。

内外におぞましいできごとが喧伝される昨今です。新石器時代以来の文明の展開においても、里山の自然を護り、鎮守の杜によって自然への畏敬の念を維持し続けた日本人が、いつの間にか物質・エネルギー志向の西欧的開発の思想に汚染されてしまったことが、世紀の変わり目頃から明瞭にかたちを示し始めています。自然とともに生きるこころを取り戻そうというかけ声は今では日本中に普遍的に響き渡っています。しかし、どうすればこころを取り戻せるか、あるべき展開への明確なロードマップは描き出されていません。

明治以後、西欧に追いつけ追い越せのかけ声に従って、知育の推進を図る学校教育において、日本はずばらしい成果をあげてきました。科学技術の発展に成果をあげ、見事に世界に雄たる経済大国を確立したことでそれは証明されています。しかし、その発展の陰で日本人のこころを見失わせてしまったのは何故だったのでしょうか。きわめてはっきりしているのは、知育には成果をあげたものの、万人の学ぶこころは軽視され、生涯学習を支援する博物館等の施設の活動は、西欧に比べるまでもなく、きわめて低調だったことでした。

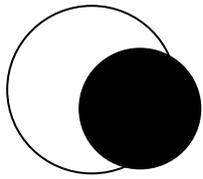
日本に博物館等施設の生涯学習支援が馴染まないというわけではありません。ひとはくの新展開の4年間は、これまで日本の博物館に欠けていた活動が何かを明確に示し、それを乗り越えた活動を確立しつつあると自負します。博物館等施設がそれなりに活動を展開すれば、市民の学びへの欲求は見事に開花し、生涯学習が自主的に展開されます。これまで、それを支援する活動が十分に備えられていなかっただけのことでした。ひとしくは、4年間の活動の実績によってそのことを如実に示すことができました。学びへの誘いを成し遂げ、学びの環を拡げ、学んだものを実際に生かすシンクタンクとしての機能を確実に発揮しようとしているのです。

知育の領域で、わずかの間に西欧に追いつけ追い越せの課題を全うした日本人は、今、日本人のこころを取り戻すために、生涯学習の領域でも、西欧に追いつけ追い越せのかけ声を必要としています。そして、博物館活動の充実によって、生涯学習の推進に効果を上げる見通しをはっきりと樹立しています。後は博物館等施設が積極的に活動し、博物館等施設の活動が支持、支援されることだけです。日本人の中に、新石器時代から脈々と生き続ける自然への畏敬の念と学びへの欲求は、今現在のなすがたで復活を果たそうとしています。今こそ、博物館等施設の出番です。

人は本来学ぶことによるこびを見る生き物です。学校教育が、教育という日本語が示すように、教える主体の教え導く姿勢に強く引きずられてきたことから、勉強は苦しいものという評価が定着してしまいました。確かに、知育の領域では、あるときには苦しい学びも必要とされるでしょう。しかし、学びは知的遊戯であり、楽しいものであるはずで、学ぶ主体が自身で求めるべきものです。求めて、それが身につくものであるべきです。博物館は、学ぼうという人のこころが目覚めるお手伝いをし、展開する下支えをし、成果を上げるのを共に喜ぶ機関に徹するべきでしょう。ひとしくは、新展開は、日本の博物館の生涯学習支援のあるべきすがたを、その方向で模索し、実現させつつあります。

館報05が、ひとしくはのこころみを数字や言葉によって正確に示し、読者の関心を強く惹き付けるものであってくれるようにと期待します。

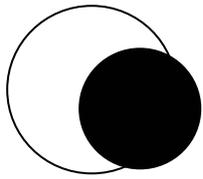
兵庫県立人と自然の博物館
館長 岩槻 邦男



目次

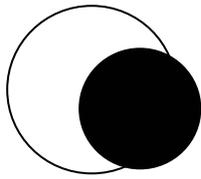
組織及び施設概要	
・ 沿革	4
・ 機能	5
・ 平成 18 年度の事業計画	6
・ 常設展示の概要	1 2
・ 施設の概要	1 3
・ 組織と職員	1 6
平成 17 年度事業報告	
・ ひとくトピックス	2 0
・ 特別プロジェクト	2 4
・ 事業報告	2 7
資料および個人別成果	
博物館概要等に関連する資料	
・ 主な収蔵資料	4 8
・ 情報システム	4 9
・ 条例等	5 1
・ 博物館協議会委員名簿	5 7
個人別成果報告に関連する資料	
・ 館長	5 8
・ 名誉館長	5 9
・ 自然・環境評価研究部	6 1
・ 自然・環境マネジメント研究部	7 8
・ 自然・環境再生研究部	9 7
・ 生涯学習課	1 0 4
博物館事業報告に関連する資料	
・ セミナー一覧	1 0 9
・ 企画展等一覧	1 1 2
・ 企画展関連講座	1 1 3
・ 生徒・学生等の受け入れ状況(平成 17 年度)	1 1 4
・ 学校教育支援プログラム(平成 17 年度)	1 1 5
・ 平成 16~17 年度 2 年間学校団体連続入館状況	1 1 6
・ 来館一般団体一覧	1 1 7
・ 来館学校団体一覧	1 2 1
・ 共催および協力事業等	1 2 3
・ サイエンスショー 2005 出展者一覧	1 3 5
・ ひとくフェスティバル 05 参加団体リスト	1 3 6
利用案内	1 3 7

組織及び施設概要



沿 革

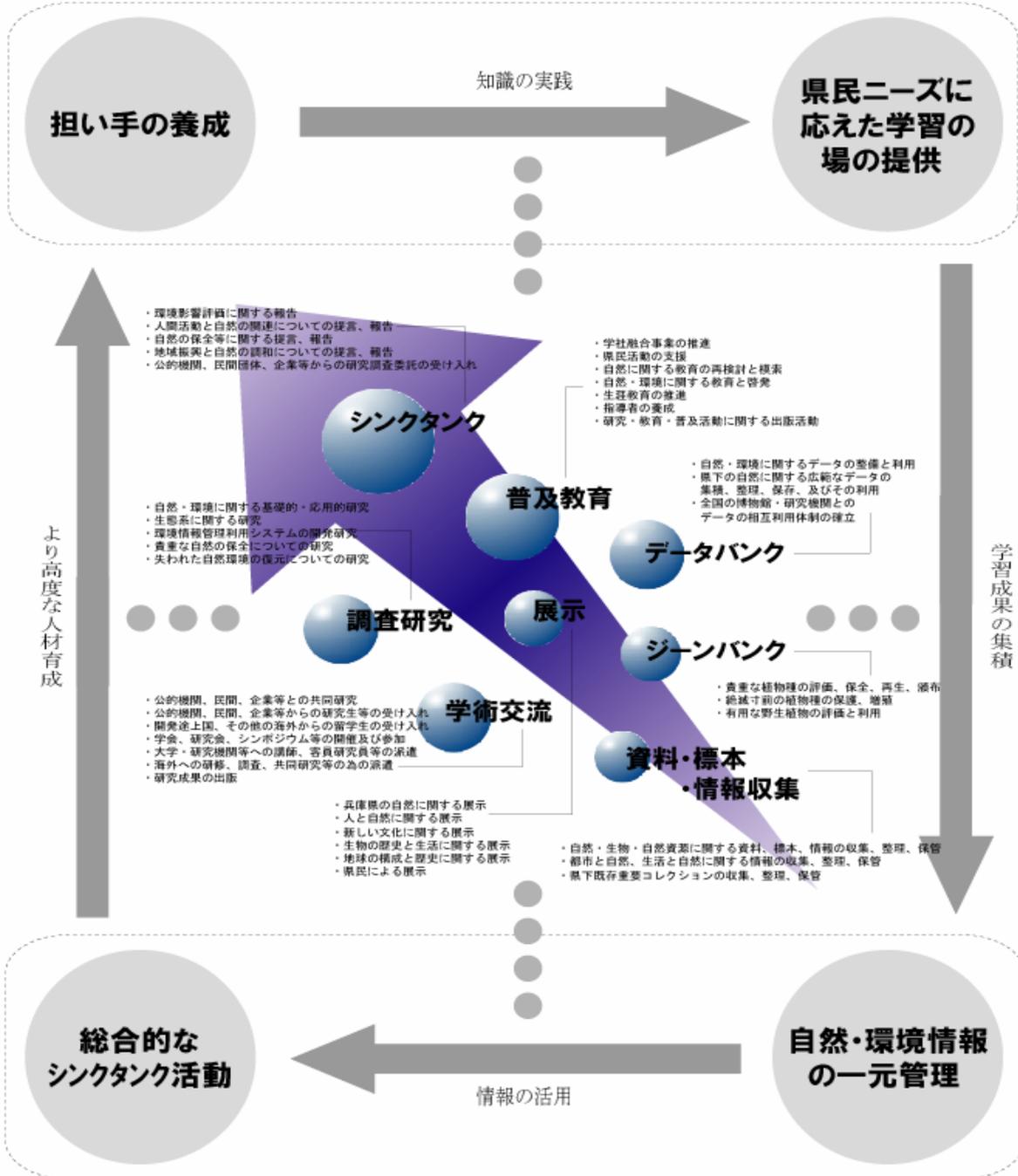
昭和 44 年 2 月 26 日	「県立自然科学博物館設置について」県議会に請願が行われた。
昭和 44 年 6 月 5 日	県議会において請願が採択された。
昭和 48 年 6 月	兵庫県自然保護協会から環境保全・自然保護活動の分野の博物館設置について要望書が提出された。
昭和 51 年 5 月	I F H P 兵庫国際会議が開催され、人間居住環境研究センターを設置する必要性が認められた。
昭和 59 年 4 月	自然系博物館建設調査費が予算計上された。
昭和 61 年 12 月	兵庫県立自然系博物館建設基本構想（報告）が策定された。
昭和 63 年 8 月	自然系博物館は三田市のホロンピア館を活用して建設することが決定した。
平成元年 4 月 1 日	兵庫県教育委員会社会教育・文化財課に自然系博物館（仮称）設立準備室が設立された。
平成 3 年 12 月	研究・収蔵棟が完成した。
平成 4 年 3 月 25 日	本館（ホロンピア館）の様様替え工事が完了した。
平成 4 年 4 月 1 日	兵庫県立人と自然の博物館の設置および管理に関する条例および同規則が施行され、同時に人と自然の博物館内に姫路工業大学自然・環境科学研究所が設立された。
平成 4 年 6 月 25 日	ジーンファームが完成した。
平成 4 年 9 月 20 日	エントランスホールが完成した。
平成 4 年 9 月 30 日	コートヤードゾーン、屋内展示工事、情報センター設備が完成した。
平成 4 年 10 月 9 日	兵庫県立人と自然の博物館開館および姫路工業大学自然・環境科学研究所開所の記念式典が挙行された。
平成 4 年 10 月 10 日	開館。
平成 9 年 6 月 14 日	マレーシア国立サバ大学と国際学術交流協定を締結した。
平成 9 年 11 月 4 日	文部省の科学研究費補助金取扱規定による研究機関に指定された。
平成 10 年 3 月 12 日	日本育英会施行令による日本育英会の第一種学資金の返還を免除される職を置く研究所に指定された。
平成 11 年 11 月 13 日	N P O 法人「人と自然の会」（博物館ボランティア）と協力協定を締結した。
平成 13 年 4 月	平成 13 年 4 月兵庫県教育委員会行政組織規則の改正に伴い、博物館の組織が大きく改編され規則の改定を行い、博物館事業の新展開を公表した。
平成 14 年 4 月	博物館事業の新展開を着実に推進するために、平成 18 年度までに実現させる数値目標と考え方を示した中期目標を公表した。
平成 14 年 10 月	博物館が開館 10 周年を迎え、10 周年記念式典を執り行った。
平成 16 年 4 月	県立大学の統合に伴い、博物館に設立する研究所を兵庫県立大学自然・環境科学研究所に改称した。



機能

生涯学習の支援

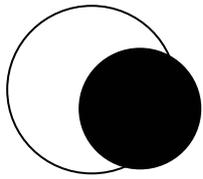
- ・展示法の創意工夫と資料の充実
- ・生涯学習実践フィールドの充実
- ・生涯学習の担い手の養成
- ・広報の充実



自然・環境に関するシンクタンク機能

- ・総合的なシンクタンク機能の充実
- ・自然・環境情報の一元管理と絶滅危機植物の保護増殖

博物館の基本8機能と重点事業の展開方針



平成 1 8 年度事業計画

企画展

古生代の世界 平成 1 8 年 2 月 1 8 日 - 平成 1 8 年 6 月 1 1 日

古生代の生物の特徴や現在の生物との結びつきについて分かりやすく展示する。

(主担当：古谷 裕)

兵庫の外来生物 平成 1 8 年 7 月 8 日 - 平成 1 8 年 9 月 2 4 日

外来生物に対する対処法、特定外来種法の概要、兵庫県での実例や対応について紹介する。

(主担当：鈴木 武)

虫の風林火山 平成 1 8 年 1 0 月 2 1 日 - 平成 1 9 年 1 月 2 1 日

昆虫の生活史と進化のトピックスを「風林火山」に例えて紹介する。

(主担当：八木 剛)

共生の風景～古写真にみる暮らしと自然～ 平成 1 9 年 2 月 1 7 日 - 平成 1 9 年 6 月 1 0 日

ため池や川など「水」に親しんでいた風景、蚕小屋や茅葺き民家など「虫」がいた風景など、古写真を中心に現在の写真や実物をあわせて展示する。

(主担当：赤澤宏樹)

ひとはくフェスティバル

「人と自然、人と人、地域と地域をむすぶ博物館の秋祭り」をコンセプトにフェスティバルを開催し、数多くのイベントを実施する。 日時：平成 1 8 年 1 1 月 5 日（日）

平成 1 7 年度参画団体等

NPO 法人人と自然の会、ボーイスカウト三田第 1 団、ハニーFM 三田 82.2MHz、三田市商工会、JA 兵庫六甲、三田市多世代交流館、三田市フラワータウン市民センター、株式会社北摂コミュニティ開発センター、兵庫県阪神北県民局、三田市、三田市教育委員会、財団法人丹波の森協会、財団法人ひょうご環境創造協会、株式会社丸優、(株)ほくだん、全国育樹祭室、大阪コミュニケーションアート専門学校ドルフィントレーナーコース、大阪コミュニケーションアート専門学校環境教育イベントゼミ、篠山チルドレンズミュージアム「ミュージアムクラブ」、テネラル、Run Run Plaza、日本科学未来館ボランティア、三田マッキントッシュユーザーズグループ(SMUG)、三田親子の劇場、神戸市須磨海浜水族園ボランティア、西宮市貝類館、考古楽倶楽部、伊丹市昆虫館友の会、キッズプラザ大阪、国立民族学博物館、みんなくミュージアムパートナーズ、ひとはくミュージアムティーチャーズ、九州国立博物館、関西ワイルドライフ研究会、骨骨倶楽部、グリーングラス、あみゅーず倶楽部、ガールスカウト兵庫県第 90 団(三田)、ガールスカウト兵庫県第 95 団(淡路)、社会福祉法人まほろば、小規模作業所のぞみ、新生ミツカン吉川ピオトープ研究会、中播磨さとやまづくり推進協議会事務局、氷上町つたの会、ヒバリヒルズ、フラワータウン市民センターまつり実行委員会、山名酒造、三田市吹奏楽団、キッズダンススクール Windy、One × One、4 ラブ、笑季舞、松野葉月。

イベント案内

はくぶつかんの日 毎月第三日曜日

ファミリー向け、子ども向けのイベントを数多く開催して博物館を楽しんでもらう。

オープンセミナー（主にはくぶつかんの日に実施しているセミナー）

実演!!化石工房	4～3月(全49回)
ジーンファーム見学会	4月～11月、3月(全9回)
タンポポをさがしにいこう	4月
深田公園オトシブミ観察会	5月
三田哺乳類化石産地見学会	5月、10月(全2回)
昆虫標本づくり実演コーナー2006	7月、8月(全18回)
飛び出せ立体写真!	10月
偏光顕微鏡で見る鉱物と岩石	11～2月(全4回)
昆虫のトリビア	12～2月(全3回)
生物系収蔵庫ツアー	2月(全2回)
ゾウムシ学序論	2月
私たちの新発見 ～ひとくはく 研究員海外調査報告会～	2月
昆虫の春夏秋冬「声」	3月

ひとくはくのゴールデンウィーク 2006 4月29日～5月7日

たんぽぽ散策や深田公園の探検など 初夏の自然を対象としたイベントを開催。5月1日(月)も臨時開館。

ひとくはくで過ごす夏休み 7月24日～8月31日

7月19日～8月31日は無休開館。期間中の毎土、日、月は昆虫標本づくり実演コーナー2006、8月24日～27日は夏休み理科相談室を開催。

サマーナイトセミナー 8月19日

8月19日(土)は夜8時まで開館。鳴く虫、コウモリ、星空に関連するセミナーを開催。

ひとくはくのお正月 2007年1月3日、4日

「日本のお正月遊び」などのイベントやお正月映画会を開催。

キャラバン事業

展示・セミナーなどをセットにして研究員が県下各地に出張する。各地の県民やNPO、行政などの参画を得ながら、協働と参画を念頭に実施している。今年度の開催場所・期間は当館のホームページを参照。

ひとくはくギャラリー

博物館の紹介、コレクションなど収蔵資料の展示、バーチャルミュージアムなど

ひとくはくセミナー

人と自然についての講義、フィールドガイド、ドリームスタジオ(子ども達を対象とした参加型プログラムなど)

ひょうごリサーチプロジェクト

地域の自然や環境についての参画型調査プロジェクト。調査の結果は、ギャラリーでの展示やドリームスタジオなどで発表。

スクールパートナープログラム

高校連携セミナー

県立三田祥雲館高等学校および県立有馬高等学校と博物館が連携して、高校生と一般市民の方々が交流しながら学ぶ地域生涯学習のモデルプログラムを提供。

サイエンスショー

昨年度から年3回実施に拡大。小中高等学校などの教職員や高校生も参加して、小中学生向けの実験・観察を実施。

夏季教職員セミナー

ひとはくの有する豊富な学習資源を活用し、実験や観察を中心とする多様なセミナーを教職員に提供。

ミュージアムスクール

ミュージアムティーチャーと専門研究員のわかりやすい解説が好評。

ミュージアムハイスクール

来館学校団体向けのセミナーを充実。また、高校生を対象としたオープンミュージアム。「博物館まるごと1日体験」も実施。

平成18年度 教職員セミナー日程表

日時	セミナー名
8月17日(木)	デジタル植物図鑑に挑戦 水生昆虫の調べ方(野外編) JR道場駅 野生動物との関わりを考える 昆虫は標本づくりから
8月18日(金)	体の不自由な子ども達との野外活動入門 兵庫の大地の成り立ちを探る ピオトープ池を考える 水生昆虫の調べ方(室内編) 脊椎動物の骨格の機能と進化 地層の見方・調べ方
8月21日(月)	地球温暖化とヒートアイランドの現在 子どもとふれあう身近な植物 太陽の力を測ってみよう 地学実験講座 (兵庫の大地の成り立ちを知ろう)
8月22日(火)	地球大紀行 - 活着ている大地の素顔 - 教養としての生態学 公園の模型をつくろう 古環境を調べる
8月23日(水)	学校で作れる葉脈標本しおり 人工衛星から見た世界 ハチに関する誤解を解く 教室で実践する温暖化対策 地学実験講座 (兵庫の大地の成り立ちを知ろう)

NPO法人人と自然の会との共催イベント

ドリームスタジオ

身近な自然のふしぎやおもしろさを、体験・体感できる子ども向け、ファミリー向けのイベント。もちろん大人も楽しめる。その他の活動や最新情報などの紹介も実施。

実施日時：毎月第3日曜日「はくぶつかんの日」 13:00~15:00

場 所：博物館4階 実習室もしくは実験セミナー室

ひとはく地域研究員セミナー

ひとはくではさまざまな分野の講義・実習や普及活動を行ってきた。目的は、地域の自然・環境・文化に根ざした「生涯学習」のテーマの発掘とその解決方法を地域の皆さんとともに具体的に探ることである。これらの活動を通して、さまざまな地域の資源が次第に明らかになりつつある。これらの資源をもう少し深く追求し、自らテーマを設定し、調査を行い、指導し、組織し、地域からそれらの成果を発信（＝地域研究員）してみてもどうか。ひとはくはみなさんの生涯学習をセミナー形式で応援する。

ステップアップセミナー

神戸地域「ひょうご自然環境セミナー」

昨年大好評の「ひょうご自然環境セミナー」を、内容を一新し、今年も県立神戸生活創造センターと連携して開催。

6月10日	(土)	「神戸周辺の甲虫」	沢田佳久
7月8日	(土)	「六甲山の森と土」	小館聖治
8月12日	(土)	「神戸の海の生き物」	宮道成彦
9月9日	(土)	「神戸の植物化石」	半田久美子
10月14日	(土)	「神戸の里山の生き物」	今給黎靖夫

阪神北地域「自然と環境コース」

猪名川町教育委員会・中央公民館との連携で実施。猪名川流域の自然環境の現状を生態学と地球科学から、また環境を守るために私たちはどう行動すべきかを環境計画の視点から学ぶ。

5月20日	(土)	「入学式・記念講演」	奥平 勝
6月3日	(土)	「治水と河川環境」	田中哲夫
6月17日	(土)	「猪名川の水生物」	田中哲夫
7月8日	(土)	「猪名川流域の里山植生の現状」	服部 保
7月22日	(土)	「猪名川河川敷の植生と外来植物」	服部 保
7月29日	(土)	「オープン講座・心理学」	丹野眞智俊
9月9日	(土)	「人と自然の博物館」	見学
10月14日	(土)	「大量絶滅と生物の進化」	古谷 裕
10月28日	(土)	「地球温暖化と海面上昇」	佐藤裕司
11月18日	(土)	「地球温暖化と海面上昇」	佐藤裕司
12月2日	(土)	「猪名川町の取り組み」	中瀬 勲
12月9日	(土)	「オープン講座・21世紀のランドスケープ」	中瀬 勲
1月13日	(土)	「緑からのまちづくり」	中瀬 勲
2月3日	(土)	「まちづくりのプランニング」	赤澤宏樹
2月17日	(土)	「まちづくりと地域コミュニティーの再生」	藤本真里
3月3日	(土)	「終了式」	

特設セミナー

この他、地域の要望に応じて淡路地域で「淡路・化石セミナー」・東播磨地域「明石・化石セミナー」(講師：古谷裕・三枝春生)や丹波地域では「丹波・森のホタル研究会」(講師：八木剛)などを開催。

共催・連携セミナー

人と自然の博物館では、県内の教育機関・施設と連携・共催してさまざまな普及・教育活動をアウトリーチプログラムの一環として展開している。

県立神戸学習プラザでのセミナー

カリキュラム例：三宮で化石を探す～街の中の化石～
鳥の生態学いろいろ（全4回）
造園・景観学講座（全10回）

県立有馬富士公園・三田市立有馬富士自然学終戦ターとの共催・連携セミナー

県立神戸生活創造センターとの共催セミナー

猪名川町教育委員会・中央公民館との共催セミナー

明石市立文化博物館との共催セミナー

南あわじ市教育委員会との共催セミナー

ホテルの里創造協会・養父市立養父公民館との共催セミナー

化石工房日程表

化石のクリーニングの実演会と解説。化石についての理解を深めてもらうことを目的に実施。



実演!! 化石工房

実演 10:00~12:00; 13:00~17:00; 解説 13:30~13:40
太古の地球上にはどんな生き物がいたのか、それを実感するには地層のなかから化石が姿を現すところを見るのが一番です。化石発掘現場から運び込んだ岩石から化石を取り出す作業を毎週日曜日に間近に実演・解説します。

国内外の哺乳類化石 ■実演・解説 三枝春生
兵庫県や海外(タイなど)産の哺乳類化石のクリーニング実演と解説を行います。

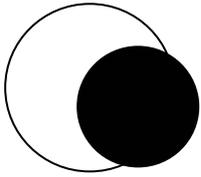
薄くして見る化石 ■実演・解説 小林文夫
化石を含む石灰岩を紙よりも薄い薄片にして顕微鏡で観察します。

4/23 日	6/18 日	7/16 日	7/30 日	9/10 日	10/8 日	11/5 日	12/3 日	1/7 日	2/18 日
顕微鏡で見る化石					■実演・解説 古谷 裕				
放散虫などの小さな化石の世界を、顕微鏡で観察することができます。									
4/30 日	8/6 日	8/20 日	9/3 日	9/24 日	10/1 日	12/10 日	12/24 日	1/14 日	2/25 日
植物化石のクリーニング					■実演・解説 半田久美子				
兵庫県で産出する植物化石のクリーニング実演と解説を行います。									
5/7 日	5/21 日	7/2 日	8/13 日	8/27 日	10/22 日	12/17 日	1/21 日	3/4 日	3/18 日
中生代の化石					古第三紀の化石				
■実演・解説 松原尚志					■実演・解説 松原尚志				
県内の中生代の地層から見つかる化石のクリーニングの実演と解説を行います。					古第三紀の地層から採取したさまざまな化石のクリーニングの実演と解説を行います。				

ひとはく博士のラジオプチセミナー

親子・ファミリーを対象に、ひとはくの研究員が、毎週出演して話題提供する。放送終了分は、ひとはくのホームページでも聴くことが可能。

- ・毎週土曜日 11:05 頃から 10 分間
- ・放送局：八二ー F M82.2MHz



常設展示の概要

(1) ナチュラリストの幻郷

博物館に寄せられた多数のコレクションについて、標本を見てその意味を知り、コレクションすることの楽しさを味わう展示です。この展示には、「鳥に魅せられて－小林桂助氏の足跡とコレクション研究」、「江田茂コレクション - 世界からやってきた美しい昆虫たち」、「博物館を支えたコレクション」、「資料トピックスコーナー」、「寄贈者リスト」などのコーナーがあります。

(2) 兵庫の自然誌

兵庫県は日本海と瀬戸内海にまたがる数少ない県であり、北部の多雪地帯から南部の暖温帯まで、多様な自然を有しています。

この展示では、兵庫県の多様な自然を紹介し、それらが人とのかかわりの中でどのように成立・維持してきたかを説明しています。兵庫の森に棲む動物たちを標高別に展示している「森に生きる」をはじめ、「池沼と海」、「六甲のアカマツ林」、「北摂の雑木林」、「氷ノ山のブナ林」、「氷上回路」、「上昇する六甲」などのコーナーがあります。

(3) 人と自然

人と自然はこれまでどのように関わってきたのでしょうか。時代とともに変化してきた人と自然とのかかわりを分かりやすく説明しています。

この展示では、「森の変遷」、「自然と調和した暮らしと風景」、「都市化の問題」、「自然のデザイン」、「警鐘」などのコーナーがあります。

(4) 新しい文化

家庭での日々の暮らしから自然保護や環境問題まで取り上げ、それらに対する様々な取り組みが紹介されています。

この展示では、「環境にやさしい暮らし方」、「公園都市」、「水辺の復権」などのコーナーがあります。

(5) 生物の世界

過去から現在にいたる長い年月の歴史の産物である、生物の種・分布・生活などについて標本・パネル・映像等を使って展示・紹介しています。

この展示では、「森に囲まれた溪流」、「上・中・下流の生活」、「種分化」、「変異」、「系統と収斂」、「大陸移動と生物の分布」、「日本の動植物の由来」などのコーナーがあります。

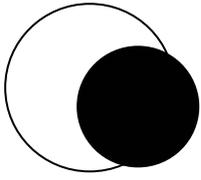
(6) 地球、生命と大地

地球上で展開される生命の営みと進化、そして大地の運動などを標本・パネル・ジオラマ・映像などで紹介しています。

「生物世界の拡大」、「生物の上陸」、「霊長類の進化とヒトの起源」、「地球を構成する物質と構造」、「岩石に残る地磁気の記録」、「世界の森」、「世界の木材」、「共生の森」などのコーナーがあります。

(7) ひとくサロン

人と自然の博物館の楽しみ方は、展示室を観覧することだけではありません。4階「ひとくサロン」では、めずらしい資料も実際にご自分の手に取ってご覧ください。また、絵本から専門図書までいっぱい蔵書を取り揃えた図書コーナーや映像資料ライブラリ、インターネットなどを利用して、小さいお子さまから大人までたのしく学ぶことができます。毎月第3日曜日の「博物館の日」には、お申込なしでご参加頂ける「オープン・プチセミナー」も開催。深田公園を一望できる「ひとくサロン」をぜひご利用ください。



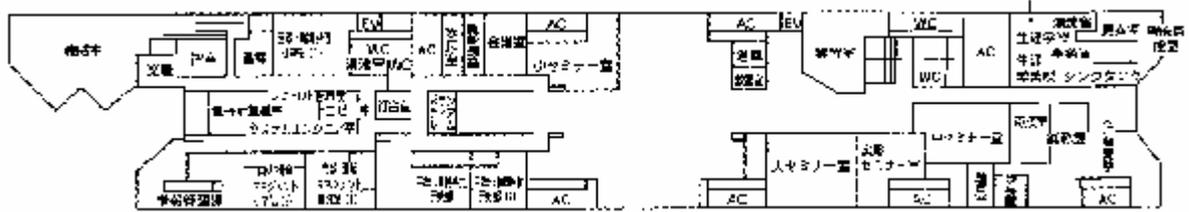
施設の概要

- (1)規模 敷地（設置許可・使用承認面積）：37,036.54 m² 延床面積：18,691 m²
- (2)建物構造
- ・本館（鉄骨4階建） 建面積 4,221 m² 延床面積 12,222 m²
 - ・エントランスホール（鉄筋コンクリートドーム型）
建面積 360 m² 延床面積 360 m²
 - ・研究、収蔵棟（鉄筋コンクリート3階建）
建面積 2,327 m² 延床面積 5,988 m²
 - ・ジーンファーム管理棟（軽量鉄骨平屋）
建面積 121 m² 延床面積 121 m²
- (3)施設の概要
- ・本館（鉄骨4階建）
外観は、建築家丹下健三氏の設計による全面ハーフミラー張りの建物。
展示関係のスペースをはじめとして電子計算機室や各研究部・総務課・生涯学習課・情報管理課・各事業室を設置。さらに500人収容のホロンピアホールも設置。
 - ・エントランスホール（鉄筋コンクリートドーム型）
博物館への導入的役割を果たしているハーフミラー張りでドーム型屋根の建物。
観覧券の発売や博物館の総合案内を実施。
 - ・研究、収蔵棟（鉄筋コンクリート3階建）
研究や資料整理のための各設備と資料の保存条件に合わせた各収蔵庫を設置。屋上には植栽を実施。
 - ・ジーンファーム
ジーンバンク事業を实践とする場として圃場・ガラス室・研究温室・育成温室・昆虫網室、管理棟を設置し、主に県内産の重要植物の保護・増殖に活用。
- (4)施設状況
- ・展示関係 4,049 m² ・管理関係 349 m² ・収蔵関係 2,951 m²
 - ・研究関係 2,015 m² ・教育普及関係 1,324 m² ・エントランス 360 m²
 - ・機械、その他 7,643 m²

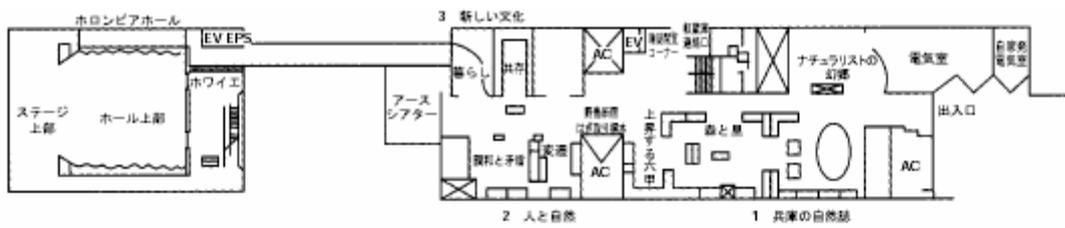
配置図

本館

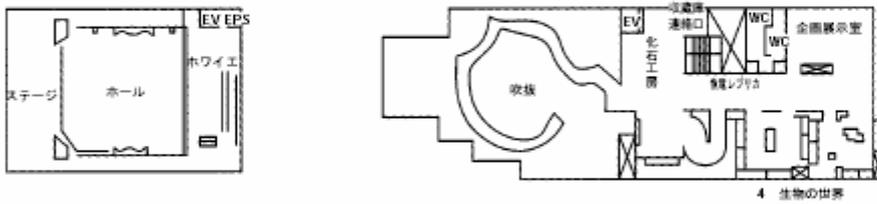
4階



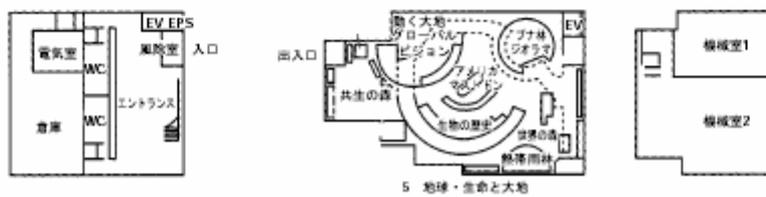
3階



2階

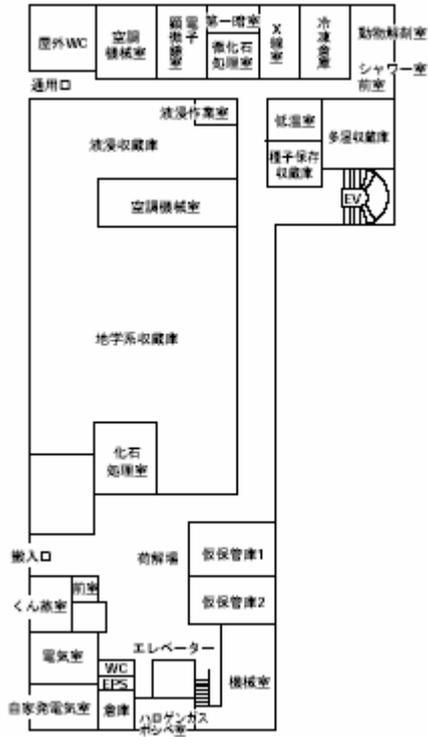


1階

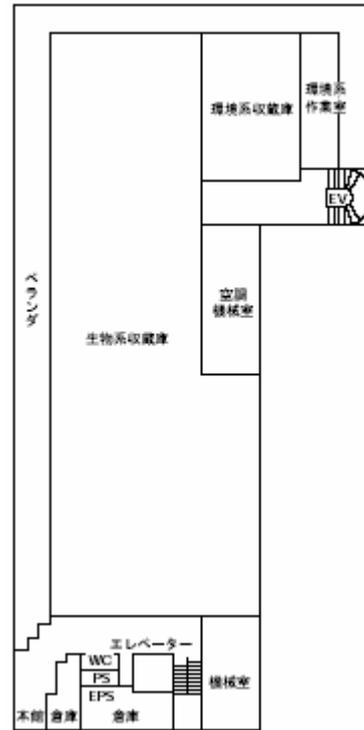


研究・収蔵庫棟

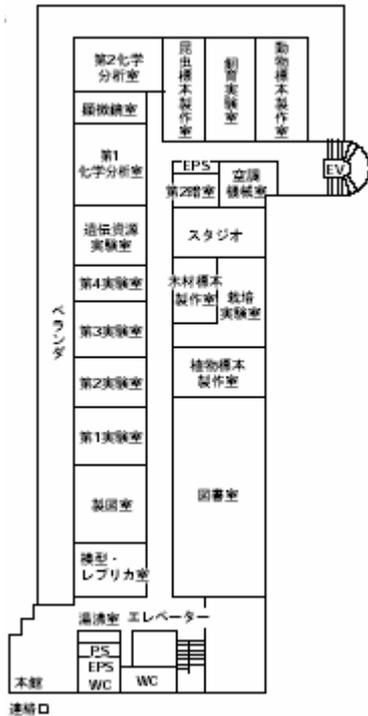
1階



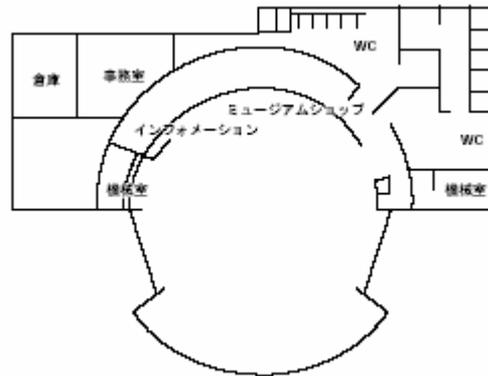
2階

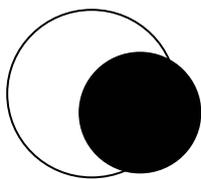


3階



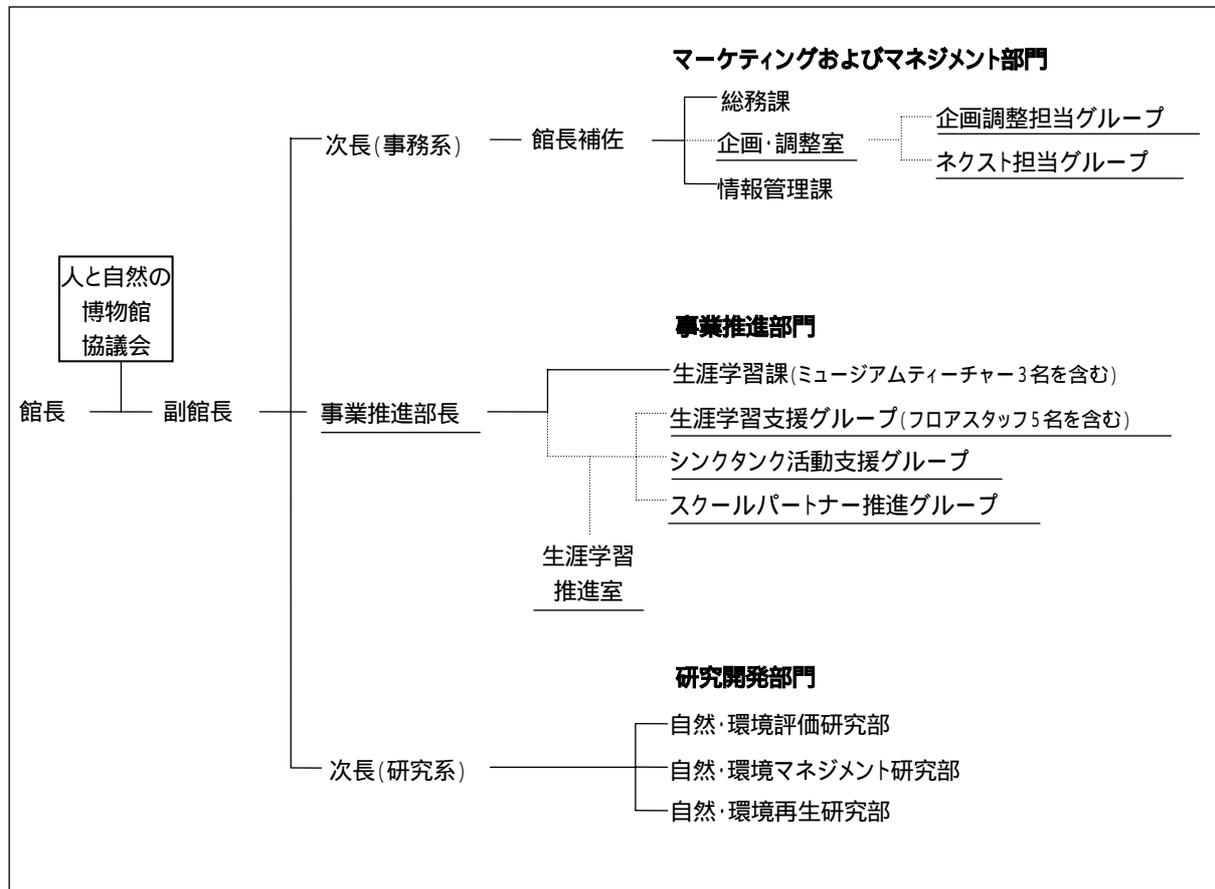
エントランスホール





組織と職員

(1) 組織図



実線は組織規制上の職制で、点線は館長辞令による博物館独自の職制

(2) 職員数

区分	事務職	研究職	技能労務職	非常勤嘱託員	合計
総務課	6		1	2	9
情報管理課	3				3
生涯学習課	4				4
自然・環境評価研究部		6 (兼務10)			6 (兼務10)
自然・環境マネジメント研究部		4 (兼務10)			4 (兼務10)
自然・環境再生研究部		2 (兼務5)			2 (兼務5)
合計	13	12 (兼務25)	1	2	28 (兼務25)

(兼務)は兵庫県立大学 自然・環境科学研究所との兼務職員

(3) 職員配置

名誉館長 河合 雅雄
館長 岩槻 邦男
副館長 中瀬 勲
次長(事務系) 坂本 啓
次長(研究系) 江崎 保男
館長補佐 西向 寛昭
事業推進部長 (中瀬副館長兼務)

<マーケティング及びマネジメント部門>

総務課
課長 (西向館長補佐兼務)
主査 岡井 豊英
主任 前田容未子
事務職員 田邊 武史
技師 小島 史子
塚本 健司

企画調整室(研究員兼務)

室長(主任研究員) 田原 直樹
(企画調整担当グループ)
リーダー(主任研究員) 高橋 晃
主任研究員 先山 徹
研究員 布施 静香
研究員 橋本 佳延

(ネクスト担当グループ)

リーダー(主任研究員) (田原室長兼務)
研究員 宮崎ひろ志
研究員 赤澤 宏樹
主任研究員 高野 温子

情報管理課

課長 土井 博雅
指導主事 本田 毅
主査 村上 弘樹

事業推進部<事業推進部門>

生涯学習課
課長 三浦 忠保
主任指導主事 平松 紳一
指導主事 谷川 直也
主査 小島 弘幸

生涯学習推進室(研究員・指導主事兼務)

室長(主任研究員) 服部 保
(スクーター推進グループ)
リーダー(研究員) 小館 誓治
主任指導主事 平松 紳一
指導主事 谷川 直也
指導主事 本田 毅
主任研究員 三谷 正純
主任研究員 中西 明德
主任研究員 小林 文夫
主任研究員 大谷 剛
主任研究員 秋山 弘之
主任研究員 橋本 佳明

(生涯学習支援グループ)

リーダー(主任研究員) 八木 剛
主任研究員 佐藤 裕司
主任研究員 加藤 茂弘
主任研究員 田中 哲夫
研究員 藤本 真里
研究員 三枝 春生
主任研究員 半田久美子

(シンクタンク活動支援グループ)

リーダー(主任研究員) 三橋 弘宗
主任研究員 古谷 裕
研究員 沢田 佳久
研究員 鈴木 武
主任研究員 松原 尚志
主任研究員 客野 尚志
研究員 嶽山 洋志
研究員 黒田有寿茂

<研究開発部門>

自然・環境評価部

研究部長 高橋 晃
(地域環境地質研究グループ)
主任研究員 小林 文夫
主任研究員 佐藤 裕司
主任研究員 先山 徹
主任研究員 加藤 茂弘
(埋蔵自然遺産研究グループ)
主任研究員 古谷 裕
研究員 三枝 春生
主任研究員 半田久美子
主任研究員 松原 尚志
(森林多様性研究グループ)
研究部長 高橋 晃
主任研究員 秋山 弘之
主任研究員 高野 温子
研究員 布施 静香
(昆虫共生系研究グループ)
主任研究員 中西 明德
主任研究員 橋本 佳明
研究員 沢田 佳久
主任研究員 八木 剛

自然・環境マネジメント研究部

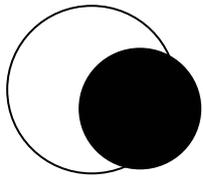
研究部長 江崎 保男
(流域生態研究グループ)
研究部長 江崎 保男
主任研究員 田中 哲夫
主任研究員 三橋 弘宗
(動物共生研究グループ)
主任研究員 大谷 剛
主任研究員 三谷 雅純
主任研究員 坂田 宏志
主任研究員 横山 真弓
(コミュニティ(多自然居住)研究グループ)
副館長 中瀬 勲
研究員 藤本 真里
研究員 赤澤 宏樹
研究員 嶽山 洋志
(コミュニティ(都市再生)研究グループ)
主任研究員 田原 直樹
研究員 宮崎ひろ志
主任研究員 客野 尚志

自然・環境再生研究部

研究部長 服部 保
(植生創出研究グループ)
研究部長 服部 保
研究員 小館 誓治
研究員 石田 弘明
研究員 橋本 佳延
(生物多様性保全研究グループ)
主任研究員 藤井 俊夫
研究員 鈴木 武
研究員 黒田有寿茂

なお下線()は、館長辞令による
博物館独自の職制

平成 1 7 年度事業報告



ひとはくトピックス

1

共生のひろば開催

NPO 法人・人と自然の会との連携活動も一昨年10周年を迎え、昨年からは新たに「東中国クマ集会」などの連携活動グループが加わり、現在10の連携活動グループとともにさまざまな活動を展開している。また一昨年スタートした「地域研究員」養成制度では、地域の人々自らが興味をもったテーマをひとはく研究員とともに解決する仕組み作りを進めている。これら県下に散在しながらひとはくと協働して活動するグループの顔をお互いに知り、活動の質を高め、また新たな切り口での展開に繋げる目的で地域研究員および連携活動グループの発表・交流会「共生のひろば」を2006年2月11日に開催した。



活動対象・活動内容が異なった37題の口頭発表・ポスター発表が行われた。発表内容は一見お互いに無関係に見えたが、より良い生活環境の再創造という視点からはお互いの共通項を見出すことができたようで、100名を越す聴講者で埋まる会場は最後まで歯抜けになることはなかった。

2

小林コレクション鳥類標本の整理が完了

平成12年度にひとはくに寄贈された小林桂助コレクション鳥類標本の整理が完了し、目録を出版した。このコレクションは神戸市灘区在住であった貿易商小林桂助氏が父親の代から収集した国内有数の鳥類コレクションである。整理の結果、このコレクションは剥製標本(羽毛や骨格を含む)12、334点、卵2、566巢分、巢542点の合計15、442点からなることが明らかになった。これにより、ひとはく所蔵の鳥類標本は約17、000点になり、国内では、東洋一の所蔵数を誇る山階鳥類研究所に次ぐものになった。このコレクションは、世界の鳥類を含み、かつ国内の鳥類の大多数の種の過去の標本を含んでいるので、今後、形態だけでなく遺伝子等を使った研究への利用が見込める。なお、目録の名称は小林桂助コレクション鳥類標本目録(江崎・山崎・森岡 編:255ページ)である。



3

自然環境モノグラフ第二号の出版

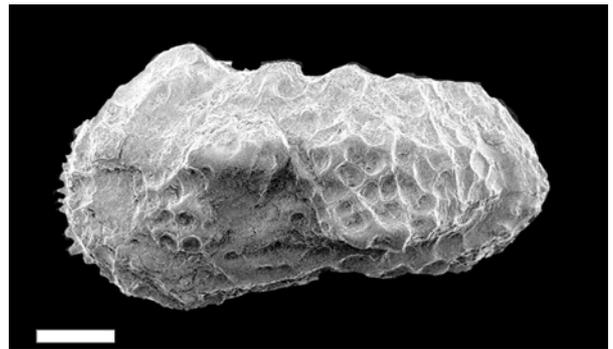
ひとはくでは、県内の自然環境情報を収集するデータバンク事業をおこなっており、成果物を自然環境モノグラフのシリーズとして出版している。今年度は、その2号にあたる「兵庫県における鳥類の分布と変遷」を出版した。本書は、日本野鳥の会兵庫県支部あるいは支部会員が個人で所有している過去から現在までの兵庫県内の鳥の記録、兵庫野鳥の会が過去に発行した冊子のデータ、兵庫県農林水産部が過去におこなった鳥の調査データ、国と県土整備部がおこなった「河川水辺の国勢調査」など、県内の鳥類について入手可能なすべてのデータを集めて種ごとに整理し、地図上に分布図として示したものである。繁殖期と越冬期のものを抽出した結果、県内 1000 以上の地点に関して、40000 件以上のデータがそろった。これらを 1994 年以前とそれ以降にわけて、種ごとに分布図をつくり、兵庫県の鳥の変遷が一目でわかるようになっている。官民が集めたデータを一同に集めたもので、今後の自然環境保全の基礎データとなるものである。日本野鳥の会兵庫県支部編で 187 ページの冊子である。



4

淡路島から 3700 万年前の貝形虫化石を発見

ひとはくと金沢大学の研究者の共同研究の結果、淡路島の約 3700 万年前の地層、神戸層群岩屋層から 3 つの新種を含む貝形虫(かいけいちゅう)化石が発見された(2006 年 1 月)。国内での古第三紀(6550 万~2303 万年前)の貝形虫化石の発見としては九州以外からは初めてで、新聞でも大きく取り上げられた。



写真：岩屋層の貝形虫化石
撮影：山口龍彦（金沢大学）

5 フロアスタッフ活動が飛躍的に進展

ひとはくにフロアスタッフが設置されてから3年目となった平成17年度、その活動は質・量ともに飛躍的に進展した。それは特にワークショップなどの実施715回、参加者15,119人という数値となってあらわれ(平成16年度は280回、6622人の参加)それによって「毎日何かがある博物館」となった。なかでも、以前から人気があった「デジタル紙芝居」に加えて新設された「フロアスタッフと遊ぼう」では、展示コーナーでそれにちなんだゲームを楽しむ子どもたちの姿が見られ、展示室に活気を与えた。このような展示室でのワークショップや展示を囲んでのスケッチは、「展示を静かに見る場所」から「遊びや展示を通して自然・環境に興味を持つ場所」へと博物館を変化させるものとして、他館からも評価されつつある。

フロアスタッフの活動は館内にとどまらず、明石市文化会館・伊丹市昆虫館・神戸農業公園などでのキャラバンでデジタル紙芝居を上演した。またフロアスタッフ主催でスタッフと研究員の他館視察報告会を実施し、さらに琵琶湖博物館で行われた「地域子ども教室推進事業・近畿近隣ブロックシンポジウム」で講演するなど、活動範囲は拡大した。

これらの活動は、ひとはく研究員の指導と助言のもとフロアスタッフが主体になって考え、実施してきたものである。それぞれの分野の専門家である研究員と協力し、研究員とは異なった発想力や個人の能力を活かしながら学習と工夫を重ねることで、フロアスタッフはひとはくの顔となりつつある。



動物すごろく



画はくの日

平成17年度フロアスタッフによるワークショップ類

メニュー	実施内容	回数	参加者数
うきうきシート	季節ごとに違うテーマで塗り絵	常に実施	5,824枚
デジタル紙芝居	アースシアターでパワーポイントを使用した紙芝居。「タンポポレストラン」「うりんぼのごちそう」「ぶくぶくあわわ」など6メニュー。	毎日2回 全422回	10,399人
展示室ツアー	展示コーナーで、クイズの実施や標本観察などを交えながら展示に親しむ。「ボルネオジャングルツアー」「氷上回廊」など6メニュー	毎日1回 全186回	3,325人
フロアスタッフと遊ぼう	展示室での遊びを通して自然や環境への興味を引き出す。「画はくの日」「動物すごろく」「川でさかな釣り」「くるくるとぶたね」など6メニュー。	週4回 全64回	795人
深田公園探検隊	研究員といっしょに深田公園の自然を調査する	月1回、全7回	62人
その他、	館のイベントにあわせて特別のメニューを実施	フェスティバルなど全25回	598人

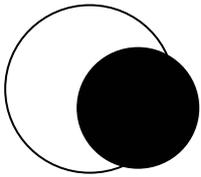
6

コウノトリの試験放鳥にあわせ企画展 「コウノトリの野生復帰と自然再生」を開催

兵庫県では、1971年に野生絶滅したコウノトリの野生復帰事業を進めているが、9月に第1次試験放鳥が成功裏に行なわれた。ひとはくでは、この事業と連動する形で7月10日から9月25日まで、企画展「コウノトリの野生復帰と自然再生」を開催した。コウノトリの最後の生息地であった豊岡市を中心とする円山川下流域は、もともと低湿地であり、水害にも悩まされてきた地域である。このため、この地域での野生復帰とこれを支える河川や水田の自然再生は、治水と密接にかかわりあいながら進めなければならない。本企画展では、コウノトリとその歴史、生態を紹介するだけでなく、今後の



治水に配慮した自然再生の提案も行なった。空から豊岡盆地をコウノトリの目でみる「コウノトリビジョン」は迫力ある画面で来館者に強いインパクトを与えた。また、企画展講座として行なわれた記念シンポジウムでは、コウノトリだけでなく、アホウドリ、ライチョウ、トキなど絶滅が危惧される鳥類、絶滅の淵からはいあがった鳥類、野生復帰計画のある鳥類の話題が全国から集まった著名な研究者から提供され大いに盛り上がった。本企画展の一部は、常設展示として再現される予定である。



特別プロジェクト

1 ワイルドライフ・マネジメント プロジェクト

シカやイノシシによる農業被害や、ツキノワグマの絶滅危惧と集落への出没、外来生物（ヌートリアやアライグマなど）の分布拡大など、人と野生動物の軋轢が、環境保全と被害対策の両面で深刻になっている。

地域における問題解決の能力を向上させ、野生動物と適切に共存していくために、兵庫県ではワイルドライフ・マネジメント（野生動物の保護と管理）の体制作りを始めている。人と自然の博物館では、農林水産部森林動物共生室と協力し、以下の取り組みを進めている。

平成17年度から、森林・野生動物管理官（仮称）候補者の研修が始まり、森林・野生動物保護管理研究センター（仮称、平成19年1月開設予定）の建設も始まっている。

担当研究員：坂田宏志 横山真弓

ワイルドライフ・マネジメントに関する将来構想検討への参画

- ・ワイルドライフ・マネジメント計画運営協議会
- ・森林・野生動物保護管理研究センター（仮称）設置の検討
- ・森林・野生動物管理官制度（仮称）創設に向けた検討

保護管理計画などの策定・見直しへの支援

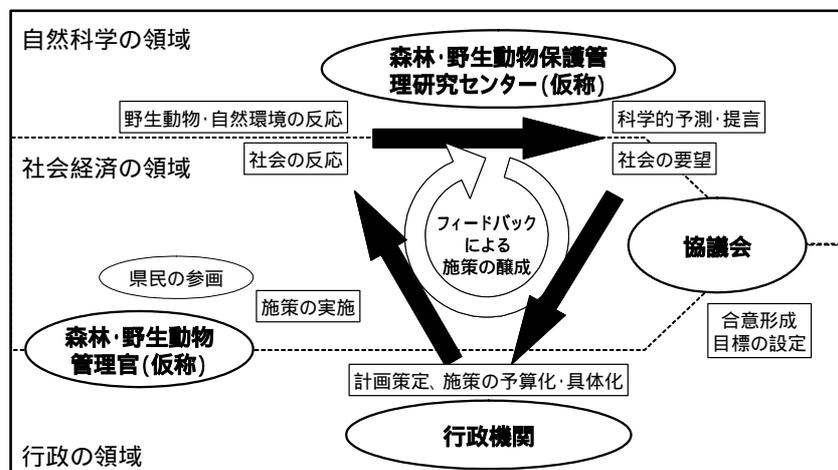
- ・外来生物防除指針、鳥獣保護事業計画、ニホンジカ保護管理計画、ツキノワグマ保護管理計画などの策定や見直し
- ・イノシシ、ニホンザル等の保護管理計画策定準備 ・環境審議会など

上記の対応のための調査・研究活動

- ・センター設置に先行した調査、研究、資料収集（生息状況や森林環境などのモニタリング、生息密度や被害の将来予測）
- ・体制作りへ向けた調査研究
- ・現場の実情を政策に結びつけるための社会学的調査
- ・クマ出没対応や個体数調整などの現場対応ならびに事例検証
- ・課題のある動物、移入種、希少種の分布調査

普及事業

- ・研修会、セミナー、シンポジウム等の実施
- ・展示やビデオソフトの作成



2 人博・サバ大学共生生物学研究事業

ボルネオ生物多様性・生態系保全プログラム協力は、同島の熱帯雨林の生物多様性調査を行い、そのデータに基づいて公園整備や野生動物保護、環境教育などを包括的に押し進めていこうとする5年間(2002年2月-2007年1月)のプロジェクトであり、環境保全にかかわる日本の国際協力のモデル事業になることが期待されているものである。マレーシア国立サバ大学とサバ州政府3省9部局が参画し、「研究教育」「公園管理」「生息域管理」「環境啓発」の4つのコンポーネントから構成されている(図参照)。本プログラムのなかで、人博が「人博・サバ大学共生生物学研究事業」として、特に中心的な役割を果たしているのは、サバ州における生物多様性・生態系保全のための研究・教育能力を確立することである。このために、1.サバ州での生物相調査の指導・実施、2.サバ大学熱帯生物学・保全研究所の自然史博物館機能確立(標本収集・保管能力、生物多様性情報管理能力、分類学の研究能力の確立、展示・普及活動の指導)3.サバ州内の自然環境保全研究機関間ネットワーク構築(サバ大学、サバ州公園局キナバル博物館とサバ州森林局中央研究所の生物多様性情報のデータベース化とデータ共有のための組織構築)などに取り組んでいる。

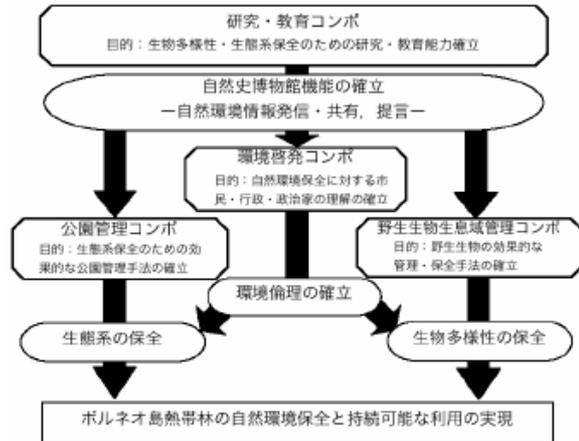


図 ボルネオ生物多様性・生態系保全プロジェクトの概念図

表 人博・サバ大学共生生物学事業における2005年度の活動

2005年度の主な活動	活動内容	成果物など
ボルネオ生物多様性・生態系保全プログラム推進支援(2005年4月1日から2006年3月31日)	各種セミナー、研修、出版等の企画運営と、研究・教育への指導助言を行うとともに、プログラムの進行管理、評価、活動計画案作成等を支援	ワークショップ実施(24回)、セミナー実施(8回)、出版物(5冊)等
長期的生物調査拠点作り(2005年4月1日から2006年3月31日)	クロッカ-山に6カ所の永久調査区設立地点を策定し、3カ所の調査区を設営した(イノボン、ケニンガウ、マファ)。さらに、モニタリングや調査手法等についてのワークショップを実施した。	永久調査林の管理マニュアル、永久調査区3カ所設置
マルチメディアデータベースの構築(2005年4月1日から2006年3月31日)	サバ州における生物多様性情報のデータベース化の支援を行った。	1万7千点の生物標本情報をデータベース化、生物多様性情報の活用のためのホームページを開設、データベース管理・活用マニュアル出版と講習会実施
サバ大学研修生の受け入れ(2005年4月1日から2006年3月31日)	Idris Said(サバ大学講師)の植物分類学、標本管理に関するカウンターパート研修等を実施し	4名のJICA研修生へのトレーニング
アジア地域の他研究機関とのネットワーク構築(2005年11月)	マレーシア国立マラヤ大学においてアジア8カ国の研究機関からの参加者を対象にアリ類パラタクソノミスト・トレーニングコースを実施した	ワークショップ(50名参加)、昆虫標本交換、共同研究の計画等
マレーシア国立博物館で生物多様性保全に関する展示実施(2005年11月)	マレーシア国首都にある博物館で、初めての自然史に関する展示を実施し、さらに、展示会終了後マレーシア国各州で巡回展を実施した。	展示用パネル、アリ拡大模型、展示用標本セット整備等
調査研究「アリとアリグモの共生系の解明」(2005年9月、2006年2月)	文科省科学研究費「アリとアリグモの共生系の解明」の研究代表者として、サバ大学と共生生物学研究を実施	日本昆虫学会で成果公表、Sciobiology誌に成果を出版
第8回ボルネオジャングル体験スクール実施	県内の小学校6年生から高校2年生までの男女合わせて18名が参加した第8回体験スクールをマレーシアサバ州ダヌムバレー自然保護区で実施	ジャングルスクール成果報告書、体験発表会等
NHKテレビ番組「未来への航海」の制作協力(2005年4月から8月)	NHK、ABU(アジア太平洋放送連合)、サバ大学、マレーシア国立放送と共同で、アジア各国からの中学生を対象にした熱帯林保全に関する環境教育プログラムをサバ州で実施。	テレビ番組「未来への航海」に講師として出演し、国内およびABU参加国6カ国で放送された。

担当研究員：橋本佳明、石田弘明、高橋晃、中西明徳、秋山弘之、高野温子

3 ネクスト・ミュージアム プロジェクト

今年度は県重要施策「人と自然の博物館展示構想の推進」の一環として、人と自然の博物館基本構想策定委員会を設置し、委員会を4回開催した。これまで館内部で検討してきたネクストミュージアム構想をたたき台とし、生涯学習院にかかるプログラム等のソフト面、それらのプログラムを実現するための施設整備などのハード面、プログラムと施設を運営するための組織面など、様々な観点からご議論、ご指摘をいただいた。4度にわたる委員会での議論を元に、人と自然の博物館基本構想（素案）を策定した。

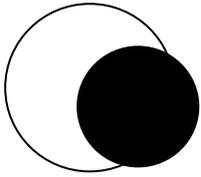
人と自然の博物館基本構想策定委員会 名簿

委員	所属
三浦 朱門	日本芸術院 院長（委員長）
野上 智行	神戸大学 学長（副委員長）
岩槻 邦男	県立人と自然の博物館 館長
上野 祐子	(株)マーケティングダイナミクス研究所 代表取締役
岡田 真美子	兵庫県立大学環境人間学部 教授
角野 幸博	武庫川女子大学生活環境学部 教授
鳴海 邦碩	大阪大学大学院工学研究科 教授
日高 敏隆	人間文化研究機構総合地球環境学研究所 所長
山内 康弘	兵庫県教育委員会 教育次長

基本構想策定委員会 開催日程

第1回	平成17年6月29日	13:30 - 15:30	場所：人と自然の博物館
第2回	平成17年8月19日	13:30 - 15:30	場所：兵庫県立美術館
第3回	平成17年9月28日	13:30 - 15:30	場所：国立科学博物館
第4回	平成17年12月6日	13:30 - 15:30	場所：人と自然の博物館

担当研究員 田原直樹・服部保・佐藤裕司・江崎保男・高橋晃・小館誓治・先山徹・宮崎ひろ志・藤本真里・鈴木武・石田弘明・嶽山洋志・赤澤宏樹・高野温子



事業報告

人と自然の博物館では、その活動の内容を、よりわかりやすくかつ明確にするために、平成14年度から「中期目標」と「措置」を設けている。中期目標はいわば博物館の行動の指針となる大項目であり、これが全部で14項目設けられており、それぞれに達成を目指すべき目標が設定されている。そして、この中期目標の各項目の下位項目として措置が設定されている。措置は、中期目標に関連する個別の具体的な項目について、その行動の方針と、具体的な数値目標が設定されている。

次ページ以降の図表および解説は、中期目標の各項目に即して、平成15年度の博物館の活動内容と平成16年の事業の計画を整理したものであり、「この指標を支える項目」として、これに関連する措置について、同様の説明を加えたものである。

生涯学習の支援

担い手の養成 - 「学習」から「実践」までをサポートするソフトの提供

1

県民ニーズに即した段階的・連続的な学習プログラムを提供し、新規参加者を開拓するとともに、再参加を促進し、参加者数および参加者の層を拡大する

指標：学習プログラム参加者の総数

学習プログラム：館主催・共催のセミナー等普及教育を目的とする各種プログラム

指標：学習プログラム参加者のひろがり

セミナー受講者のひろがり：地域分布、年齢層（12歳以下、13歳から20歳未満、以降60代以上までの10歳刻みの7段階）

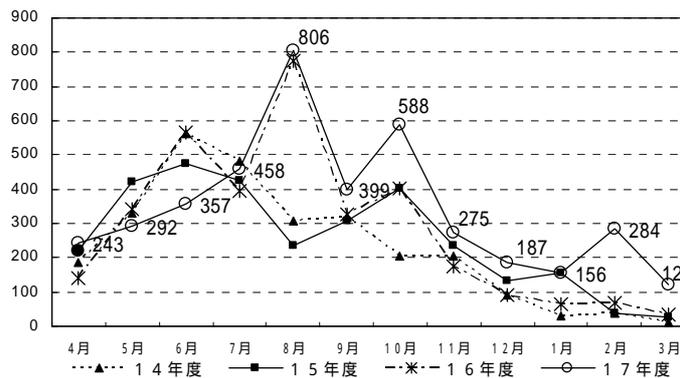
担当課室
生涯学習
事業室

学習プログラム参加者の総数

達成度

目標 5,000人/年 に対して、153.2% (7,658人)

セミナー参加者数	4,167
キャラバンセミナー参加者数	3,491



セミナー受講者数

学習プログラム参加者のひろがり

達成度

目標 全地区・全年齢層の獲得に対して 未達成

(ただし、上記目標はH18年度に達成を目指すものである)

年代	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	中播磨	西播磨	北播磨	但馬	丹波	淡路
10	266	118	648	48	34	11	42	8	37	17
20	86	25	52	25	9	5	14	5	7	10
30	130	51	181	24	20	4	9	4	21	17
40	147	65	228	37	31	8	26	7	15	12
50	142	80	160	43	14	9	24	10	11	13
60	124	85	198	43	16	9	10	10	16	5
70	39	14	68	7	0	1	5	4	3	0
不明	312	118	537	108	62	44	45	24	52	13
総計	1246	556	2072	335	186	91	175	72	162	87

解説

学習プログラム参加者の総数

H17年度の取り組み

昨年度と同様、季刊セミナーガイドを発行し、通年版ガイドに加えた細やかな広報に努めた。

H17年度の到達状況の自己評価

主催及び共催セミナーとキャラバンセミナーとで年間目標5000人の受講者数を達成した。

H18年度の取り組みの予定

地域研究員の養成を目指し、体系だったプログラムの構築に努める。

学習プログラム参加者のひろがり

H17年度の取り組み

新しい情報をすばやく提供すべく、ホームページでの広報の強化を図った。

H17年度の到達状況の自己評価

昨年度と同様、中播磨地域の70代と淡路地域の70代の受講者を獲得することができなかった。

H18年度の取り組みの予定

中播磨地域や淡路地域だけでなく、全地域において高齢者も参加できる学習プログラムの充実を図る。

この指標を支える項目

セミナー参加へのPRを促進 -セミナー受講者数・セミナー新規受講者数

H17の取り組み	タイムリーな情報発信を行うため、季刊セミナーガイドを発行した。
自己評価	セミナーの年間受講者生は初めて4000人の目標値を上回った。
H18の予定	地域研究員養成のための体系だったセミナープログラムを整備していく必要がある。

講師派遣の拡大 -他団体主催の講演会への研究員の派遣回数(講演会数)・講演会聴講者数

H17の取り組み	セミナークラブ会員への積極的広報を行った。
自己評価	博物館事業とのバランスを図っていく必要がある。
H18の予定	連携事業としての位置づけ、受講生が博物館に来館するための動機づけなど、館事業との繋がりを意識した講義を、館員全員が意識するよう啓発していくことが求められる。

博物館実習の受け入れ -博物館実習受入人数

H17の取り組み	12大学、13名の学生が受講した。
自己評価	受入制限を行うなど、大学からの受け入れ要求が増加してきている。
H18の予定	個別プログラムの位置づけが把握できるよう、博物館の全体像を掴むことができる講義を一つ追加する必要がある。

セミナー受講者の満足度の向上 -アンケートにおける満足度評価点数・セミナー再受講率

H17の取り組み	昨年度から継続でアンケート調査を実施した。
自己評価	満足度98.1%を得ることができた。
H18の予定	セミナー再受講率の高い顧客に対してヒアリング調査を実施するなどの、質的評価を得るための調査を実施する必要がある。

若手研究者の育成 -外部からの研究希望者受け入れ数

H17の取り組み	外部からの希望にそって、11人の受け入れを行った。
自己評価	後継者の育成、研究活動の活性化に寄与した。
H18の予定	兵庫県立大学の大学院生の受け入れが近づいていることから、事業の配分など館内の事業体制を整理していく必要がある。

「科学する心」を育むプログラムの整備 -中高生のセミナー受講人数

H17の取り組み	学校団体の来館促進のため、即実施できる特注セミナーを実施した。
自己評価	学校団体の来館者数増に貢献できた。
H18の予定	中高生は小学生とは異なり、進路を考えるきっかけを与えることができることから、博物館としても力を入れる必要があると考えられ、次年度は特注セミナーに加え、教職員セミナーや高校連携セミナーなどを充実させていく必要がある。

生涯学習の支援

担い手の養成 - 「学習」から「実践」までをサポートするソフトの提供

2

県下各地域において、県民と館とが参画と協働によって実施する参画・協働型プログラムを積極的に企画し、学びの実践を支援する

指標：県民・団体・NPO等との連携による参画・協働型プログラム数

参画・協働型プログラム：県民・団体・NPO等との連携によって実施するプログラム

担当課室
シンクタンク
事業室

県民・団体・NPO等との連携による 参加・協働型プログラム数

達成度

目標 30件/年に対して 340.0% (102件)

内訳

キャラバン関連事業	65
県民、NPO等との連携事業 (キャラバン、アウトリーチ プログラムを除く)	37

解説

H17年度の取り組み

昨年度と同様、県下10地域でキャラバン事業を実施した。また、キャラバン等で連携した活動団体の発表の場として「共生のひろば」を開催した。

H17年度の到達状況の自己評価

キャラバン関連事業に力を入れたことにより、20件以上の事業が増加した。

H18年度の取り組みの予定

連携グループ等が主催するセミナーについてもセミナーガイドに掲載していく。

この指標を支える項目

県民参画プログラムの拡大 - 共催事業数・活動人数

H17の取り組み	昨年度に引き続き、キャラバン事業を10地域2ヶ所で実施した。そのうち2ヶ所で地域研究員養成プログラムを実施した。
自己評価	連携団体は昨年度の80件から22件増の102件となり、県民参画の充実をはかることができた。
H18の予定	地域研究員養成事業との連動をすすめ、質的な充実をはかる。

県民参画プログラムの拡大 - フェスティバルへの参画団体数・キャラバン事業への参画団体数

H17の取り組み	昨年度に引き続き、ひとはくフェスティバル、キャラバン事業、共催事業、地域研究員養成事業など、多数の県民参画型プログラムを実施した。また、活動発表の場である「共生のひろば」を開催し、市民に活動を表現する機会の提供を実施した。
自己評価	共生のひろばを実施したことにより、団体間の交流もみられ、活動の相乗効果を生むことができた。
H18の予定	地域研究員養成プログラムやキャラバン事業などの既存事業に参画した県民の共生のひろばへの参画を促し、団体間や事業間の連携を深めるよう支援する。

人と自然の会をはじめとするNPO等との連携事業の拡大

- 館主催（共催）の連携・協力事業数・ボランティア登録者数・ボランティア活動のべ人数

H17の取り組み	東中国マ集会などを始めとする連携グループが10件となり、人と自然の会につく連携グループの増加に力を入れた。
自己評価	博物館を活動の場として活用する機会が増え、様々な連携グループと協力して行う事業が増加した。
H18の予定	連携グループと博物館との連携のレベルが多様化してきていることから、それぞれのレベルでのよりよい連携のあり方について模索する。

生涯学習の支援

県民ニーズに応えた学習の場の提供

- 魅力ある空間づくり・実践フィールドの提供

3

展示の質の向上、レファレンスの充実等によって、魅力ある空間づくりの観点から館の機能を充実させる

指標名： ビジター数

一年間の博物館の利用者総数、本館への入館者数および、主催および共催事業への参加者数で表される。

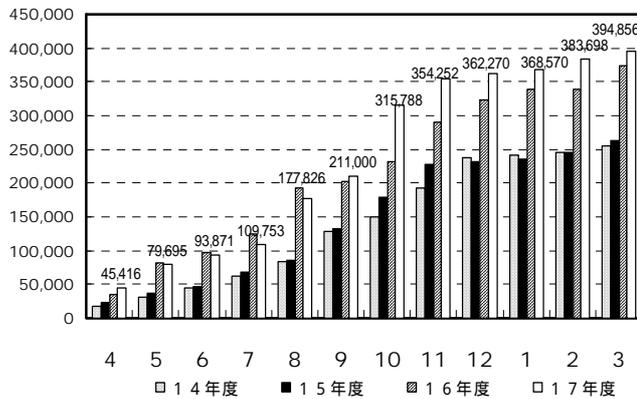
担当課室
生涯学習課
スクールパートナー
推進室

ビジター数

達成度

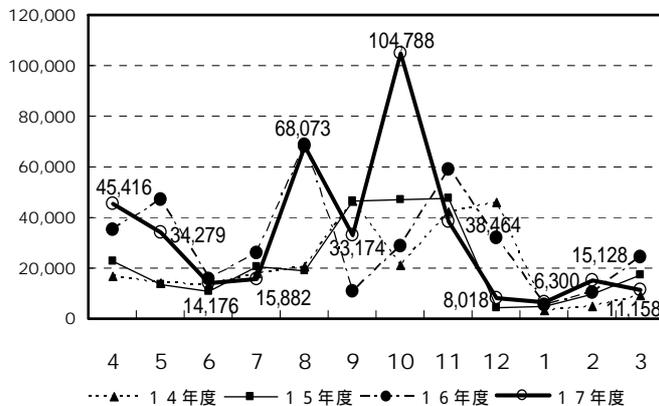
目標 250,000人/年 に対して

157.9% (394,856人)



累積ビジター数

内訳		学校団体 11.1 %	
本館	202,751	→	一般団体 10.0 %
キャラバン	133,282		その他個人 78.9 %
共催事業	58,823		



月別ビジター数

解説

H17年度の取り組み

キャラバン事業だけでなく、県立神戸学習プラザや兵庫県立大学等の、都市部の施設との連携を図り、効果的の広報につとめた。また、本館のビジター数の増加を図るべく、オープンセミナーなどの館内イベントの充実を図った。

H17年度の到達状況の自己評価

館内イベントの充実が功を奏し、本館におけるビジター数は増加した。また館外共催事業におけるビジター数も増加した。昨年度に比べ5~8月にかけてのビジター数の減少が見られたが、10月~3月にかけては逆に増加した。

H18年度の取り組みの予定

春から夏にかけての子ども向けのセミナーやイベントの充実を図るとともにオープンセミナーなどの館内イベントを充実させることで、本館への来館者増加に力を入れる。

この指標を支える項目

イベントの開催と充実 -フェスティバルへの参加者数

H17の取り組み	市民団体や近隣商業施設等と連携して組織委員会を組織し、イベント内容の充実とともに他施設のイベントとの同日開催を図って参加者数の増加に努めた。
自己評価	同日開催とプログラム内容の改善により、目標の2万人を上回る参加者を得た。
H18の予定	組織委員会を担う中核団体を育成するとともに予算基盤の確保を図り、安定的な運営を行う。

イベントの開催と充実 -博物館の日への参加者数

H17の取り組み	サイエンスの同日開催や外部の団体・施設の参画イベントを増やすなど、イベント内容の充実を図った。
自己評価	サイエンスの同日開催により昨年度を大きく上回る来館者数、ビジター数、イベント参加者数を得た。
H18の予定	博物館の日に限らず土・日・祝日のイベント内容をより充実させ、トータルでの来館者増を図る。

イベントの開催と充実 -イベント参加者数の確認

H17の取り組み	フェスティバル、はくぶつかんの日、たんぼぼウィーク、サマーナイトセミナーにおけるイベント数と内容の充実を図った。
自己評価	たんぼぼウィーク以外で昨年度並み、もしくはそれ以上のイベント参加者数を得た。
H18の予定	イベント開催日を増やすのではなく、ファミリーで参加できるイベントを同日に集中開催するなど、効率的なイベント企画を行って参加者数の増加に努める。

イベントの開催と充実 -サイエンスショー

H17の取り組み	1月3日(無料開放日)・12月18日(博物館の日)2月19日(博物館の日)の3日間実施し、11,200人の参加があった。
自己評価	3日間の開催で多くの参加者を集めることができた。
H18の予定	H17同様1月3日のほか12月・2月の博物館の日に開催し、多くの県民に楽しんで頂きたい。

一般団体の利用の拡大 -来館一般団体数

H17の取り組み	県内各旅行社へのパンフレットを配布するなどして、団体誘致に努めた。
自己評価	464団体の利用があり、昨年と比べ17団体減少した。
H18の予定	博物館の利用方法をわかりやすくまとめ、各種団体に案内し、利用促進に努めたい。

学校団体の利用の拡大 -来館学校数

H17の取り組み	ミュージアムティーチャーや研究員による学校団体向けセミナーの充実などにより、博物館利用学校数が増加した。また、学校への広報に意を用いた。
自己評価	291学校の利用があり、昨年と比べ26学校の増加を見た。博物館利用に係る一定評価が定着してきている。
H18の予定	博物館の利用方法・サービスをわかりやすくまとめ、各種団体に案内し、利用促進に努めたい。

学校団体の利用の拡大 -継続来館学校数

H17の取り組み	114校が昨年に引き続き来館した。
自己評価	博物館におけるサービスが定着しつつある。
H18の予定	博物館の利用方法・サービスをわかりやすくまとめ、各学校に案内し、利用促進に努めたい。

学校団体の利用の拡大 -ミュージアムティーチャーによる展示案内・指導回数

H17の取り組み	学校団体セミナーをのべ294校を実施し、多くの学校に利用されている。
自己評価	理科の授業や総合的な学習の時間としての利用が増え、学校団体向けセミナーが定着しつつある。
H18の予定	博物館の利用方法・サービスをわかりやすくまとめ、各学校に案内し、利用促進に努めたい。

学校団体の利用の拡大 -教職員セミナー開催数

H17の取り組み	18講座568人の受講があった。
自己評価	学校において授業に使える実践的なセミナーとして定着しており、受講者からも好評である。
H18の予定	多くの教職員に利用していただけるよう、23講座に拡大し、さらに質的拡充を目指す。

児童生徒の来館促進 -ココロンカードの利用者数

H17の取り組み	ココロンカード対象者の来館を促すため、夏休み期間中毎土曜日の夜間開館などイベントを企画し広報した。
自己評価	ココロンカード対象者の個人利用が、減少しており、イベントの企画を工夫する必要がある。
H18の予定	ココロンカード対象者の個人利用を促すため、イベントの工夫や広報の徹底を検討する。

児童生徒の来館促進 -ミュージアムティーチャーのセミナー開催数

H17の取り組み	16講座21回のミュージアムティーチャーによるセミナーを開催した。
自己評価	多くの県民の参加があり、おおむね良好な評価を得た。
H18の予定	7講座9回講座を企画し、さらに質的拡充を目指す。

児童生徒の来館促進 -夏休み理科相談室への参加者数

H17の取り組み	8月25日から28日までの4日間開催し、84人の相談があった。
自己評価	相談の子どもや保護者から、好評を得た。
H18の予定	H17同様4日間の開催を企画し、さらに質的拡充を目指す。

児童生徒の来館促進 -児童への資料等の活用件数

H17の取り組み	昨年度に引き続きミュージアムボックスの貸し出しに力を入れた。
自己評価	同じセットの連続貸し出しがあり、5件×7回で、計35件であった。
H18の予定	環境学習のための教材等、ミュージアムグッズのコンテンツ開発に力を入れる。

常設展・企画展の質・面白さの向上 -企画展を目的とした来館者の比率・来館者の満足度

H17の取り組み	豊岡市でのコウノトリの放鳥に合わせてコウノトリの野生復帰と自然再生の企画展を実施した。
自己評価	来館の占める企画展観覧者の比率は、平均で約44%であった。
H18の予定	企画展「兵庫の外来生物」等の時流にあった企画展を実施する。

展示空間の活用-企画展、貸会場、臨時展示の回数・常設展示の改善件数

H17の取り組み	企画展4回、ミニ企画展10回、資料・トピックス展示2回、合計16回開催した。
自己評価	年度目標が達成された。
H18の予定	常設展示が子どもには難しいことから、企画展では子どもを意識した展示を心がける。

ホスピタリティの向上

H17の取り組み	フロアスタッフの活動が飛躍的に進展した。(23ページ参照)
自己評価	遊びを通して自然や環境への興味を引き出すインタープリテーションを充実させることができた。
H18の予定	より一層利用者との密接な交流を図る。

レファレンスルーム・情報センターの充実-レファレンスルーム利用者数・情報施設の利用度

H17の取り組み	サロンにおいてフロアスタッフが対応した人数は88,647人であった。
自己評価	本年度の新指標であり、次年度以降に行う。
H18の予定	より一層レファレンスルームの利用促進に努めたい。

生涯学習の支援

県民ニーズに応えた学習の場の提供

- 魅力ある空間づくり・実践フィールドの提供

4

他施設との連携等により、県下各地に館のサービス提供の場を設け、県民の学習や実践の機会を拡大する

指標名： 連携施設数

連携施設：プログラムの共催、協力等連携して事業を実施した施設



連携施設数

達成度

目標 のべ 10 施設 (18 年度まで) 下記は今年度の連携
 に対して 14 年度ですでに達成 施設一覧 (75 件)

- | | |
|--|---|
| 有馬富士公園
明石市文化博物館
丹波の森公園
田園空間博物館
南あわじ市・淡路ふれあい公園
鳥取市歴史博物館
神戸市立道場小学校
播磨町公民館
伊丹市昆虫館
神戸市農業公園
奇跡の星植物館
県立神戸生活創造センター
神戸市立青少年科学館
財団法人国際花と緑の博覧会記念協会
竹野スノーケルセンター
竹野町公民館
兵庫県立西はりま天文台公園・
西はりま天文台
(社)宝塚ゴルフ倶楽部
宝塚市立西山小学校
宝塚市立仁川小学校
生活協同組合コープこうべ
協同学苑
湊川短期大学
養父市立養父公民館
但馬文教府
姫路市伊勢自然の里
名古屋大学農学国際教育協力
研究センター協力ネットワ
ーク開発研究領域
コープこうべ生活文化センター
県立六甲山自然保護センタ
高知県立牧野植物園
芦屋市立美術博物館
神戸市立博物館
県立御影高校
神戸市立六甲アイランド高校
国土交通省六甲砂防事務所
兵庫県神戸県民局 | コープこうべ
姫路市立自然観察の森
兵庫県県土整備部土木局河川計画課
兵庫県立大学自然・環境科学研究所
淡路ワールドパーク onokoro
西宮市貝類館
産業技術総合研究所 地質標本館
島根大学総合理工学部地球資源環境学科
千葉県立中央博物館
中川町自然誌博物館
瑞浪市化石博物館
南あわじ市・南あわじ市教育委員会
姫路市環境局
播磨ウエットランドリサーチ
姫路市水族館
国立淡路青年の家
神戸市立王子動物園
ささやまの森公園
姫路市立飾磨小学校
高砂市
高砂市教育委員会
(財)高砂市施設利用振興財団
兵庫県立歴史博物館
西宮市立山小小学校
姫路市立山田小学校
丹波市立城北小学校
赤穂市教育委員会
赤穂市立坂越幼稚園
赤穂市立坂越小学校
赤穂市立坂越中学校
坂越地区連合自治会
赤穂市文化財ボランティア
産業総合研究所活断層研究センター
NPO 法人 ひょうご森の倶楽部
環境省
兵庫県県土整備部
財団法人 兵庫県まちづくり技術センター
神戸市立稚台小学校
国立民族学博物館 |
|--|---|

解説

H17 年度の取り組み
 昨年度と同様、キャラバン事業を軸とした他施設との連携に努めた。

H17 年度の到達状況の自己評価
 H16 年度は 30 件であったが、本年度は倍以上の 75 件であり、学習の場が飛躍的に拡大した。

H18 年度の取り組み
 地域研究員養成事業を中心として他施設との連携をはかり、県内での学習の場を充実させる。

この指標を支える項目

学習の場となる連携施設・会場の開拓

- 館外会場件数・イベント集客数・展示出展回数・有馬富士公園等でのプログラム数・有馬富士公園等でのプログラム参加者数・ガイド作成など実践フィールドの質の向上につながる措置の件数・学習の場となる連携施設数・研究員の派遣施設・会場数

H17 の取り組み	学校キャラバン事業が展開されたことにより、学校との連携が増加した。
自己評価	連携施設数が昨年度の 30 件から 75 件に大幅に増加した。
H18 の予定	次年度もキャラバンは 10 箇所実施し、施設連携をさらに拡大・強化していきたい。

自然・環境シンクタンク機能の充実

自然環境情報の一元管理 - ひとつはくに来ればすべてがわかる

1

収蔵資料等の電子化を進めるとともに、家庭、職場、学校等館外にあっても必要な情報をネットワークで活用できる情報システムの整備を図り、電子化された情報の効果的な利活用を促進する

指標：電子情報の利活用件数

電子情報の利活用件数：収蔵情報システム、自然・環境情報システム、館ホームページ（HP）資料関係ページへのアクセス数

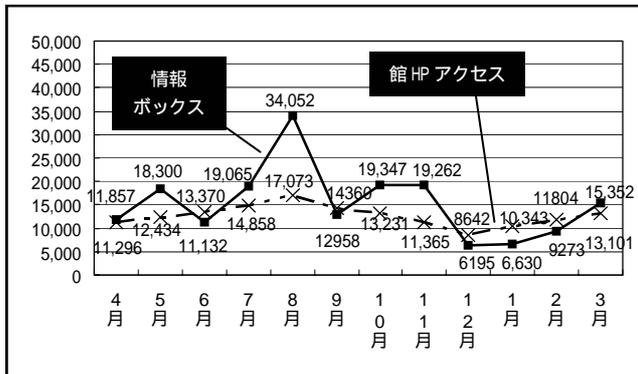
担当課室
シンクタンク
事業室

電子情報の利活用件数

達成度

目標 70,000 アクセス/年に対して

479.0% (335,300件)



内訳	情報ボックス	183,423
	館HPアクセス	151,877

解説

H17年度の取り組み

館の展示解説やイベント情報等の基本情報の提供は、来館者へは館内情報端末、一般の県民へは館ホームページで行っている。今後は、ホームページを利用した機能を付加していき、県民の利便性の向上を図っていく。

H17年度の到達状況の自己評価

ホームページを利用したセミナー情報の提供に加え、ホームページからセミナーへの参加申し込み機能を追加することができた。ホームページからの申し込み実績は、セミナー参加者の3割程度だった。

H18年度の取り組み予定

ホームページを利用した機能付加の一つとして、リアルタイムで新しい情報を発信するためブログ機能を追加する。

この指標を支える項目

電子登録数の拡大 - 資料の電子情報化件数

H17の取り組み 昨年度に引き続き、GBIF(地球規模生物多様性情報機構)との連携事業により、既存電子情報の英語化を進め、情報公開の国際化を進めた。

自己評価 国際機関GBIFを通じ博物館収蔵資料の電子情報40万点を公開し、情報公開の国際化に貢献した。

H18の予定 今年度は、収蔵品データベースやマルチメディアデータベース等の館内の電子情報化に力を入れる。

館内端末の利活用 - 情報ボックスの利活用件数・情報センターの利活用

H17の取り組み 情報ボックスで視聴できる博物館制作のビデオを追加するとともに、手にとって見ることのできる標本、図書を充実した。

自己評価 標本・図書を充実するとともに、ビデオを2本制作し視聴できるようにした。また、図書は、兵庫県関係本のコーナー・館員著書コーナー等、閲覧しやすく整理した。

H18の予定 わかりやすく魅力的なコンテンツの拡充として、植物化石コンテンツを予定している。

自然環境情報システムの整備と質の向上 - 自然環境情報システムの利用数・配布件数等

H17の取り組み リサーチプロジェクト4件を実施、3300人が調査に参加した。

自己評価 希少動植物や外来生物に関する調査を市民とともに取り組めた。

H18の予定 調査結果のPRにも力を入れていきたい。

自然・環境シンクタンク機能の充実

自然環境情報の一元管理 - ひとつはくに来ればすべてがわかる

2

収蔵資料及び関連情報を広く一般に提供するとともに、より専門的な学習、調査研究に資するため、閲覧、貸出等収蔵資料の直接的な利活用を促進する

指標：資料利用者総数

資料利用者：収蔵庫利用者、レファレンスルーム等館内資料閲覧場所における資料利用者、及び外部への貸し出し等館外での資料利用者を合わせたもの

担当課室
シンクタンク
事業室

資料利用者総数

達成度

目標 1,000 人/年 に対して

62.4% (624人)

山内は調査	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	累計
<収蔵>													
地学系	13(5)	2(2)	4(0)	56(3)	6(0)	12(0)	52(2)	0(0)	0(0)	0(0)	23(0)	1(1)	169(13)
液浸	8(1)	0(0)	7(2)	8(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	23(3)
生物系	42(0)	44(13)	27(1)	59(2)	14(4)	4(2)	37(1)	8(5)	17(8)	24(8)	32(8)	1(0)	309(52)
環境系	8(0)	0(0)	0(0)	2(0)	6(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	17(0)
小計	71(6)	46(15)	38(3)	125(5)	26(4)	17(2)	89(3)	8(5)	17(8)	24(8)	55(8)	2(1)	518(68)
ゾーン	11	7	8	8	15	12	23	22	0	0	0	0	106
月別合計	82(6)	53(15)	46(3)	133(5)	41(4)	29(2)	112(3)	30(5)	17(8)	24(8)	55(8)	2(1)	624(68)

収蔵庫など見学者数

資料貸し出し

- (1) 室津町・町並模型 [御津町立室津民俗館・常設展示]
- (2) 山崎断層・地層はぎ取り標本 [山崎防災センター・常設展示]
- (3) ラフレシア実物標本 [和歌山県立自然博物館・特別展]

解説

H17 年度の取り組み

収蔵品データベースを活用した研究目的での資料の貸し出し、キャラバン事業での展示に力を入れた。

H17 年度の到達状況の自己評価

年次目標に対して達成度が 62.4%であった。

H18 年度の取り組み

資料の活用方針の検討が必要である。

この指標を支える項目

収蔵資料に関する情報の提供 - 一般県民向け出版物またはCDの発行の有無

H17の取り組み	小林桂助コレクション鳥類標本目録や自然環境モノグラフ第二号を発刊した。
自己評価	国内有数の鳥類コレクションである小林コレクションに関する出版が完了したことが大きい。
H18の予定	CD化の議論はまだ完全ではないので重点的にすすめる。

収蔵資料の積極的公開 - 収蔵庫利用者のべ人数

H17の取り組み	資料の貸し出し、収蔵庫の案内などを行った。
自己評価	資料利用者総数が昨年度よりも150名減少したが、多岐にわたる研究活動に活用された。
H18の予定	資料活用のあり方を議論する余地がある。

ミュージアムボックスの製作 - ミュージアムボックスの検討状況

H17の取り組み	同じセットの連続貸し出しがあり、5件×7回で、計35件であった。
自己評価	新規の環境学習グッズの開発が不可欠である。
H18の予定	ミュージアムグッズの整理・開発を行い、ミュージアムボックスの充実を図る。

ジーンファームの積極的公開 - ジーンファーム見学者数・絶滅危惧植物里親の登録者

H17の取り組み	博物館の日にジーンファーム見学会を開催し、ジーンファーム内部を公開するとともに、研究会などの要請に応じて案内を行った。
自己評価	ジーンファーム見学会の参加者数とその他の訪問者数は、計156名であり、一定の成果を上げることができた。
H18の予定	ジーンファーム活動記録の配布や、セミナー等を通じて広報を行い、見学者数の増加を図る。

自然・環境シンクタンク機能の充実

総合的なシンクタンク事業 - とともに考えるコミュニティシンクタンク

3

地域が抱える人と自然の共生に関する多様な課題に対し、専門的な立場からのアドバイス、情報提供を行う

指標：館員が関与したプロジェクト数

担当課室
シンクタンク
事業室

館員が関与したプロジェクト数

達成度

目標 300 件/年 に対して 107.0 % (321件)

内訳

受託研究件数	17
各種委員会参画数	287
企業等からの受託研究、企業等のプロジェクトへの指導助言件数	23
共催・協力事業などの相手先数	112
植物、種子、ノウハウ等の提供件数	31

解説

H17年度の取り組み
キャラバン事業を軸とした共催・協力事業に力を入れた。

H17年度の到達状況の自己評価
共催・協力事業等の相手先数は112件で、昨年度の3倍以上となった。

H18年度の取り組み
引き続き、委員会参画、受託研究等のプロジェクトに積極的に関わるよう館員に促していく。

この指標を支える項目

行政課題に関する研究の受入 - 受託研究件数

H17の取り組み 受託研究件数が昨年度の9件から17件と大幅に増加した。
自己評価 行政の依頼に対し、断ることなく十分に対応できた。
H18の予定 可能な限り委託調査を受け入れていく。

行政に対する専門知識・ノウハウの提供 - 各種委員会参画数・分野別広がり

H17の取り組み 行政機関の委員会委員、アドバイザー等、依頼機関の事業推進、政策立案等の支援を実施した。
自己評価 依頼に十分答えることができ、専門知識やノウハウを提供できた。
H18の予定 引き続き依頼があれば優先的に参画し、専門知識を活かして貢献していく。

企業・NPO等への専門知識・ノウハウの提供 - 企業等からの受託研究、企業等のプロジェクト

H17の取り組み キリンビール㈱等の企業からの受託研究を実施し、また合計23件の指導・助言を行った。
自己評価 昨年度の指導・助言件数5件から大幅に増加した。
H18の予定 引き続き、企業等からの受託研究を2件以上実施する。

シンクタンク事業における外部機関との連携の拡大 - 共催・協力事業等の相手先数、貸出制度有無

H17の取り組み 特にキャラバン事業において、外部機関と連携を心がけて実施した。
自己評価 共催・協力事業等の相手先数は112件で、昨年度の3倍以上となった。
H18の予定 地域研究員養成事業を通じて地域の担い手となる外部機関を養成し、連携していく仕組みを検討する。

ジーンファームの利活用 - 植物・種子・ノウハウ等の提供件数

H17の取り組み 行政機関や企業の依頼に応え、野生植物の育成・増殖に関するノウハウの提供と、オグラコウホネなど貴重植物の受け入れを行った。またジーンバンク活動記録の冊子を改定・発行した。
自己評価 ノウハウの提供件数、貴重植物の受け入れ個体数、ジーンファーム関係の受託研究等が増加傾向にある。
H18の予定 増加すると予想される野生植物の個体および種子受け入れに対応できるように、ジーンファームで管理中の植物個体のデータ整理を進める。

自然・環境シンクタンク機能の充実

総合的なシンクタンク事業 - とともに考えるコミュニティシンクタンク

4

県民・NPO・団体等と共に人と自然の共生に資する活動を推進するために、わからないことは博物館に聞く受皿となる仕組みの構築を検討するとともに、その一環として相談しやすい環境・システムを整備する

指標：わからないことは博物館に聞く受け皿となる仕組みの有無

指標：年間相談件数
博物館への年間の質問件数

担当課室
シンクタンク
事業室

わからないことは博物館に聞く仕組みの有無

他組織などと協力しながら
仕組みを準備中

解説

H17 年度の取り組み

電話や e-mail 等による質問や依頼等に対し、それぞれ専門に近い館員が対応した。

H17 年度の到達状況の自己評価
相談件数の算定方法に課題が残った。

H18 年度の取り組み

件数の算定方法を再検討する。

年間相談件数

達成度

目標 300 件 / 年 に対して 565.7 % (1697 件)

内訳

電話・メールによる相談件数 1014

相談来館者件数 683

この指標を支える項目

相談へのきめ細やかな対応

- 県民等からの電話・メールによる相談件数・行政関連での相談来館者数

H17 の取り組み

電話、e-mail 等による質問や依頼に対し、それぞれ専門の近い館員が対応した。質問および回答の内容はイントラネット上の掲示板により館員間で共有するようにした。

自己評価

昨年同様、1000 件を超える相談に応えることができ、十分に目標を達成した。

H18 の予定

相談内容の分析がまだ実施されていないので、次年度の課題としたい。

研究・資料

世界～地域の研究・資料を全事業にフィードバックし、 効率化・最適化を図る

1

兵庫県の人と自然に関する研究の中核拠点としての水準を保ちつつ、博物館として常に魅力的なテーマの研究を遂行する

指標：学術論文著書数

論文は学会等審査付き、あるいはそれに準じるもの

担当課室
研究開発
会議

学術論文著書数

達成度

目標 40 本/年 に対して

165.0% (66本)

解説

H17 年度の取り組み

研究員 1 年 1 本の学術論文作成を目標に掲げ、月例報告会で学術論文著書の累積実数を示し、各研究員・各研究部の現状把握を図り、目標値の達成を目指した。

H17 年度の到達状況の自己評価

目標値 40 本に対し 66 本の学術論文著書数があり、達成率 165%であった。個人や研究部ごとの実績の評価の体制をつくりあげることが今後の課題である。

H18 年度の取り組みの予定

総合共同研究の仕組みを大幅に改良して、競争的資金の色合いを高め、館全体としての研究レベルの向上を図る。

この指標を支える項目

学術交流の推進による研究活動の活性化 –学術交流事業数

H17 の取り組み 研究開発会議主催の研究会を実施し、異なる研究分野の交流の機会を提供した。
自己評価 ほぼ月に 1 度の割合で研究会を開催し、また部門研究の発表会を実施するなど活発に事業を行った。
H18 の予定 研究会の内容を精査してゆきながら、研究会以外の形での研究活動活性の方法について検討する。

学術交流の推進による研究活動の活性化 –共同研究・プロジェクト数

H17 の取り組み 昨年度と同様に、予算的措置のある共同研究・プロジェクト 10 件を目標値に設定した。
自己評価 文部科学省科学研究費をはじめ多数の共同研究やプロジェクトを獲得することに成功した。
H18 の予定 総合協同研究などを見直し、異なる分野の研究者間の共同研究を促進する仕組みを検討する。

競争的研究資金の獲得 –科学研究費等の研究助成金採択金額

H17 の取り組み 競争的資金獲得のための情報交換会などを開催し、外部資金を積極的に獲得するよう呼びかけた。
自己評価 科研を中心に多数の研究資金を獲得でき、ほぼ目標を達成した(達成率 94.6%)。うち 750 万円が科研によるものである。
H18 の予定 引き続き科研への申請を促進するとともに、他の助成金などへの応募も促してゆく。

国際共同研究の推進 –国際共同研究プロジェクト件数

H17 の取り組み サバ大学及び JICA との共同事業として推進中のサバ・プロジェクトの進行管理を行うとともに、新たに科研による国際協同研究に着手した。
自己評価 目標を達成することができた。
H18 の予定 科研による国際共同研究を適切に進め、その取り組みを積極的に展開していき、世界に情報発信できるような成果を蓄積してゆく。

研究・資料

世界～地域の研究・資料を全事業にフィードバックし、
効率化・最適化を図る

2

兵庫県の人と自然に関する
地域特性の解明、課題の解
決、魅力づくりに貢献する研
究を推進する

指標：県政課題、地域課題に関連した
論文著書・総説その他件数

兵庫県に係るもの、または兵庫県の抱えている課題に係る
もの

指標：一般向け著書・総説その他数

自費出版以外の一般向け著書、雑誌・新聞等への執筆

担当課室
研究開発
会議

県政課題、地域課題に
関連した論文著書・総説
その他件数

達成度

目標 80件/年 に対して
173.8%
(139件)

一般向け著書
総説その他数

達成度

目標 120件/年 に対して
101.7%
(122件)

解説

県政課題、地域課題に関連した論文著書・総説その他件数

H17年度の取り組み

研究開発会議を開催して総合共同研究や部門研究の進行管理を行い、研
究成果の増加を図った。また、県政課題対応を担う部門研究については、
研究成果発表会を実施して、成果の共有と課題の洗い出しを行った。

H17年度の到達状況の自己評価

目標値80件に対して139件の成果があり、達成率173.8%であった。

H18年度の取り組みの予定

県の関連部局などとの情報交換を行い、県政のニーズを把握し、有意義
な研究となるように、その内容についても精査してゆく。

一般向け著書・総説その他数

H17年度の取り組み

月例報告会などを通して、研究者への呼びかけを行い、研究員各自の意
欲を高めることに努めた。

H17年度の到達状況の自己評価

目標値120件に対して122件の成果(達成率101.7%)であった。

H18年度の取り組みの予定

メールマガジンやハーモニーなどの定期刊行物を通して定期的に研究
内容を紹介できる仕組みの整備に継続して取り組む。

この指標を支える項目

県政課題の解決、提言に向けた研究の促進

—県政課題の解決、提言に資する研究テーマ選定の仕組みの整備状況

H17の取り組み 博物館協議会で研究課題とその成果を報告し承認を受けるとともに、あげられた意見を研究課題に反映
することで仕組みの整備に取り組んだ。

自己評価 仕組みの整備そのものが目標となり、引き続き検討をすすめる。

H18の予定 県政学会やホームページで積極的に成果を公開するなど、現在の取り組みを継続する。

時代を先導する研究の促進 —時代を先導する研究テーマ選定の仕組みの整備状況

H17の取り組み 博物館協議会で研究課題とその成果を報告し承認を受けるとともに、あげられた意見を研究課題に反映
することで仕組みの整備に取り組んだ。

自己評価 仕組みの整備そのものが目標となる。

H18の予定 総合共同研究の仕組みを見直して、学際的な共同研究を行い、その中から時代を先導する研究の種を拾
い出してゆく仕組みを整備する。

研究・資料

世界レベルの博物館へ、飛躍の5年間

3

わが国有数の博物館として、広く県民の期待に応えるために、特色ある質の高い資料を収集する

指標：県内外のコレクションの受け入れ

担当課室
研究開発
会議

県内外のコレクションの受け入れ

達成度

目標 20 件/年 に対して

120.0% (24件)

解説

H17 年度の取り組み

研究部長や資料担当を通してコレクション等の資料受入を積極的に進めるよう研究員に呼びかけた。

H17 年度の到達状況の自己評価

平成 18 年度まで 100 件の目標に対し本年度 24 件の受入であり、年間の目標（20 件）を達成した。

H18 年度の取り組みの予定

キャラバン事業や県民研究員事業等を継続し、県民の博物館に対する認知度と信頼を高め、コレクションの寄贈意欲を増加するように取り組んでゆく。

この指標を支える項目

特色ある質の高い資料の収集を担保する

-特色ある質の高い資料収集方針を定める仕組みの整備状況

H17 の取り組み	兵庫県にある自然系博物館という特色を認識して、将来を見据えた資料収集の方針について議論した。
自己評価	資料収集および管理の仕組みについて時代の趨勢をみながら議論を進めている。
H18 の予定	新展開以降の博物館のあり方も見据え、資料収集の方針を固めると同時にその仕組みづくりを進める。

図書文献資料の充実 -図書点数

H17 の取り組み	書庫の整理を引き続き進め、収蔵スペースの確保を図った。
自己評価	引き続き図書点数を増やし、さらに雑誌なども充実させた。
H18 の予定	さらに図書点数を増やすとともに、既存の図書資料の整理もすすめていく。

研究・資料

世界レベルの博物館へ、飛躍の5年間

4

ふるさと兵庫の人と自然に関する資料を積極的に収集し、県民共有の財産を継承する中核拠点としての機能を確固たるものとする

指標：兵庫県版レッドデータブック掲載種及び掲載箇所に関する資料の収集数

担当課室
研究開発
会議

レッドデータにブックに関する資料収集

達成度

目標 H18年までに 80%収集 に対して
40.9% (865件)

解説

H17年度の取り組み

昨年に引き続き、レッドデータブック記載種に対する現状の収集状況を把握し、全分野における収集状況を再検索および整理した。

H17年度の到達状況の自己評価

現時点での収集状況を整理した結果、全体で40.9%の収集率である。

H18年度の取り組みの予定

レッドデータ掲載種の収蔵状況の整理を進め、重点的に収集すべきものを抽出して、引き続き資料収集にとりくむ。また、次年度以降の新たな目標値と収集方針についても検討して、収集率を向上させるべく努力する。

この指標を支える項目

県民の持つ資料・情報の受入の促進 -寄贈資料数

H17の取り組み	昨年と同様に受け入れをすすめた。
自己評価	平成18年度までの目標値である75,000点の受入を達成した。
H18の予定	博物館の進展開以降の新たな博物館像を見据えながら、新しい目標作りのための議論をすすめていく。

県民の持つ資料・情報の受入の促進 -兵庫県産絶滅危惧植物(種子・生株)受入件数

H17の取り組み	レッドデータブックの改訂により、対象となる資料が増加したが、引き続き受け入れを進めた。
自己評価	全体で40.9%の収集率であった。
H18の予定	新たな受け入れ計画の策定に関する議論を進めて、それにもとづいて積極的に受け入れをすすめる。

マーケティングおよびマネジメント

すべての県民に知られ利用される博物館

1

広く県民の博物館事業への理解を醸成するとともに、博物館を活用する気運を拡大する

指標：知名度の向上

担当課室
企画調整室

知名度の向上

ひとはくの知名度

行ったことがある+知っている

49.1%

解説

H17年度の取り組み

兵庫県県民政策部知事室広聴係の実施する県民モニター制度を利用して、博物館の知名度を探るアンケート調査を行った。人と自然の博物館を「知っている」、「来たことがある」を合計すると49.1%という結果が得られた。

H17年度の到達状況の自己評価

積年の課題であった知名度の測定を実施した他、折々の博物館事業を博物館HP、記者発表、ミニコミ誌への掲載依頼を行った。特に博物館HPのWhat's new欄に、イベントやキャラバンなどの新規情報をタイムリーに掲載し、トップページの写真の随時更新を行い、新鮮味を出すよう心がけた。

H18年度の取り組みの予定

“県民の半数が知っている”という目標値に近い値が得られたが、言い換えればまだ県民の半分は博物館の存在を知らないということである。引き続きインターネットなど種々の広報媒体を活用して更なる知名度の向上に努める。

この指標を支える項目

メディアを通じた情報提供 -新聞等掲載数

H17の取り組み

定例の記者懇談会開催、ミニコミ誌への情報提供などを積極的に行った。

自己評価

昨年度と比較して掲載数は伸び悩んだ。化石発見などの大きなトピックスや新規事業、イベント等は掲載されやすいが、定期的な実施するイベント等は掲載されにくい傾向にある。

H18の予定

引き続き新聞紙、ミニコミ誌への情報提供を行うと同時に、効果的な情報提供の仕方を検討する。

ホームページを通じた情報提供 -ホームページアクセス数、メルマガ読者数

H17の取り組み

HPの新鮮さを保つ為、トップページ写真の随時更新、キャラバンやイベント情報の適宜アップに努めた。

自己評価

全体のアクセス数は伸び悩んだが、インターネットからのセミナー受講申込みは増加している。

H18の予定

日々の博物館活動を伝えるブログの導入を検討する。

セミナー倶楽部による直接情報提供 -セミナー倶楽部会員数

H17の取り組み

入会案内を徹底し、季刊セミナーガイドの送付や「館長と語るタベ」の会員限定実施などサービス向上に努めた。

自己評価

各種サービスにて好評を得、顧客満足度の向上に寄与した。会員数も引き続き増加している。

H18の予定

更なるニーズの把握と、サービスの充実を続ける。

ホスピタリティの向上 -苦情処理数・館員の対応の適正度

H17の取り組み

館に寄せられた苦情に関しては、協議の上、適切に対応を行った。

自己評価

個々の苦情に対して、適切に対応した。

H18の予定

前年同様、寄せられた苦情について適切に対処すると共に、館員の対応について更なる意識向上を図る。

マーケティングおよびマネジメント

柔軟で活力を生み出す開かれた博物館運営

2

参画と協働の理念にもとづき、開かれた博物館運営と積極的な情報公開によって博物館運営を透明化すると同時に、よりいっそうの効率化を図り、博物館活動を活性化する

指標：中期目標の達成

中期目標の各項目について目標値を達成したものの割合

担当課室
企画調整室

中期目標の達成

達成度

目標 H18年までに 80% 達成に対して
80.0% (8件)

解説

H17年度の取り組み
積年の課題であった「知名度の向上」の測定について、数値を取ることができた。

H17年度の到達状況の自己評価
中期計画4年目に入り、容易に達成可能な指標と容易に達成できない指標が明確になっている。

H18年度の取り組みの予定
時期中期計画の策定に向け、基本構想策定委員会での議論を踏まえて中期目標の見直しを図る。

この指標を支える項目

博物館運営への外部評価の実施と結果の公開 –適切な評価システムの整備状況

H17の取り組み	12月に博物館協議会を実施し、主要事業の報告および将来構想策定委員会の進捗状況について説明し、意見を頂いた。
自己評価	外部評価は実施したが、結果を広くHP等で公開するまでには至らなかった。
H18の予定	次期中期計画の策定に連動して、事業ごとの目標設定と自己評価の枠組みを作る。

外部資金の導入 –調査研究受託金額

H17の取り組み	研究受託は7件で、総受託金額はおよそ1270万円であった。
自己評価	受託金額について、昨年度の917万円を上回ることができた。
H18の予定	より多くの調査研究受託が得られるよう努力していく。

外部資金の導入 –各種事業における外部機関の負担金額

H17の取り組み	フェスティバルやボルネオジャングルスクール等に外部資金を導入した。また、文部科学省、JST、子供財団などから委託事業を受けた。
自己評価	外部資金の導入により、事業の質を落とすことなく多くの事業を実施することができた。
H18の予定	展示やイベント、キャラバン事業など多様な事業について、外部資金を積極的に導入していくことが求められる。

季節開館、夜間開館等開館時間の融通性の拡大 –融通性をもった開館形態の実施状況

H17の取り組み	夏休み無休開館、夜間開館、正月開館(1/3-1/4)を実施した。
自己評価	夏休み無休開館と夜間開館は一定の成果が得られた。正月開館は検討の余地がある。
H18の予定	引き続き夏休み無休開館、夜間開館、正月開館を実施し、その結果を次期中期計画策定に反映していく。

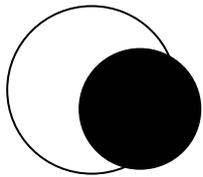
職員等の士気の向上 –業務改善提案・改善数やサバティカル等研究活動を活性化する仕組み等の整備状況

H17の取り組み	事業推進会議を月2回開催する等、部署間のコミュニケーションの促進を図った。
自己評価	会議の場は部署間のコミュニケーションを深める一定の役割を果たした。
H18の予定	館としての使命の共有、課室・担当レベルでのマネージャーとしての意識の高揚を図る。

適切な危機管理の実施 –危機管理上重要な情報の処理の適正度

H17の取り組み	企画調整室が中心となって危機管理にあたった。
自己評価	危機管理マニュアルの策定までは至らなかった。
H18の予定	想定される危機に備えて危機管理マニュアルの作成に着手する。

資料および個人別成果



博物館概要等に関連する資料

主な収蔵資料

1) 主な購入資料

[化石]

オフサルモサウルス
 ドイツ・メッスル産化石一式
 ポプロフォネウス
 アマリカマストドン全身骨格
 ヒブセロサウルス卵化石
 ユーステノプテロン
 ケニア産人類・哺乳類化石レプリカ一式

[地質・岩石・鉱物]

兵庫県産鉱物
 石鉄隕石
 隕鉄

[動物]

オオヒクイドリ剥製
 鳥類剥製
 甲殻類剥製
 軟体動物含浸標本
 貝類含浸標本
 鳥類生態写真
 魚類生態写真

[昆虫]

タマバエ科他標本 (ママエフコレクション 8,500 点)
 ノミ・チョウ類標本 (阪口コレクション 50,000 点)
 チョウ類標本 (宮脇コレクション 6,060 点)
 (台湾・中国産 1,300 点)
 チョウ類他標本 (小林コレクション 11,000 点)
 チョウ・甲虫類標本 (江田コレクション 272,600 点)
 シロチョウ科標本 (熊谷コレクション 2,581 点)
 フタオチョウ類標本 (佐藤コレクション 1,766 点)
 甲虫類標本 (泉コレクション 2,400 点)
 (高橋コレクション 7,248 点)
 ハナムグリ類標本 (億田コレクション 3,000 点)

[植物]

兵庫県産木材樹幹
 外国産木材樹幹

屋久杉輪切り(年輪)標本
 種子標本(種子コレクション)
 特殊材

[映像資料]

兵庫の自然シリーズビデオ本
 生物系ビデオ本
 地球大紀行再編集ビデオ本

2) 主な寄贈資料

[化石]

神戸層群産植物化石 4,627 点(堀治三郎氏)
 神戸層群産植物化石 2,656 点(高岡得太郎氏)
 日本産中生代貝類化石 890 点(市川浩一郎氏)
 高知県唐ノ浜層群産鮮新世化石 251 点(仙頭鷹雄氏)
 備北・勝田層群産中新世化石 187 点(岸本真五氏)
 岩手県一関地域産中新世貝類化石 80 点(林広樹氏)
 長野県富草層群産中新世貝類化石 49 点(小関正嗣氏)

[地質・岩石・鉱物]

生野鉱山鉱石 7 点(シルバー生野)

[動物]

貝類標本 10,000 点(菊池典男氏)
 鳥類標本 87 点(中田富士雄氏)
 鳥類標本 620 点(西堀静江氏)
 鳥類標本 130 点(柴田嘉三氏)
 鳥類標本 15,000 点(小林登美子氏)

[昆虫]

ハエ類等標本 10,300 点(田中梓氏)
 チョウ類等標本 14,000 点(柴田篤弘氏)
 チョウ類等標本 5,700 点(山本廣一氏)
 カリバチ類タイプ標本 367 点(常木三澄子氏)
 ハバチ類標本 14,000 点(猪股光子氏)
 ゴミムシ類標本 5,700 点(大倉孝子氏)

[植物]

蘚苔・地衣類標本 25,000 点(中西田鶴子氏)
 シダ類標本 4,000 点(稲田政子氏)
 高等植物標本 20,000 点(細見末雄氏)

【平成17年度購入・寄贈資料】

植物 東大ベトナム隊コレクション(ベトナム産シダ・維管束植物)444・矢内コレクション2005 358・小林禎樹コレクション2005 118・藤本コレクション2005 7331・ウエマツソウ(太宰コレクション)1・足立清氏寄贈植物標本226・昆虫 佐藤コレクション(フタオチョウ類)308・和田コレクション(タテハチョウ科 *Vindula* 属のチョウ類一式)183・コリクピポソハムシ・パラタイプ標本(鈴木コレクション)4・ゾウムシ上科標本(畑中コレクション)855・動物 土井コレクション9・ツキノワグマ本剥製と骨格標本4・阿部コレクション71 岩石 瀬戸内地域花崗岩石材等24 化石 神戸層群産昆虫化石1・南畑産化石5・神戸層群産珪化木(竹内コレクション)9・ナウマンゾウ大腿骨破片1・岩手県和賀郡沢内村産植物化石1・石川県金沢市大桑産貝化石2・阿部コレクション71・珪化木化石、ウマの歯化石(竹内コレクション)36・南部北上山地産古生代化石(増田コレクション)12・南部北上山地産古生代化石(吉田コレクション)29・神戸層群産植物化石(真宮コレクション)1

(数字は点数を示す)

情報システム

当館は、従来の自然史博物館の機能に加えていくつかの新しい考え方を持っている。その中で重要な考え方の一つは、利用者に対する自然科学に関する情報発信基地としての機能である。

この機能を実現するためには、博物館自身が自然環境情報を収集・管理し、そうした情報を効果的に活用して館内外へ情報の提供を行える体制づくりが必要である。そのため、博物館情報システムを利用して、博物館の利用者に対して博物館の持つ情報と機能の提供を行う。

なお、博物館の情報システムは以下の7つのサブシステムで構成されている。

1) システム構成



収藏品管理システム ~ひととはくデータベース~

100万点を超える収藏品を管理するシステムで、収藏品データベース、マルチメディアデータベース、資料データベースの3つのデータベースから成り立ち、これらをあわせて、「ひととはくデータベース」と呼んでいる。

博物館の収藏品（標本の管理単位）の属性データ及び静止画像・音・動画等のデータや収藏品以外の各種画像や資料データをデータベース上で管理するシステムである。データベースへの登録や検索は、館員の端末から Web ブラウザを利用して行う。



展示情報システム

博物館で保有する豊富な情報を一般来館者が興味を抱くような形で提供することを目的とするシステムである。

ひととはくデータベースと連携し、文字情報だけでなく、静止画像、音、動画など、データベースに蓄えられているさまざまな情報を有機的に組み合わせるマルチメディアリンク機能を有し、館内各所に設置した情報端末に表示するものである。

なお、情報端末に掲出する情報は職員や研究員の各端末から Web ブラウザで操作でき、展示情報の更新のスピードアップを実現している。



普及広報システム

平成8年6月25日に館内に独自サーバを設置し、インターネット発信を開始した。現在の発信内容は、博物館の紹介・交通案内・展示解説・イベント情報などの基本情報の提供に加え、仮想的に館内を自由に観覧体験できるバーチャルミュージアムも楽しむことができる。

遠隔授業は、インターネット回線や電話回線を利用した会議機能を活用して、主体的な学びや自然体験の創出、専門家との交流を目的に平成12年度から実施している。



地理情報システム (GIS)

収藏品、画像等のデータを地図上に投影することで、自然の理解、自然環境調査や研究成果の発信及び環境教育を促進するための優れたツールである。

博物館の展示システム、資料データベース、ホームページと連携して利用でき、各種自然環境情報が閲覧可能なマップサーバとして機能している。



研究支援システム

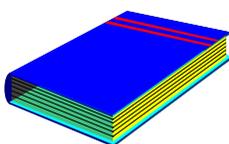
館内 LAN を利用して、各種データの解析、映像編集、作図等が行えるようになっている。顕微鏡の精細な映像や化石のクリーニング映像などをモニター等により来館者に提供する等、研究内容の効果的な発表や来館者の理解度の向上に役立っている。



運営支援システム

各種イベント、セミナー受講受付、団体受付に関し、館員の端末から Web ブラウザを利用して、情報を一元的に把握できる館内情報表示システムを構築している。

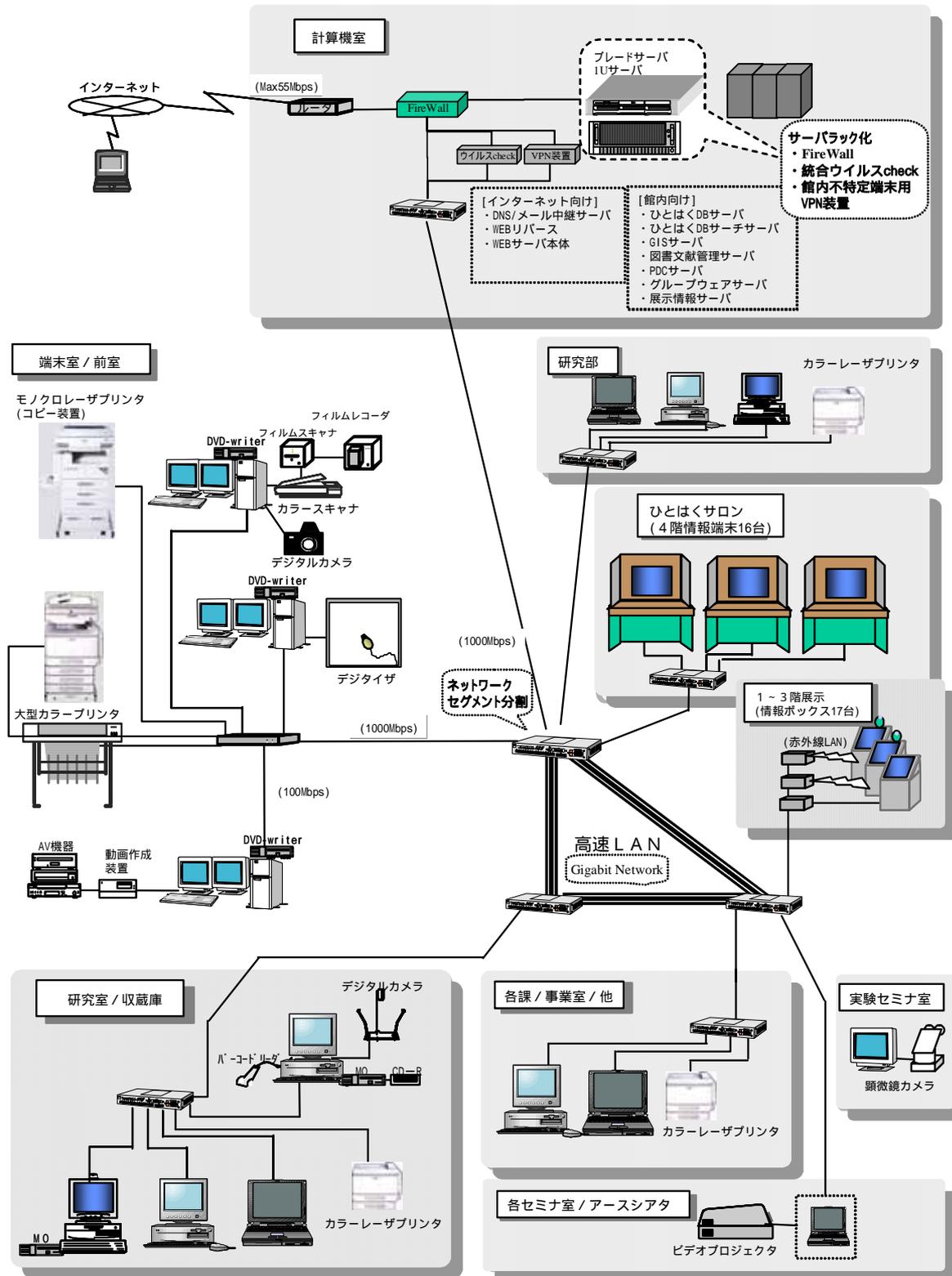
このシステムにより、情報の共有化・統一化が可能となり、確認作業等が短時間で確実に行われ、来館者へのサービスが向上するとともに、事務の効率化、省力化が図られている。



図書文献管理システム

博物館の図書室、レファレンス図書、研究室等で所蔵する10万点を超える図書・文献等を管理するシステム。館内の端末から利用できるほか、レファレンス図書については、インターネットからも利用できる。

1) システム構成



* サーバ11台、クライアントパソコン88台、プリンタ等13台

○条例等

兵庫県立人と自然の博物館設置 及び管理に関する条例

(平成4年3月27日)
条例第25号

〔沿革〕平成7年7月18日条例第24号改正。15年3月17日条例第7号改正。16年3月26日第7号改正

(設置)

第1条 自然の摂理、生命の尊厳及び人と自然との調和した環境の創造に関する県民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、兵庫県立人と自然の博物館（以下博物館という。）を置く。

(位置)

第2条 博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目とする。

(業務)

第3条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。
 (1) 自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料（以下博物館資料という。）を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。
 (2) 博物館資料に関する講演会、講習会、映画会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
 (3) 博物館資料に関する研究等のために博物館の施設を利用させること。
 (4) 博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を行うこと。
 (5) 自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
 (6) 貴重な野生植物の種の保存を行うこと。
 (7) 自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。
 (8) 他の博物館、大学、研究機関等との相互協力を行うこと。
 (9) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な業務

2 教育委員会は、博物館の施設を、その目的を達成するために支障のない限り、その目的以外の目的のために利用させることができる。

(職員)

第4条 博物館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(観覧料)

第5条 博物館に展示している博物館資料を観覧しようとする者は、別表1に定める額の観覧料を納めなければならない。

(特別観覧料)

第6条 博物館に展示し、又は保管している博物館資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等しようとする者は、教育委員会の許可を受け、1点1回につき、3,000円の範囲内で教育委員会規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(入館の拒否)

第7条 教育委員会は、博物館に入館しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒否することができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、若しくは迷惑となる行為をするおそれがある者又はそのおそれのある物品、動物その他これらに類するものを携帯する者
- (2) 施設、設備又は展示品を損傷するおそれがあると認められる者

(遵守事項等)

第8条 博物館に入館した者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 展示品（教育委員会規則で定める物を除く。以下同じ。）に触れないこと。
 - (2) 展示品の近くでインキ等を使用しないこと。
 - (3) 許可を受けずに展示品の模写、模造、撮影等を行わないこと。
 - (4) 所定の場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
 - (5) 他人に害を及ぼし、又は迷惑となる行為をしないこと。
- 2 教育委員会は、博物館に入館した者が、前項の規定に違反したとき、又は博物館の管理上必要な指示に従わないときは、その者に対して、退館を命ずることができる。

(施設の利用)

第9条 別表第2に掲げる博物館の施設を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受け、同表に定める使用料を納めなければならない。

2 教育委員会は、前項の利用の許可を受けた者が博物館の管理上支障がある行為をするおそれがあると認めるとき、又は当該施設を他人に転貸したと認めるときは、同項の利用の許可を取り消し、又は当該施設の利用を制限し、若しくは停止することができる。

(原状回復の業務等)

第10条 博物館を利用する者は、その責めに帰すべき理由によりその施設、設備、博物館資料又は植栽物を滅失し、又は損傷したときは、これを原状に回復し、又はこれに要する費用を負担しなければならない。

(観覧料等の免除)

第11条 教育委員会は、特別な理由があると認めるときは、第5条の観覧料、第6条の特別観覧料及び第9条第1項の使用料の全部又は一部を免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第12条 既に納めた観覧料、特別観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

(博物館協議会)

第13条 博物館に、博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第1項の規定により、兵庫県立人と自然の博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員15人以内で組織する。

3 委員の任期は、2年とし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、委員は、再任されることができる。

(補則)

第14条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理並びに協議会の組織及び運営に関して必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附則

(施行期日)

1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。
 ただし第3条第1項第7号、第5条、第6条、第11条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）及び第12条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）の規定は、平成4年10月10日から施行する。

(委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

2 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和35年兵庫県条例第24号）の一部を次のように改正する。

第1条に次の1号を加える。

⑦ 人と自然の博物館協議会

別表第1に次のように加える。

人と自然の博物館協議会	会長	日額	13,500円
	副会長	日額	11,500円
	委員	日額	11,000円

別表第2に次のように加える。

人と自然の博物館協議会の委員	職員旅費条例中8級の職務にある者相当額
----------------	---------------------

附則（平成7年7月18日条例第24号）

(施行期日)

1 この条例は、平成7年8月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日前に第2条から第5条まで、第11条及び第12条の規定による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第2条から第5条まで、第11条及び第12条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3 この条例の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

附則（平成15年3月17日条例第7号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成15年4月1日から施行する。（後略）

附則（平成16年3月26日条例第7号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成16年4月1日から施行する。（後略）

別表第1（第5条関係）

区分	観覧料(1人につき)		備 考
	個人	団体	
大人	200円	150円	1 「学生」とは、大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。 2 「小人」とは、中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童をいう。 3 「団体」とは、20人以上の場合をいう。 4 県内に住所を有し、又は県内の学校に在学する小人が利用する場合は、無料とする。
学生	150円	100円	
小人	100円	70円	

別表第2（第9条関係）

区 分	使 用 料			備 考
	9時から12時まで	13時から17時まで	9時から17時まで	
ホール	5,500円	7,000円	12,500円	1 平日に利用する場合は、左欄に掲げるそれぞれの額の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。 2 「平日」とは、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日以外の日をいう。
附属設備	別に教育委員会規則で定める額			

兵庫県立人と自然の博物館 管理規則

(平成4年3月27日)
教育委員会規則第8号

〔沿革〕平成4年10月26日教育委員会規則第19号改正。15年3月25日第7号改正

(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例（平成4年兵庫県条例第25号。以下「条例」という。）第14条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館（以下「博物館」という。）の管理に関して必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 博物館の開館時間は、9時から17時までとする。
2 博物館の観覧時間は、10時から17時までとする。ただし、16時30分以降は、入館させないものとする。
3 前2項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、開館時間又は観覧時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次の各号に掲げる日とする。
(1) 月曜日。ただし、月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その翌日（当該翌日が同法に規定する祝日に当たるときは、その翌々日）とする。
(2) 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同12月31日までの日
2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は、同項の休館日において臨時に開館することができる。

(観覧料の納付)

第4条 条例第5条の規定により博物館に展示されている博物館資料を観覧しようとする者は、観覧料を納めて観覧券の交付を受けなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認める場合には、あらかじめ観覧券の交付を受け、観覧を終了した後納付することができる。
2 観覧券の発売時間は、10時から16時30分までとする。ただし、観覧時間を変更した場合には、観覧時間の開始時刻から終了時刻の30分前までとする。

(特別観覧の許可等)

第5条 条例第6条の規定により特別観覧をしようとする者は、特別観覧許可申請書（様式第1号）を教育委員会に提出しなければならない。
2 教育委員会は、前項の特別観覧許可申請書の提出があった場合において、特別観覧の許可を決定したときは、特別観覧許可書を申請者に交付するものとする。
3 条例第6条に規定する教育委員会規則で定める特別観覧料の額は、別表第1のとおりとする。

(展示品の利用)

第6条 条例第8条第1項第1号に規定する教育委員会規則で定める物は、レファレンスルームに展示する博物館資料とする。

(施設の利用の許可)

第7条 条例第9条第1項の規定により博物館の施設を利用しようとする者は、当該施設を利用しようとする日の5日前までに、兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書（様式第2号）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の利用許可申請書の提出があった場合において、利用の許可を決定したときは、兵庫県立人と自然の博物館利用許可書を申請者に交付するものとする。

(平日に利用する場合のホールの使用料の額)

第8条 条例別表第2の規定による別に教育委員会規則で定めるホールの使用料の額は、別表第2に定めるとおりとする。

(附属設備の使用料の額)

第8条の2 条例別表第2の規定による別に教育委員会規則で定める附属設備の使用料の額は、別表第3に定めるとおりとする。

(特別観覧料及び使用料の納付)

第9条 特別観覧許可書及び兵庫県立人と自然の博物館利用許可書の交付を受けた者は、直ちに、特別観覧料及び使用料を納付しなければならない。

(観覧料の免除)

第10条 条例第11条の規定により教育委員会が観覧料、特別観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）の全部又は一部を免除することができる場合及びその場合における免除の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 県内に住む65歳以上の者が、その身分を証する申告を提示して観覧するとき。観覧料の2分の1に相当する額
- (2) 教育委員会が特別の理由があると認めるとき。観覧料等に相当する額のうち教育委員会が必要と認める額

(観覧料等の還付)

第11条 条例第12条ただし書の規定により教育委員会が観覧料等の全部又は一部を返還することができる場合及びその場合における返還する額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 観覧料等を納めた者が、その責めに帰することができない理由により観覧、特別観覧又は施設の利用ができなくなったとき。観覧料等に相当する額
- (2) 使用料を納めた者が、次に掲げる期日までに施設の利用の取消しを申し出た場合において、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるとき。

ア 利用の日の7日前までのとき。当該使用料の全額

イ 利用の日の3日前までのとき（アに該当する場合を除く。）。

当該使用料の2分の1に相当する額

2 条例第12条ただし書の規定により観覧料等の返還を受けようとする者は、兵庫県立人と自然の博物館観覧料等還付請求書（様式第3号）を教育委員会に提出しなければならない。

(寄託又は寄贈)

第12条 博物館に博物館資料の寄託又は寄贈をしようとする者は、教育委員会に申し出て、その承認を受けなければならない。

(権限の委任)

第13条 教育委員会は、条例及びこの規則の規定により教育委員会の権限に属する事務を教育長に委任する。

2 教育長は、前項の事務の一部を館長に委任することができる。

(補則)

第14条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理に関して必要な事項は、教育長が定める。

附 則

(施行期日)

この規則は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第2条第2項及び第3項(観覧時間に係る部分に限る。)、第4条から第6条まで、第9条(特別観覧許可書及び特別観覧料に係る部分に限る。)、第10条(観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。並びに第11条(観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。))の規定は、平成4年10月10日から施行する。

附 則(平成4年10月26日教育委員会規則第19号)

この規則は、平成4年11月1日から施行する。

附 則(平成15年3月25日教育委員会規則第7号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成16年3月26日教育委員会規則第14号)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

別表第1(第5条関係)

区 分	特別観覧料(1点1回につき)		
熱 覧	150円		
複写・模造	2,000円		
撮 影		学術研究を 目的とする 場合	学術研究以 外を目的と する場合
	単 色	150円	1,000円
	原 色	300円	2,000円

- 備考 1 博物館資料で、一式、一組等で一資料とするものは、それらを1点とする。
2 普通個別の博物館資料は、各個を1点とする。
3 撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

別表第2(第8条関係)

1 ホールを平日に利用する場合の使用料

利用時間	9時から12時まで	13時から17時まで	9時から17時まで
金額	4,400円	5,600円	10,000円

2 附属設備の使用料

附 属 設 備	金 額
持込み電気器具用コンセント	1キロワットにつき 250円
持込み電気器具用コンセント (録音器具を持込む場合)	持込み器具1式につき 2,000円
持込み電気器具用コンセント (録画器具を持込む場合)	持込み器具1式につき 3,000円
持込み電気器具用コンセント (ミキシングセットを持込む場合)	持込み器具1式につき 5,000円

備考 持込み電気器具用コンセントを利用する場合の1キロワットとは、持込み電気器具の定格消費電力量の1キロワットをいい、当該定格消費電力量の合計量に1キロワットに満たない端数があるときは、これを1キロワットとする。

様式第1号(第5条関係)

特別観覧許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会 様

住所(法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名(法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話 ー ー 番

次のとおり申請します。

品 目	点数	所 有 者	備 考
観覧希望日時	年 月 日 時から 時まで		
研究の方法	熱 覧 模 写 模 造 撮 影		
研究の目的			

様式第2号(第7条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会 様

住所(法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名(法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話 ー ー 番

次のとおり申請します。

利用目的	
利用室名	
附属設備の名称	
期 間	年 月 日 時から (日 時間) 時まで
利用者数	
※ 使 用 料	円
※ 備 考	

(注) ※印の欄は、申請者において記入しないでください。

様式第3号(第11条関係)

兵庫県立人と自然の博物館観覧料等選付請求書

年 月 日

兵庫県教育委員会 様

住所(法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名(法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話 ー ー 番

許可の年月日及び番号	年 月 日 第 号
返還請求の内容	
利用等の日時	年 月 日 時から (日 時間) 時まで
戻 納 付 額	円
返還を受けようとする理由	
※ 選 付 率	パーセント
※ 戻 付 額	円

- (注) 1 ※印の欄は、申請者において記入しないでください。
2 領収書等納付したことを証する書類を添付してください。

兵庫県立人と自然の博物館協議会 の組織及び運営に関する規則

(平成4年3月27日)
教育委員会規則第9号

(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例(平成4年兵庫県条例第25号)第14条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館協議会(以下「協議会」という。)の組織及び運営に関して必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に会長及び副会長を置く。

- 1 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。
- 2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会は、会長が招集する。

- 2 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(補則)

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が兵庫県立人と自然の博物館長と協議して定める。

附 則

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

兵庫県立人と自然の博物館 の管理に関する規程

(平成4年3月31日)
教育長訓令第2号

(趣旨)

第1条 この訓令は、兵庫県立人と自然の博物館管理規則(平成4年兵庫県教育委員会規則第3号。以下「規則」という。)第14条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館の管理に関して必要な事項を定めるものとする。

(権限の委任)

第2条 教育長は、規則第13条第1項の規定により委任された事務のうち、規則第10条第2号に規定する事務以外の事務を館長に委任する。

附 則

この訓令は、平成4年4月1日から施行する。

兵庫県教育委員会 行政組織規則(抜粋)

[沿革] 昭和59年2月28日教育委員会規則第5号、4月1日第6号、61年4月1日第10号、9月9日第4号、62年4月1日第6号、63年4月1日第5号、5月6日第11号、平成元年4月1日第4号、4年3月31日第11号、6年3月31日第3号、7年5月22日第10号、8年8月5日第9号、9年3月31日第6号、11年3月25日第4号、12年3月29日第8号、13年3月30日第3号、14年3月29日第11号、15年3月25日第4号、16年3月25日第5号改正

第1章 総則

(目的)

第1条 この規則は、兵庫県教育委員会(以下「教育委員会」という。)の権限に属する事務を処理するための組織について必要な事項を定め、もって教育行政事務の適性かつ能率的な遂行を図ることを目的とする。

(機関の分類)

第2条 前条の組織を構成する機関を分けて、本庁、地方機関、県立学校、教育機関及び附属機関とする。

(機関の定義)

第3条

4 教育機関とは、法第30条の規定により、法律又は条例の定めるところにより設置されたもので、県立学校以外のものをいう。

5 附属機関とは、地方自治体(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定により教育委員会の附属機関として設けられた審議会、委員等をいう。

(行政機能の発揮)

第4条 各機関は、相互の連絡を密にし、すべて一体となって教育行政機能の発揮に努めなければならない。

(規定の範囲)

第5条 各機関の設置、内部組織、事務分掌及び職制は、法令又は条例に定めがあるものを除き、この規則で定めるものとする。

2 法令又は条例の規定により設置された機関の名称、位置、所管区域及び職制についても必要な事項については、この規則に掲げるものとする。

する。

(組織の特例)

第6条 教育長は、臨時又は特別の事務で、この規則で定める組織により処理することが不適当なものについては、本部、室、委員会等を設置し、又は職員を指定し、若しくは所要の地に駐在させて、処理させることができる。

第5章 教育機関

第10節 県立人と自然の博物館

(位置)

第70条の2 兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例(平成4年兵庫県条例第25号)第1条の規定により設置された県立人と自然の博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目である。

(業務)

第70条の3 県立人と自然の博物館においては、次に掲げる業務をつかさどる。

- (1) 自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。
- (2) 博物館資料に関する講演会、講習会、映画会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (3) 博物館資料に関する研究等のために県立人と自然の博物館の施設を利用させること。
- (4) 博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- (5) 自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 貴重な野生植物の種の保存を行うこと。
- (7) 自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。
- (8) 他の博物館、大学、研究機関等との相互協力を行うこと。
- (9) 前各号に掲げるもののほか、県立人と自然の博物館の目的を達成するために必要な業務

(組織)

第70条の4 県立人と自然の博物館に、次の1部、3課及び3研究部を置く。

事業推進部
総務課

情報管理課
生涯学習課
自然・環境評価研究部
自然・環境マネジメント研究部
自然・環境再生研究部
(事業推進部の事務)

第70条の5 事業推進部においては、第70条の8に定める事務のほか、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 博物館資料の展示及び普及教育に関すること。
- (2) 大学、他の研究機関との相互協力に関すること。
- (3) 自然、生命及び環境に関する学術研究集会、研究会等の開催、国内外の大学等との共同研究及び研究成果の公表等に関すること。
- (4) 自然、生命及び環境に関する調査研究成果の提言に関すること。
- (5) その他県立人と自然の博物館の目的を達成するための調査研究に関すること。

(総務課の業務)

第70条の6 総務課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 公印の管守に関すること。
- (2) 文書の收受、発送、保存等に関すること。
- (3) 職員の進退及び服務に関すること。
- (4) 給料その他の諸給与に関すること。
- (5) 児童手当に関すること。
- (6) 会計経理に関すること。
- (7) 県立人と自然の博物館の管理に関すること。
- (8) 人と自然の博物館協議会に関すること。
- (9) 県立人と自然の博物館の業務の企画及び総合調整に関すること。
- (10) 前各号に掲げるもののほか、他課及び研究部の所掌に属しないこと。

(情報管理課の事務)

第70条の7 情報管理課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 県立人と自然の博物館における情報管理システムの整備に関すること。
- (2) 自然、生命及び環境に関する情報の管理に関すること。
- (3) 文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料の整理及び保管に関すること。
- (5) 情報機器の管理に関すること。
- (6) 情報機器の利用に関する指導及び助言に関すること。

(生涯学習課の事務)

第70条の8 生涯学習課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の主催及びその開催の援助に関すること。
- (2) 県立人と自然の博物館の広報に関すること。
- (3) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (4) 自然、生命及び環境に関する研究団体等に関すること。
- (5) 県立人と自然の博物館の利用許可に関すること。
- (6) 県立人と自然の博物館の利用に係る生涯学習活動及び学校教育活動の支援に関すること。

(自然・環境評価研究部の事務)

第70条の9 自然・環境評価研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 地質学、地質学、岩石学、古生物学、形態学、種生物学、進化生物学、生物地理学、系統分類学、指導生物学等自然・環境評価研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く。)
- (2) 自然・環境評価研究の分野の調査研究に関すること。

(自然・環境マネジメント研究部の事務)

第70条の10 自然・環境マネジメント研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 群集生態学、個体群生態学、行動学、動物社会学、生態系生態学、都市工学、建築学、造園学、環境工学、住居学等自然・環境マネジメント研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く。)
- (2) 自然・環境マネジメント研究の分野の調査研究に関すること。

(自然・環境再生研究部の事務)

第70条の11 自然・環境再生研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 植物社会学、応用生態学、資源植物学、環境教育学、保全植物学等自然・環境再生研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に関するものを除く。)
- (2) 自然・環境再生研究の分野の調査研究に関すること。

- (3) 貴重な野生植物の種及び群落の保全に関すること。

第6章 附属機関

(附属機関)

第71条 法令並びに附属機関設置条例(昭和36年兵庫県条例第20号)第2条及び附則第4項の規定により設置された附属機関の名称、担当事務及び庶務をつかさどる課及び室は、次のとおりである。

名称	担 任 事 務	担当課
人と自然の博物館協議会	博物館法第20条第1項の規定による博物館の運営に関する諮問及び博物館の事業計画等についての館長に対する意見に関する事務	社会教育課

(組織)

第72条 前条の附属機関の組織に関しては、法令又は条例に定めるもののほか、別に教育委員会規則で定めるところによる。

第7章 職制

第3節 教育機関の職制

(教育機関の長)

第79条

3 県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、館長を置く。

5 所長、校長、館長及び園長は、上司の命を受け、教育機関の事務(県立嬉野台生涯教育センターの所長にあっては、県立婦人研修館の事務を含む。)を統括し、所属の職員を指揮監督する。

6 県立障害児教育センター、県立但馬やまびこの郷及び県立嬉野台生涯教育センターの所長並びに第2項から第4項までに規定する職は、非常勤とすることができる。

(副所長等)

第79条の2 県立嬉野台生涯教育センターに、館長を置き、県立美術館及び県立人と自然の博物館に、副館長を置くことができる。

2 館長は、所長の命を受け、県立婦人研修館の事務を掌理する。

3 副館長は、館長の命を受け、次長等を指揮監督するとともに、館長の職務を補佐する。

(副所長等)

第79条の3

4 県立図書館、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、次長を置く。

6 副所長、副校長、次長及び副園長は、所長、校長、館長又は園長の職務を補佐し、教育機関の所掌する事務を整理し、所属の職員の担任する事務を監督する。

(部長等)

第79条の4 前3条に定めるもののほか、次の表の左欄に掲げる職を、それぞれ同表の中欄に掲げる教育機関の組織に置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

(所長補佐等)

職 名	組 織	職 務
部 長	県立教育研修所、県立人と自然の博物館及びコウノトリの郷公園	上司の命を受け、部の事務を処理する。
課 長	課	上司の命を受け、課の事務を処理する。
学芸員	県立美術館、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
研究員	県立人と自然の博物館、コウノトリの郷公園	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

第80条

2 前4条及び前項に定めるもののほか、県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、館長補佐を置くことができる。

4 所長補佐及び館長補佐は、所長、校長、館長又は園長及び副所長、副校長、次長又は副園長の職務を補佐する。

(主任指導主事等)

第80条の2 前5条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとお

りとする。

職名	職務
主任指導主事	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
主任社会教育主事	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
指導主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
社会教育主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
課長補佐	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
主任	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
付	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

(主任研究員)

第80条の4 前7条に定めるもののほか、必要に応じ、県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職名	職務
主任研究員	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

(その他の職)

第80条の6 前9条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、別表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

(補職)

第80条の7 第79条から第80条の5までに規定する職は、事務職員等のうちから、前条に規定する職は、事務員又は技術員のうちから、教育委員会が命ずる。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項に規定するもののほか、補職についての特例を定めることがある。

(職務代理)

第81条 所長、校長、館長(県立嬉野台生涯教育センターの館長を除く。以下この条において同じ。)若しくは園長に事故があるとき、又は所長、校長若しくは館長が欠けたときは、副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長を置く場合にあっては副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長(副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長があわせて2人以上置かれている教育機関にあっては、所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長)が、その他の教育機関にあっては所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した職員が、その職務を代理する。

附則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

別表(第74条の3、第77条の3、第80条の6関係)

職名	職務
自動車運転員	上司の命を受け、乗用、作業用諸自動車の運転業務に従事する。
操機員	上司の命を受け、起重機、揚水装置等の操作及び保守業務に従事する。
機関員	上司の命を受け、ボイラー操作業務に従事する。
電話交換員	上司の命を受け、構内電話交換設備の操作業務に従事する。
主任保安員又は保安員	上司の命を受け、庁舎、施設等の警備及び保全業務に従事する。
川務員	上司の命を受け、庁舎等の清掃、使送等の雑作業に従事する。
文書事務員	上司の命を受け、文書の使送、整理等の業務に従事する。

兵庫県立人と自然の博物館 美術品等取得基金条例

(昭和46年3月25日)
条例第16号

(沿革) 平成11年10月8日条例第43号、14年3月27日第32号改正、15年3月17日第37号改正

(設置)

第1条 兵庫県立美術館の美術品並びに兵庫県立歴史博物館及び兵庫県立人と自然の博物館の博物館資料(以下「美術品等」という。)を円滑に取得するため、美術品等取得基金(以下「基金」という。)を設置する。

(基金の額)

第2条 基金の額は、5,000万円とする。

2 基金から生ずる収入には、基金に積み立てるものとする。

3 必要があると認めるときは、予算の定めるところにより基金に追加して積み立てることができる。

4 前2項の場合において、基金の額は、積立額相当額を増加した額とする。

(運用)

第3条 知事は、基金をもって美術品等を取得することができる。

(管理)

第4条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実有利な方法により保管するものとする。

(繰替運用)

第5条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用し、又は歳入歳出予算の定めるところにより、その歳入に繰り入れて運用することができる。

(補則)

第6条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関して必要な事項は、規則で定める。

附則

この条例は、昭和46年4月1日から施行する。

附則(平成11年10月8日条例第43号)

この条例は、公布の日から施行する。

附則(平成14年3月27日条例第32号抄)

(施行期日)

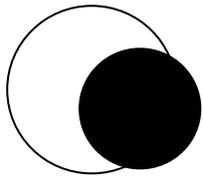
1 この条例は、平成14年4月1日から施行する。(後略)

附則(平成15年8月17日条例第37号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

博物館協議会委員名簿

区 分	役 職	氏 名
学校教育関係者	三田市立高平小学校長	吉 田 礼 子
〃	神戸市立岩岡中学校長	館 章
〃	県立洲本高等学校長	高 坂 健
社会教育関係者	県立歴史博物館長	端 信 行
〃	兵庫県社会教育委員 (神戸親和女子大学教授・同大学院教授)	寺 見 陽 子
〃	兵庫県社会教育委員専門部会専門委員 (ライフデザイン研究所FLAP代表)	岩 木 啓 子
学識経験者	大阪市立自然史博物館長	山 西 良 平
〃	NPO法人コミュニティーサポートセンター神戸 理事長	中 村 順 子
〃	JT生命誌研究館館長	中 村 桂 子
〃	兵庫県立大学副学長	鈴 木 胖
〃	三田市長	岡 田 義 弘
〃	阪南大学教授	貴多野乃武次
〃	辻本智子デザイン研究所代表取締役 淡路夢舞台温室プロデューサー	辻 本 智 子
公募委員		小 西 真 弓
公募委員		朝 日 真 澄



個人別成果報告に関連する資料

館長

岩槻 邦男 Kunio IWATSUKI

昭和9年兵庫県生。京都大学大学院理学研究科博士課程終了。理学博士。東京大学名誉教授。放送大学客員教授。

(社)日本植物学会, (社)日本植物園協会(顧問), 日本植物分類学会, 日本シダ学会, 生きもの文化誌学会(編集委員), 国際植物園連合(直前会長), 国際植物分類学連合, 国際植物形態学会(評議員), アメリカ植物分類学会(名誉会員)等所属。

著書

岩槻邦男・馬渡峻輔(監修)バイオダイバーシティシリーズ4, 杉山純多(編)『菌類・細菌・ウイルスの多様性と系統』裳華房。

Iwatsuki, K., Ohba, H. & Boufford, D.E., #eds. 2006. Flora of Japan IIa. Kodansha, Tokyo.

学術論文

審査付き論文

Yatabe, Y., Iwatsuki, K. & Murakami, N. 2005. Claytosmunda, a new subgenus of Osmunda (Osmundaceae). 2005. Acta Phytotax. Geobot. 56(2): 127-128.

Ebihara, A., Ishikawa, K., Matsumoto, S., Lin, S.-J., Iwatsuki, K., Takamiya, M., Watano, Y., & Ito, M. 2005. Nuclear DNA, chloroplast DNA, and ploidy analysis clarified biological complexity of the Vandenboschia radicans complex (Hymenophyllaceae) in Japan and adjacent areas. American J. Bot. 92:1535-1547.

講演集, 著書分担等。

Iwatsuki, K. 2004. Biodiversity and Human Activities. In Maryati, Mohamed, T.Kusano & S.M.Jensen(eds.) Biodiversity Conservation: Forward Together 13-16. BEEC, Kota Kinabalu.

Iwatsuki, K. 2005. Activities of MAB-Japan in 2004~2005 - Its success and problems. Japan InfoMAB 32: 1-4.

Iwatsuki, K. 2006. Cassuarinaceae and Glauucidaceae. Iwatsuki, K. et. al. (eds.) Flora of Japan IIa.

岩槻邦男 地球は種と種がつながる生命系, 「つながるいのち」 187-198 (山と溪谷社)。

その他著作(一部)

岩槻邦男 四季の息吹き。「日本経済新聞」コラム, 2006年1月まで10回。

岩槻邦男 自然と人間のあいだ 2-5, 『風の旅人』, 13-16.

岩槻邦男 シルクロードの植物たち 1-26, 朝日週間百科『シルクロード紀行』, 1号-26号。

岩槻邦男 砂漠の植物 朝日週間百科『シルクロード紀行』, 4: 22-23.

岩槻邦男 生物多様性を生きる 2-5, ログスドン 62: 54-57; 3:50-53; 64:54-57; 65:52-55.

岩槻邦男 植物インベントリーに今必要なこと, 分類 5:85-87.

岩槻邦男 巻頭言:兵庫の植物 現状と問題-兵庫の植物, 15:1-2.

岩槻邦男 未来のために, 外国から来た生き物たち, 『チャグリン』, 7月号 8-11.

岩槻邦男 絶滅危惧植物 -16年半に変わったこと, プランタ 100:4-9.

岩槻邦男 人は自然とどうつきあうか(講演記録), 木の芽草の芽(日本山岳会), 特別号: 2-16.

岩槻邦男 生物多様性の世界(インタビュー記事), 世界週報 05(8-2):24-27.

岩槻邦男 発刊に寄せて, 『ひょうごの巨樹・巨木100選』4.

岩槻邦男 『プランタ』, 99号-104号。

岩槻邦男 生物多様性国家戦略と生物多様性の持続的利用, 聚レター05秋: 2-3.

岩槻邦男 生物の研究と教育 実践生物教育研究 43:1-5(1月)。

研究発表

学会発表

2005.7.18-23 Posters in XVIIth International Botanical Congress, Vienna:

Ebihara, A., H. Ishikawa, S. Matsumoto, K. Iwatsuki & H. Ito: Reticulate evolution of Vandenboschia radicans complex (Hymenophyllaceae) in Japan, and considerations on its hybrid-dominant tendency.

Lin, S.-J., M. Nagamoto, A. Ebihara & K. Iwatsuki: A systematic study of the fern genus Polystichum (Dryopteridaceae) in Japan.

国際会議等

2005.5.30 Sacred Forests in Temples and Shrines in Japan UNESCO Symposium: The Role of Sacred Natural Sites and Cultural Landscape (UN University) .

2005.8.30 Country Report: Japan. UNESCO-MAB EABRN 9 at Jeju, South Korea .

2005.10.3 Opening Address. UNESCO-MAB ECOTONE II-2 at Pakse, Laos .

兵庫県関係講演等

2005.5.13 今生物の世界で何が起きているか 新・生物多様性国家戦略 (三宮)。

2005.6.12 ジャングルの生き物たち ジャングルスクール解説(人と自然の博物館)。

2005.8.12 生物多様性と新しい自然環境概念について。

2005.8.18 丹波の森と植物 丹波の森大学(丹波の森公苑)。

2005.8.28 自然再生と絶滅危惧種の原因地での回復 企画展シンポ(人と自然の博物館)。

2005.12.7 わたしたちの暮らしと森林 巨樹・巨木講演会(和田山ジュピターホール)。

2006.2.4 語ろうかい 里山よ元気を出してくれ 里山と日本人 自然再生シンポジウム(川西アスカホール)。

テレビ・ラジオ出演等

2005.6.2 外来種 読売TV ニュース

2005.10 「一本の草, 一本の木の生命」NHK 第1放送「こころの時代」

(放送大学講義等 テレビ番組「基礎生物学」「多様性の生物学」「ゲノム生物学」ほか, ラジオ番組「次世代教育を考える」)

その他, 講演・講義等

2005.4 シダ植物研究50年シダ類談話会, 奈良教育大学。

2005.4 グリーンセイバー, マスター講義, 大阪。

2005.4 森林と人間の共生, 日本山岳会100周年記念講演, 東京, 高尾。

2005.5 植物園は今, 京大植物園を護る会, 京都大学。

2005.5 人と自然の共生を考える, 放送大学三重学習センター面接授業。

2005.6 生物多様性から地球温暖化を考えよう, 神奈川県自然保護シンポ, 神奈川労働プラザ。

2005.6 外来生物問題とは何か, 神奈川県外来種対策シンポ, 横須賀文化会館。

2005.10 メンデルの法則からバイオテクノロジーへ, 岐阜大学学長招聘講義。

2005.12 植物分類学 植物の進化と多様性, 静岡大学理学部集中講義。

委員会, 学会役員など

政府機関等委員

日本ユネスコ国内委員会委員(自然科学小委員会委員長, MAB分科会主査)。

中央環境審議会委員(野生生物部会長, 鳥獣保護検討小委員会委員長, 世界自然遺産候補地検討委員会委員長ら)。

文化学術審議会専門委員

(独) 理化学研究所相談役。
(独) 国立科学博物館評議員, アドバイザー, 同筑波実験植物園運営委員会副会長。

(国) 自然科学研究機構国立遺伝学研究所アドバイザー, 同生物資源委員会幹事。

(独) 日本学術振興会未来開拓事業委員。

(独) 科学技術振興機構 GBIF 技術専門委員会委員長。

日本学術会議第 20 期会員選考委員会委員, 第 2WG 幹事, 同第 19 期国際協力常置委員会委員。

国際機構等

地球規模生物多様性情報機構(GBIF)理事会副議長。(10月まで)

ユネスコ-MAB 国際調整理事会理事。(10月まで)

国際植物園連合(IABG)直前会長。

国際植物園保全機構(BGCI)評議員。(10月まで)

国際植物学・菌学連合委員。(8月まで)

国際植物情報機構地球植物誌編集委員会(IOPI-SPP)委員。

法人等役員

日本国際賞分野検討委員。

国際生物学賞委員会委員。

コスモス国際賞委員会委員。

(財) WWF-ジャパン常任理事, 自然保護委員会委員長。

(財) 日本自然保護協会評議員。

(財) 藤原ナチュラルヒストリー振興財団理事。

(財) 松下幸之助花博記念財団理事。

(財) 国際花と緑の博覧会記念協会参与。

(財) 公園緑地管理財団: 緑・花試験実行委員会副会長。

(財) 科学技術振興財団: 研究植物園助成選考委員。

(財) 昭和聖徳記念財団: 研究助成選考委員。

(財) 国際生態学センター評議員。

JICA 地球環境部森林・自然環境グループ国内支援委員会委員長。

学協会等

(社) 日本植物園協会顧問, 自然史学会連合顧問, アメリカ植物分類学会名誉会員, インドシダ学会名誉会員, インドネシア学術機構(LIPI)科学顧問, マレーシア植物誌委員会評議員, 国際植物形態学会評議員。

会員:(社) 日本植物学会, 日本植物分類学会, 日本シダ学会, 熱帯生態学会, 植物形態学会, 国際植物形態学会, アメリカシダ学会, イギリスシダ学会, 国際シダ学連合。

編集委員等

Indian Fern Journal (印) 編集顧問, Journal of Japanese Botany (日) 編集委員, ピオヒストリー(生き物文化誌学会)編集委員。

兵庫県関係

兵庫県生涯教育審議会委員。

(財) ひょうご科学技術協会理事。

助成を受けた研究

「生物圏保存地域における生物多様性の回復予測」. 文部科学省科学研究費(特別研究促進費). 研究分担者。

出版助成 Flora of Japan IIa 巻 代表者。

資料収集・整理

整理同定

1990年代に収集したベトナム産シダ植物の同定を進め, 一部を博物館に納入した。

<事業推進>

生涯学習支援事業

セミナー

非常勤講師など

放送大学 客員教授として, 授業担当(3科目の主任講師, 1科目の分担講師) 大学院生の指導(10人以上の客員指導教員), 面接授業(三重学習センター)として貢献した。

静岡大学 非常勤講師として, 1科目を集中講義で担当した。

地域研究員養成事業

成果発表

2006.2 共生のひろば コメンテーターとして参画した。

2. シンクタンク事業

行政等支援

委員会等

危険な外来生物への対応をはじめ, 別掲のようにさまざまな機会に専門家としての助言を行った。

特別プロジェクト

サブプロジェクト

ジャングルスクールに参加した他, サバ大学学長, 研究所長の来日の際に対応し, JICA の受け入れ研究者に対応するなど, さまざまな機会に博物館とサバ大学の協力に貢献した。

ネクストミュージアムプロジェクト

基本構想策定委員会委員として, 基本構想の策定に参画した。GBIF

政府間機構の理事会副議長, 国内技術専門委員会委員長としての寄与に平行して, 博物館における活動に協力した。

名誉館長

河合 雅雄, Masao KAWAI

大正 13 年兵庫県篠山市生。京都大学理学部動物学科卒業。

理学博士。

京都大学名誉教授・丹波の森名誉公苑長。日本人類学会, 日本霊長類学会, 日本哺乳類学会, 生き物文化誌学会, 日本アフリカ学会, 日本ナイル・エチオピア学会, 兵庫県政学会等所属。

著書

河合雅雄(2005)わが“サル学” - 代記。日本放送出版協会。

河合雅雄(2006)サル学者・吉場健二・京大探検者の会編『京大探検部 1956-2006』, 167-188 新樹社。

河合雅雄・梅原猛(2006)奥山の動物は神 賢治の宇宙, 神仏のかたち, 157-238, 角川書店。

その他著作

河合雅雄(2005)野生の反乱, 風の旅人, VoL.13, ユーラシア旅行社。

河合雅雄(2005)日本人の生業と動物観, 風の旅人, VoL.14, ユーラシア旅行社。

河合雅雄(2005)二十一世紀の新しい動物観, 風の旅人, VoL.15, ユーラシア旅行社。

河合雅雄(2005)「宮沢賢治 動物の森」, 家庭画報, 世界文化社。

貝の火 鈴蘭の悪の香り, VoL.48(4)。

林の底 染屋トンビの結末, VoL.48(5)。

双子の星 双子の星に託された思い, VoL.48(6)。

洞熊学校を卒業した三人 笑いに昇華したいのちの苦しみ, VoL.48(7)。

毒もみのすきな署長さんー河瀬署長が暗示するもの, VoL.48(8)。

セロ弾きのゴーシュ - ゴーシュが教わったこと, VoL.48(9)。

さるのこしかけー奥山への夢幻境, VoL.48(10)。

注文の多い料理店 ハンターへの賢治の「眼」, VoL.48(11)。

「イーハトーヴ」と奥山 「イーハトーヴ」の動物たち, VoL.48(12)。

河合雅雄・工藤直子 地球さんぼ道, 朝日新聞社。

2005.4 ジャングル体験学校 「野生の力」取り戻す場所。

2005.5 シートンの世界 一番大切なのは感動。

2005.6 昆虫と先輩と - 人生の契機を大切に。

2005.7 里山を散歩 雑木林の生命力に感激。

2005.8 里山を散歩 昆虫集まるクヌギ林。

2005.9 展示に工夫 自然と出会い直そう。

河合雅雄「21世紀の針路」, 神戸新聞。

2005.4 川に教育と文化の視点入れよう。

2005.7 素晴らしき「冒険の精神」に学ぼう。

2005.11 ウォーキングと散歩のすすめ。

2006.3 緊急災害救助庁をつくれないか。

河合雅雄・梅原猛(対談)(2005)遊んで遊んで日が暮れて - 学問の冒険, 「梅原猛の世界」, 別刷太陽(134), 平凡社。

河合雅雄(2006)分かち合う心 禅の風, No.29 曹洞宗宗務庁。

河合雅雄(2005)二市による一つの丹波の創出, 丹波の森 No.31。

河合雅雄(2005)丹波の森を深く知ろう, 丹波の森 No.30。

河合雅雄(2005)ここにはジハンキはありません！ささやまの森公園だより第7号。
河合雅雄(2006)鮮やかな「昭和の人50人」-今西錦司「わしはリーダーしかできまへん」文芸春秋2月号。
河合雅雄(2005)霊長類社会の多様性と家族の起源,鶴岡致道大学平成16年度講義録,鶴岡総合研究所。
河合雅雄(2005)教育林としての里山公園,ささゆり,やしろの森公園運営協議会。
委員会等
法人役員
(財)日本モンキーセンター常務理事。
(財)UFJ環境財団理事。
(財)日本生命財団会長。
(財)小学館・日本児童教育振興財団評議員。
(財)石田財団評議員。
(財)下中記念財団評議員。
(財)花博記念財団評議員。
(財)子ども教育支援財団評議員。
(財)兵庫創造協会理事。
(財)丹波の森協会副理事長。
その他
県立丹波年輪の里運営協議会会長。
ワイルドライフ・マネジメント計画・運営協議会会長,農林水産局森林動物共生室。
CSR活動ネットワーク委員会会長,産業労働部商工労働局福祉課。
ささやまの森運営協議会会長,ささやまの森公園。
植村直己冒険賞審査委員会,委員,日高町。
小学校児童出版文化賞審査委員会,委員,(財)日本児童教育振興財団。
アジア太平洋文化賞選考委員会,委員,アジア太平洋フォーラム淡路会議。
NPO日本アンリ・ファール会理事。
コウノトリファンクラブ副会長。
館外講演など
2005.4 「ヒトはどうしてサルから進化したのか」,第10期垂水文化講演,井植記念館ホール(神戸市)。
2005.8 「日本人の自然観と里山」,第88回信濃木崎夏期大学,(財)信濃通俗大学,役員会(木崎市)。
2005.8 「子どもは自然に学び,自然に遊ぶ」,平成17年度子どもフェスタ子育て講演会,大野市(大野市)。
2005.8 「人と自然の共生とはどういうことか」,第15期岡山市市民文化大学2005,岡山市民文化学,岡山シンフォニーホール(岡山市)。
2005.8 「サル学に学ぶ子育て」,夏期教職員研修講座,小松市教育委員会(小松市)。
2005.8 「新しい家族と家庭のあり方」,第56回近畿高等学校家庭科教育研究大会,近畿高等学校家庭科教育協会,県立文化体育館(神戸市)。
2005.8 「まちづくりのポイント~篠山のまちを歩いて思うこと~」,NPOいぬいふくし村1周年記念,コミュニティーカフェみつけた(篠山市)。
2005.10 「みんなで支え合う社会~サル社会から学ぶ~」,三田市健康福祉大会,三田市(三田市)。
2005.11 「望遠鏡から見た人間の世界」,第1回篠山市展記念講演会,篠山市篠山市民センター(篠山市)。
2005.11 「生きる力を育む」,篠山図書館友の会,篠山中央図書館(篠山市)。
2005.11 「今子育てに大切なこと」,青少年健全育成フォーラム,阪神南青少年本部,西宮市夙川公民館(西宮市)。
2005.12 「子どもと自然」,福岡県私立幼稚園振興協会北九州支部教師研修会,パークサイドビル(北九州市)。
2005.12 「自然に学ぶ」,第9期こころ豊かな人づくり50人委員会但馬セミナー,但馬文教府,但馬青少年本部(豊岡市)。
2006.2 「自然が育む豊かな心」,駒ヶ根市教育基金講演会,駒ヶ根市教育委員会,文化会館(駒ヶ根市)。
2006.2 「森林文化と日本人の自然観」,南信病院(駒ヶ根市)。
2006.2 「賢治と私-子どもの自然」,対談,高橋正修氏と「学

ぶ楽しさ」,よい本をひろめる会,伊勢原市民文化会館(伊勢原市)。
2006.3 「エチオピアの自然と人の暮らし」,ささやまの森公園(篠山市)。
2006.3 「人と動物の共生社会を迎えて」,コウノトリ文化会館(豊岡市)。
2006.3 「子育ての豊かな培地」,飯田市教育委員会,県文化センターホール(飯田市)。
シンポジウム
2005.4 「未来へつなぐ川 問われる文化の創造と継承」,基調講演「川に生まれた少年(川に落ちこぼれた)子ども時代から」,日本ナイル・エチオピア学会公開講演,千曲市戸倉創造館大ホール(千曲市)。
2005.10 「平成17年度里山シンポジウム」,基調講演「森に還ろう」,パネルディスカッション「これからの里山と暮らし」,林野庁近畿中国森林管理局,神戸新聞松方ホール(神戸市)。
2005.11 「子どもは川の子」,武庫めぐり水コンサート,武庫川女子大学音楽部,武庫川学院甲子園会館(西宮市)。
2005.12 「人をつなぐ未来をひらく大学の森~里山を「いま」に生かす~」,基調講演「森あそびのすすめ」,金沢大学「角間の自然学校」,金沢大学角間キャンパス(金沢市)。
2006.2 「しぜん・あそび・けんきゅう」,ひとはく地域研究員・連携活動グループ,研究・活動発表会。人と自然の博物館(三田市)。
インタビュー・座談会等
2005.4 「地球となかよしインタビュー」 子どもに豊かな自然体験を,Educo.No.7。
2005.5 「この人にインタビュー」-自然と遊び社会性を育む,朝日新聞。
2005.5 「土曜訪問」-戦う国際献上なんて幻想,中日新聞(夕刊)。
2005.12 家族は人間の証し,神戸新聞。
2006.2 「戦後60年を生きる」上 サルと人間,朝日新聞。
2006.2 「戦後60年を生きる」下 子供と自然,朝日新聞。
2005. 河合雅雄・柳生博・増井光子「コウノトリ座談会」コウノトリファンクラブ冬の号 Vol.1。
2005.8 河合雅雄・安間繁樹「ジャングルスクールは子どもに何をもたらしたか」,原子力文化,日本原子力文化振興財団。
2005.12 河合雅雄・江南和幸・杉江博明・中村浩二・高峰博保「森をあそび」,朝日・大学パートナーズシンポ,朝日新聞・テレビ・ラジオ
2005. 放送大学,特別講義(2005)「人と自然」.7月10日,8月15日,9月22日,ラジオ放送。
2005. 知るを楽しむ,この人この世界 わが「サル学」一代記,NHK。
第1回(10月3日,10月10日),動物と遊ぶ少年。
第2回(10月10日,10月17日),サル学事初め。
第3回(10月17日,10月24日),ゴリラ探検記。
第4回(10月24日,10月31日),森がサルを生んだ。
第5回(11月7日,11月14日),争わないサルとの出会い。
第6回(11月14日,11月21日),風土病との闘い。
第7回(11月21日,11月28日),里山復興と宮沢賢治。
第8回(11月28日,12月5日),シートンと私の動物記。
2005.5 こころの時代「サルと自然と人間と」NHKラジオ放送。
学会・非常勤講師等
日本福祉大学客員教授(生涯学習名誉センター長)。
神戸女子大学客員教授。
丹波の森大学学長,(財)丹波の森協会。
神戸新聞客員論説委員。
日本ナイル・エチオピア学会名誉会長。
日本霊長類学会名誉会員。
日本アフリカ学会評議員。

<事業推進>

生涯学習支援事業
第6回ボルネオ・ジャングル体験スクール顧問。

自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ / 総合調整

主任研究員

小林 文夫, Fumio KOBAYASHI

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 教授・
昭和23年新潟県生・東京教育大学大学院理学研究科博士課程修了・理学博士。

日本地質学会, 日本古生物学会, The Cushman Foundation for Foraminiferal Research, The Paleontological Society 所属。

< 事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事 >

1. 事業推進部

総合調整

2. 研究開発会議

旧地球科学研究部代表

< 研究開発 >

1. 調査研究

特別課題研究(個人研究)

1. 中・古生代基盤岩の地質構造発達史

2. 後期古生代・中生代有孔虫化石群集解析

共同研究

総合共同研究「武庫川上流域における人と自然の共生」, 研究分担者。

部門研究「兵庫県産古生代化石の研究」, 研究代表者。

論文・著書

Kobayashi, F. (2005) Permian foraminifers from the Itsukaichi-Ome area, west Tokyo, Japan. *Journal of Paleontology*, Vol. 79, no. 3, 413-432.

Kobayashi, F., Martini, R. and Zaninetti, L. (2005) Anisian foraminifers from allochthonous limestones of the Tanoura Formation (Kurosegawa Terrane, West Kyushu, Japan). *Geobios (Journal of the European Paleontological Association)*, Vol. 38, no. 6, 751-763.

Kobayashi, F. (2006) Late Middle Permian (Capitanian) foraminifers in the Miharayama area, Hyogo - Late Paleozoic and Early Mesozoic foraminifers of Hyogo, Japan, Part 2 - Nature and Human Activities, No. 10, 1-3.

Kobayashi, F. (2006) Latest Permian (Changhsingian) foraminifers in the Mikata area, Hyogo - Late Paleozoic and Early Mesozoic foraminifers of Hyogo, Japan, Part 3 - Nature and Human Activities, No. 10, 15-24.

Kobayashi, F. (2006) Early Late Permian (Wuchiapingian) foraminifers in the Tatsuno area, Hyogo - Late Paleozoic and Early Mesozoic foraminifers of Hyogo, Japan, Part 4 - Nature and Human Activities, No. 10, 25-33.

その他著作

小林文夫(2005)「もう一つの小林コレクション-進化を続ける小林文夫コレクション-」. ハーモニー, No. 51.

小林文夫(2005)地質図とその解説. 宝塚市大辞典編集委員会(編), 宝塚市大辞典, 145-147. 宝塚市。

小林文夫(2005)武庫川の宝塚市南部を流れるその地形的特徴. 宝塚市大辞典編集委員会(編), 宝塚市大辞典, 174-176. 宝塚市。

学会役員など

Journal of Paleontology, レフェリー

助成を受けた研究

ペルム紀後期有孔虫化石群集と石灰岩相, それらの古生物地質学的・テクトニックな意義. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代表者(金額100万円/250万円)。

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.4-2006.3 石灰岩岩石薄片の作成(2,500枚): 兵庫県7市町, 岐阜県赤坂石灰岩, 岐阜県高山市, 山口県秋吉石灰岩とその周辺層, 栃木県葛生石灰岩, 岩手県岩井崎石灰岩, 愛媛県板取川石灰岩, 宮崎県高千穂町, 京都府夜久野町, トルコ共和

国タウルス山地の石灰岩など(小林文夫コレクション)。

2005.4-2006.3 石灰岩薄片写真資料。(2,000点:小林文夫コレクション)。

2005.5-2006.3 中・古生代石灰岩・含石灰岩相地質資料. 岐阜県, 宮崎県, 山口県。

2005.12-2006.3 県下の中・古生代地質資料. 宍粟市, 相生市, たつの市, 朝来市, 三田市など。

整理同定担当資料

小林文夫コレクション(中・古生代石灰岩岩石薄片)。

< 事業推進 >

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

小林文夫, 2005.5, 「フラワータウンはどんな所につくられたか()」, 博物館及び野外(8名)。

小林文夫, 2005.6, 「石灰岩でペーパーウエイトを作ろう」, 博物館(8名)。

小林文夫, 2005.6-2006.3, 「化石工房 薄くして見る化石」, 博物館(全9回, 540名)。

小林文夫, 2005.8, 「大量絶滅と生物の進化」, 教職員セミナー, 博物館(50名)。

小林文夫, 2005.8, 「豊岡の地形とコウノトリ」, 企画展ギャラリートーク, 博物館(33名)。

小林文夫, 2005.10, 「フラワータウンはどんな所につくられたか()」, 博物館及び野外(7名)。

館外講演など

2005.5 「三田の地形と地質」, 関西学院大学三田学セミナー, 講師, 関西学院大学三田キャンパス(15名)。

2005.9 「六甲山系の生い立ち」, ひょうご講座, 講師, 兵庫県立大学生涯学習センター(18名)。

2005.10 「近畿日本の活断層と地震活動」, 平成17年度「丹波の森大」, 講師, 丹波の森公苑(120名)。

非常勤講師など

2005.9-2006.3 「基礎地学」, 関西学院大学理工学部。

2005.5 「地形のデザイン」, 神戸芸術工科大学。

学校教育支援

トライやるウィーク

2005.6.7, 9, 10 上野台中学校2名・藍中学校1名。

フェスティバル等

2005.10 ひとくフェスティバル, 「地学系収蔵庫見学ツアー」(分担者)。

展示 企画展

2005.7.10-2005.9.25 企画展「コウノトリの野生復帰と自然再生」(分担者)。

2006.2.18-2006.6.11 企画展「古生代の世界」(副代表者)。

2. シンクタンク事業

収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 3回, 15名。

行政等支援 委員会等 (計4件)

1998.4- 近畿地方土木地質図改訂委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局。

1997.4- 西播磨地域地域地震防災連絡会, 顧問, 西播磨市町長会。

2001.2- 三木総合防災公園断層保存懇話会, 委員, 兵庫県まちづくり部。

2001.2- 北近畿豊岡自動車道環境評価技術検討委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局。審査員

2005.12- 「玄武洞ミュージアム」登録博物館審査, 兵庫県教育委員会。

相談・指導助言

来訪者4件, 5名。電話・FAX相談4件。

自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ / 生涯学習事業室

主任研究員

佐藤 裕司, Hiroshi SATO
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 教授
昭和32年大阪府生 神戸大学大学院理学研究科修士課程修了 学術博士(神戸大学). 日本第四紀学会, 日本陸水学会, 日本藻類学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部
生涯学習事業室 室長
2. 研究開発会議
なし

<研究開発>

1. 調査研究
特別課題研究(個人研究)
 1. ミレニアルスケールの海水準変動と沿岸域テクトニクスの研究
 2. 兵庫県における人類紀の環境変遷史に関する研究
 3. 淡水産および汽水産藻類の多様性と保全に関する研究共同研究
部門研究「兵庫県北部の自然環境の評価と活用に関する研究 - 大沼湿原と周辺地域における古環境の復元と評価 - 」, 研究代表者.

論文・著書

Hyodo, M., D. K. Biswas, T. Noda, N. Tomioka, T. Mishima, C. Itota, and H. Sato (2006) Millennial- to submillennial-scale features of the Matuyama-Brunhes geomagnetic polarity transition from Osaka Bay, southwestern Japan. *Journal of Geophysical Research*, 111, B02103, doi:10.1029/2004JB003584.

その他著作

佐藤裕司(2005) 第四紀層. pp.163-166. 宝塚大事典編集委員会編, 宝塚大事典, 大阪書籍.

佐藤裕司(2006) 用語解説「珪藻分析」. 日本陸水学会編, 陸水の事典, 講談社サイエンティフィック.

Katoh, S., Hyodo, M., Nakamura, T., Sato, H., Handa, K., Yagi, T. (2005) Paleoenvironmental changes during the last 50,000 years reconstructed from the moor deposits at Ohnuma in the Chugoku Mountains, Western Japan. Alloway, B.V., Froese, D.G. & Westgate, J.A. (editors) 2005: Proceedings of the International Field Conference and Workshop on Tephrochronology & Volcanism: Dawson City, Yukon Territory, Canada July 31st-August 8th, 2005 Institute of Geological & Nuclear Sciences science report 2005/22, 69p., pp.43.

加藤茂弘・半田久美子・兵藤政幸・佐藤裕司・中村俊夫・山下 透・檀原 徹(2006) 中国山地東部の大沼湿原堆積物に挟まれるテフラの対比と推定噴出年代. 名古屋大学加速器質量分析計業績報告書(), 名古屋大学年代測定総合研究センター, 77-90.

研究発表

Hirose, K., Sato, H., Gotoh, T., Nanayama, F. and Yoshikawa, S. (2005) Modern diatom-based interpretations of Holocene paleoenvironmental changes in Osaka Basin, southwestern Japan. The 2nd PAGES Open Science Meeting, 北京.

半田久美子・加藤茂弘・八木 剛・佐藤裕司・兵頭政幸・中村俊夫(2005) 兵庫県北部, 大沼湿原における5万年前以降の植生変遷. 日本花粉学会第46回大会, 千葉経済大学, 千葉市.

Kumano, S., Hanyuda, T., Sato, H., and Traichaiyaporn, S. (2005) Endemic taxa of the genus *Thorea* from the Asian-Pacific region: Phylogeny and Morphology. 4th Asian Pacific Phycological Forum, バンコク.

Katoh, S., Hyodo, M., Nakamura, T., Sato, H., Handa, K., Yagi, T. (2005.8) Paleoenvironmental changes during the last 50,000 years reconstructed from the moor deposits at Ohnuma in the Chugoku Mountains, Western Japan. International Field Conference and Workshop on Tephrochronology & Volcanism, Dawson City, Yukon Territory,

Canada.

加藤茂弘・半田久美子・兵頭政幸・佐藤裕司・中村俊夫(2006) 大山中・上部火山灰層中のテフラの広域分布と推定噴出年代: 大沼湿原の堆積物からの検討. 第18回(2005年度)名古屋大学年代測定総合研究センターシンポジウム, 名古屋大学.

半田久美子・加藤茂弘・佐藤裕司・兵頭政幸・中村俊夫(2006) 中国山地東部, 大沼湿原における3.8万年前以降の植生変遷(予察). 第18回名古屋大学年代測定総合研究センターシンポジウム, 名古屋大学, 名古屋市.

学会役員など

日本第四紀学会, 博物館連絡委員

論文査読, 日本第四紀学会(9月, 1月), 日本珪藻学会(9月), Kluwer Science(10月).

助成を受けた研究

ジャワ鮮新更新世の古環境変遷と原人の出現・進化に関する研究. 文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(B)(1)), 研究分担者.

山間高地の湿原堆積物を用いた最終氷期以降の古環境変遷史の高精度復元. 文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(B)(2)), 研究分担者.

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.4-2006.3 第四紀層の堆積物および含有化石の採集. 神戸市, 加古川市など.

2005.4-2006.3 現生淡水藻類の標本採集. 上郡町, 社町, 篠山市, 三田市など.

受贈担当資料

2005.3 淡水産紅藻類(瀬戸コレクション).

整理同定担当資料

第四紀古環境資料, 淡水産藻類標本.

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

田中哲夫・佐藤裕司・三橋弘宗, 2005.4.23, 24, 5.7, 8, 「ため池をさぐる」(全4回, のべ82名).

佐藤裕司, 2005.8.8, ミュージアムハイスクール夏休み集中講座「地球温暖化と海面上昇~映画は現実になるか?~」, 県立神戸高校(7名).

佐藤裕司, 2005.8.20, ひょうご自然環境セミナー「縄文海進と神戸」, 県立神戸生活創造センター(17名).

佐藤裕司, 2005.9.10, 「車軸藻の世界~ペットボトルで育ててみよう~」(16名).

田中哲夫・佐藤裕司, 2005.10.5, 12, 祥雲館高校連携セミナー「身近な環境を調査しよう~ピオトープ池を調べる~」, キリンビール(株)神戸工場(のべ42名).

佐藤裕司, 2005.11.8, 「淡水藻と里地の水環境」, 播磨町消費者協会(30名).

館外講演など

2005.6 ひょうご講座「今、生物の世界で何が起きているか-希少種, 外来種などで変わりゆく生物地図-(4)種の絶滅編3, 水中の藻類」, 県立神戸学習プラザ(28名).

2005.9 川の自然再生セミナー.(財)リバーフロント整備センター, 発明会館(300名).

非常勤講師など

2005.10-2006.3 環境教育, 関西学院大学.

キャラバン事業

主担当

2005.8 但馬地区「ひとはくキャラバン'05 in たじま」主担当セミナー担当

2005.8 但馬地区「拡大して楽しむ小さな化石の世界」(講師), 但馬文教府.(118名)

学校教育支援

学校団体対応等

2005.9 篠山市立城南小学校「川のよごれ」観察(42名).

2005.11 尼崎市立大島小学校「水の話」(114名).

2005.11 姫路市立峰相小学校 理科大好きスクール「水の質

問箱」(26名)。

2005.11 小野市立中番小学校 実習「水の中の微生物」(33名)。

2005.11 峰相小学校「水環境」(24名)。

2006.1 東条町立東条東小学校「水の話」と実習「水の中の微生物」(32名)。

研修生等の受入

博物館実習

2005.8 北里大学水産学部 1名、武庫川女子大学文学部 1名、大阪教育大学教育学部 1名。

フェスティバル等

2005.10 ひとつはくフェスティバル,組織委員会・実行委員会,副委員長。

2. シンクタンク事業

受託研究

「キリンビール神戸工場内のレフュジア・ピオトープ創出に関する研究」,分担者,キリンビール株式会社神戸工場。

収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内,2回,13名。

行政等支援

委員会等 (計6件)

2005.4-2006.3 川西市環境保全審議会専門委員,川西市。

2005.4-2006.3 安室川自然再生検討会,委員,兵庫県上郡土木事務所。

2005.4-2006.3 安室川自然再生検討会・技術部会,委員,兵庫県上郡土木事務所。

2005.4-2006.3 いなみ野ため池ミュージアム・客員キュレーター。

2005.4-2006.3 絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会,調査員,環境省自然環境局。

2005.12-2006.3 「近畿圏における自然環境の総点検」地域別(東播磨)ワーキンググループ委員,東播磨県民局。

相談・指導助言

来訪者8件,18名。電話・FAX相談10件,メール相談25件。

3. 特別プロジェクト

サブプロジェクト担当

自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ/生涯学習事業室

主任研究員

先山 徹,Tohru SAKIYAMA

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学部門 助教授。昭和29年岐阜県生。広島大学大学院理学研究科博士課程修了。理学博士。日本地質学会,日本岩石鉱物鉱床学会,地学団体研究会,日本地学教育学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部生涯学習事業室

副室長

フロアでの諸活動のマネジメント,館内サイン類の整備,レファレンス図書・資料の整備

2. 研究開発会議

なし

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究(個人研究)

1. 花崗岩類の形成に関する研究

2. 兵庫県下の地質・岩石に関する研究

3. 歴史・考古遺物の石材産地に関する研究

共同研究

部門研究「兵庫県北部の自然環境の評価と活用に関する研究 - 大沼湿原と周辺地域における古環境の復元と評価 -」,研究分担者。

論文・著書

先山 徹(2005)花崗岩と関連岩類.宝塚大事典,148-151.大阪書籍。

先山 徹(2005)有馬層群.宝塚大事典,156-160.大阪書籍。

先山 徹(2005)街の中の石材.宝塚大事典,170-173.大阪書籍。

その他著作

先山 徹(2006)神戸五色塚古墳出土の石材産地同定に関する調査.史跡五色塚古墳小壺古墳発掘報告書,神戸市,267-284。

先山 徹(2005)舞子砲台の石材について.神戸市教育委員会(編)「舞子砲台跡-第1~4次発掘調査報告書」,神戸市。

研究発表

先山 徹(2005)地質学的・岩石学的に見た六甲山の御影石.大阪歴史学会,芦屋市。

先山 徹(2006)コメント:Lunkeryggen 閃長岩・ Gondwanaから見た地球進化史の再考に関する研究集会・セールロンダ

ーネ山地地質調査計画の立案に向けて・国立極地研究所,東京。学会役員など

日本地質学会,生涯教育委員会,委員。

助成を受けた研究

先カンブリア時代の地殻形成に関する同位体地質学的研究。国立極地研究所共同研究。研究分担者。

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.5 北但層群流紋岩類および付随する鉱物の収集。豊岡市日高町。

2005.9 新第三紀瀬戸内安山岩の収集。宝塚市~西宮市。

受贈担当資料

2005.11 瀬戸内地域花崗岩石材(2005年皇居石材調査関連資料)。24点。

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

先山 徹,2005.4,「石の観察と見分け方講座 近畿の火山と玄武岩」,博物館(16名)。

加藤茂弘・先山 徹,2005.5,「春の石めぐりハイキング-神鍋山の火山岩」,日高町(31名)。

先山 徹,2005.7,「石の観察と見分け方講座-火打石になる石・チャート-」,博物館(33名)。

先山 徹,2005.8,「石の観察と見分け方講座-入門編-」,博物館(25名)。

先山 徹・加藤茂弘,2005.10,「秋の石めぐりハイキング 甲山周辺の岩石」,西宮市(25名)。

先山 徹,2005.11,「石の見分け方講座 顕微鏡で見る鉱物」,博物館(17名)。

先山 徹,2005.12,「石の観察と見分け方講座 鉱物の色-」,博物館(22名)。

先山 徹,2005.11,サイエンスショー「偏光板であそぼう」,博物館。

先山 徹,2006.2,サイエンスショー「ミクロの世界・ダイヤモンドは何面体?」,博物館。

特注セミナー

先山 徹,2005.12,「地震実験教材を作ろう」,博物館(35名)。

先山 徹,2006.2,「兵庫の地質と岩石」,博物館(19名)。

館外講演など

2005.9 「千種のたたらと赤穂の塩田」,西播磨高齢者大学,講師,西播磨文化会館(80名)。

2005.11 「竜山石のふしぎ」,2005 竜山石シンポジウム,講師,高砂市福祉保健センター(120名)。

2005.10 「兵庫の地質と河川との関係および、それがもたらした歴史と文化」,兵庫県まちづくり技術センター講習会・生物から見た河川環境,講師,兵庫県民会館。

非常勤講師など

2005.4-9 「自然とデザイン」,神戸芸術工科大学。

2005.4-9 「基礎地学」,関西学院大学。

2005.8 「地学実験」,関西学院大学。

2005.10 - 11 「地学」, 但馬技術中学校 .
 キャラバン事業
 セミナー担当
 2005.8 但馬地域「地震の揺れ方, 液状化実験」
 学校教育支援
 教職員セミナー
 2005.8 「地震の実験教材を作ろう」, 講師, 博物館 (26 名).
 2005.8 「石の見分け方入門」, 講師, 博物館 (19 名).
 2005.8 「地層とその成り立ち」, 東・北播小学校理科研究会,
 講師, 吉川町中央活動センター (70 名).
 2006.1 「地震の教材をつくろう」, 神戸市中学校教育研究会
 理科部 C・D ブロック実験講習会, 講師 (25 名).
 学校団体対応等
 2005.7 「職業体験講座」, 講師, 兵庫県立福崎高等学校 (40
 名).
 2005.7 「収蔵庫見学」, 講師, 神戸大学農学部 (25 名).
 2005.11 「見逃すなはてなの世界」, 講師, 大阪府立北野高
 等学校 (46 名).
 2005.11 「地震についての学習」, 講師, 篠山市立城南小学
 校 (34 名).
 2005.12 「収蔵庫見学」, 講師, 関西学院大学 (8 名).
 2006.2 「六甲山のおいたち」, 講師, 西宮市立東山台小学校
 (26 名).
 講師派遣等
 2005.11 「地層の見かた」講師 三木市立みなぎ台小学校(70 名).
 遠隔授業
 2006.2 「地震と南極」, ドイツ・デュッセルドルフ日本人学校 .
 研修生等の受入
 博物館実習
 2005.8.15-19 北里大学水産学部 1 名 武庫川女子大学文学部
 1 名 . 大阪教育大学教育学部 1 名 .
 フェスティバル等
 2005.10 ひとくフェスティバル, 「地学系収蔵庫見学ツアー」
 (分担者).
 展示
 企画展
 2005.10.22 - 2006.1.22, 企画展「はてなの世界」(分担者).
 ミニ企画等
 2006.2.24-2.26, ミニ企画展「この音なんだ?」(責任者).
 館外共催展示
 2006.7.23 - 9.6, 共催展示「アジアのワンダフルデザイン」,
 淡路夢舞台温室, (責任者).
 2. シンクタンク事業
 収蔵庫・ジーンファームの公開
 地学系収蔵庫の案内, 2 回, 33 名 .
 行政等支援
 委員会等 (計 2 件)
 2005.4 - 六甲山自然保護センター活用方策検討委員会, 委
 員 . 兵庫県神戸県民局 .
 2005.4 - 玄武洞公園整備検討委員会, 委員 . 豊岡市商工観
 光課 .
 相談・指導助言
 来訪者 15 件, 20 名 . 電話・FAX 相談 4 件, メール相談 5 件 .
 2005.11 皇居東御苑本丸中の門石垣石材の産地について, 調
 査・指導, 宮内庁 .
 3. 特別プロジェクト
 ネクストミュージアムプロジェクト 展示ワーキング委員

自然・環境評価研究部
 地域環境地質研究グループ / 生涯学習事業室
 主任研究員
 加藤 茂弘, Shigehiro KATO
 昭和 35 年岐阜県生 . 東京大学大学院理学研究科地理学専攻博士
 課程単位取得後退学 . 日本地理学会, 日本地質学会, 日本第四
 紀学会, 日本地形学連合, 日本人類学会, 東北地理学会等所属 .

< 事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事 >

1. 事業推進部生涯学習事業室 イベント・マネージャー
 館内で実施する集客事業「はくづつかんの日」, 「たんぼほウ
 ィーク 2005」, 「サマーナイトセミナー」, 「ひとくですごす夏
 休み」, 「ひとくのお正月」, および「ひとくフェスティバル
 '05」の企画・実施 .
 2. 研究開発会議
 なし

< 研究開発 >

1. 調査研究
 特別課題研究 (個人研究)
 1. 火山灰層序に基づく第四紀古環境変動に関する研究
 2. 近畿地方の活断層と地殻変動に関する研究
 3. 地震断層の保存と活用に関する研究
 共同研究
 総合共同研究「外来種」, 研究分担者 .
 部門研究「兵庫県北部の自然環境の評価と活用に関する研究
 - 大沼湿原と周辺地域における古環境の復元と評価 -」, 研究分
 担者 .
 論文・著書
 WoldeGabriel, G., Hart, W.K., Katoh, S., Beyene, Y. and
 Suwa, G. (2005) Correlation of Plio-Pleistocene tephra in
 Ethiopian and Kenyan rift basins: Temporal calibration of
 geological features and hominid fossil records . Journal of
 Volcanology and Geothermal Research, 147, 81-108 .
 加藤茂弘 (2004) 地形 . 宝塚市大事典編集委員会編『宝塚
 大事典』, 130-134, 大阪書籍 .
 加藤茂弘 (2004) 宝塚の活断層 . 宝塚市大事典編集委員会
 編『宝塚大事典』, 135-140, 大阪書籍 .
 加藤茂弘 (2004) 有馬 - 高槻構造線 . 宝塚市大事典編集委
 員会編『宝塚大事典』, 141-144, 大阪書籍 .
 その他著作

Katoh, S., Hyodo, M., Nakamura, T., Sato, H., Handa, K.,
 Yagi, T. (2005) Paleoenvironmental changes during the last
 50,000 years reconstructed from the moor deposits at
 Ohnuma in the Chugoku Mountains, Western Japan . Alloway,
 B.V., Froese, D.G. & Westgate, J.A. (editors) 2005:
 Proceedings of the International Field Conference and
 Workshop on Tephrochronology & Volcanism: Dawson City,
 Yukon Territory, Canada July 31st-August 8th, 2005 Institute
 of Geological & Nuclear Sciences science report 2005/22, 69p.,
 pp.43 .

Katoh, S., WoldeGabriel, G., Hart, W.K. (2005)
 Tephrochronology of the late Pliocene to Pleistocene
 succession in the southern extremity of the Main Ethiopian
 Rift, Ethiopia . Alloway, B.V., Froese, D.G. & Westgate, J.A.
 (editors) 2005: Proceedings of the International Field
 Conference and Workshop on Tephrochronology & Volcanism:
 Dawson City, Yukon Territory, Canada July 31st-August 8th,
 2005 Institute of Geological & Nuclear Sciences science report
 2005/22, 69p., pp.52 .

加藤茂弘・山口 寛・上野 健・井口博夫・岡田篤正 (2006)
 山崎断層系・暮坂峠断層の活動性について . 北淡活断層シンポ
 ジウム 2006 実行委員会編『北淡活断層シンポジウム 2005 講演
 要旨集』, 37-40 .

加藤茂弘・山下 透・檀原 徹 (2006) 近畿地方北部の中
 部更新統・福知山層のテフラの対比 . 人と自然, 16, 35-42 .

加藤茂弘 (2006) 段丘面の変形からみた北海道主部, 日高地
 方の第四紀テクトニクス . 月刊地球 / 号外 No .54, 海洋出版,
 118-126 .

加藤茂弘・半田久美子・兵藤政幸・佐藤裕司・中村俊夫・
 山下 透・檀原 徹 (2006) 中国山地東部の大沼湿原堆積物に
 挟まれるテフラの対比と推定噴出年代 . 名古屋大学加速器質量
 分析計業績報告書 (), 名古屋大学年代測定総合研究センタ
 ー, 77-90 .

研究発表

Katoh, S., WoldeGabriel, G., Hart, W.K. (2005.8)

Tephrochronology of the late Pliocene to Pleistocene succession in the southern extremity of the Main Ethiopian Rift, Ethiopia. International Fielded Conference and Workshop on Tephrochronology & Volcanism, Dawson City, Yukon Territory, Canada.

Katoh, S., Hyodo, M., Nakamura, T., Sato, H., Handa, K., Yagi, T. (2005.8) Paleoenvironmental changes during the last 50,000 years reconstructed from the moor deposits at Ohnuma in the Chugoku Mountains, Western Japan. International Fielded Conference and Workshop on Tephrochronology & Volcanism, Dawson City, Yukon Territory, Canada.

半田久美子・加藤茂弘・八木 剛・佐藤裕司・兵頭政幸・中村俊夫 (2005.9) 兵庫県北部, 大沼湿原における 5 万年前以降の植生変遷. 日本花粉学会第 46 回大会, 千葉経済大学.

加藤茂弘・山口 覚・上野 健・井口博夫・岡田篤正 (2006.1) 山崎断層系・暮坂峠断層の活動性について. 北淡活断層シンポジウム 2006, 北淡震災記念公園セミナーハウス, 淡路市.

加藤茂弘・半田久美子・兵頭政幸・佐藤裕司・中村俊夫 (2006.1) 大山中・上部火山灰層中のテフラの広域分布と推定噴出年代: 大沼湿原の堆積物からの検討. 第 18 回(2005 年度)名古屋大学年代測定総合研究センターシンポジウム, 名古屋大学.

半田久美子・加藤茂弘・佐藤裕司・兵頭政幸・中村俊夫 (2006.1) 中国山地東部, 大沼湿原における 3.8 万年前以降の植生変遷 (予察). 第 18 回 (2005 年度) 名古屋大学年代測定総合研究センターシンポジウム, 名古屋大学.

学会役員など

北淡活断層シンポジウム 2006 実行委員会, 事務局幹事.

Revealing Hominid Origins Initiative (RHIO)テフラワーキンググループ, 日本側オーガナイザー.

助成を受けた研究

高地湿原堆積物を用いた最終氷期以降の古環境の高精度復元. 文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(B)(2)), 研究代表者(90万円/総額 830 万円).

汎用中深度定方位サンプリング手法の開発. 文部科学省科学研究費補助金(萌芽研究) 研究代表者(100万円/総額 320 万円).

長大活断層のセグメント区分・地下構造・活動履歴の再検討と大地震予測の総合研究. 文部科学省科学研究費補助金(基盤研究(A)(2)), 研究分担者(研究代表者: 岡田篤正京都大学教授, 40 万円/平成 17 年度分 1370 万円).

海外調査

2005.5-6 エチオピア(中新世化石サイトの探索).

2005.7-8 カナダ(International Fielded Conference and Workshop on Tephrochronology & Volcanism)での研究発表及び巡検参加).

2006.1 台湾(921 地震博物館内のトレンチ展示の修復及び招待講演).

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.4.5,7 第四紀火山岩とテフラの収集. 豊岡市, 香美町, 養父市, 福知山市.

受贈担当資料

旧地質調査所大阪支所所蔵雑誌コレクション 1 式.

整理同定担当資料

第四紀の火山灰・堆積物.

活断層トレンチはぎとり標本などの地震関連資料.

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

2005.5, 「春の石めぐりハイキング - 神鍋山の火山岩 - 」担当 (31 名).

2005.7, 淡路自然環境セミナー「淡路島の大地のなりたち」担当 (8 名).

2005.10, 「秋の石めぐりハイキング - 甲山周辺の岩石 - 」副担当 (33 名).

2006.3 「アフリカの大地に人類進化の謎を探る」担当(16 名). オープンセミナー

2005.7, 「ペーパークラフトで楽しむ大地のふしぎ」, 講師 (35 名).

2005.8, 「観望会 2005 星空を見てみよう(西はりま天文台との共催)」, 企画・補助 (31 名).

2006.1, 「ガーネットでお正月しおりを作ろう」, 講師 (81 名).

2006.1, 「台湾の地震博物館 - 日本人が忘れた教育の心(JICA シニア OV 会との共催)」, 講師 (21 名).

館外講演など

2005.7 夏のアドベンチャー「ひとく博士と行く八チ北高原サマースクール」(主催: Run Run Plaza), 講師 (16 名).

2005.8 パネルディスカッション「地球外生命と人間」パネラー, 地球外生命スペシャル講演会, 西はりま天文台 (70 名).

2005.9 「六甲山の地形・地質と活断層」, 講師, 財団法人ひょうご環境創造協会, 六甲山自然保護センター (27 名).

2005.11 「兵庫県下の活断層と近未来の大地震」, 講師, 平成 17 年度兵庫県阪神シニアカレッジ 2 年生講座 講師, 140 名.

2005.11 「兵庫県下の活断層と近未来の大地震」, 講師, 平成 17 年度兵庫県阪神シニアカレッジ 3 年生講座 講師, 135 名.

2005.12 「アフリカの大地に人類進化の謎を探る」, 講師, 平成 17 年度兵庫県阪神シニアカレッジ 4 年生講座 講師, 150 名.

2005.12 「過去の地球環境を地形や地層から探る」, 平成 17 年度うれしの学園生涯大学 4 年制大学講座第 19 回講座(環境創造コース), 講師, 兵庫県立嬉野台生涯教育センター (74 名).

2006.1 日本人の地震観の変遷. 台湾 921 地震博物館招待講演, 講師, 台湾 921 地震博物館 (50 名).

キャラバン事業

展示作成

2005.8 但馬地区「大沼湿原パネル」, 「化石ジグソーパネル」. セミナー担当

2005.11 淡路地区 あわじサイエンスチャレンジ 2005「第 3 回ひとくセミナー」(主催: 独立行政法人国立青年の家), 講師, 国立あわじ青年の家, 10 名.

学校教育支援

学校団体対応等

2005.12 「兵庫の地質と兵庫県南部地震」講師, 兵庫県立舞子高校 (41 名).

講師派遣等

2005.6 「21 世紀の南海地震を探る」, 環境防災科専門科目「環境と科学」講師, 兵庫県立舞子高校環境防災課 1 年生 (44 名).

2005.6 「液状化と耐震・免震」, 環境防災科専門科目「環境と科学」講師, 兵庫県立舞子高校環境防災課 1 年生 (44 名).

研修生等の受入

博物館実習

2005.8 北里大学水産学部 1 名. 武庫川女子大学文学部 1 名. 大阪教育大学教育学部 1 名.

フェスティバル等

文部科学省補助金「ひとく子ども教室推進事業」, 「ひとくスクール」および「ドリームスタジオ」企画・運営担当者.

2005.4.5 「たんぼぼウィーク」(責任者).

2005.4.5 「たんぼぼ風船を作ろう!(たんぼぼウィークのイベント)」(責任者), 413 名.

2005.4-2006.3 「はくぶつかんの日(計 12 回)」(責任者).

2005.7-8 「サマーナイトセミナー(計 3 回)・ひとくですごす夏休み」(責任者).

2004.10 「ひとくフェスティバル'05」実施責任者(事務局幹事).

2005.1 「ひとくのお正月」(責任者).

展示

企画展

2005.10-11 企画展「はてな?の世界」ミニ展示(分担者, 「地震のはてな?」コーナー作成ほか), フローラ 88 中央広場. 共催企画展

2005.8 ミニ展示 2m 望遠鏡「なゆた」の紹介, 西はりま天文台(博物館側責任者), 人と自然の博物館.

2. シンクタンク事業

収蔵庫・ジーンファームの公開

収蔵庫の案内 4 回, 9 名.

行政等支援
委員会等（計4件）
2005.4 - 2006.3 野島断層活用委員会委員，淡路市教育委員会。
2005.4 - 2006.3 野島断層活用委員会展示更新ワーキンググループ委員，淡路市教育委員会。
2005.4 - 2006.3 兵庫県立舞子高校環境防災課運営協議会委員，兵庫県立舞子高等学校。
2005.4 - 2006.3 平成17年度うれしの学園生涯大学運営委員会委員，兵庫県立嬉野台生涯学習センター。
相談・指導助言
来訪者20件，電話・FAX相談30件，メール相談50件
2005.12 野島断層保存館内の地震断層の補修に関する助言・指導。淡路市教育委員会，淡路市。
2006.1 台湾921地震博物館内のトレンチ展示の修復。台湾国立科学博物館，台中市。
学会開催等支援
2006.1 北淡活断層シンポジウム2006開催，北淡町震災記念公園セミナーハウス，300名。

自然・環境評価研究部
埋蔵自然遺産研究グループ
主任研究員
古谷 裕，Hiroshi FURUTANI
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 助教授。
昭和27年島根県生 名古屋大学大学院学術科博士課程修了 理学博士。日本地質学会，日本古生物学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部
なし
2. 研究開発会議
資料担当，資料審査会座長

<研究開発>

1. 調査研究
特別課題研究（個人研究）
 1. 古生代放散虫の研究
 2. 兵庫県産中・古生代化石に関する研究共同研究
部門研究「兵庫県の中生代化石産地の再検討」，研究代表者。
部門研究「兵庫県産古生代化石の研究」，研究分担者。
その他著作
古谷 裕（2005）超丹波帯，「宝塚大事典」，23-26，宝塚市。
古谷 裕（2005）神戸層群，「宝塚大事典」，27-28，宝塚市。
古谷 裕（2005）街の中の化石，「宝塚大事典」，29-31，宝塚市。
古谷 裕（2006）「古生代の世界」，ハーモニーNo.52，1-2，人と自然の博物館。

Suzuki, D., H. Saegusa, H. Furutani (2005) Newly found hadrosaur fossil co-producing broadleaf fossils from Sumoto, West Central Japan. Journal of Vertebrate Paleontology, Supplement to Number 3:120A.

- 5) 研究発表
鈴木大輔・三枝春生・岸本眞五・古谷裕（2005）兵庫県洲本市より産出したハドロサウルス化石。日本古生物学会2005年年会，東京大学，東京都。

Suzuki, D., H. Saegusa, H. Furutani (2005) Newly found hadrosaur fossil co-producing broadleaf fossils from Sumoto, West Central Japan. 65th Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology, Mesa, Arizona, USA, Oct.19-22.

2. 資料収集・整理

- 資料収集
2005.5-6 企画展関連資料の収集（デボン紀化石など）。岐阜県高山市。
2005.12 企画展用資料の借用。高知県佐川町，越知町。

- 2006.1 企画展用資料の借用。岐阜市。
2006.1 企画展用資料の借用。金沢市，岐阜県高山市。
2006.2 企画展用資料の借用。三木市。
受贈担当資料
2006.3 南部北上山地産古生代化石（吉田浩一氏コレクション）。30点。
2006.3 南部北上山地産古生代化石（増田和彦氏コレクション）。13点。
整理同定担当資料
化石（無脊椎動物，微化石）。

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業
セミナー
館主催セミナー
古谷 裕，2005.4-2006.3，化石工房（顕微鏡で見る化石）（全10回約1000名）。
古谷 裕，2005.7，「化石に親しむ」，有馬富士公園（21名）。
古谷 裕，2005.8，「地層の見方，調べ方」，国立淡路青年の家（30名）。
古谷 裕，2006.2-3，「古生代の放散虫を調べる」，博物館（全3回16名）。
館外講演など
2005.7 第1回「サイエンス・クラブ・ミーティング 2005 in 淡路」講師，国立淡路青年の家（37名）。
2005.8 「化石のレプリカづくり」講師，サンピア明石（40名）。
非常勤講師など
2005.5 「博物館学実習」，神戸学院大学。
2005.8 「地学実験」，関西学院大学。
キャラバン事業
主担当
2005.5 淡路地区 テーマ「ひとはくがやってくる 05 in 南あわじ」
展示作成
2005.5 淡路地区 テーマ「南あわじの化石展」
2005.10 沼島地区 テーマ「淡路島南部の化石」
2005.10 国立淡路青年の家「淡路島南部の化石」
セミナー担当
2005.5 淡路地区 化石発掘体験会（講師・企画）
2005.10 沼島地区 「淡路島南部の地層と化石」（講師）
ミニキャラバン事業
2005.9，兵庫県立大学園都市キャンパス 兵庫県で最近発見された化石とひとはくの取り組み，兵庫県自治学会。
地域研究員養成事業
展示制作
2005.5 淡路地域 南あわじ産化石展示（南あわじ市パルティ，指導・協働）
成果発表
2006.2 共生の広場 「南あわじの化石再発見」，南あわじ地学の会（指導・協働）
学校教育支援
トライやるウィーク
2005.6.9,10 上野台中学校2名。藍中学校1名。
学校団体対応等
2005.4 泉北高校（25名）。
2005.10 峰相小学校6年生（59名）。
2005.10 余部小学校6年生（62名）。
2005.11 すずかけ台小学校6年生（130名）。
2005.11 高丘東小学校6年生（54名）。
2005.11 西紀小学校6年生（16名）。
2005.12 福住小学校6年生（11名）。
2005.12 三日月小学校6年生（35名）。
2006.2 東山台小学校6年（26名）。
フェスティバル等
2005.10 ひとはくフェスティバル，「地学系収蔵庫探検ツアー」（分担者）。
展示
企画展
2005.3.12-6.12 企画展「神戸の植物化石～堀 治三朗・高岡

得太郎コレクション展〜」(分担者).
2006.2.18 - 2006.6.11 企画展「古生代の世界」(責任者).
2. シンクタンク事業
収蔵庫・ジーンファームの公開
地学系収蔵庫等の案内, 8回, 120名.
行政等支援
相談・指導助言
来訪者5件, 10名. 電話・FAX相談5件, メール相談2件.
2005.8 夏休み理科相談室, 化石, 岩石担当.

自然・環境評価研究部
埋蔵自然遺産研究グループ/シンクタンク事業室
研究員

三枝 春生, Haruo SAEGUSA
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学部門 助手.
昭和33年東京都生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了.
理学博士. 日本古生物学会, 日本地質学会, 日本人類学会,
Society of Vertebrate Paleontology, 化石研究会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部シンクタンク事業室
パブリケーション担当
2. 研究開発会議
なし

<研究開発>

1. 調査研究
特別課題研究(個人研究)
 1. 後期新生代の長鼻類の系統進化に関する研究
 2. 東および東南アジアの第三紀哺乳動物群の研究共同研究
部門研究「兵庫県の中生代化石産地の再検討」, 研究分担者
論文・著書
Kunimatsu, Y., B. Ratahanstien, H. Nakaya, H. Saegusa, S. Nagaoka, Y. Suganuma, A. Fukuchi and B. Udomkan (2005) An additional specimen of a large-bodied Miocene hominoid from Chiang Muan, northern Thailand. *Primates*, 46: 65-69.
Kunimatsu, Y., B. Ratahanstien, H. Nakaya, H. Saegusa, and S. Nagaoka (2005) Hominoid fossils discovered from Chiang Muan, northern Thailand: the first step towards understanding hominoid evolution in Neogene Southeast Asia. *Anthropological Science*, 113: 85-93.
三枝春生(2005)日本産化石長鼻類の系統分類の現状と課題. 化石研究会誌, 38:78-89.
その他著作
三枝春生(2005) レッキゾウ (*Elephas recki*) の研究におけるナウマンゾウの重要性. 化石研究会誌, 38:65-66.
Saegusa H. (2005) Jaw movements and the wear facets of proboscideans. Abstracts of the Plenary, Symposium, Poster and Oral Papers presented at Ninth International Mammalogical Congress Roles of Mammalogy on Coexistence of Wild Mammals and Human: Sapporo, Hokkaido, Japan:26.
Saegusa H. (2005) Dwarf *Stegolophodon* from the Miocene of Japan. Abstracts of the Plenary, Symposium, Poster and Oral Papers presented at Ninth International Mammalogical Congress Roles of Mammalogy on Coexistence of Wild Mammals and Human: Sapporo, Hokkaido, Japan:290.
Takahashi, K., M. P. Ferretti, H. Saegusa and J. Shoshani (2005) Hyoid morphology in longirostrine and brevirostrine proboscideans: adaptive and phylogenetic aspect. Abstracts of the Plenary, Symposium, Poster and Oral Papers presented at Ninth International Mammalogical Congress Roles of Mammalogy on Coexistence of Wild Mammals and Human: Sapporo, Hokkaido, Japan:221.
Nakaya, H., H. Saegusa, S. Nagaoka, B. Ratanasthien, Y. Kunimatsu, S. Tanaka, A. Fukuchi, & P. Jintaskul (2005)

Neogene mammalian biostratigraphy of South East Asia. Abstracts of the Plenary, Symposium, Poster and Oral Papers presented at Ninth International Mammalogical Congress Roles of Mammalogy on Coexistence of Wild Mammals and Human: Sapporo, Hokkaido, Japan:281.

三枝春生・鏗本武久・田中里志(2005)神戸層群産哺乳類化石の追加標本. 日本地質学会第112年学術大会講演要旨:151.
Suzuki, D., H. Saegusa, H. Furutani (2005) Newly found hadrosaur fossil co-producing broadleaf fossils from Sumoto, West Central Japan. *Journal of Vertebrate Paleontology*, Supplement to Number 3:120A.

Kunimatsu, Y., B. Ratahanstien, H. Nakaya, H. Saegusa, S. Nagaoka, Y. Suganuma, A. Fukuchi and B. Udomkan (2005) Primate evolution in the Neogene Southeast Asia: recent discoveries of hominoid fossils in Thailand. *The Natural History Journal of Chulalongkorn University*:21-27.

三枝春生(2006)エチオピアで見つかったナウマンゾウの祖先. ハーモニ, 52号, 5.

研究発表

三枝春生(2005)レッキゾウ (*Elephas recki*) の研究におけるナウマンゾウの重要性. 第23回化石研究会総会・学術大会, 京都教育大学, 京都市.

Saegusa, H. and H. Gilbert (2005) Cranial materials of *Elephas (Palaeoloxodon) recki* from the Daka Member, Middle Awash, Ethiopia and their relevance to the dispersal and speciation of Eurasian *Palaeoloxodon*. 日本古生物学会2005年年会, 東京大学, 東京都.

鈴木大輔・三枝春生・岸本眞五・古谷裕(2005)兵庫県洲本市より産出したハドロサウルス化石. 日本古生物学会2005年年会, 東京大学, 東京都.

Saegusa H. (2005) Dwarf *Stegolophodon* from the Miocene of Japan. 9th International Mammalogical Congress, Sapporo, Japan, aug1-5.

Saegusa H. (2005) Jaw movements and the wear facets of proboscideans. 9th International Mammalogical Congress, Sapporo, Japan, aug1-5.

Nakaya, H., H. Saegusa, S. Nagaoka, B. Ratanasthien, Y. Kunimatsu, S. Tanaka, A. Fukuchi, & P. Jintaskul (2005) Neogene mammalian biostratigraphy of South East Asia. 9th International Mammalogical Congress, Sapporo, Japan, aug1-5.

Takahashi, K., M. P. Ferretti, H. Saegusa and J. Shoshani (2005) Hyoid morphology in longirostrine and brevirostrine proboscideans: adaptive and phylogenetic aspect. 9th International Mammalogical Congress, Sapporo, Japan, aug1-5.

三枝春生・鏗本武久・田中里志(2005)神戸層群産哺乳類化石の追加標本. 日本地質学会第112年学術大会, 京都大学, 京都市.

Suzuki, D., H. Saegusa, H. Furutani (2005) Newly found hadrosaur fossil co-producing broadleaf fossils from Sumoto, West Central Japan. 65th Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology, Mesa, Arizona, USA, Oct.19-22.

福地 亮・Benjavun RATANASTHIEN・仲谷英夫・三枝春生・國松 豊・田中里志・長岡信治・菅沼悠介・鈴木茂之(2006)タイ王国, チェンムアン炭坑から産出する脊椎動物化石とその産出層準. 日本古生物学会第155回例会, 京都大学, 京都市.

学会役員など

日本地質学会, 古生物部会委員.

化石研究会, 運営委員.

化石研究会誌, レフェリー, 化石研究会.

助成を受けた研究

後期中新世の旧世界における長鼻類の進化. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代表者(金額180万円/350万円).

アジア地域におけるオナガザル上科の進化に関する古生物学的研究. 文部科学省科学研究費基盤研究(B), 研究分担者(金額36万円/160万円).

海外調査 2005.8-9 ケニア・エチオピア.

2005.11-12 ミャンマー・タイ.

2. 資料収集・整理

資料収集

- 2005.4 スナメリの骨格収集・御津町。
2005.11 大阪層群産動物化石の収集・五色町
2006.1 骨格の授受・姫路市。
2006.3 和泉および大阪層群産動物化石の収集・南あわじ市。
受贈担当資料
2005.7 ナウマンゾウ大腿骨破片、1点。
整理同定担当資料
脊椎動物化石。

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

- 三枝春生,(責任者・分担),2005.4-2006.3,「実演!! 化石工房:タイ王国産ゾウ化石」,博物館(全11回,130名)。
三枝春生,(分担)2005.5,「企画展講座 神戸層群の化石の世界」,博物館(50名)。
三枝春生,(分担)2005.7,徹底解説ニホンジカ 進化・形態・生理・生態そして社会的課題,シカ類の進化と形態(43名)。
三枝春生,(分担)2005.7,徹底解説ツキノワグマ 進化・形態・生理・生態そして社会的課題,ツキノワグマの進化と形態(38名)。
三枝春生,2005.7,歯のレプリカを造りながら学ぶ動物の進化(17名)。
三枝春生・長谷川太一,2005.8,夏季教職員セミナー「比較骨学パート2」,博物館(11名)。
三枝春生,2005.10,人類とゾウの700万年(7名)。

共催セミナー

- 三枝春生,2005.9,「六甲山学,六甲山周辺で見つかるゾウ,サイの化石」,講師,大学連携「ひょうご講座:六甲山学」,兵庫県立大学生涯学習センター(24名)。

館外講演など

- 2005.10 神戸にサイがいた頃,講師,兵庫県阪神シニアカレッジ(200名)。
2005.10 人類とゾウの700万年,講師,兵庫県阪神シニアカレッジ(100名)。
2006.1 神戸にサイがいた頃,講師,兵庫県阪神シニアカレッジ(100名)。

キャラバン事業

展示作成

- 2005.5 淡路地区 化石発掘体験会(講師)
ミニキャラバン事業
2005.9,兵庫県立大学園都市キャンパス,兵庫県で最近発見された化石とひとつの取り組み,兵庫県自治学会。

地域研究員養成事業

セミナー担当

- 2005.7 淡路自然環境セミナー 淡路島にいたゾウと恐竜(講師)

学校教育支援

トライやるウィーク

- 2005.6.9-10 上野台中学校2名・藍中学校1名。

学校団体対応等

- 2005.7 「収蔵庫・展示見学」兵庫教育大学自然系学部生・院生(26名)。

- 2005.11 「化石工房説明」大阪府立北野高校 スーパーサイエンスコース1年(17名)。

- 2006.2 「一階展示室,人類の進化解説」西宮市立東山台小学校6年生(26名)。

講師派遣等

- 2005.3 「化石発掘体験広場」,講師,弥生が丘小学校6年生(60名)。

フェスティバル等

- 2005.10 ひとつはフェスティバル,「地学系収蔵庫探検ツアー」(分担者)。

- 2005.10 ひとつはフェスティバル,「実演!化石工房スペシャル」(責任者)。

展示

企画展

- 2005.3.12-6.12 企画展「神戸の植物化石~堀 治三朗・高岡 得太郎コレクション展~」(分担者)。

- 2006.2.18-6.11 企画展「古生代の世界」(分担者)。

2. シンクタンク事業

収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内,8回,120名。

行政等支援

相談・指導助言

来訪者4件,4名。電話・FAX相談2件,メール相談2件。

2005.6 NHK放送番組作成にかかわる情報提供,NHK。

学会開催等支援

2005.4-8. 9th International Mammalogical Congress, Symposium S05: Tethytheria: Recent taxonomic and natural history findings. Convener.

2005.7 日本古生物学会2005年年会,古脊椎動物の部,座長。

2005.9 日本地質学会代112年学術大会,脊椎動物化石セッション,世話人・座長。

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ

主任研究員

半田 久美子, Kumiko HANDA

昭和45年栃木県生。大阪市立大学理学研究科前期博士課程修了。理学修士。日本植生史学会,日本花粉学会,日本第四紀学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部

なし

2. 研究開発会議

研究担当

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究(個人研究)

1. 新生代における植生・植物相の変遷史

2. 花粉の形態分類学的研究

共同研究

部門研究「兵庫県北部の自然環境の評価と活用に関する研究 - 大沼湿原と周辺地域における古環境の復元と評価 - 」,研究分担者。

その他著作

半田久美子・加藤茂弘・八木 剛・佐藤裕司・兵頭政幸・中村俊夫(2005) 兵庫県北部,大沼湿原における5万年前以降の植生変遷。日本花粉学会第46回大会講演要旨集,31。

Katoh, S., Hyodo, M., Nakamura, T., Sato, H., Handa, K., Yagi, T. (2005) Paleoenvironmental changes during the last 50,000 years reconstructed from the moor deposits at Ohnuma in the Chugoku Mountains, Western Japan. Alloway, B.V., Froese, D.G. & Westgate, J.A. (editors) 2005: Proceedings of the International Field Conference and Workshop on Tephrochronology & Volcanism: Dawson City, Yukon Territory, Canada July 31st-August 8th, 2005 Institute of Geological & Nuclear Sciences science report 2005/22, 69p., pp.43.

加藤茂弘・半田久美子・兵頭政幸・佐藤裕司・中村俊夫・山下 透・檀原 徹(2006) 中国山地東部の大沼湿原堆積物に挟まれるテフラの対比と推定噴出年代。名古屋大学加速器質量分析計業績報告書(), 名古屋大学年代測定総合研究センター, 77-90。

研究発表

半田久美子・加藤茂弘・八木 剛・佐藤裕司・兵頭政幸・中村俊夫(2005) 兵庫県北部,大沼湿原における5万年前以降の植生変遷。日本花粉学会第46回大会,千葉経済大学,千葉市。

半田久美子・加藤茂弘・佐藤裕司・兵頭政幸・中村俊夫(2006) 中国山地東部,大沼湿原における3.8万年前以降の植生変遷(予

察). 第 18 回名古屋大学年代測定総合研究センターシンポジウム, 名古屋大学, 名古屋市.

加藤茂弘・半田久美子・兵頭政幸・佐藤裕司・中村俊夫 (2006.1) 大山中・上部火山灰層中のテフラの広域分布と推定噴出年代: 大沼湿原の堆積物からの検討. 第 18 回(2005 年度)名古屋大学年代測定総合研究センターシンポジウム, 名古屋大学.

Katoh, S., Hyodo, M., Nakamura, T., Sato, H., Handa, K., Yagi, T. (2005.8) Paleoenvironmental changes during the last 50,000 years reconstructed from the moor deposits at Ohnuma in the Chugoku Mountains, Western Japan. International Field Conference and Workshop on Tephrochronology & Volcanism, Dawson City, Yukon Territory, Canada.

学会役員など
日本花粉学会, 監事.

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.4-2006.3 神戸層群産植物化石の収集. 神戸市西区, 北区, 須磨区, 吉川町.

受贈担当資料

2005.6 神戸層群昆虫化石, 1 点.

2005.6 南淡町産化石, 5 点.

2005.6 神戸層群産珪化木, 9 点.

2005.9 岩手県産植物化石, 1 点.

整理同定担当資料

新生代植物化石.

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

半田久美子, 2005.4-2006.3, 「実演!! 化石工房 植物化石のクリーニング」, 博物館 (全 10 回, 250 名).

半田久美子, 2005.5, 「植物化石採集会」, 神戸市北区 (29 名).

半田久美子, 2005.5, 「植物化石クリーニング講座」, 博物館 (15 名).

半田久美子, (企画) 2005.5, 「企画展講座 神戸層群の化石の世界」, 博物館 (50 名).

半田久美子, 2005.6, 「植物化石の名前を調べよう」, 博物館 (11 名).

館外講演など

半田久美子, 2005.11 「神戸層群産植物化石採集会」, 講師, 赤穂鉱物化石探査会, 神戸市北区 (15 名).

キャラバン事業

展示作成

2006.2 学校キャラバン (神戸層群の植物化石)

セミナー担当

2005.5 淡路地区 化石発掘体験会 (講師・企画)

2006.2 学校キャラバン 植物化石採集会 (講師)

学校教育支援

トライやるウィーク

2005.6.9-10 上野台中学校 2 名・藍中学校 1 名.

学校団体対応等

2005.12 「地層と化石の話」, 講師, 明石市立花園小学校, 6 年生 (93 名).

講師派遣等

2005.8 「神戸層群の地層と化石の観察」, 講師, 東播磨小学校理科教職員研修 (80 名).

フェスティバル等

2005.10 ひとつはくフェスティバル, 「地学系収蔵庫探検ツアー」(責任者).

2005.10 ひとつはくフェスティバル, 「実演! 化石工房スペシャル」(分担者).

展示

企画展

2005.3.12-6.12 企画展「神戸の植物化石~堀 治三朗・高岡得太郎コレクション展~」(主担当).

2006.2.18-6.11 企画展「古生代の世界」(分担者).

2. シンクタンク事業

行政等支援

相談・指導助言

来訪者 5 件, 10 名. 電話・FAX 相談 10 件, メール相談 10 件.

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ / 生涯学習事業室

主任研究員

松原 尚志, Takashi MATSUBARA

昭和 43 年宮城県生. 東北大学大学院理学研究科博士課程(後期)

単位取得退学. 学術博士(理学). 日本地質学会, 日本古生物学会, 日本貝類学会, Paleontological Society (U.S.A.) 所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部生涯学習事業室

セミナー事業のマネジメント

季刊セミナーガイド 2005 年度夏号~2006 年度春号編集

ひとつはく手帖(セミナーガイド) 2006 年度版編集

2. 研究開発会議

なし

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究(個人研究)

1. 西南日本の古第三系の層序および貝類化石群に関する研究

2. 新生代貝類の分類・古生態・古生物地理に関する研究

3. 第四紀の古環境に関する研究

共同研究

部門研究「兵庫県の中生代化石産地の再検討」, 研究分担者. 論文・著書

Irizuki, T., Matsubara, T. and Matsumoto, H. (2005) Middle Pleistocene Ostracoda from the Takatsukayama Member of the Meimi Formation, Hyogo Prefecture, western Japan: significance of the occurrence of *Sinocytheridea impressa*. Paleontological Research, 9, 37-54.

Yamaguchi, T., Matsubara, T. and Kamiya, T. (2005) Eocene ostracodes from the Iwaya Formation on Awajishima Island, southwestern Japan. Paleontological Research, 9, 305-318.

その他著作

松原尚志(2005) コレクション紹介「日本遠征記」 Narrative of the Expedition of an American Squadron to the China Seas and Japan, performed in the Years 1852, 1853, and 1854, under the Command of Commodore M.C. Perry, United States Navy, by Order of the Government of the United States. ハーモニー, (49), 7.

松原尚志(2005) 千葉県天津小湊町小湊沖の海底から引き上げられたトウキョウホタテ(二枚貝綱)のAMS¹⁴C年代. 日本地質学会第 112 年学術大会講演要旨, 145.

松原尚志(2005) ひとつはくキャラバン in 阪神南/西宮市貝類館第 7 回特別展「日本列島をめぐる海の変遷~貝化石でたどる 3000 万年~」展示解説パンフレット, 4p., 西宮市貝類館, 西宮.

Matsubara, T. and Ugai, H. (2006) Paleocology and taxonomy of Middle Eocene molluscs from the Shiratake Formation on Takeshima Island, Amakusa Islands, southwest Japan. Bulletin of the Goshoura Cretaceous Museum, (7), 1-17.

研究発表

松原尚志(2005) 長崎県の始新統伊王島層産 *Cardium* (*Cerastoderma*) *hizenense* Nagao, 1928 (二枚貝綱) の分類学的位置. 日本古生物学会 2005 年年会, 東京大学.

松原尚志・大原健司(2005) 千葉県天津小湊町小湊沖の海底から引き上げられたトウキョウホタテ(二枚貝綱)のAMS¹⁴C年代. 日本地質学会第 112 年学術大会, 京都大学.

松原尚志・鶴飼宏明(2006) 熊本県天草諸島鳥島に分布する

中部始新統白嶽層の貝類化石群 .日本古生物学会第 155 回例会 , 京都大学 .

学会役員など

2005.10.Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology (Elsevier, Amsterdam), レフェリー .

2005.9- IXth International Congress on Pacific Neogene Stratigraphy, 実行委員 .

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.11 中新世貝類化石, 岩手県 .

受贈担当資料

2005.9 石川県金沢市大桑産貝化石, 2 点 .

整理同定担当資料

中~新生代貝類化石資料 .

森下 晶博士寄贈文献資料 .

池邊展生博士寄贈文献資料 .

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

松原尚志, 2005.4 - 2005.7, 「実演!!化石工房 ひょうごの貝化石」 (全 5 回, 96 名).

松原尚志, 2005.4, 「企画展ギャラリートーク」 (10 名).

松原尚志, 2005.5, 「神戸層群の概要と最近の研究成果」. 企画展講座「神戸層群の化石の世界」 (24 名).

松原尚志, 2005.7, 「化石標本の作り方」 (23 名).

松原尚志, 2005.8, 「化石のレプリカをつくろう!」 (17 名).

黒田武彦・内藤博之・加藤茂弘・佐藤裕司・先山 徹・松原尚志, 2005.8, 「星空観望会」 (31 名).

松原尚志, 2005.10 - 2006.2, 「実演!!化石工房 九州の貝化石」 (全 5 回, 85 名).

松原尚志, 2006.1, 研究トピックス展解説「淡路島で見つかった 3700 万年前の貝形虫化石」 (16 名).

館外講演など

松原尚志 2005.10, 11 キャラバンセミナー「化石巻貝ピカリアのレプリカをつくろう!」. 西宮市西宮浜公民館 (全 4 回, 61 名).

キャラバン事業

主担当

2005.10-11 阪神南地区 テーマ「日本列島をめぐる海の変遷~貝化石でたどる 3000 万年~」

展示作成

2005.4 あわじ地域 テーマ「南あわじの化石展」, 展示作成分担 .

2005.8 但馬地域 テーマ「化石と大地の環境学習」, 展示作成分担 .

セミナー担当

2005.5 淡路地区 化石発掘体験会 (講師)

2005.10, 11 阪神南地域「化石巻貝ピカリアのレプリカをつくろう!」 (4 回) (講師・企画運営)

学校教育支援

学校団体対応等

2005.8.5 伊吹山小学校研修会 (10 名).

研修生等の受入

博物館実習

2005.8.16 北里大学水産学部 1 名. 武庫川女子大学文学部 1 名. 大阪教育大学教育学部 1 名.

フェスティバル等

2005.10 ひとつはくフェスティバル, 「地学系収蔵庫探検ツアー」 (分担者).

2005.10 ひとつはくフェスティバル, 「実演!化石工房スペシャル」 (分担者).

展示

企画展

2005.3.12 - 2005.6.12 「神戸の植物化石」 (分担者).

ミニ企画等

2006.1.8 - 2006.1.22 研究トピックス展「淡路島で見つ

た 3700 万年前の貝形虫化石」 (責任者).

2. シンクタンク事業

収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫の案内, 6 回, 18 名 .

行政等支援

相談・指導助言

来訪者 13 件, 15 名. 電話・FAX 相談 12 件. メール相談 36 件 .

展示の部分更新に関する指導・協力・助言, 神戸市立森林植物園 .

化石産地の教育的活用に関する現地指導・助言, 二戸市シビックセンター .

収蔵資料の活用に関する指導, 香川大学工学部 .

学会開催等支援

2005.7 日本古生物学会 2005 年年会, 古生態の部-2, 座長 .

自然・環境評価研究部

昆虫共生系研究グループ/ 研究開発会議

主任研究員

中西 明德, Akinori NAKANISHI

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門 教授 .

昭和 18 年兵庫県生 . 九州大学農学部卒業 . 日本昆虫学会, 日本鱗翅学会, 国際鱗翅学会, 熱帯鱗翅学会等所属 .

<事業推進>

1. 事業部での配属室

スクールパートナー推進室室長

2. 研究開発会議

なし

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究 (個人研究)

1. タテハチョウ科の高次分類群の系統関係の解明

2. 兵庫県の昆虫相の多様性の起原と保全に関する研究

3. チョウと共生する街づくりの実現

4. 熱帯雨林のチョウ類の多様性

論文・著書

List of Butterflies collected in Lower Segama Region. Report on Insect Inventory Project in Tropical Asia (TAIIV, 2005, 19-22).

その他著作

サバ州タビンのチョウ相, 昆虫と自然, Vol.41, No.1, 15-18 (2006).

研究発表

マレーシア・サバ州で最近発見されたウラナミジヤノメについて (2005, 12). 日本昆虫学会九州支部大会 (大分).

2. 資料収集・整理

受贈担当資料

佐藤英次フタオチョウコレクション (第 3 次分) . 東南アジアおよびアフリカ産フタオチョウ . 310 点 .

和田コレクション (Vindula 属のチョウ 183 点) .

整理同定担当資料

収蔵チョウ類標本の同定整理: 収蔵されている, 多数のチョウ類標本を, 展示・普及などに活用するために同定整理を行い, データベース化を進め画像を撮った . 本年度は, 主として柴谷篤弘コレクションの内オーストラリア, ニューギニア, タスマニア, ニュージーランドなどオーストラリア地域産のチョウ類の標本の整理を行い, キャラバンへ出品できる態勢がほぼ出来た .

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

中西明德・内藤親彦, 2005.5, ハチらしくないハチ: ハバチ学入門, 博物館・有馬富士公園 .

中西明德, 2004.6, 兵庫の自然(昆虫シリーズ)より, 博物館.
中西明德, 2004.10, 食べる昆虫学に挑戦, 博物館.
中西明德・嶽山 洋志・八木 剛, チョウの翅でオリジナルシールをつくらう!. ミニセミナー担当: 3校, 3回.

キャラバン事業

2005.7.20 -8.21, 北はりま田園空間博物館(北はりまと世界の昆虫展)展示 兵庫の昆虫 36箱(藤原 進氏に依頼). 博物館より世界のチョウ・甲虫 36箱出品. 地元の子供と親による昆虫採集会・昆虫標本製作会を二回, 展示用標本製作会(同定, 及びラベル製作)を一回実施, 成果を中型標本箱 30箱で展示, 14日間.

ミニキャラバン事業

2005.3.-4, 小野市うるおい交流館, モルフォチョウ(18箱)出品展示.

その他展示

2005.10 大阪大学 構造色シンポジウム 構造色を表すチョウ類を 18箱展示.

2. シンクタンク事業

行政等支援

委員会等(計3件)

2005.4-2006.3 サバ州生物多様性保全プログラム国内支援委員会, 国際協力機構.

2005.7-2006.3 S S H(スーパーサイエンスハイスクール, 神戸高校)運営指導委員会, 委員.

2005.7-2006.3 瀬川・氷ノ山林道周辺自然活用マスタープラン検討委員会.

自然・環境評価研究部

昆虫共生系研究グループ

主任研究員

橋本 佳明, Yoshiaki HASHIMOTO

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類部門 助教授.
昭和31年大阪府生. 神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了. 学術博士, 昆虫学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

人博共生生物学事業サブプロジェクトにおいて, マレーシア国立サバ大学で2005年度長期専門家を担当

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究(個人研究)

1. 膜翅目昆虫(アリ類等)の系統分類学的研究

2. 熱帯雨林生物多様性に関する研究

3. 昆虫を素材にした環境教育システムの研究

4. 共生生物学

論文・著書

Yoshiaki HASHIMOTO, Yuko Morimoto & Erwin S. WIDODO (2005) Vertical Distribution Pattern of Ants in a Bornean Tropical Rainforest (Hymenoptera: Formicidae). *Sociobiology* 47 (3), 697-710.

EGUCHI, K., HASHIMOTO, Y. & MALSCH, A. K. F. (2006) Pheidole Schoedli sp. n. (Hymenoptera: Formicidae), a Subterranean Species found from North Borneo. *Myrmecologische Nachrichten* 8:31-34.

その他著作

Yoshiaki Hashimoto (2005) Museum Role to Integrate People in Biodiversity Conservation. *Proceeding of BBEC Conference 2004*, 105-110.

Yoshiaki Hashimoto (2005) Overview of Inventory design. *INVENTORY & COLLECTION II - Total protocol for understanding of biodiversity*, UMS pres.12-18.

Yoshiaki Hashimoto (2005) Collection Data Management. *INVENTORY & COLLECTION II - Total protocol for understanding of biodiversity*, UMS pres. 24-30.

Yoshiaki Hashimoto (2005) *Ants: Identification Guide to*

the Ant Genera of Borneo. *INVENTORY & COLLECTION II - Total protocol for understanding of biodiversity*, UMS pres. 95-160.

Yoshiaki Hashimoto (2005) Multimedia materials management. *Multimedia Data-base Management*, UMS pres.27-42.

研究発表

Yoshiaki Hashimoto (2005)「Vertical Distribution Pattern of Ants in a Bornean Tropical Rainforest」ANeT 5th conference, UKM, マレーシア.

橋本佳明・遠藤知二 (2005) マレーシア・サバ州の低地熱帯林にみられるアリ形グモの行動と形態. 日本動物行動学会, 国際基督教大学.

学会役員など

DIPWA Network for Establishment of Ant Reference Collections (ANeT) 評議委員.

助成を受けた研究

アリ類の種多様性はアリグモ類の種多様性の鏡型となっているか? 熱帯林でのアリ・アリグモ共生系の解明 文部科学省科学研究費萌芽の研究, 研究代表者(金額 130万円/360万円).

海外調査

2005.8 マレーシア・サバ州.

2005.12 マレーシア・KL.

2006.2 マレーシア・サバ州.

学会賞等

日本昆虫学会2005年「あきつ賞」受賞

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.8 アリ類の採集. マレーシア・サバ州.

2005.12 アリ類の採集. マレーシア・KL.

2006.2 アリ類の採集. マレーシア・サバ州.

整理同定担当資料

常木, 岩田, 坂上ハチ類原図コレクション. 1500点.

岩田・坂上フィールドノート類. 800点.

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

橋本佳明, 2005.7, ボルネオジャングル体験スクール(30名).

館外講演など

2005.6 「痛快環境トーク エコレンジャーアジアをいく」, NHK教育公開収録 NHK 渋谷ふれいあいホール (200名).

2006.2 「MULTIMEDIA DATABASE IS A TOOL FOR BIODIVERSITY AWARENESS」, BBEC Conference 05, マレーシア.

非常勤講師など

2005.8 「保全生態学」, マレーシア国立サバ大学.

学校教育支援

講師派遣

2005.6 「生命の宝庫ボルネオ島」, 講師, マレーシア国サバ州日本人学校(中・小学生 40名).

2005.8. 「NHK未来への航海」, NHK教育収録 マレーシア国サバ州ダナムバレー・講師, (アジア各国の中学生 40名).

2. シンクタンク事業

行政等支援

委員会等(計2件)

2004.3-05.8 「NHK未来への航海」企画・選考委員会, 委員, NHK.

2004.3-2006.3 国際協力事業団, 専門家.

相談・指導助言

テレビ取材 3件

3. 特別プロジェクト

サブプロジェクト

2005年度の国際協力事業団(JICA)「ボルネオ島生物多様性・生態系保全プログラム協力」長期専門家としてサバ大学に赴任

- 2005.10 人と自然の会「エコ楽会」ボルネオジャングルツウ
一実施
2005.8 NHK 未来への航海・企画・実施・出演
2005.11 マレーシア国立博物館で「生物多様性」特別展実施。

昆虫共生系研究グループ

研究員

沢田 佳久, Yoshihisa SAWADA
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類部門 助手。
昭和 34 年京都府生。九州大学大学院農学研究科修了。農学博
士。日本昆虫学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部シンクタンク事業室

資料活用担当

2. 研究開発会議

なし

<研究開発>

1. 調査研究

その他著作

宝塚市大辞典編集委員会(2005)宝塚市大辞典。大阪書籍,
大阪。

林長閑ら(2005)日本産幼虫図鑑。学研,東京。

研究発表

沢田佳久(2005)キイロチョッキリに関する知見。日本昆虫
学会大 65 回大会,岡山大学,倉敷。

各学会役員など

日本昆虫,電子化推進委員。

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.4 新葉食性昆虫の採集。朝来市など,京都府,福井県。

2005.6-12 湿地性昆虫の採集。社町。

2005.9 ハイロチョッキリ等の採集。三田市,上月町等,
受贈担当資料

2005.6 コルリクビソハムシ・パラタイプ(鈴木コレクション)
の。4 点。

2005.5 甲虫標本(畑中コレクション)。約 800 点。

整理同定担当資料

昆虫(鞘翅目,半翅目)。

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

沢田佳久,2005.5-9,「もいちどは始める昆虫採集」,博物館
(全 4 回,5 名)。

沢田佳久,2005.5,「深田公園オトシブミ観察会」,博物館
(40 名)。

沢田佳久,2005.8,「土の中のむし」,博物館 (20 名)。

沢田佳久,2005.10,「虫の体を調べよう」,博物館 (10 組)。

沢田佳久,2005.11,「立体写真撮影入門」,博物館 (全 2
回,10 名)。

沢田佳久,2006.1,「ゾウムシ学序論」,博物館 (40 名)。

大谷剛ら,2005.7,「コウチュウ・ハチ・アブの標本づくり
体験」,博物館 (15 名)。

大谷剛ら,2005.7,「チョウ・ガの標本づくり体験」,博物館
(15 名)。

足立勲ら,2005.6-7,「昆虫の採集と標本づくり」,博物館
(15 名)。

キャラバン事業

展示作成

2005.4-2006.2 各地 昆虫標本(甲虫)

セミナー担当

2005.7 東播磨 明石公園自然探検隊(講師)

展示

企画展

2006.2.18- 企画展「古生代の世界」(分担者)。

2. シンクタンク事業

収蔵庫・ジーンファームの公開

収蔵品標本調査協力,5 回,5 名。

行政等支援

相談・指導助言

来訪者約 30 件,約 30 名。電話・FAX 相談約 10 件,メール
相談約 50 件。

自然・環境評価研究部

昆虫共生系研究グループ

主任研究員

八木 剛, Tsuyoshi YAGI

昭和 43 年大阪府生。神戸大学大学院農学研究科修士課程修了。農
学修士。日本昆虫学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部

2. 研究開発会議

研究担当:和文紀要「人と自然」16 号編集長

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究(個人研究)

1. 昆虫分布の解釈に関する研究

2. 兵庫県の昆虫相の特性に関する研究

共同研究

部門研究「兵庫県北部の自然環境の評価と活用に関する研究」
八千北高原における生物とその生育環境の評価」,研究代表者。

その他著作

八木 剛・足立 勲・藤井優恵・三好百合子(編)(2006)み
やまあかねとすてきなななかまたち,兵庫県立人と自然の博物館,
64pp。

宝塚市大辞典編集委員会(2005)宝塚市大辞典,大阪書籍,
大阪。

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.5-2005.7 ヒメボタル等。川西市,三田市,香美町,青
森県,岩手県,長崎県,京都府。

2005.5-2005.10 昆虫類。三田市,神戸市,宝塚市,養父市。

整理同定担当資料

雑昆虫。

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

八木 剛,2005.4-2006.3,「ユース昆虫研究室」,神戸市立森
林植物園・博物館 (全 15 回,177 名)。

八木 剛,2005.11-2006.1,「昆虫科学スペシャル講座」,神
戸学習プラザ (全 10 回,395 名)。

八木 剛,2005.5-10,「トンボとりインストラクター養成
講座」,三田市立有馬富士自然学習センター (全 5 回,13 名)。

八木 剛,2005.4-12,「姫螢 189 研究会」,博物館・川西市・
丹波市山南町 (全 6 回,55 名)。

八木 剛・足立 勲,2005.10,「みやまあかねハイキング」,芦
屋市奥池 (36 名)。

布施静香・高野温子・高橋晃・八木剛,2006.1,「生物系収蔵庫
ツアー博物館」,博物館 (17 名)。

八木 剛,2005.5-6,「レッツ・チャレンジ~自然環境調査入門
~身近な環境を調査しよう~三田のホテルを調べる~」,博物館
(全 2 回,29 名)。

八木 剛・足立 勲,2005.8,夏期教職員セミナー「授業に役
立つ生き物調査法 理論と実践」,香美町立兎塚小学校 (13 名)。

八木 剛, 2006.1, 「昆虫少年のお正月」, 博物館。
八木 剛, 2005.8, 「昆虫標本づくり実演」, (2回)。
館外講演など
2005.6-8 「ひとはく博士と行く八チ北高原サマースクール」,
ひとはく連携活動グループ run run plaza プラザ, 博物館・八チ北高原 (全5回)。
2005.8 「サマーアドベンチャーin 奥米地」, 養父市立養父
公民館, (35名)。
2005.9 「事例報告」, 博物館ボランティアの集い。北海道開
拓の村・北海道大学高等教育機能開発総合センター。
2005.10 「赤とんぼコンサート」, 神戸市立小部小学校育友会。
2005.10 相生山緑地(大川先生座談会), 名古屋大学。
2005.12 「幼虫調査にあたって」, 相生山緑地ヒメボタル幼虫
調査実行委員会, 名古屋(60名)。
2005.12 「幼虫調査報告」, 相生山緑地ヒメボタル幼虫調査実
行委員会, 名古屋(60名)。
2005.12 博物館ボランティアコーディネーター養成講座, コ
ーディネーター, 兵庫県博物館協会, 兵庫県立歴史博物館。
2006.2 「事例報告」, 第5回ボランティアコーディネーター
研究集会 in とくしま, 徳島県社会福祉協議会。
2006.2 兵庫トンボ研究会総会。
2006.3 三田市環境セミナー「三田のすてきな生きものたち」,
ウディタウン市民センター, 三田(15名)。
2006.3 文化ボランティア全国フォーラム, 事例報告ナビゲ
ーター, 国立女性教育会館, 埼玉(210名)。
非常勤講師など
2005.6 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学。
キャラバン事業
展示作成
2005.7-2005.8 北播磨地域 テーマ「北播磨と世界の昆虫た
ち展」
2005.7 北播磨地域 子ども達が制作した昆虫標本, ビデオ
上映(昆虫採集1~3, 昆虫標本のつくり方)
セミナー担当
2005.7 北播磨地域 虫取りと標本づくり2回目(その1)。
(27名)。
ミニキャラバン事業
2005.10 ボランティアアムセス05(責任者), 萩博物館。
地域研究員養成事業
成果発表
2006.2 共生の広場「ママが育むジュニアナチュラリスト」,
吉田やよい(run run plaza)(アドバイス)
2006.2 共生の広場「原色昆虫少年図鑑」, 牛尾太一ほか(テ
ネラル)(アドバイス)
2006.2 共生の広場「みやまあかねとなかまたち」, 辰巳淳子
(みやまあかね委員会)(アドバイス)
2005.8 みやまあかね祭, みやまあかね委員会主催。宝塚ゴル
フ場(463名)
学校教育支援
トライやるウィーク
2005.6 上野台中学校2名。藍中学校1名。
学校団体対応等
2005.4 淡路景観園芸学校「(兵庫・地方及び広域計画論の一
環)」(33名)。
2005.5 宝塚市立仁川小学校5年生・同西山小学校4年生「ミ
ヤマアカネを調べよう」(174名)。
2005.8 養父市立養父公民館(23名)。
2005.11 姫路市立峰相小学校4年生(63名)。
講師派遣等
2005.5 「身近な生きもの」, 雲雀ヶ丘学園中学校1年生(60
名)。
2005.6 「ミヤマアカネリサーチプロジェクト」, 宝塚市立西
山小学校4年生(74名)。
2005.7 「ミヤマアカネリサーチプロジェクト」, 宝塚市立宝
塚第一小学校4年生(130名)。
2005.7 「ミヤマアカネリサーチプロジェクト」, 小林聖心女子
学院高校3年生(20名)。
2005.8 「生活科に役立つ知恵『身近な昆虫との出会いとふれ
合い』, 『野外観察と講義』」神戸市生活科教員臨池研修, 神出

自然教育園(100名)。
2005.9 「ミヤマアカネ標本づくり」, 宝塚市立宝塚第一小学
校4年生(130名)。
2005.9 「ミヤマアカネ標本づくり」, 宝塚市立西山小学校4
年生(74名)。
2005.10 「アカトンボを調べよう」, 宝塚市立仁川小学校5
年生(自然学校)(100名)。
2005.12 「ミヤマアカネリサーチプロジェクト」, 宝塚市立宝
塚第一小学校4年生(130名)。
2006.2 「ミヤマアカネリサーチプロジェクト3校交流会」,
宝塚市立西山小学校4年生, 同仁川小学校5年生, 同宝塚第一小学
校4年生(宝塚市立西山小学校校体育館)(320名)。
展示
ミニ企画等
2005.3- 国立民族学博物館特別展「こどもと大人をつなぐも
の」協力。

2. シンクタンク事業

受託研究
「川西市国崎字小路(ごみ処理施設建設地)におけるヒメボ
タルの生息状況調査及び保全措置にかかる研究」。(責任者)。
自然環境情報調査
ウスバツバメリサーチプロジェクト。
収蔵庫・ジーンファームの公開
生物系収蔵庫等の案内, 20回, 74名。
行政等支援
委員会等(計6件)
2005.4- 播磨ため池保群全再生計画検討委員会, 委員, 兵庫県
自然環境保全課。
2005.4- 氷ノ山地域保全再生計画検討委員会, 委員, 兵庫県自
然環境保全課。
2006.3- ボランティアアムセス06 実行委員会, 委員, 九州国立
博物館。
2006.11- 文化ボランティア全国フォーラム実行委員会, 委員,
文化庁。
2005.6 加古川流域ホタル交流会。
2005.6 家族で楽しむホタルの夕べ, (三田市立有馬富士自然
学習センター)。

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ

主任研究員

高橋 晃, Akira TAKAHASHI

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門 教授。
昭和29年岐阜県生。大阪大学大学院理学研究科博士課程単位取
得退学。理学博士。日本植物学会, 日本植物分類学会, 植生史
学会, ヒマラヤ植物研究会, 国際材解剖学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部 生涯学習事業室

なし

2. 研究開発会議

マレーシア国立サバ大学との国際交流事業の一環として, 6月
までサバ大学に滞在。

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究(個人研究)

1. 種子植物の比較形態学・解剖学
2. 兵庫県産植物の分類・地理学的研究
3. 植物を素材にした自然史教育の研究

共同研究

部門研究「兵庫県北部の自然環境の評価と活用に関する研究-
八チ北高原における生物とその生育環境の評価」, 研究分担者。

論文・著書

Mohamed, M., Manshoor, N., and Takahashi, A. (eds.) 2005.
Proceedings of Melalap Scientific Expedition. BBEC

Publication No.41, pp. 80, Universiti Malaysia Sabah/JICA, Kota Kinabalu, Malaysia.

Mohamed, M., Suleiman, M., and Takahashi, A. (eds.) 2005. Contemporary Topics in Biology and Conservation Research. BBEC Publication No.42, pp. 174, Universiti Malaysia Sabah/JICA, Kota Kinabalu, Malaysia.

Fikri, A.H., Mohamed, M. and Takahashi, A. (eds.) 2005. Aquatic Insects Identification Guide. BBEC Publication No.43, pp. 76, Universiti Malaysia Sabah/JICA, Kota Kinabalu, Malaysia.

その他著作

Takahashi, A. 2005. An observation on the pitchers of Nepenthes plant from Meliau Range. Report for Meliau Range Phase II Expedition 2004 in Ulu Tungud Forest Reserve, p.1-4. Sabah Biodiversity Center, Sandakan, Malaysia.

Takahashi, A. 2005. Conservation Biology. Research and Education Component End of Assignment Report, pp.77, Bornean Biodiversity and Ecosystem Conservation Programme, JICA, Kota Kinabalu, Malaysia.

Takahashi, A. 2005. Report on the establishment of permanent plot in Crocker Range Park. Research and Education Component End of Assignment Report, pp.96, Bornean Biodiversity and Ecosystem Conservation Programme, JICA, Kota Kinabalu, Malaysia.

福岡誠行・黒崎史平・高橋 晃(編)(2005)兵庫県産維管束植物 7. 人と自然, (16). (編集およびスイカズラ科・レンブクソウ科・オミナエシ科・マツムシソウ科・キキョウ科分担執筆).

高橋 晃(2006)形態からみたマツ-マツの木材-。プラント, 第103号, p.11-17. 研成社, 東京.

研究発表

高橋 晃(2006)植物の系統進化と木材の組織構造. 日本木材学会・組織材質研究会シンポジウム「木材の樹種識別の現状と展望」, 森林総合研究所, 筑波(3月).

助成を受けた研究

マオウ科植物の形態ならびに成分化学的多様と種分類に関する調査研究, 文部科学省科学研究費基盤研究(B)海外学術研究, 研究分担者.

海外調査

マレーシア・サバ州(JICA).

2. 資料収集・整理

資料収集

関宮町氷ノ山, 三田市, 豊岡市, マレーシア・サバ.

受贈担当資料

藤本義昭コレクション.

材鑑証拠標本(森林総研).

矢内正弘コレクション.

頌栄短大植物標本.

小林禎樹コレクション.

整理同定担当資料

種子植物, 材鑑標本.

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

高橋 晃・高野温子・布施静香, 2005.7, 「植物リサーチクラブ2: 植物用語の基礎知識」, 博物館 (22名).

岩槻邦男・河合雅雄・高橋 晃・高野温子・鈴木 武・橋本佳明・三浦忠保・平松紳一, 2005.7, 「ボルネオジャングル体験スクール」, マレーシア・サバ州 (26名).

高橋 晃, 2005.9, 「深田公園探検隊・秋の七草をさがそう」, 博物館.

長谷川太一・高橋 晃, 2005.10, 「ミュージアムスクール 植物画を描こう」, 博物館 (13名).

高橋 晃, 2005.11, 「ボルネオの植物研究の醍醐味」 in ひととはくオープンセミナー「アジアの人とアジアの自然」(全4回), 博物館 (25名).

館外講演など

2005.3 Permanent plot project in Crocker Range Park. Lecture, Committee for Establishment of Permanent Plots in Crocker Range Park, BBEC Programme, JICA, Kota Kinabalu, Malaysia.

2005.4 Methodology of making permanent plots. Workshop I for Establishment of Permanent Research Plots in Crocker Range Park, BBEC Programme, JICA, Kota Kinabalu, Malaysia.

2005.4 Research methods in establishment of permanent plots. Lecture, Ethnobiology & Conservation Training Course, Global Diversity Foundation, Kota Kinabalu, Malaysia.

2005.4 How to set up permanent plots. Workshop, Ethnobiology & Conservation Training Course, Global Diversity Foundation, Kota Kinabalu, Malaysia.

2005.5 Manual for establishing and managing permanent plots. Workshop II for Establishment of Permanent Research Plots in Crocker Range Park. BBEC Programme, JICA, Kota Kinabalu, Malaysia.

2005.5 Progress report in Inobong plot. Workshop II for Establishment of Permanent Research Plots in Crocker Range Park. BBEC Programme, JICA, Kota Kinabalu, Malaysia.

2005.9 「道端の植物と仲良くなる方法」, 講師, 第17回三田市民大学, 三田市.

2005.10 「六甲山学: 六甲山の植物」, 講師, 兵庫県立大学公開講座, 神戸市.

2005.12 「生態系保全に向けた国際協力の現場へ」, 講師, 兵庫県立大学自然研公開セミナー, 豊岡市.

非常勤講師など

2005.9 共生生物学, 兵庫県立大学(集中).

2005.9-2006.3 系統分類学, 関西学院大学理工学部.

キャラバン事業

主担当

東播磨 テーマ「昆虫大集合! 明石と世界の昆虫たち」

学校教育支援

学校団体対応等

2005.10.25 英語による展示解説, 三田祥雲館高校, 8名(留学生).

2005.11.20 ボルネオの植物研究の醍醐味, 北野高校, 11名. 研修生等の受入

JICA 研修員

2005.11.9-20 マレーシア・サバ大学講師, 1名.

2006.2.14-16 マレーシア・サバ大学講師, 1名.

フェスティバル等

2005.10 ひととはくフェスティバル「君も葉っぱの芸術家」責任者.

団体利用促進

2005.8 「マレーシア・サバの熱帯雨林保全に関わった一年」静岡大学山岳会(10名)

展示

企画展

2005.10.22-2006.1.22 企画展「はてなの世界」(分担者).

ミニ企画

2005.10.22-11.5 「こども植物画作品展」(責任者).

2. シンクタンク事業

収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内 4回, 31名

行政等支援

委員会等(計2件)

2005.4 環境庁版レッドデータブック兵庫県主任調査員, 環境庁.

2005.4 希少野生動植物種保存推進員, 環境庁.

相談・指導助言

来訪相談3件, 電話・FAX相談8件, 郵便による相談4件

3. 特別プロジェクト

サバ・プロジェクト

ボルネオ島生物多様性・生態系保全プログラム (JICA 国際協力事業) の保全生物学専門家として、昨年度から本年 6 月までマレーシア国立サバ大学熱帯生物学・保全研究所に滞在した。当該研究所の研究教育及び実践プログラムの向上に協力するとともに、サバ州熱帯雨林における生物多様性研究を進めた。

12 月 12 日、サバ大学のノー・ダリミン学長とマリアッティ・モハメド熱帯生物学保全研究所長が来県され、吉本知之教育長への表敬訪問に随行した。13 日は来館され今後の相互関係について話し合った。

ネクストミュージアム・プロジェクト

人と自然の博物館基本構想ワーキングとしてネクストミュージアムの展示基本構想案作成に関わった。

自然・環境評価研究部

森林・昆虫研究グループ

主任研究員

秋山 弘之, Hiroyuki AKIYAMA

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門 助教授。昭和 31 年大阪府生。京都大学大学院理学研究科博士課程修了。理学博士。日本植物分類学会, 日本蘚苔類学会, 米国植物分類学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部生涯学習事業室

展示に関する業務全般を担当

2. 研究開発会議

なし

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究 (個人研究)

1. 東南アジア産蘚類の分類学的・植物地理学的研究

2. 半数体植物における種分化のあり方に関する研究

3. ボルネオ島蘚類相の研究

論文・著書

Akiyama, H. & T. Matsui. 2005. *Distichophyllum yakumontanum* (Musci, Daltoniaceae), a new species from Yakushima Island, Japan. *Bryol. Res.* 8 (11): 343-348.

Kato, M. & H. Akiyama. 2005. Interpolation hypothesis for origin of the vegetative sporophyte of land plants. *Taxon* 54 (2): 443-450.

Suleiman, M., H. Akiyama & B. C. Tan. 2006. A revised catalogue of mosses reported from Borneo. *J. Hattori Bot. Lab.* 99: 107-183.

田中敦司・西村直樹・秋山弘之 (2005) 兵庫県西播磨の蘚苔類。人と自然 15: 69-92.

その他著作

秋山弘之 (2005-6) 「コケ百選 1~3」, プランタ第 101-103 号, 研成社.

学会役員など

日本蘚苔類学会編集副幹事。

日本植物分類学会, 和文誌編集責任者

日本植物分類学会評議員。

財団法人平岡環境科学研究所, 監事。

助成を受けた研究

南ヒマラヤの植物, 文部科学省科学研究費基盤 (A) 海外学術研究, 研究分担者。

着生植物の進化に関する研究, 文部科学省科学研究費基盤 (A) 海外学術研究, 研究分担者。

海外調査

2005.12 インドネシア・ジャワ (JICA 短期派遣 技術協力)。

2006.3 マレーシア・サバ州。

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.4-2006.3 蘚苔類各種。三田市, 加古川市, 村岡町, 神戸市, 上郡町。

2005.8 ヤクシカによる蘚苔類食害調査。屋久島。整理同定担当資料
蘚苔類。

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

秋山弘之, 2005.5, 「コケ学散歩 1」, 北区道場 (全 1 回, 15 名)。

秋山弘之, 2005.7, 「夏のキノコ探検隊 1」, 北区道場 (全 1 回, 11 名)。

秋山弘之, 2005.7, 「夏のキノコ探検隊 2」, 北区道場 (全 1 回, 13 名)。

秋山弘之, 2005.10, 「秋のキノコ探検隊 1」, 北区道場 (全 1 回, 15 名)。

秋山弘之, 2005.10, 「秋のキノコ探検隊 2」, 北区道場 (全 1 回, 9 名)。

秋山弘之, 2006.3, 「コケ学散歩 冬編」, 北区道場 (全 1 回, 17 名)。

研修生等の受入

博物館実習 2 名。

フェスティバル等

2005.11 ひとつはフェスティバル, 場内整理 (責任者)。

展示

企画展

「見逃すな! はてなの世界」(分担者)

2. シンクタンク事業

自然環境情報調査

「淡路地域蘚苔類相の調査研究」, 淡路 (委託先: 岡山コケの会)。

行政等支援

相談・指導助言

来訪者 10 件, 12 名。電話・FAX 相談 15 件, メール相談 2 件。

3. 特別プロジェクト

G B I F プロジェクト

データの整理を統括, 活動のとりまとめを担当

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ

主任研究員

高野 温子, Atsuko TAKANO

昭和 46 年大阪府生。大阪市立大学理学研究科後期博士課程修了。理学博士。

日本植物学会, 日本植物分類学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 企画調整室 (事業推進マネージャー)

館報 2004 編集担当

ネクスト 2 調整チーム

2. 研究開発会議

なし

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究 (個人研究)

1. ショウガ科植物の分類学的研究

2. 兵庫県産植物の分類学的研究

共同研究

部門研究「兵庫県北部の自然環境の評価と活用に関する研究 - 鉢北高原における生物とその生育環境の評価 - 」研究分担者。
論文・著書

A. Takano, J. Gisil, M. Yusoff, T. Tachi. 2005. Floral and pollinator behaviour of flexistylous Bornean ginger, *Alpinia*

nieuwenhuizii (Zingiberaceae). Plant Systematics and Evolution. 252: 167-173. DOI: 10.1007/s00606-004-0258-4.

A. Takano, Y. Kadono. 2005. Allozyme variations and classification of *Trapa* (Trapaceae) in Japan. Aquatic Botany. 83: 108-118.

その他著作

高野温子 (2005) 宝塚周辺の水草 宝塚大辞典 pp.103-104. 大阪書籍.

福岡誠行・黒崎史平・高野温子, 2006. フジウツギ科, 福岡誠行・黒崎史平・高橋 晃 (編) 兵庫県維管束植物 7. 人と自然, 16.P103.

黒崎史平・高野温子, 2006. ゴマノハグサ科・ノウゼンカズラ科・キツネノマゴ科・ゴマ科. 福岡誠行・黒崎史平・高橋 晃 (編) 兵庫県維管束植物 7. 人と自然, 16.P103-114.

高野温子 2006. 今年のフィールドワークから. ハーモニ-53号. P6.

A. Julius, A. Takano, J. Gisil, M. Yusoff. 2005. Zingiberaceous species of Melalap; A preliminary survey and checklist. In: M. Mohamed, N. Manshoor, A. Takahashi (eds.) Proceedings of Melalap scientific expedition. Pp.33-42.

J. Gisil, A. Julius, A. Takano. 2005. The checklist of higher plants (except gingers) at Melalap, Crocker Range Park. In: M. Mohamed, N. Manshoor, A. Takahashi (eds.) Proceedings of Melalap scientific expedition. Pp.43-46.

N. Manshoor, A. Julius, A. Takano. 2005. Penyaringan fitokimia ke atas tumbuhan halia di Melalap, Sabah. In: M. Mohamed, N. Manshoor, A. Takahashi (eds.) Proceedings of Melalap scientific expedition. Pp.47-56.

研究発表

高野温子 (2005) 中央カリマンタンの植物. 兵庫・水辺ネットワーク総会.

A. Takano, H. Nagamasu, H. Okada. 2005. *Myxochlamys mullerensis* (Zingiberaceae), a new genus from Kalimantan, Indonesia. XVII International Botanical Congress, Vienna.

高野温子・永益英敏・岡田博 (2006) ボルネオ島で発見されたショウガ科の新属 *Myxochlamys mullerensis* について. 日本植物分類学会第5回大会. 琉球大学.

6) 学会役員など

Acta Phytotaxonomica et Geobotanica レフェリー
Journal of Tropical Biology and Conservation. Editorial Board.

助成を受けた研究

日本学術振興会 熱帯生物資源研究助成 (研究代表者).

海外調査

イギリス, マレーシア.

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.4 維管束植物.(神戸市, 吉川町, 南あわじ市, 養父市).

2005.5 維管束植物.(篠山市).

2005.8 水生維管束植物.(小野市, 加古川市, 姫路市, 三田市).

2005.9 水生維管束植物.(姫路市).

2005.11 ショウガ科植物.(マレーシア).

2006.2 ショウガ科植物.(マレーシア).

受贈担当資料

太治庄三コレクション. ウエマツソウ (兵庫県レッドデータ Aランク) 1点.

整理同定担当資料

被子植物. キク科 (シオン連, キオン連).

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

布施静香・高野温子, 植物リサーチクラブ 1, 八チ北高原の植物 (全2回, 計26名).

高橋晃・高野温子・布施静香, 植物リサーチクラブ 2, 植物用語 (22名).

高野温子・高橋晃・布施静香, 植物リサーチクラブ 3, 秋

の水草 (4名).

布施静香・高野温子, 2005.8, 教職員セミナー「DNAに触れる一理科室でできるDNA抽出」(19名).

2005.2, オープンセミナー, アジアの人とアジアの自然 (20名).

2005.5, 関西学院大学・人と自然の博物館主催.

「ボルネオの熱帯林」三田サイエンスセミナー. 関西学院大学 110名

酒井章子・高野温子・横山真弓, 2005.11, 企画展関連セミナー. 「生き物たちの縦のつながり横のつながり」(38名).

キャラバン事業

副担当

東播磨キャラバン

展示作成

伊勢大池の水生植物標本 (姫路キャラバン)

外来水生植物オオカナダモの展示標本 (猪名川キャラバン)

リサーチプロジェクト

2005.8 伊勢大池の水草調査 (姫路キャラバン)

ミニキャラバン事業

外来水生植物オオカナダモの展示標本 (猪名川キャラバン).

学校教育支援

講師派遣等

2005.11 県立有馬高等学校, 修学旅行事前学習.

研修生等の受入

卒論生等

Avelinah Julius サバ大学大学院修士課程.

フェスティバル等

2005.11 ひとくフェスティバル, 「ひとくモール」(責任者).

2005.10.26-11.2 フローラ 88 展示, (責任者).

展示

2005.10.22 - 2006.1.22 企画展「見逃すな! はてなの世界」(責任者).

ミニ企画等

2005.12.20 - 2006.3.20 トピックスコーナー 藤本義昭コレクション (分担者).

2. シンクタンク事業

学会開催等支援

2005.4 兵庫・水辺ネットワーク総会.

3. 特別プロジェクト

博物館自己点検・評価支援プロジェクト 日本博物館協会

科学系博物館ネットワーク推進

将来構想委員会事務局

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ/シンクタンク事業室

研究員

布施 静香, Shizuka Fuse

昭和51年奈良県生. 大阪市立大学大学院理学研究科前期博士課程修了. 博士(理学). 日本植物学会, 日本植物分類学会, 種生物学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部シンクタンク事業室

情報活用担当: 自然環境調査とりまとめ, リサーチプロジェクト運営・とりまとめ, 自然環境情報提供に関する手続き業務, ひとく資料データベースの整備等

2. 研究開発会議

資料担当: 資料審査, 燻蒸担当

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究(個人研究)

1. ショウジョウバカマ属植物の種維持機構に関する研究

2. 日本と韓国で多様化した温帯性単子葉植物の分子生物地

理

3. タケシマラン属の分類

4. 兵庫県産植物の分類学的研究

共同研究

部門研究「兵庫県北部の自然環境の評価と活用に関する研究-八チ北高原における生物とその生育環境の評価」, 研究分担者. 論文・著書

布施静香 (2005) 六甲山のショウジョウバカマとシロバナショウジョウバカマ (シュロソウ科, 広義ユリ科) の雑種について. 兵庫の植物, 15: 93-96.

その他著作

布施静香・黒崎史平 (2005) イワタバコ科, ハマウツボ科, ハエドクソウ科, オオバコ科. (福岡誠行・黒崎史平・高橋晃 (編): 兵庫県産維管束植物 7). 人と自然. 16: 113-114, 116-117.

布施静香 (2005) 植物の採集と標本の作り方. 所収: 兵庫県立人と自然の博物館編. ひとつはフィールドワーク入門. pp. 27-32, 兵庫県立人と自然の博物館, 兵庫県.

布施静香 (2005) 韓国のショウジョウバカマ. プランタ 102: 43-47. 研成社.

布施静香 (2005) 講演会の感想. 日本植物分類学会ニュースレター, 20: 11.

小豆むつ子・布施静香 (2006) としておきの植物画・共生のひろば-人と自然からのメッセージ, 1: 75-77.

研究発表

S. Fuse and M. N. Tamura (2005) Isolation mechanisms between *Heloniopsis orientalis* and *Heloniopsis breviscapa* (Monocotyledonae: Melanthiaceae). XVII International Botanical Congress, Austria Center Vienna, Vienna.

Minoru N. Tamura, Shizuka Fuse, Nam Sook Lee, Jin-Ohk Kim, and Takaaki Ishii (2005) Diversification of Tolfieldiaceae (Alismatales). XVII International Botanical Congress, Austria Center Vienna, Vienna.

布施静香 (2005) 分子系統樹の構築方法と分子系統樹を用いた単子葉植物の研究例: 研究例 2 ショウジョウバカマ属の分類学的再検討. すげの会近畿支部学習会, 頌栄短期大学, 兵庫.

布施静香・李南淑・田村実 (2006) タケシマラン属 (ユリ科) の分子系統と分類. 日本植物分類学会第 5 回大会, 琉球大学, 沖縄.

田村実・山下純・布施静香・邑田裕子・田中伸幸・遊川知久・邑田仁 (2006) Theropogon (ナギイカダ科) の系統と分類. 日本植物分類学会第 5 回大会, 琉球大学, 沖縄.

学会役員など

種子植物談話会, 事務局・世話人.

助成を受けた研究

生殖的隔離が不完全な種の種維持機構に関する研究. 文部科学省科学研究費若手研究(B), 研究代表者 (金額 120 万円 / 320 万円).

Isolation mechanisms between *Heloniopsis orientalis* and *Heloniopsis breviscapa* (Liliales: Melanthiaceae). 海外発表促進助成金 (財団法人日本科学協会) 研究代表者 (金額 20.7 万円 / 20.7 万円).

単子葉植物の大規模分子系統樹の構築と形態・分子データの調和による新分類体系の設立 文部科学省科学研究費基盤研究 C, 研究分担者.

日本と韓国で多様化した温帯性単子葉植物の分子生物地理. 日韓共同研究 (独立行政法人日本学術振興会), 研究分担者.

海外調査

2005.7 オーストリア.

2005.10 韓国.

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.4-2006.3 種子植物. 大屋町, 神戸市, 五色町, 宝塚市, 篠山市, 三田市, 西淡町, 関宮町, 姫路市, 愛知県, 愛媛県, 沖縄県, 高知県, 北海道, 韓国, オーストリア.

整理同定担当資料

種子植物.

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

布施静香・高野温子, 2005.5, 「植物リサーチクラブ」, 八チ北高原 (全 2 回, 30 名).

布施静香・高野温子・八木剛, 2005.5, 「生物系収蔵庫ツアー」, 博物館 (22 名).

高橋晃・高野温子・布施静香, 2005.7, 「植物リサーチクラブ」, 博物館 (22 名).

布施静香, 2005.8, 「ミュージアムハイスクール夏休み集中講座 植物の戦略 植物の不思議と魅力に迫る」, 神戸高校・尼崎小田高校 (13 名).

布施静香・高野温子, 2005.8, 教職員セミナー「DNA に触れる」, 博物館 (19 名).

高野温子・布施静香, 2005.10, 「植物リサーチクラブ」, 姫路市 (4 名).

布施静香・高野温子・高橋晃・八木剛, 2006.1, 「生物系収蔵庫ツアー」, 博物館 (17 名).

布施静香, 2006.3, 「ふかたん 早春の花」, 深田公園 (15 名). ラジオプチセミナー

2005.12 「ウッディータウンで見かけるユリ」, ハニーFM.

2005.12 「福寿草など縁起の良い植物」, ハニーFM.

非常勤講師など

2005.5-2005.10 「生物学実験 I」, 大阪府立大学.

2005.9 「野外実習」, 大阪市立大学.

キャラバン事業

副担当

2005.7-2005.8 北播磨地域 テーマ「北播磨と世界の昆虫たち展」

展示作成

2005.7 北播磨地域 子ども達が制作した昆虫標本, ビデオ上映 (昆虫採集 1~3, 昆虫標本の作り方)

2005.11 但馬地域 野菜のはてな (見逃すな! はてなの世界)

リサーチプロジェクト

2005.7-8 北播磨地域 ウスバツバメ, ビラカンサ, 松枯れ

セミナー担当

2005.5 北播磨地域 虫取りと標本づくり 1 回目 (その 1), (企画運営) (27 名).

2005.6 北播磨地域 虫取りと標本づくり 1 回目 (その 2), (企画) (24 名).

2005.7 北播磨地域 虫取りと標本づくり 2 回目 (その 1), (企画) (27 名).

2005.7 北播磨地域 虫取りと標本づくり 2 回目 (その 2), (企画運営) (27 名).

ミニキャラバン事業

2006.10 有馬富士フェスティバル (分担者), 有馬富士公園.

2006.3 大阪自然史フェスティバル (分担者), セイタカダイオウの展示, 大阪市立自然史博物館.

地域研究員養成事業

成果発表

2006.2 共生の広場「としておきの植物画」, 小豆むつ子 (指導・共著) (名誉館長賞受賞)

学校教育支援

トライやるウィーク

2005.6 中学校 3 名.

学校団体対応等

2005.4 景観園芸学校「収蔵庫説明 (兵庫・地方及び広域計画論の一環)」 (33 名).

2005.6 大阪府立大学「博物館における自然情報システム」 (10 名).

2005.7 来住小学校 6 年生「モウセンゴケを知ろう」 (39 名).

2005.8 柏原高校 1 年生「DNA 抽出実験」 (39 名).

2005.10 長浜小学校「植物についての質問」.

2005.12 狭間小学校 5 年生「フラワータウンの自然と人間の共生を考えよう」 (30 名).

講師派遣等

2006.3 「校内の樹木」, 講師, 狭間小学校 5 年生 (120 名). 研修生等の受入

2006.9 独立行政法人国際協力機構中部国際センター「平成

17年 GIS(地理情報システム)による天然資源・農業生産物の管理研修」(JICA GIS 研修コースの研修員)(8名)。

フェスティバル等

2005.10 ひとつはフェスティバル、「葉っぱの芸術家」(分担者)。

2005.10 ひとつはフェスティバル、「ひとつはくりサーチプロジェクト中間報告」(責任者)。

展示

企画展

2005.10.22 - 2005.1.22 企画展「見逃すな!はてなの世界」(分担者)。

ミニ企画等

2005.12.20 - 2006.3.31 トピックスコーナー展示「藤本義昭コレクション」(責任者)。

2. シンクタンク事業

収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 20回, 74名。

行政等支援

委員会等(計1件)

環境省版レッドデータブック兵庫県調査委員, 環境省。

相談・指導助言

来訪者5件, 5名, 電話・FAX相談25件, メール相談9件。

2006.2. 「ササコリの育て方, ふやし方」。(県立自然公園「国見の森公園」での活動に関する勉強会)・山崎植物同好会, 講師, 宍粟市山崎文化会館(約50名)。

自然・環境マネジメント研究部

流域生態研究グループ/企画調整室

研究部長/企画調整室長

江崎 保男, Yasuo EZAKI

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門 教授。
昭和26年大阪府生。京都大学大学院理学研究科博士課程修了。
理学博士。日本生態学会, 日本鳥学会, 応用生態工学会, イギリス鳥学会, アメリカ鳥学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部 企画調整室

企画調整室の指揮・総括

2. 研究開発会議

研究部の指揮・総括

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究(個人研究)

1. 砂州河川の生物群集構造の研究

2. 鳥類の生息場所保全に関する研究

共同研究

総合共同研究「武庫川流域の山林と湿地」, 研究代表者。

部門研究「共生の過去・現在・未来」, 研究代表者。

論文・著書

江崎保男・山崎 剛・森岡弘之(2006)(編)小林桂助鳥類コレクション標本目録。兵庫県立人と自然の博物館, 三田。

江崎保男(共著)(2005)ひとつはフィールドワーク入門(大谷ほか編)。兵庫県立人と自然の博物館, 三田。

江崎保男(監修)(2006)兵庫県における鳥類の分布と変遷。自然環境モノグラフ2号, 兵庫県立人と自然の博物館, 三田。

その他著作

江崎保男(2005)コウノトリの野生復帰と自然再生, ハーモニー50:1-2。

江崎保男(2005)豊岡とコウノトリさまさま, ハーモニー50:3-4。

江崎保男(2005)地域・市民と連携する博物館への脱皮 - ひとつはくの場合, 博物館研究40:5-9。

江崎保男(2005)環境学習施設紹介「兵庫県立人と自然の博物館(ひとつはく)」, EMATEC

江崎保男(2005)科学の進歩と断片化, 日本鳥学会誌54:125。

江崎保男(2006)どう考える!2つの野生化コウノトリと外来生物, Hit Spring183:1-2。

研究発表

江崎保男・田悟和巳(2005)ミサゴの生態と河口堰。応用生態工学会第9回大会, サイエンスホール, 東京都。

松原 始・江崎保男(2005)鳥類の採餌場と攪乱。河川生態学術研究会全国大会, サイエンスホール, 東京都。

学会役員など

日本鳥学会, 副会長。

日本鳥学会, 評議員。

日本鳥学会, 基金運営委員長。

応用生態工学会幹事長

日本生態学会近畿地区会, 委員。

日本鳥学会員近畿地区懇談会, 世話人。

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.4-2006.3 鳥類死体の収集。県内各地。

2005.4-2006.3 ハヤブサの餌の残骸収集。神戸市北区。

受贈担当資料

2005.6 阿部明士コレクション(鳥類標本)。71点。

整理同定担当資料

鳥類(小林桂助コレクションの整理同定を完了)。

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

江崎保男, 2005.6, 「鳥の世界を知る - 生態・人との関わり - 」, 神戸学習プラザ(全4回, 38+37名+33名+30名)。

江崎保男, 2005.7, 企画展ギャラリートーク「コウノトリと川・田んぼ」(全1回, 25名)。

江崎保男, 2005.8, 教職員セミナー「人為と生態系」, 博物館(全1回, 42名)。

江崎保男, 2005.8, 企業研修セミナー「生態系のしくみ」, 博物館(全1回, 70名)。

江崎保男, 2006.1, オープンセミナー「深田公園探検隊, 鳥の巣」, 博物館(全1回, 2名)。

江崎保男, 2005.8, 企画展講座「鳥類を蘇らせる方法」鳥類の絶滅 - 趣旨説明にかえて。博物館(全1回, 169名)。

セミナー運営など

2004.8.7 企画展講座「鳥類を蘇らせる方法」,(企画運営)。
館外講演など

2005.5 「河川の変貌と鳥類の変化」, ひょうご講座, 講師(44名)。

2005.7 「水辺の鳥を保全しなければならない理由」, 大蔵海岸とコアジサシ(絶滅危惧種)を考えるミニシンポジウム, 講師, 明石市立中崎小学校(35名)。

2005.10 「地域で進化した生物たち - 野生化とは」, どう考える!2つの野生化 - コウノトリと外来生物, 兵庫県立大学自然・環境科学研究所公開セミナー, 講師, 兵庫県立大学本部。

2006.2 「森と鳥と」山の案内人研修会, 講師,(財)ひょうご環境創造協会。

非常勤講師など

2004.10 - 2005.3 「生物学野外実習」, 神戸大学。

2004.10 - 2005.3 「生態学」, 淡路景観園芸学校。

2005.12 「特別実習」, 神戸高校。

キャラバン事業

主担当

丹波キャラバン, ささやまの森公園

学校教育支援

学校団体対応等

2005.4.23 宝塚野鳥の会「鳥類調査の意義と方法」(31名)。

2005.11.29 三田市立松ヶ丘小学校, ミニセミナー「コウノトリについて」(42名)。

フェスティバル等

2005.10 ひとつはフェスティバル,(本部詰め)。

展示

企画展

2005.7.10 - 9.25 「コウノトリの野生復帰と自然再生」 主担当 21,737 名 .

2004.7.18 ギャラリートーク「コウノトリと川・田んぼ」 25 名 .

2. シンクタンク事業

受託研究

木津川砂州域鳥類生態調査代表

リバーフロント整備センター, 2205 千円 .

収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 10 回, 25 名 .

行政等支援

委員会等 (計 19 件)

2005.4- コウノトリ保護・増殖(野生化)対策会議, 委員, 兵庫県 .

2005.4- 水源地生態研究会議, 委員, ダム水源地環境整備センター .

2005.4- 河川水辺の国勢調査(河川版)スクリーニング委員会, 委員, リバーフロント整備センター .

2005.4- 河川水辺の国勢調査(ダム湖版)スクリーニング委員会, 委員, ダム水源地環境整備センター .

2005.4- 川上ダム自然環境保全委員会, 委員, 水資源開発機構 .

2005.4- 川上ダム希少猛禽類保全委員会, 委員長, 水資源開発機構 .

2005.4- 河川水辺の国勢調査マニュアル(河川版)検討会, 委員, リバーフロント整備センター .

2005.4- 河川水辺の国勢調査マニュアル(ダム湖版)検討会, 委員, ダム水源地環境整備センター .

2005.4- 安威川ダム自然環境保全対策検討委員会, 委員, 大阪府 .

2005.10- 畑川ダム環境保全検討委員会, 委員, 京都府 .

2005.10- 近畿圏における自然環境総点検等に関する研究会, 委員, 国土交通省 .

2005.3- 21 世紀文明研究委員会第 2 部会, 委員, 阪神・淡路大震災記念協会 .

2005.3- 汽水域生態系モニタリング手法研究会, 委員, 徳島大学環境防災研究センター .

2005.8- 国立科学博物館評価指標検討委員会, 委員, 国立科学博物館 .

2005.8- 大学設置・学校法人審議会(大学設置分科会)環境専門委員会, 委員, 文部科学省 .

2005.11- 水位低下(いわゆる干し上げ)に関する鳥類の調査検討小委員会, 委員長, 国土交通省 .

2006.2- 生態系保全検討委員会, 委員, 兵庫県環境局 .

2006.2- 利根川上流生態系保全河道検討委員会, 委員, リバーフロント整備センター .

2006.2- 渡良瀬遊水地湿地保全・再生検討委員会, 委員, リバーフロント整備センター .

2005.6- ダム水辺の生物調査, アドバイザー, 兵庫県中播磨県民局 .

2005.4- 田中川環境に配慮した砂防堰堤設計に係る調査, アドバイザー, 兵庫県但馬県民局 .

相談・指導助言

来訪者 170 件, 350 名 . 電話・FAX 相談 65 件, メール相談 45 件 .

3. 特別プロジェクト

GBIF プロジェクト, 代表

ワイルドマネジメントプロジェクト代表

ファール巡回展プロジェクト代表

自然・環境マネジメント研究部

流域生態研究グループ/シンクタンク事業室

主任研究員

田中 哲夫, Tetsuo TANAKA

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門 助教授 .

昭和 23 年大阪府生 京都大学大学院理学研究科博士課程中退 理学博士 . 日本生態学会, 日本魚類学会, 魚類自然史研究会, 兵庫陸水生物研究会等所属 .

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部 シンクタンク事業室副室長

重要施策共生博物館地域研究員養成事業主担当

博物館連携グループとりまとめ主担当

連携施設「三田市立自然学習センター」連絡調整担当

ボランティアコーディネーター養成事業担当

2. 研究開発会議

なし

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究(個人研究)

1. 魚類の個体群動態と生産に関する研究

2. 外来生物の侵入と水域生態系の応答に関する研究

3. 河川改修が魚類群集に及ぼす影響に関する研究

4. 淡水魚の分布と環境情報の解析

共同研究

総合共同研究「兵庫県における外来種対策に関する研究」, 研究代表者 .

部門研究「共生の過去・現在・未来」, 研究分担者 .

その他雑誌?

2005.9 「イワナ」, エコひょうご, 37:2 .

2005.8 「県民活動のプラットフォーム-地域研究員の養成」, 兵庫ジャーナル, 1074 号 .

研究発表

2005.8 「武庫川の魚」, 兵庫陸水生物研究会 25 周年記念シンポジウム「兵庫県の陸水生物の現状」, 姫路科学館(36 名), 姫路市 .

学会役員など

2005.5 保全生態学研究, レフェリー .

2005.9 保全生態学研究, レフェリー .

2005.12 保全生態学研究, レフェリー .

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.4-2006.3 武庫川上流域の水生物・兵庫県下水生物の収集 .

受贈担当資料

2005.5 魚類標本「土井コレクション」8 点 .

2005.5 水生生物標本「丹羽コレクション」100 点 .

整理同定担当資料

淡水魚, トンボ類 .

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

2005.4-5, 「ため池を探る」(全 4 回, 84 名), 博物館・三田市香下ため池群 .

2006.2, 生態学講座「河川の生態系の機能としくみ」, 兵庫県立学習プラザ, 神戸市 (27 名).

館外講演など

2005.4.9 「ため池の魚とブラックバス」, 兵庫水辺ネットワーク交流会, 人と自然の博物館, 三田市 (40 名).

2005.7, 「ブラックバス」, ひょうご講座「今, 生物の世界で何が起きているか」, 兵庫県立学習プラザ 神戸市 (40 名).

2005.9, ミニセミナー「川魚の生態と環境保全」, 小代中学校, 大ゼミ (78 名).

2005.9 企画展ギャラリートーク「川と田んぼの自然再生」, 人と自然の博物館, 三田市 (15 名).

2005.10, 高校連携ゼミ「レッツチャレンジ自然環境調査入門」『ピオトープ池を調べる』キリンビール神戸工場 (全 2 回, 42 名).

2005.10 「魚類のすみ場所の再創造とオコチバス問題」,

河川講習会ー生物から見た河川環境ー, 兵庫県まちづくり技術センター, 兵庫県民会館, 神戸市 (75名)。

2005.11 「水辺環境の保全とピオトープ」, 三重ピオトープ研究会, ピオトープセミナー, 三重県環境保全事業団, 津市 (35名)。

2005.11 「博物館と連携グループ・地域研究員」, 考古楽会ボランティア養成講座, 播磨町 (25名)。

2006.1 「ため池の生物多様性とオオクチバス」, 特定課題研修会「農山村と生物多様性」兵庫県農地整備課, 講師, 兵庫県土地改良会館 (30名)。

2006.1 「治水と河川環境」, 加古川海川森フォーラム, 東播磨県民局, 講師, 加古川中央図書館 (30名)。
非常勤講師など

2005.6. 「流れと生物」, 神戸芸術工科大学, 講師 (80名)。

2005.10-11 「生物学野外実習」, 神戸大学 (30名)。

共生生物学地域研究員養成事業

2005.4. ~ 2006.3 山東町ひとく地域研究員養成事業, 特設セミナー「カジガエルが住める川」, 朝来市 (30名)。

2006.2.11 「共生のひろば」ひとく地域研究員・連携活動グループ発表・交流会, 企画運営。

2. シンクタンク事業

受託研究

「キリンビール神戸工場内レフュジアピオトープ創出に関する研究」(代表者)。キリンビール神戸工場。

収蔵庫・ジーンファームの公開

液浸収蔵庫等の案内, 2回, 20名。

行政等支援

委員会等 (計13件)

2005.4-2006.3 円山川水系自然再生計画検討委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所・兵庫県但馬県民局土整備部豊岡工事事務所。

2005.8-2006.3 大滝ダム運用環境調査委員会, 委員長, 国土交通省近畿地方整備局 紀ノ川ダム統合管理事務所。

2005.4-2006.3 千種川水系 魚にやさしい川づくり検討委員会, 委員, 財団法人兵庫県まちづくり技術センター。

2005.4-2006.3 「矢田川水系」ひょうごの川・自然環境調査, アドバイザー, 兵庫県但馬県民局, 浜坂土木事務所。

2005.4-2006.3 「明石川」ひょうごの川・自然環境調査, アドバイザー, 兵庫県東播磨県民局, 神戸土木事務所。

2005.4-2006.3 「加古川水系」ひょうごの川・自然環境調査, アドバイザー, 兵庫県東播磨県民局, 社土木事務所。

2005.4-2006.3 尼崎市環境審議会, 委員, 尼崎市環境政策課。

2005.4-2006.3 環境影響評価審査会, 委員, 兵庫県健康生活部環境局。

2005.9-2006.3 外来魚被害対策検討委員会, 委員, 兵庫県農林水産部。

2005.8-2005.10 神戸市指定管理者選定委員会, 委員, 神戸市観光局。

相談・指導助言
来訪者 30件, 100名。電話・FAX 相談 50件, メール相談 20件。

自然・環境マネジメント研究部

流域生態研究グループ/シンクタンク事業室情報活用副担当

主任研究員

三橋 弘宗, Hiromune Mitsuhashi

昭和45年京都府生。京都大学大学院理学研究科修士課程修了。理学修士。日本生態学会, 日本陸水学会, アメリカベントス学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部シンクタンク事業室

情報システムアドバイザー、自然環境調査とりまとめ、インターネットGIS運営担当、館内BBS(掲示板)管理担当、リサーチプロジェクト分担、西日本自然系博物館ネットワークとの連携担当、平成17年度地域科学館連携支援事業(独立行政

法人科学技術振興機構)の担当、全国科学系博物館情報ネットワーク事業(国立科学博物館)検討委員など、ひょうごの川自然環境調査の支援(兵庫県県土整備部河川局河川計画課からの分任事業)

2. 研究開発会議

資料担当(収蔵品データベースの整備、レッドデータブックに関する指標とりまとめ)

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究(個人研究)

1. 河川生態系における生物群集と物質循環に関する研究

2. 自然環境情報の活用と整備に関する研究

共同研究

総合共同研究「武庫川上流域における人と自然の共生」, 研究分担者。

総合共同研究「外来種対策」, 研究分担者。

部門研究「共存の諸相」, 研究分担者。

論文・著書

三橋弘宗・鎌田磨人(2006)野生生物の生息・生育適地推定と保全計画。応用生態工学 8(2), 215-219

三橋弘宗(2005)博物館の生態学。日本生態学会誌 55:453-455

畑田彩・三橋弘宗(2006)「博物館の生態学」が目指すもの - 特集「博物館の生態学」を振り返って -。日本生態学会誌 55:490-493。

伊勢紀・三橋弘宗(2006)モリアオガエルの広域的な生息適地の推定と保全計画への適用。応用生態工学 8(2), 221-232。

Katano I., H.Mitsuhashi, Y.Isobe, H.Sato, T.Oishi(2005) Reach-scale distribution dynamics of a grazing stream insect, *Micrasema quadriloba* Martynov (Brachycentridae, Trichoptera), in relation to current velocity and periphyton abundance. Zoological Science 22(8), 853-860

その他著作

日本野鳥の会兵庫県支部編(2006)兵庫県における鳥類の分布と変遷自然環境モノグラフ。自然環境モノグラフ 2号。兵庫県立人と自然の博物館。(共著者)

「日本のカエルの鳴き声図鑑 ~カエルの鳴き声聞いてみよう~」, 兵庫県立人と自然の博物館(ホームページ製作主担当)。http://hitohaku.jp/education/frog/top.html

「兵庫のカモ図鑑 ~みずべにカモを見に行こう~」, 兵庫県立人と自然の博物館(ホームページ製作主担当), http://info.hitohaku.jp/kamo/top.html

「身近な川の水生昆虫を調べてみよう」, 兵庫県立人と自然の博物館(ホームページ製作主担当)。http://info.hitohaku.jp/kawamushi/top.html

「ひょうごの外来生物について考える(外来生物対策、外来生物の図鑑)」, 兵庫県立人と自然の博物館(ホームページ製作主担当), http://info.hitohaku.jp/alienspecies/top.htm

3D立体地図 円山川の空を飛んでみよう, CD版学習教材, 国土交通省豊岡河川国道事務所、財団法人リバーフロント整備センター、兵庫県立人と自然の博物館(CDコンテンツ製作主担当)。

研究発表

三橋弘宗・伊勢紀(2006)日本列島におけるモリアオガエルの生息適地予測と保全計画。ポスター発表, 国際湿地再生シンポジウム 2006, 大津市

松野葉月・植田睦之・三橋弘宗(2006)ヒバリの繁殖分布に及ぼす河川敷草地の重要性, ポスター発表, 国際湿地再生シンポジウム 2006, 大津市

Matsuno H., M.Ueta & H.Mitsuhashi(2006) Importance of the grassland habitats along river ecosystems: viability of Skylarks *Alauda arvensis* occurrence. "EFES Symposia: Model oriented ecotone dynamics in landscapes", 2nd EAFES International Congress, Niigata, Japan.

Harada E., Ogawa M., M.Kamada & M.Mitsuhashi(2006) Mapping potential habitats of rare hygrophyte species for conservation planning in rural regions. "EFES Symposia: Model oriented ecotone dynamics in landscapes", 2nd EAFES

International Congress, Niigata, Japan.

布川洋之・吉田一夫・原田悦子・三橋弘宗・鎌田磨(2006) トンボ目の潜在的生態適地の広域的評価, ポスター発表, 第53回日本生態学会新潟大会, 新潟市

三橋弘宗(2006)川はなぜ蛇行すべきか?, ポスター発表, 第53回日本生態学会新潟大会, 新潟市 (ポスター最優秀賞 受賞)

三橋弘宗・鈴木まほろ(2006)自由集会「博物館の生態学2 ~ どう伝える生態学の面白さ~」, コーディネーター, 第53回日本生態学会新潟大会, 新潟市

三橋弘宗(2006)自由集会「自然再生事業の現状と課題」, 口頭発表, 兵庫県の安室川自然再生事業, 第53回日本生態学会新潟大会, 新潟市

助成を受けた研究

「水田生物多様性温存地域ホットスポットの広域的探索と農村環境再生ストラテジ - 水田生態系の保全再生に必要な農村環境要因は何か? -」. 研究代表者: 日鷹一雅(愛媛大学農学部). 文部科学省科学研究費基盤研究(B), 研究分担者(80万円/580万円).

「身近な川の『水生昆虫図鑑』をつくろう(05022-01)」, 独立行政法人科学技術振興機構 地域科学館連携支援事業 2005年度. 主担当(1098万円)

「ひょうごの川自然環境調査」, 兵庫県県土整備部河川計画局河川計画課分任事業, 主担当(485万円)

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.4-2006.3 河川底生動物. 豊岡市, 猪名川町, 上郡町, 浜坂町, 青垣町, 芦屋市など.

受贈担当資料

魚類, 底生動物および陸生昆虫, 「河川環境調査採集標本(兵庫県県土整備部河川計画課)」, 一式

整理同定担当資料

昆虫(水生昆虫, 甲殻類, 両生類, 魚類, 扁形動物, 環形動物).

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

2005.8 教職員セミナー「授業でつかえる川の環境調査」, 講師, 人と自然の博物館(50名)

2005.11 サイエンスショー・ワークショップ 「水生昆虫の顕微鏡写真でカードをつくろう」, JST, 人と自然の博物館, 三田市(200名)

2005.12 サイエンスショー・ワークショップ 「水生昆虫の顕微鏡写真でカードをつくろう」, JST, 人と自然の博物館, 三田市(150名)

2006.2 サイエンスショー・ワークショップ 「水生昆虫の顕微鏡写真でカードをつくろう」, JST, 人と自然の博物館, 三田市(250名)

館外講演など

2005.8 パソコンを使って自然環境を捉える, 兵庫陸水生物研究会, 姫路科学館, 姫路市(50名)

2005.10 「枚挙する河川調査から問題解決型河川調査への展開」, 河川講習会(兵庫県県土整備部), 兵庫県立人と自然の博物館(100名)

2005.12 「北播磨の生き物と川・ため池・里山の環境」, 森・川・海再生事業加古川流域フォーラム, 講師, 兵庫県北播磨県民局(100名)

非常勤講師など

2005年4月1日~2006年3月31日 独立行政法人国立環境研究所(つくば市), 客員研究員.

2005年4月1日~2006年3月31日 大学共同利用機関法人総合地球環境研究所(京都市), 客員研究員.

キャラバン事業

【運営担当】

2005.7.13-8.31 阪神北地区, 伊丹市昆虫館(主担当)

2005.9.7-9.13 阪神北地区学校キャラバン, 伊丹市立鴻池小

学校(主担当)

【実習・講座】

2005.8 阪神北地区 封入標本をつくろう(実習) 伊丹市昆虫館, 伊丹市(2回).

2005.8 阪神北地区 水生昆虫紙芝居(実習) 伊丹市昆虫館, 伊丹市(2回).

2005.8 但馬地区 封入標本を作ろう, コウノトリ文化館, 豊岡市

2005.9 阪神北地区 外来種問題を考える(講座) 伊丹市昆虫館, 伊丹市

2005.9 阪神北地区 川のしくみについて(講座) 伊丹市立鴻池小学校, 伊丹市

【展示作成】

2005.10-11 中播磨地区 外来種に関する展示物作成. 姫路市伊勢自然の里, 姫路市立飾磨小学校, 姫路市環境ふれあいセンター, 姫路市立山田小学校(計4施設), 姫路市.

2005.7-8 阪神北地区 外来種および河川環境に関する展示物作成, 伊丹市昆虫館, 伊丹市.

2005.8-9 東播磨地区 外来種に関する展示作成, 明石市立文化博物館, 明石市

2006.2-3 阪神南地区 外国から連れて来られた生物, 西宮市立山口小学校, 西宮市

ミニキャラバン事業

2005.8 阪神北地区 猪名川の自然環境(展示ブース出展), 第14回全国川サミット in 猪名川, 猪名川町立文化体育館, 猪名川町

学校教育支援

学校団体対応等

2005.8 夏期教職員セミナー「授業に役立つ川の環境学習」, 講師, 博物館(50名)

2005.9 GIS(地理情報システム)による天然資源・農業生産物に管理に関する技術講習会, 講師, 財団法人日本国際協力センター中部支社(名古屋大学農学国際教育協力研究センター)(10名)

2006.2 水生昆虫について, 講師, 丹波市立大小路小学校(80名)

2006.3 水生昆虫と川の調べ方, 講師, 東条町立東条東小学校(60名)

講師派遣等

2005.5 総合学習「博物館学」, 講師, 県立御影高校(20名)

2005.6 水生昆虫の封入標本をつくろう, 講師, 宝塚市立西谷小学校, 宝塚市(50名)

2005.7 水生昆虫の観察会, 講師, 三田市立有馬富士自然学習センター, 県立有馬富士公園, 三田市(44名)

2005.6 芦屋川観察会(指導者向け), 講師, NPO 法人芦屋川に魚を増やそう会(県阪神南県民局助成事業), 芦屋市(35名)

2005.7 芦屋川観察会(指導者向け), 講師, NPO 法人芦屋川に魚を増やそう会(県阪神南県民局助成事業), 芦屋市(30名)

2005.7 西播磨高齢者文化大学講座「川のしくみ」, 講師, 兵庫県立西播磨文化会館, 新宮町(100名)

2005.8 川の生態系と封入標本の作成について, 講師, 姫路科学館, 姫路市(30名)

2005.8 水生昆虫の調べ方, 講師, NPO 法人芦屋川に魚を増やそう会(県阪神南県民局助成事業), 人と自然の博物館, 三田市(30名)

2005.9 水生昆虫の標本づくり~封入標本をつくろう~, 講師, NPO 法人芦屋川に魚を増やそう会県阪神南県民局助成事業, 芦屋市立精道小学校, 芦屋市(30名)

2005.9 総合学習「博物館学」, 講師, 県立御影高校(20名)

2005.9 第1回自然系博物館における標本情報の発信に関する研究会, 事務局兼講師, NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク, 大阪市(30名)

2005.10 総合学習「博物館学」, 講師, 県立御影高校(20名)

2005.10 第2回自然系博物館における標本情報の発信に関する研究会, 事務局兼講師, NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク, 大阪市(60名)

2005.11 研究発表会公開授業「水生生物博士になろう」, 講師,

東条町立東条東小学校 (100 名)
2005.12 総合学習「博物館学」, 講師, 県立御影高校 (20 名)
2005.12 水生昆虫の観察, 講師, NPO 法人シニア自然大学, 芦屋市 (50 名)
2005.12 水環境の大切さ, 講師, 兵庫県いなみ野学園, 兵庫県高齢者生きがい創造協会, 稲美町 (80 名)
2006.1 バイカモについての学習, 講師, 丹波市立神楽小学校, 丹波市 (25 名)
2006.2 第3回自然系博物館における標本情報の発信に関する研究会, 事務局兼講師, NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク, 国立科学博物館, 東京都 (100 名)
2006.2 県土整備部技術職員研修 (GIS 講習会), まちづくり技術センター, 神戸市 (2 回, 計 50 名)
2006.2 県土を知ろうキッズプロジェクト「川の総合学習シンポジウム」, 講評, 兵庫県県土整備部, 三木町文化交流プラザ, 三木市 (約 1000 名)
遠隔授業
2005.10. 「猪名川プロジェクト」, 川西市立川西北小学校, 桜ヶ丘小学校, 緑台小学校, 北陵小学校 (約 150 名)
2006.1. 「田んぼの生態系について」, 鳥取県立倉吉農業高校 (20 名) 岡山県立瀬戸南高校 (20 名).
2006.2. 「田んぼの生態系について」, 鳥取県立倉吉農業高校 (20 名) 岡山県立瀬戸南高校 (20 名).
研修生等の受入
博物館実習
2004.8 博物館実習「封入標本の製作」解説, 4 名
卒論生等
2005.4-2006.3 徳島大学大学院工学部 学部生 2 名 院博士 1 名. 指導補助.
2005.4-2006.3 大阪府立大学大学院修士過程, 1 名. 指導補助.
展示
企画展
2005.7.10-2005.9.25, 企画展「コウノトリの野生復帰と自然再生」(副担当, 全展示物の製作とアレンジを担当).
2005.10.22-2006.1.22 企画展「はてなの世界」(サウンドクイズの製作)
2. シンクタンク事業
受託研究
「川づくり環境データ等整備業務」. 代表, 県土整備部河川環境室 (分任, 責任者)
「身近な川の水生昆虫を調べてみよう」. 平成 17 年度地域科学館連携支援事業, 科学技術振興機構 (主催者: コンテンツ製作, システム開発, グラフィックデザイン)
収蔵庫・ジーンファームの公開
液浸蔵庫等の案内, 8 回, 24 名.
行政等支援
委員会等 (計 16 件)
2005.4- ひょうごの川・自然環境調査アドバイザー (明石川水系), アドバイザー, 神戸県民局神戸土木事務所. (計 4 回)
2005.4- ひょうごの川・自然環境調査アドバイザー (加古川水系), アドバイザー, 北播磨県民局土木事務所. (計 4 回)
2005.4- ひょうごの川・自然環境調査アドバイザー (矢田川水系), アドバイザー, 但馬県民局浜坂土木事務所. (計 4 回)
2005.4- 加古川 佐治川「幸世水辺の楽校」検討委員会 委員, 丹波県民局柏原土木事務所 (計 2 回)
2005.4- 安室川自然再生計画検討委員会, 委員, 兵庫県県土整備部 (計 6 回).
2005.4- 円山川水系自然再生計画検討委員会, 委員, 兵庫県県土整備部 (計 4 回).
2005.4- 上流武庫川環境に配慮した床止工の施工に関する委員会, 委員, 兵庫県阪神北県民局三田土木事務所. (計 1 回)
2005.4- 岸田川水系河川整備計画懇談会, 委員, 兵庫県但馬県民局浜坂土木事務所. (計 4 回)
2005.4- 全国科学系博物館情報ネットワーク推進検討委員会, 委員, 国立科学博物館 (文部科学省生涯学習局) (計 2 回)
2005.10- 自然系博物館における標本情報の発信に関する研究会, 事務局 (運営主担当), NPO 法人西日本自然系博物館ネ

ットワーク (計 3 回)
2005.4- 千種川水系魚にやさしい川づくり検討委員会, 委員, 西播磨県民局上郡土木事務所 (計 4 回)
2005.8- 中国支管内自然環境対策検討委員会, 委員, 社団法人道路緑化保全協会 (計 2 回).
2005.7- 塩川の河川改修工法検討会, 委員, 兵庫県阪神北県民局宝塚土木事務所 (計 4 回).
2005.11 加屋川生態調査, アドバイザー, 兵庫県西播磨県民局上郡土木事務所 (計 2 回)
2006.2- 武庫川流域委員会環境ワーキング, ワークショップの運営, 兵庫県県土整備部河川局河川計画課 (計 1 回)
2006.3- 生態系保全対策検討委員会 (特定外来種法に関する対策), 兵庫県健康生活部環境局 (計 2 回)
相談・指導助言
来訪者 75 件, 120 名. 電話・FAX 相談 45 件, メール相談 120 件.
学会開催等支援
2004.8.28 「鳥類を蘇らせる方法」(応用生態学会との共催), 兵庫県立人と自然の博物館, ホロンピアホール (副担当)
土木学会, 日本陸水学会, 日本生態学会, 応用生態学会 査読
3. 特別プロジェクト
GBIF 拡大プロジェクト, (計 3 回)
情報システムアドバイザー, (情報システムに関する定例会 計 12 回)

自然・環境マネジメント研究部
動物共生研究グループ/シンクタンク事業室長
主任研究員
大谷 剛, Takeshi OHTANI
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門 教授.
昭和 22 年福島県生. 北海道大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学. 理学博士. 日本昆虫学会, 日本生態学会, 日本動物行動学会, 国際社会性昆虫学会, 兵庫県生物学会, 日本直翅類学会等所属.

< 事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事 >
1. 事業推進部シンクタンク事業室
中期目標とりまとめ, 兵庫県シンクタンク等協議会平成 17 年度事業実績とりまとめ, 西日本自然史系博物館ネットワーク学芸員技術講習会事務局業務
2. 研究開発会議
なし

< 研究開発 >
1. 調査研究
特別課題研究 (個人研究)
1. 行動から見たミツバチ属の社会構造の解析
2. 1 個体追跡法に基づく動物の行動研究
3. 動物の歩行肢に関する考察
共同研究
部門研究「生態学的にみた共生の現実と未来」, 研究分担者.
論文・著書
大谷 剛 (2005) 『昆虫・大きくなれない擬態者たち』. OM 出版発行, 農文協発売, 175pp.
大谷 剛 (監修, 2005) 『アリ! ? ずかん』. アリス館, 64P.
Imafuku, M. and Ohtani, T. (2006) Analysis of coordinated circling and linear flights of a lycaenid butterfly species. Naturwissenschaften 93:131-135.
大谷 剛 (監修, 2006) 『育てて, しらべる日本の生きものずかん・なくむし』. 集英社, 38pp.
その他著作
大谷 剛 (2005) 直翅目 5 種の鳴く時間帯 (予備調査). 兵庫生物 13(1):1-5.
大谷 剛 (2005) ニホンミツバチの撤去 3 例 (2003 年). 兵庫生物 13(1):7-11.

大谷 剛 (2005) 虫時雨という防御。ミュージアムレター(人博ニュース)第 59 号(メルマガジン 2005.5.4)

大谷 剛 (2005) 毒をもつ昆虫たち。『宝塚市大事典』(宝塚市大事典編集委員会, 宝塚市)45-50.

学会役員など
兵庫県生物学会, 編集委員。

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.10 鳴く虫の標本。鳴き声。山口県萩市。

2006.3 ゲンジボタル幼虫上陸観察。神戸市北区道場町。

受贈担当資料

2005.10 兵庫県産イネ科植物ほか(藤本氏コレクション下見)。

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

大谷 剛, 2005.6 - 2005.9, 「初級鳴く虫インストラクター養成講座」, 実習室・深田公園 (全 3 回, 41 名)。

大谷 剛, 2005.7, 「コウチュウ・ハチ・アブの標本作り体験」, 実セミ・深田公園 (20 名)。

大谷 剛, 2005.7, 「チョウ・ガの標本作り体験」, 実セミ・深田公園 (9 名)。

大谷 剛・中西明徳・足立 勲・沢田佳久・八木 剛 2005.7-8, 「昆虫標本づくり実演コーナー2005」, ひとつはサロン (全 18 回, 585 名)。

大谷 剛, 2005.8 - 2005.9, 「上級鳴く虫インストラクター養成講座」, 有馬富士公園 (全 4 回, 42 名)。

大谷 剛, 2005.9, 「親と子の鳴く虫の夕べ」, 有馬富士公園 (16 名)。

大谷 剛, 2006.1, 「早押し音あてクイズ」, 大セミナー室 (18 名)。

館内特注セミナー

大谷 剛・橋本佳延・客野尚志, 2005.10, 展示解説・地球温暖化・キャラバン, 大阪府みどりの公社 (30 名)。

大谷 剛, 2005.11, 館の概要と昆虫の研究, NPO 法人シニア自然大学つちのご探検隊 (15 名)。

大谷 剛, 2005.11, 環境と昆虫, うれしの学園生涯大学環境創造コース (60 名)。

館外講演など

2005.4 野外昆虫観察会, 有馬富士フェスティバル・イベント (38 名)。

2005.6 および 10 昆虫野外観察(午前午後各 1 回), 講師, シルバーカレッジ(しあわせの村) (52 名)。

2005.7 「外来種 3 セイヨウマルハナバチ」, 県立大ひょうご講座, 神戸学習プラザ (38 名)。

2005.7 「昆虫標本づくりと昆虫さがし」, 平成 17 年度「たかつき子ども自然体験学校」第一期第 4 回プログラム, NPO 法人たかつき (42 名)。

2005.8 夏休み虹つ講座「トリビア博士に学ぶ昆虫大百科」, 協同学苑研修室 B 生活協同組合コープこうべ協同学苑 (19 名)。

2005.8 親子であつまれ自然あそび塾(8)「昆虫をさがして標本をつくらう」, しあわせの村野外活動センター「あおぞら」とその周辺 NPO 法人社会還元センターグループわ (98 名)。

2005.10 森のセミナー「秋の鳴く虫を知ろう」, 姫路市自然観察の森 (10 名)。

2005.10 野外昆虫観察会, 有馬富士フェスティバル・イベント (32 名)。

非常勤講師など

2005.6 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学。

キャラバン事業

副担当

2005.7~8 阪神北地区 テーマ「ひとつはキャラバン in いたこんカーニバル」

リサーチプロジェクト

伊丹市における外来種情報(8 名参加)

セミナー担当

2005.9.24 神戸地区(県立神戸生活創造センター), 神戸駅周辺の鳴く虫 (講師)

2005.10 淡路地区(沼島小学校), トリビアの泉風昆虫の知識 (講師)

ミニキャラバン事業

2005.10, 有馬富士フェスティバル(分担者), 有馬富士フェスティバル実行委員会, 有馬富士公園。

学校教育支援

トライやるウィーク

2005.5.31 - 6.3 ゆりのき台中学校 1 名・長坂中学校 1 名。

学校団体対応等

2005.6 自然学校のための展示解説, 神戸市立道場小学校 (52 名)。

2006.2 氷ノ山, 共生の森展示解説, 三田市立武庫小学校 (23 名)。

2005.5~2006.2 ミニセミナー「トリビアの泉風昆虫の知識」小学校 9 校+子ども会 1 団体 (総計 814 名)。

講師派遣等

2005.6 夜間昆虫採集・標本づくり・同定アドバイス, 神戸市立道場小学校 (52 名)。

2005.9 「トリビアの泉」昆虫知識(理科大好きモデル地域事業), 神戸市立井吹小学校 (258 名)。

2005.11 「小部の秋を楽しむつどい 自然ふれあいコンサート」(小部つつ子スポーツアートクラブ主催), 神戸市立小部小学校 (62 名)。

遠隔授業

2005.5 「テレビ授業」, 亀岡市立安祥小学校 2 年生 (113 名)。

2006.2 「テレビ授業」, ドイツ・デュッセルドルフ日本人学校小学部 5 年生 (32 名)。

研修生等の受入

卒論生等

2005.9.15 - 2006.3.31 溝田浩美(神戸市立有野児童館/西山児童館), アオバズクの残し餌調査。

展示

企画展

2005.10.22 - 2006.1.22 企画展「見逃すな! はてなの世界」(分担者)。

2. シンクタンク事業

行政等支援

相談・指導助言

来訪者 4 件, 6 名・電話・FAX 相談 24 件, メール相談 9 件。

自然・環境マネジメント研究部

動物共生研究グループ/スクールパートナー推進室

主任研究員

三谷 雅純, Masazumi MITANI

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門 助教授
昭和 29 年香川県生。京都大学大学院動物学研究科博士後期課程修了。理学博士。日本霊長類学会, 日本生態学会, 日本熱帯生態学会, 日本アフリカ学会, 日本哺乳類学会, 兵庫県政学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. スクールパートナー推進室

『子ども自然教室 - ミュージアム・スクールの記録』の作成担当, スクールパートナー推進室行事の記録担当, 博物館のユニバーサル化に関する接遇法の考察

2. 研究開発会議

研究主担当, 和文・英文紀要編集委員

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究

1. 身障者/身障児の社会教育のあり方
2. 熱帯林性霊長類の群集論的研究

3. 近畿・中国地方に見られた地域生態系の歴史的研究
4. GIS を利用した哺乳類空間分布の研究

論文・著書

三谷雅純(印刷中)カメルーンからガボン, コンゴ共和国地域の類人猿保護政策と地域住民・池谷和信・武内進一・佐藤藤也(編),「新世界地理 12: アフリカ - バントゥアフリカ, 西アフリカ沿岸部, 島嶼部」, 朝倉書店, 東京都.

その他著作

スクールパートナー推進室(三谷雅純はか)(2006)子ども自然教室-平成17年度ミュージアム・スクールの記録 第2版, 81+(インターネット版: <http://www.hitohaku.jp/top/school/size/kyousitu2/menu2.html>), 兵庫県立人と自然の博物館, 三田.

研究発表

2006.3.17-18. 京都大学霊長類研究所 第35回ホミニゼーション研究会「霊長類外研究の将来」, コメンテーター(120名), 犬山国際センター, 犬山.

学会役員など

2005.12- Mammal Study, reviewer.

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.4-2006.3 博物館のユニバーサル化に関する資料の収集.

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

東中国クマ集会・三谷雅純・加藤茂弘, 2004.5, 「動物の足形スタンプを作ろう」, 博物館(60名).

三谷雅純, 2005.8, 夏期教職員セミナー「からだの不自由な子ども達の野外活動入門」, 博物館(34名).

東中国クマ集会・三谷雅純・加藤茂弘, 2004.8, 「紙粘土で動物のうんこを作ろう」, 博物館(60名).

三谷雅純, 2005.9, ミニセミナー「ユニバーサル・ミュージアムをめざして」, 博物館(小規模作業所トークゆうゆう, 11名).

三谷雅純, 2005.10, 「ゴリラの再野生化と熱帯雨林の明日」, 博物館(全2回, 5名).

三谷雅純, 2006.2, 「歴史に探る自然の営み」, 博物館(全2回, 6名).

非常勤講師など

2005.6.8. 「哺乳類と果実」, 神戸芸術工科大学, 講師(80名).

地域研究員養成事業

成果発表

2006.2 共生の広場「動物の残した生活の跡は、自然からのメッセージ - 子どもとつくる、動物の紙粘土『うんこ』と足形スタンプ - 」, 東中国クマ集会(指導・協働)

学校教育支援

学校団体対応等

2005.9 高砂市立北浜小学校6年生(56名).

2005.10 明石市立王子小学校5年生(58名).

2006.2 ラーンネット グローバル・スクール小学校5年生から中学校(13名).

研修生の受け入れ

博物館実習

2005.8 「ユニバーサル・ミュージアムとは」神戸学院大学人文学部学生1名, 龍谷大学国際文化学部学生1名, 奈良女子大学理学部学生1名.

フェスティバル等

2005.10 ひととはくフェスティバル, 記録担当.

2005.11-2006.2 ひととはくサイエンスショー(全3回), 記録担当.

2. シンクタンク事業

行政等支援

委員会等(計2件)

2005.4-2006.3 Primate Specialist Group, member, The World Conservation Union (IUCN).

2005.4-2006.3 Species Survival Commission, member, The World Conservation Union (IUCN).

相談・指導助言

来訪者5件, 15名. 電話相談3件, メール相談30件, 手紙5件.

2005.4 学校教育とさまざまな自然観について.

2005.6 コンピュータを利用した失語症者の発話機能補填法について.

2005.10 障害児の自然活動について.

2005.12 養父市大屋町の自然の有効利用について.

自然・環境マネジメント研究部

動物共生研究グループ

主任研究員

坂田 宏志, Hiroshi SAKATA

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態部門 助教授.

昭和43年鳥取県生. 京都大学大学院農学研究科博士後期課程修了. 博士(農学). 生態学会学会, 哺乳類学会, 個体群生態学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部事業室

なし(ただし, 農林水産部森林動物共生室 係長 ワイルドライフ・マネジメント研究担当を兼務)

2. 研究開発会議

なし

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究(個人研究)

1. 生物種間の相互作用と共存に関する研究

2. 野生動物の保護と管理に関する研究

共同研究

総合共同研究「兵庫県における外来種対策の検討」, 研究分担者.

部門研究「共生の過去・現在・未来」, 研究分担者.

論文・著書

Hiroshi Sakata (2005) GIS application to wildlife management - Management of Sika deer population using GIS- GIS Technology for Sustainable Management of Natural Resources and Agricultural Products -Textbook of the JICA GIS Training Course- ed. Katsuhiko Kitagawa, Venkatesh Raghavan, Kazukiyo Yamamoto, 173p, JICA-Chubu, Nagoya, Japan. p140-152.

南祐介・川野佑・小西康夫・坂田宏志・石垣博行(2005) 兵庫県におけるニホンジカの個体群動態予測モデルの構築, 第6回計測自動制御学会 SI 部門講演会論文集 pp.1233-1234. 計測自動制御学会.

藤木大介・鈴木牧・後藤成子・横山真弓・坂田宏志(2006) ニホンジカ(Cervus nippon)の採食下にある旧薪炭二次林の樹木群集の構造について. 保全生態学研究, 11, 21-34.

研究発表

Hiroshi SAKATA, Shin-ichiro HAMASAKI and Mayumi YOKOYAMA (2005) Management of the Sika Deer Population in Hyogo Prefecture, The 9th International Mammalogical Congress, Sapporo, Japan.

坂田宏志・南 祐介・鮫島弘光(2006)「狩猟獣の個体群動態シミュレーション」. 自由集会「動物の分布拡大プロセスを予測する」, 第52回日本生態学会大会, 日本生態学会, 新潟市.

南祐介・川野佑・小西康夫・坂田宏志・石垣博行(2005) 兵庫県におけるニホンジカの個体群動態予測モデルの構築, 第6回計測自動制御学会 SI 部門講演会, 熊本県.

学会役員など

2004.9 哺乳類学会, ニホンジカ保護管理検討部会.

2005.4-2006.3 Ecological Research 誌 査読 2報.

2005.4-2006.3 European Journal of Entomology 誌 査読.

2005.4-2006.3 日本生態学会誌 査読.

2005.4-2006.3 Population Ecology 誌 査読.

助成を受けた研究

「大型野生動物の保護と管理に向けた地域的システム作り」
住友財団環境研究助成 研究代表者(金額 180万円/300万円).

2. 資料収集・整理

資料収集

2004.4-2005.3 兵庫県下全域における野生動物の保護管理に
向けた捕獲個体の標本収集ならびに生息状況に関する資料収集.

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

2005.7.9 「徹底解説！ニホンジカ 進化・形態・生理そして
社会的課題」人と自然の博物館 (43名).

2005.7 「徹底解説！ツキノワグマ-進化・形態・生理・生態
そして社会的課題」人と自然の博物館 (38名).

2005.8 教職員セミナー 「野生動物との共存を考える授業
づくり」人と自然の博物館 (40名).

2006.2 「生態学講座-人と自然の共生のための基礎知識-」
神戸学習プラザ (37名).

2006.3 「生態学講座-人と自然の共生のための基礎知識-」
神戸学習プラザ (32名).

館外講演など

2005.5 「生物多様性の保全」, 神戸新聞文化センター さわ
やか大学, 講師, 神戸市教育会館 (200名).

2005.6 「自然の変容編2 人と野生動物の関わり」, ひょう
ご大学連携事業推進機構 兵庫講座, 講師 (44人).

2005.7 「移入動物の実態等<アライグマ・ヌートリアの事
例から>」, 兵庫県生活衛生課, 動物愛護監視員研修会講師 (31
名).

2005.9 森林GISフォーラム, 森林GISフォーラム, 地
域セミナー in 島根 「中山間地域における持続可能な地域マ
ネジメントと森林GISの活用」, 島根県中山間地域研究センター,
講演, パネラー (136名).

2005.9 「兵庫県のシカの保護管理の実施状況と調査手法に
ついて」, 大阪府自然環境保全協会, 講師 (25名).

2005.10 シカ保護管理に関する研修・意見交換会 講師, 相
談対応, 環境省, 財団法人, (59名).

2005.10 「六甲山周辺の野生動物」, 県立大セミナー(六甲
山学), 講演, 兵庫県立大学神戸キャンパス (19名).

2005.10 自然研公開セミナー「どう考える2つの野生化!コ
ウノトリと外来生物」, 兵庫県立大学自然・環境科学研究所, 講
演, 兵庫県立大学神戸キャンパス (30名).

2005.11 「野生動物との共生を考える」, 日本森林学会関西
支部, シンポジウム講演, 京都 (130名).

2005.11 「高度化事業と獣害対策について」, 全国猿害対策
協議会, 屋久島 (30名).

2005.12 「六甲山での野生動物との共存を考える」, 六甲山
魅力再発見市民セミナー, 六甲山自然保護センターを活用する
会 (21名).

2006.1 「兵庫県の「森林野生動物管理官制度」について」,
2006年鳥獣保護法改正ここを変えたい!!緊急集会, 野生生物
保護法制定をめざす全国ネットワーク, 文京シビックセンター
(135名).

2006.1 「兵庫県におけるイノシシの状況」, ワイルドライ
フ・マネジメント研修会, 兵庫県農林水産局 (80名).

2006.1 「野生動物による農作物被害の現状と対策」, 篠山農
業改良普及事業協議会, 兵庫県篠山庁舎 (25名).

2006.2 「野生動物との関わり方」, 兵庫プロジェクト・ワイ
ルドを推進する会, 講演, 有馬富士講演 (22名).

2006.3 「兵庫県におけるニホンジカとニホンイノシシをめ
ぐる社会的課題-保全や農業被害, 狩猟など人との関わりにつ
いて-」, 有蹄類研究会 (50名).

2006.3 「兵庫県における外来生物の状況」, ワイルドライ
フ・マネジメント研修会, 兵庫県農林水産局 (80名).

非常勤講師など

2005.4-2005.9 「生態学」, 関西学院大学.

キャラバン事業

展示作成

兵庫県に生息する哺乳類 外来哺乳類の剥製 解説パネル等
セミナー担当

篠山キャラバン「野生動物と人との関わりについて」(30名)

篠山学校キャラバン「野生動物との関わりについて」(120名)

学校教育支援

学校団体対応等

2005.11 「野生動物の生活」峰相小学校 (8名).

2005.11 「身近な野生動物」松が丘小学校 (39名).

2005.2 「兵庫の野生動物」東山台小学校 (26名).

講師派遣等

2005.12 「外来種問題の現状を知る」, 神大附属住吉小学校
(119名).

研修生等の受入

卒論生等

2005.4-2006.3 南祐介(兵庫県立大学工学研究科修士課程
1年), ペトリネットを用いたシカの個体群動態予測.

2. シンクタンク事業

受託研究

「イヌを使ったシカ等野生動物の追い払いと防護の技術開
発」. 小課題責任者 森林総研(農水省高度化事業).

「イノシシ個体群の保護管理技術に関する研究」. 環境省, 自
然環境研究センター.

「特定外来生物緊急調査事業」. 兵庫県農林水産部より分任.
自然環境情報調査

「兵庫県下の中大型哺乳類の生息状況の変化に関する調査」.
兵庫県全域を対象(委託先: 関西野生動物問題研究会).

収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系, 液浸収蔵庫等の案内, 6回, 30名.

行政等支援

委員会等 (計13件)

2005.4 兵庫県鳥獣保護担当者会議, 兵庫県農林水産部.

2005.4 兵庫県環境審議会鳥獣部会, 特別委員, 兵庫県農
林水産部.

2005.4 鳥獣による農林水産被害対策に関する検討会, 委
員, 農林水産省3回.

2005.4 神戸県民局イノシシ対策会議, 委員, 神戸県民局1
回.

2005.4 兵庫県外来生物対策検討会, 委員, 兵庫県農林水
産部2回.

2005.4 兵庫県外来生物対策担当者会議, 兵庫県農林水産
部1回.

2005.4 ニホンザル対策担当者会議, 兵庫県農林水産部1
回.

2005.4 兵庫県ワイルドライフ・マネジメント運営協議会
個体数調整部会, オブザバー, 兵庫県農林水産部.

2005.4 兵庫県ワイルドライフ・マネジメント運営協議会
絶滅防止部会, オブザバー, 研究結果報告, 兵庫県農林水産部.

2005.4 兵庫県ワイルドライフ・マネジメント運営協議会,
事務局, 兵庫県農林水産部.

2005.4 森林野生動物管理官(仮称)制度, 候補者選抜,
兵庫県農林水産部.

2005.9 森林野生動物管理官(仮称)候補者 養成研修, 兵
庫県農林水産部18回.

2005.1- 近畿地方アライグマ防除モデル事業調査検討委員
会, 委員, 環境省近畿地方事務所1回

相談・指導助言

来訪者20件, 30名. 電話・FAX相談20件, メール相談50
件.

学会開催等支援

2004.4-2005.3 野生動物問題研究会.(全9回).

3. 特別プロジェクト

ワイルドライフ・マネージメントプロジェクト.

運営協議会事務局及び関連会議への参加, 資料作成, 先行研
究の実施, 課題対応

自然・環境マネジメント研究部

動物共生研究グループ

主任研究員

横山 真弓, Mayumi YOKOYAMA

昭和42年東京都生. 東京農工大学農学研究科修士課程修了. 獣医学博士(北海道大学).

日本哺乳類学会, 日本生態学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部

なし(農林水産部森林動物共生室 ワイルドライフ・マネジメント研究担当を兼務)

2. 研究開発会議

なし

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究(個人研究)

1. ニホンジカ・ツキノワグマの栄養生態学的研究

2. 野生動物個体群の生物学的モニタリングに関する研究

共同研究

部門研究「共生の過去・現在・未来」, 研究分担者.

総合共同研究「兵庫県における外来種対策の検討」, 研究分担者.

論文・著書

藤木大介・鈴木牧・後藤成子・横山真弓・坂田宏志(2006)ニホンジカ(Cervus nippon)の採食下にある旧薪炭二次林の樹木群集の構造について. 保全生態学研究, 11, (21-34).

その他著作

横山真弓(2005)人とクマを守る 被害軽減と絶滅の回避をめざす取り組み. Bears Japan, vol.6, No.1.

横山真弓(2005)ニホンジカから果樹園を護る基礎知識. 果実日本. Vol.60:48-50.

横山真弓(2005)宝塚の哺乳類. 宝塚市大事典(宝塚市大事典編集委員会, 宝塚市):85-88.

横山真弓(共著)2005)ひとはくフィールドワーク入門(大谷ほか編). 兵庫県立人と自然の博物館, 三田.

各研究発表

Mayumi YOKOYAMA (2005) Nutritional strategy of sika deer (Cervus nippon) in Japan. The 9th International Mammalogical Congress, Sapporo, Japan.

Hiroshi SAKATA, Shin-ichiro HAMASAKI and Mayumi YOKOYAMA (2005) Management of the Sika Deer Population in Hyogo Prefecture, The 9th International Mammalogical Congress, Sapporo, Japan.

横山真弓(2005)兵庫県におけるワイルドライフ・マネジメントの推進. 自由集会「行政と研究はどう協働するか? ~野生生物保護行政懇談会~」, 野生動物保護学会大11回大会, 金沢市.

助成を受けた研究

文部科学省科学研究費補助金 若手 A「絶滅危惧種ツキノワグマはなぜ人里へ出没するのか? 生理学的なアプローチからの出没要因の解明」, 研究代表者 (金額 1,664万円/2,564万円).

学会役員など

2004.9- 日本哺乳類学会ニホンジカ保護管理作業部会

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.4-2006.3 ニホンジカの捕獲個体の標本収集, 豊岡市, 丹波市, 篠山市, 三田市, 西脇市.

2005.4-2006.3 ツキノワグマの捕獲個体の標本収集, 丹波市, 篠山市, 西脇市.

2005.4-2006.3 ニホンイノシシ捕獲個体の標本収集, 篠山市, 加美町.

2005.4-2006.3 ニホンイノシシ捕獲個体の標本収集, 篠山市, 神戸市, 吉川町, 西宮市.

整理同定担当資料

哺乳類, 哺乳類痕跡, 生態映像資料.

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

2005.4.16, 「外来種問題を考えるー有馬富士の自然を守るためには?ー」, 県立有馬富士公園 (30名).

2005.7.9, 「徹底解説!ニホンジカ 進化・形態・生理そして社会的課題」, 人と自然の博物館 (43名).

2005.7.10, 「徹底解説!ツキノワグマ-進化・形態・生理・生態そして社会的課題」, 人と自然の博物館 (38名).

ミュージアムハイスクール「兵庫の野生動物の今を探る-標本で見る動物の姿」, 県立神戸高校 (8名).

2005.8.10, ミュージアムハイスクール「兵庫の野生動物の今を探る-解剖実験に挑戦」, 人と自然の博物館 (10名).

2005.8.19, 教職員セミナー「野生動物との共存を考える授業づくり」, 人と自然の博物館 (40名).

2005.11.3, 企画展講座「森を変える, シカが変わる」, 人と自然の博物館 (40名).

館外講演など

2005.6.5 野生動物と共存する社会をめざして-ツキノワグマを例に- 社団法人甲陽会阪神地区研修会, 講師(60名).

2005.9 人と野生動物の共存をめざして-今私たちにできる事は何か- 兵庫県阪神シニアカレッジ, 講師(120名).

2005.9 人と野生動物が共存できる社会をめざして-今私たちにできる事は何か- 神戸市シルバーカレッジ, 講師(130名).

キャラバン事業

展示制作

兵庫県に生息する哺乳類解説パネル, 在来哺乳類と外来生物の剥製製作

セミナー担当

篠山キャラバン「シカ肉料理教室」(講師)(10名)

篠山キャラバン「哺乳類の解剖実習」(講師)(10名)

学校教育支援

学校団体対応等

2006.4 「兵庫県のワイルドライフ・マネジメント」, 泉北高等学校(10名).

2006.8 「人と野生動物との共存を考える」, 和歌山県立海南高等学校(36名).

2006.11 「野生動物の保全」, 三輪小学校(22名).

研修生等の受入

博物館実習

2005.8 「哺乳類標本製作の実際」, 神戸学院大学人文学部学生1名, 龍谷大学国際文化学部学生1名, 奈良女子大学理学部学生1名.

フェスティバル等

ひとはくフェスティバル, 「兵庫県のワイルドライフ・マネジメント」, 収蔵庫ツアー・解説(20名).

博物館の日「こうもりウォッチング」, 観察会(30名).

展示

企画展

2005.10.22-2006.1.22 企画展「見逃すな!はてなの世界」(分担者).

2. シンクタンク事業

受託研究

「イヌを使ったシカ等野生動物の追い払いと防護の技術開発」. 小課題責任者 森林総研(農水省高度化事業).

「イノシシ個体群の保護管理技術に関する研究」. 環境省, 自然環境研究センター.

「特定外来生物緊急調査事業」. 兵庫県農林水産部より分任. 収蔵庫・ジーンファームの公開

液浸収蔵庫等の案内, 6回, 60名.

行政等支援

委員会等(計4件)

2005.4- 兵庫県鳥獣保護担当部会議, 兵庫県農林水産部.

2005.9- 森林野生動物管理官(仮称)候補者 養成研修, 兵庫県農林水産部5回.

2005.4- 兵庫県ワイルドライフ・マネジメント運営協議会

個体数調整部会,事務局,研究結果報告,兵庫県農林水産部.
2005.4 - 兵庫県ワイルドライフ・マネジメント運営協議会
絶滅防止部会,研究結果報告,兵庫県農林水産部.
相談・指導助言
来訪者 12 件, 30 名. 電話・FAX 相談 25 件, メール相談 30
件.
学会開催等支援
2004.4-2005.3 野生動物問題研究会.(全9回).

3. 特別プロジェクト ワイルドライフ・マネジメント プロジェクト

自然・環境マネジメント研究部
動物共生研究グループ
技術職員(臨時的任用)
藤木 大介, Daisuke FUJIKI
昭和 49 年大阪府生. 京都大学大学院農学研究科博士後期課程修
了. 博士(農学). 日本生態学会, 森林立地学会等所属.

< 事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事 >

1. 事業推進部事業室
なし
2. 研究開発会議
なし

< 研究開発 >

1. 調査研究
特別課題研究(個人研究)
 1. シカの採食が森林植生に及ぼす影響の研究
 2. 野生動物と植物の相互作用に関する研究論文・著書
藤木大介・鈴木牧・後藤成子・横山真弓・坂田宏志(2006)
ニホンジカ(Cervus nippon)の採食下にある旧薪炭林の樹木群集
の構造について. 保全生態学研究, 11, (21-34).
研究発表
藤木大介・菊澤喜八郎(2005)株立ち型木本植物の幹交換戦
略. 日本生態学会, 大阪国際会議場, 大阪市.
助成を受けた研究
「大型野生動物の保護と管理に向けた地域的システム作り」
住友財団環境研究助成, 研究代表者(金額 180 万円 / 300 万円).

< 事業推進 >

1. 生涯学習支援事業
セミナー
館主催セミナー
藤木大介, 2006.2, 「生態学講座一人と自然の共生のための基
礎知識」, 県立神戸学習プラザ (全5回, 42名).
館外講演など
2005.12 「株立ち型樹木の幹交換戦略」, 種子植物談話会,
大阪市立大学(15名).

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/事業推進部
副館長・事業推進部長・主任研究員
中瀬 勲, Isao NAKASE
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 教授.
昭和 23 年大阪府生. 大阪府立大学農学研究科修士課程修了. 農
学博士. 日本造園学会, 日本都市計画学会, 環境情報科学セン
ター等所属.

< 事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事 >

1. 事業推進部
博物館全事業とりまとめ
2. 研究開発会議
総合共同研究調整担当

< 研究開発 >

1. 調査研究
特別課題研究(個人研究)
 1. 多自然居住地域でのまちづくりに関する実践的研究
 2. ランドスケープ計画・設計論共同研究
総合共同研究「武庫川流域の山林と湿地」, 研究分担者.
部門研究「都市公園をフィールドとした実践重視型人材養成
のための連携システムに関する研究」, 研究分担者
論文・著書
中瀬勲(2005)震災と学校, グリーン・エージ 2005/5, (財)
日本緑化センター, 12-17.
中瀬勲(2005)伝えよう 1.17 の教訓, 兵庫県創造的フォーラ
ム実行委員会編, 分担執筆: 神戸新聞総合出版センター, 304-308.
嶽山洋志・中瀬勲(2005)GPS 搭載携帯電話と Web-GIS によ
るまちづくりに関わる意識啓発システムの構築とその効果に関
する研究・進修小学校での先行的実践授業からの考察, 都市計画
学会論文集 No.40-3, 199-204.
中瀬勲・嶽山洋志(2005)今博物館がおもしろい A Museum
Interesting, 公園緑地 66(4), 52-55.
中瀬勲(2005)県民と共に思索し行動し提言する博物館「ひと
はく」, まほら第 46 号 2006.1 冬, 芳林社, 57-59.
中瀬勲(2006)新しい自然史文化を求めて, 兵庫自治学 12 号,
兵庫自治学会.
その他著作
中瀬勲(2005)成熟時代の道路: その緑の意味, 道路と自然, 道
路緑化保全協会.
中瀬勲(2005)博物館の育ての親 那須さん, 那須孝悌追悼シン
ポジウム.
中瀬勲(2005)会長就任にあたって, ランドスケープ研究 69(2),
97.
中瀬勲(2005)図書紹介 環境都市計画事典, ランドスケープ研
究 69(2), 188.
Isao NAKASE(2005)Expectation for the 8th International
Landscape Architectural Symposium of China, Japan and
Korea, Journal of Landscape Architecture in Asia Vol. 1,
Chinese Landscape Architecture, 02-03.
中瀬勲(2005)異分野異業種との交流を促進その核としての造
園家の活躍に期待, 一造会会報, No36.
中瀬勲・宍野尚志(2005)『流域環境保全と市民活動』『自然と
人間が無事に行きつづけられる地域環境づくり』国際シンポジ
ウム, 文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業, 日本大学
生物資源学部, 13-18.
中瀬勲(2006)公園・緑地のマネジメント, 環境緑化新聞 2006
年 1 月 1 日新年号.
中瀬勲(2006)田舎の庭づくり地域づくり, 造園連新聞新年号,
日本造園連合会.
中瀬勲(2006)成熟社会の造園論, グリーンエージ平成 18 年新
年号, 日本緑化センター, 23-24.
中瀬勲(2006)生活の知恵を丹波づくりに活かす, 平成 17 年度
ぬくもり, 丹波 OB 大学自治会, 5-7. 中瀬勲(2006)丹波(篠
山市, 丹波市)のむかしばなし第六集(まえがき), (財)丹波の
森協会.
中瀬勲(2006)多彩な文化と豊かな暮らしを築く新しい丹波(巻
頭言), 丹波文化団体協議会会報, 平成 17 年 3 月 31 日.
中瀬勲(2006)『他の講演者への感想; Impression to the
lectures of speakers in the symposium』『自然と人間が無事
に行きつづけられる地域環境づくり』, 国際シンポジウム報告書,
日本大学生物資源学部.
中瀬勲(2006)『CNES の研究への取り組みについての感想;
Impression on the researches in CNES』『自然と人間が無事
に行きつづけられる地域環境づくり』, 国際シンポジウム報告書,
日本大学生物資源学部.
中瀬勲(2006)みんなで地域をプランニングする, 生活創造活動
プランナー養成講座「丹波共創の森」報告書, 兵庫県丹波の森
公苑.
中瀬勲(2006)失われつつあるものたちの行方, 関西アラカルト.
中瀬勲(2006)朝日文化欄

Isao Nakase・Takashi Kyakuno・Hiroshi Takeyama (2006) Regional Planning for Rural Area in TAMBA, Hyogo, Japan. BBEC 4th International Conference 2006, p45.

研究発表

Hiroshi Takeyama・Isao Nakase (2005) A Study of Environmental Management System and Role of Museum in nature-rich area. 大邱ハンイ大学校シンポジウム, 大邱.

Hiroshi Takeyama・Takashi Kyakuno・Isao Nakase (2006) Regional Planning for Rural Area in TAMBA, Hyogo, Japan. BBEC 4th International Conference 2006, Kota Kinabali, Sabah, Malaysia.

学会役員など

1995.6 (社)日本造園学会, 評議員.

1995.6 (社)日本造園学会, 校閲委員.

2000.1 (社)日本造園学会, ランドスケープマネジメント研究委員会, 企画責任者.

2000.1 (社)日本造園学会, 景観計画・デザイン研究委員会, 委員.

2004.5 (社)日本造園学会, 関西支部監事.

2005.5 (社)日本造園学会, 学会長, 理事.

1996 (社)日本都市計画学会, 学術研究発表論文・一般研究論文審査部会, 委員.

2001.10 人間・植物関係学会, 理事, 副会長.

1995.6 (社)環境情報科学センター, 評議員.

1995.7 (社)環境情報科学センター, 環境情報科学論文集査読委員会, 委員.

1995.9 兵庫県政学会, 評議員.

2002.3 (財)日本グラウンドワーク協会, 評議員.

NPO など

任意団体「花みどり市民ネットワーク」, 代表.

NPO 法人「六甲山と市民のネットワーク」, 顧問.

NPO 法人「里と森のゼロエミッション倶楽部」, 顧問.

NPO 法人「尼崎男女共同参画ネットワーク」, 理事.

任意団体「農都共生ネットこうべ」, 顧問.

NPO 法人「西日本自然史系博物館ネットワーク」, 副理事長.

任意団体「六甲楽学会」, 代表.

任意団体「高槻市民環境会議」, 相談役.

任意団体「国領区まちづくり活性化委員会」, アドバイザー.

NPO 法人「地域再生研究センター」, 理事.

任意団体「朝来自然塾」, 相談役.

助成を受けた研究

対話型科学技術社会に求められる教師教育プログラムの開発と評価。科学技術研究費補助金・基礎研究 A, 研究分担者(金額 3934.5 万円 / 3934.5 万円)。

兵庫県から今後の環境学習のあり方について提言・啓発する活動。コベルコ環境基金 研究代表者(金額 500 万円 / 500 万円)。

海外調査

2005.10 韓国・テグ市におけるグリーンツーリズム。

2005.10 中国・上海市造園教育に関する国際会議, 中日韓国造園家会議。

2. 資料収集・整理

資料収集

丹波、但馬地域などの多自然居住地域の景観写真

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

中瀬勲, 2005.8, 「造園・景観学講座」, 神戸学習プラザ (全 10 回, 43 名)。

中瀬勲, 2006.3, 「公園は人々の幸せのために-公園の主役は住民-」, ひょうご公園フォーラム in ありまふじでの対談, 兵庫県神北県民局と共催, 三田市 (120 人)。

館外講演など

2005.4 「市民と育む六甲の緑」, 講師, 都市山麓グリーンベルト担当者会議・国土交通省六甲砂防事務所, 神戸市 (90 人)。

2005.4 「地球変動研究と環境教育-APN に期待される役割-」, パネラー, APN10 周年記念シンポジウム, 神戸市 (110 人)。

2005.5 「緑豊かなまちづくり」, 講師, 全国市町村アカデミー, 千葉市 (20 人)。

2005.5 「エコロジカルネットワーク」, 講師, 国土交通省研究会; エコロジカルネットワーク構築に向けて研究会, 東京都 (40 人)。

2005.5 「パークマネージメント・システムの新たな展開に向けて」, 企画者, 日本造園学会平成 16 年度全国大会分科会, 東京都 (80 人)。

2005.5 「花と緑の環境づくりと私達の役割」, 講師, 兵庫県阪神シニアカレッジ, 三田市(人と自然の博物館) (55 人)。

2005.5 「丹波 OB 大学大学院生に期待するもの」, 講師, 平成 17 年度兵庫県地域高齢者大学丹波 OB 大学大学院地域活動実践講座, 丹波市 (80 人)。

2005.5 「六甲山の景観計画を考える」, 講師, 六甲山魅力再発見市民セミナー, 神戸市 (40 人)。

2005.6 「地域の活性化と公民館活動」, 講師, 平成 17 年度阪神地区公民館運営審議会委員連絡協議会定例総会の記念講演, 三田市 (80 人)。

2005.6 「海外(オーストラリア・ニュージーランド)の博物館事情」, 講師, 平成 17 年度兵庫県博物館協会第 1 回研修会, 姫路市 (80 人)。

2005.6 「緑のまちづくりと NPO の役割」, 講師, 加古川市花と緑の街づくりリーダー養成講座, 加古川市 (50 人)。

2005.7 「ひょうごの風景」, 講師, 平成 17 年度「ひょうご自然環境セミナー」, 神戸市 (30 人)。

2005.7 「新エネルギー・バイオマスエネルギーと地域づくり」, 講師, 高槻市環境市民の集い, 高槻市 (40 人)。

2005.7 「参画と協働を通した地域づくり」, 講師, 丹波の森大学, 丹波市 (100 人)。

2005.7 「学校の屋外環境づくり」, 講師, 学校の環境づくり推進研究会, 文部科学省・日本緑化センター, 大阪市 (80 人)。

2005.7 「参画と協働のまちづくり」, 講師, なごや環境大学まちづくりシンポジウム第 2 分科会事前会議, 名古屋市 (20 人)。

2005.8 「美しいまちづくりに役立つ景観事例集座談会」, (社)ランドスケープコンサルタンツ協会, 東京都 (10 人)。

2005.8 「清流と共に暮らすには」, コーディネーター, 第 14 回全国川サミット in 猪名川, 猪名川町 (80 人)。

2005.8 「地域再生と市民・NPO の役割」, 講師, (株)三ツ星ベルト研修会, 人と自然の博物館, 三田市 (80 人)。

2005.8 「震災後の取り組み」, 造園夏期大学, (財)日本修景協会, 大阪市 (60 人)。

2005.9 「博物館育ての親・那須先生」, コメンテーター, 那須先生追悼シンポジウム, 大阪市 (120 人)。

2005.9 「中央環境審議会総合政策部会と各種団体との意見交換会」, (社)日本造園学会派遣, 東京都 (30 人)。

2005.9 「コウノトリ未来国際がいぎ」, 第 3 分科会, 座長, 兵庫県・豊岡市共催, 豊岡市 (130 人)。

2005.9 「自然と人間が無事に生きつづけられる地域環境づくり-国際シンポジウム-」, 講師, パネラー, 文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業・日本大学生物資源学部, 藤沢市 (400 人)。

2005.10 「兵庫県政学会, 第 4 ; 環境分科会」, コーディネーター, 兵庫県政学会, 神戸市 (40 人)。

2005.10 「食とまちづくり」, 講師, 平成 17 年度兵庫県保健所栄養士協議会, 神戸市 (50 人)。

2005.10 「公民館とまちづくり」, 助言者, 平成 17 年度全国公民館大会, 神戸市 (400 人)。

2005.10 「環境問題と市民生活」, 講師, 宝塚市環境市民大学, 宝塚市 (30 人)。

2005.10 「災害につよい街づくり」, 講師, パネラー, 環境・緑化振興会・平成 17 年度事業, 長岡市 (150 人)。

2005.10 「名古屋環境大学まちづくりシンポジウム」, 講師, 「名古屋環境大学」実行委員会, 名古屋市 (85 人)。

2005.10 「New Challenge for Environmental Education and Learning - Museum is Interesting-」, Lecturer, The 1st Landscape Education Studies Symposium, Tongji Univ, Shanghai (300 人)。

2005.10 「Education System and Approaches to

Landscape Studies Education」, Cordinator, The 1st Landscape Education Studies Symposium, Tongji Univ, Shanghai (40人).

2005.11 「城下町柏原の魅力元気をつなげるまちづくりフォーラム」,コーディネーター,城下町柏原委員会,丹波市(120人).

2005.11 「地域創造における市民・NPOの役割」,講師,尼森の会,三田市(人と自然の博物館)(30人).

2005.11 「美たんばフォーラム」,コーディネーター,丹波の森花くらぶ・美たんばネット,丹波市(260人).

2005.11 「造園」,講師,神戸シルバーカレッジ,神戸市(30人).

2005.11 「都市とエコツーリズム」,講師,パネラー,都市環境問題研究会,大阪市(80人).

2005.11 「市民・水辺・流域」,講師,芥川水辺フェスタ・大阪府・高槻市,高槻市(60人).

2005.11 「緑空間のマネジメント・進化する市民活動」,講師,大阪の花と緑の街づくり事例報告会,大阪市(80人).

2005.11 「造園」,講師,神戸シルバーカレッジ,神戸市(30人).

2005.12 「みどりのコミュニティデザイン」,講師,ココロン小野クラブ講演会,小野市(120人).

2005.12 「丹波地域広域ツーリズムフォーラム」,総合コーディネーター,丹波広域ツーリズムフォーラム実行委員会,丹波市(200人).

2005.12 「参画と協働を通じた地域づくり」,講師,平成17年度阪神北県民交流大会,兵庫県阪神北県民局,こころ豊かな美しい阪神北推進会議(120人).

2005.12 「丹波にふさわしい造園作法」,講師,兵庫県丹波県民局,丹波市(40人).

2005.12 「自然と人々との関わり」,講師,円山川水系自然再生計画住民勉強会,兵庫県但馬県民局県土整備部,豊岡市(40人).

2005.12 「市民参加とまちづくり」,講師,加古川のまちづくりを話し合う会,加古川市(230人).

2006.1 「ユニバーサル社会のまちづくり」,講師,平成17年度「ユニバーサル社会推進地域セミナー」,兵庫県中播磨県民局,姫路市(240人).

2006.2 「西播磨の風景を生かしたむらづくり」,講師,西播磨「ふるさとの風景づくり」フォーラム,兵庫県西播磨県民局,相生市(380人).

2006.2 「地域づくりのこれから」,講師,第1回陶芸文化プロデューサー養成講座,兵庫県立陶芸美術館,篠山市(30人).

2006.3 「ミュージアム創設の”むかし・いま・みらい”」,いなみ野ため池ミュージアム推進実行委員会,加古川市(50人).非常勤講師など

2005.4-2005.10 「造園学」,国立大学法人神戸大学農学部.

2005.4-2005.10 「大学院特別講義」,国立大学法人大阪大学大学院工学研究科.

2005.10-2006.3 「緑地計画」,兵庫県立大学環境人間学部.学校教育支援

トライやるウィーク
2005.6.7-6.10 上野台中学校・藍中学校・けやき台中学校(計3名).

研修生等の受入
博物館実習

2005.8.15-8.19, 神戸芸術工科大学1名,関西学院大学1名.フェスティバル等

2005.11 ひとくはくフェスティバル,実行委員会委員(委員長),「わっなげ」,分担者.

2. シンクタンク事業

受託研究
「ミツカン吉川バイオトップ整備・運営に関する研究」.株式会社中壱酢店(兵庫県立大学で受託).

収蔵庫・ジーンファームの公開
環境系収蔵庫等の案内,2回,8名.

行政等支援
委員会等(計87件)

1993.3- (財)丹波の森協会,理事.

1994.10- 姫路市環境審議会,会長,姫路市.

1994.11- (財)日本グラウンドワーク協会,専門委員.

1996.4- (財)丹波の森協会,丹波の森研究所,所長.

1996.7- 兵庫県立丹波の森公苑運営委員会,委員,(財)丹波の森協会.

1997.8-2006.3 丹波OB大学運営委員会,委員,兵庫県立丹波の森公苑.

1997.8- 阪神シニアカレッジ運営委員会,委員,兵庫県.

1997.8- 「なぎさ海道」推進会議,代表委員,(財)大阪湾ベイエリア開発推進機構.

1997.8- 建設省近畿地方建設局,自然環境アドバイザー,(国土交通省)建設省.

1997.10- 兵庫県都市計画地方審議会,委員,兵庫県県土整備部(まちづくり部).

1997.12- 「1.17人類の安全と共生を考える兵庫会議」,会員.

1998.1- 三田市環境保全審議会,会長,三田市.

1998.1- (財)阪神・淡路大震災記念協会,研究企画委員会,委員.

1998.8- 環境アドバイザー,(財)ひょうご環境創造協会.

1999.4- (財)都市緑化技術開発機構,研究顧問.

1999.6- (財)姫路市緑化協会,理事.

1999.8- まちづくり専門家バンクへの登録(第43号),財団法人兵庫県都市整備協会,ひょうごまちづくりセンター.

1999.9- まちづくり広域活動助成に関する選定委員会,委員長,財団法人兵庫県都市整備協会,ひょうごまちづくりセンター.

2000.2-2006.1 明石市環境審議会,副委員長,明石市.

2000.5- NPO法人森のゼロエミッションサポート倶楽部,

運営委員.

2000.6- 里山保全アドバイザー(社)大阪自然環境保全協会.

2001.5- 「(財)兵庫県高齢者生きがい創造協会」,理事.

2001.8- 「関電公害防止協議会」委員長,兵庫県,姫路市,

関西電力株式会社.

2001.9- 「阪神南地域ビジョン委員会」,専門委員,兵庫県阪神南県民局.

2001.9- 「丹波地域ビジョン委員会」,専門委員,兵庫県丹波県民局.

2002.3- 「ささやまの森公園運営協議会」,委員,(財)丹波の森協会.

2002.7- 「長期ビジョン推進委員会」,副委員長,兵庫県企画管理部(県民政策部).

2002.7- 「尼崎21世紀の森づくり協議会」,委員,兵庫県県土整備部.

2002.9- 「兵庫県科学技術会議」,委員,兵庫県産業労働部.

2002.10- 「自然共生型流域圏・都市再生技術研究にかかるアドバイザー・ボード」,委員,大阪大学大学院.

2002.12- 「兵庫県環境審議会」,委員,兵庫県生活文化部(県民政策部).

2003.1- 「円山川水系自然再生計画検討委員会(仮称)」,委員,兵庫県但馬県民局.

2003.2- 「コミュニティ・ガーデン・ネットワーク」,理事,(財)都市緑化基金.

2003.6- 「丹波の魅力づくり提案事業」,審査委員,兵庫県丹波県民局.

2003.6- 「(社)日本公園緑地協会」,研究顧問.

2003.8- 「兵庫県ワイルドライフ・マネジメント計画・運営協議会」,副委員長,兵庫県農林水産部.

2003.8- 「いなみ野ため池ミュージアム推進委員会」,委員長,兵庫県東播磨県民局.

2003.8- 「丹波並木道中央公園管理運営協議会」,委員長,兵庫県丹波県民局.

2003.9- 「フルーツフラワーパーク(FFP)ガーデニング・コンテスト審査委員会」,委員長,神戸新聞社.

2003.10-2006.3 「平成15~16年度研究指導者」,(財)21世紀ヒューマンケア研究機構.

2003.10- 「国営明石海峡公園神戸地区マネージメント検討委員会準備会」,委員長,国土交通省.

2003.10- 「被災地空き地活用パイロット事業審査会」,委員,

兵庫県阪神・淡路大震災復興本部。
2003.10- 「兵庫県大連携等推進協議会」, 委員, 兵庫県教育委員会。
2004.3- 「兵庫県県民生活審議会」, 臨時委員, 兵庫県県民生活部。
2004.4- 「高槻市東部地域水路検討委員会」, 委員長, 大阪府。
2004.6-2006.3 「第29回全国育樹祭兵庫県実行委員会」, 委員, 農林水産部。
2004.6- 「東海・近畿・北陸ブロック会議」, 委員, (財)日本グラウンドワーク協会。
2004.7- 「近畿圏における自然環境の総点検に関する研究会」, 委員, 国土交通省。
2004.7-2006.6 「島本町環境保全審議会」, 会長, 島本町。
2004.7- 「グリーンスクール審査委員会」, 委員, 兵庫県教育委員会。
2004.12- 「国営事業環境配慮アドバイザーグループ」, アドバイザー, 近畿農政局。
2005.1-2006.12 「加古川市環境審議会」, 委員, 加古川市。
2005.1- 「兵庫県立甲山森林公園管理運営協議会」, 委員, 阪神南県民局。
2005.2-2006.3 「兵庫県立都市公園の整備・管理運営の基本方針検討委員会」, 委員長, 県土整備部。
2005.2-2007.3 「防災公園検討委員会」, 委員, (財)日本公園緑地協会。
2005.2-2006.3 「大阪湾岸道路西進部(六甲アイランド~駒ヶ林南)環境影響評価技術検討委員会」, 委員, 国土交通省。
2005.2-2006.3 「尼崎の森中央緑地植栽計画検討会」, 委員, 兵庫県阪神南県民局。
2005.4-2007.3 「近畿地方整備局景観アドバイザー」, 近畿地方整備局。
2005.4-2007.3 「阪神北ビジョン委員会」, アドバイザー, 兵庫県阪神北県民局。
2005.5- 「ひょうご環境学校事業」, アドバイザー, 兵庫県健康生活部。
2005.5- 「神戸市建設局指定管理者候補者選定委員会」, 委員長, 神戸市。
2005.6-2007.2 「イキイキサイエンス推進委員会」, 委員, 兵庫県教育委員会。
2005.6-2007.3 「(財)淡路花博記念事業協会評議員」, (財)淡路花博記念事業協会。
2005.6-2007.6 「公園緑地折下功労賞選考委員会」, 委員, (財)都市計画協会。
2005.7-2006.3 「環境づくり実践活動者育成講座開催事業審査会」, 委員, 兵庫県阪神北県民局。
2005.7-2007.7 「独立行政法人評価委員会日本万国博覧会記念機構分科会」, 臨時委員, 財務省。
2005.7-2006.3 「21世紀兵庫づくり懇話会」, コアメンバー, 兵庫県県民政策部。
2005.7-2006.3 「環境づくり実践活動者育成講座開催事業審査会」, 委員長, 兵庫県阪神北県民局。
2005.7- 「大門寺整備委員会」, 委員, 宗教学人大門寺。
2005.7- 「長期ビジョン推進委員会公募委員審査委員会」, 委員, 兵庫県県民政策部。
2005.8- 「自然史系博物館オリエンテーションホール改装企画剪定委員会」, 委員, 大阪市立自然史系博物館。
2005.8- 兵庫県立丹波の森公苑, 公苑長(財)丹波の森協会。
2005.8- 丹波OB大学, 学長, 兵庫県立丹波の森公苑。
2005.8- 「たんば共創の森」, 塾長, 兵庫県立丹波の森公苑。
2005.8- 「武庫川女子大学コンベンション審査委員会」, 委員, 武庫川女子大学。
2005.8- 「名勝慶野松原保存整備委員会」, 委員, 南あわじ市。
2005.8-2006.3 「城下町柏原委員会」, 委員, 兵庫県丹波県民局。
2005.9-2007.3 「野生動物保護管理運営協議会」, 委員, 兵庫県農林水産部。
2005.9-2006.9 「平成17年度ひょうごガーデンマイスター認定委員会」, 委員, (社)兵庫みどり公社。
2005.10- 「The 8th International Landscape architectural Symposium of China, Japan, Korea」, Organizing Committee。

2005.11- 「平成17年度阪神南ビジョン委員会グループ活動支援事業審査会」, 委員, 兵庫県阪神南県民局。
2005.11- 「登録ランドスケープアーキテクト(RLA)資格認定試験検定委員会」, 委員, RLA資格制度総合管理委員会。
2005.11- 「豊岡市総合計画審議会」, 副委員長, 豊岡市。
2005.11- 「新さわやかみどり創造プラン推進委員会」, 委員長, 兵庫県県土整備部。
2005.11- 「日本農学会」, 評議員。
2005.12- 「六甲山系グリーンベルト整備事業景観アセスメント手法検討会」, 委員, 国土交通省近畿地方整備局六甲砂防事務所。
2006.2- 「事業評価監視委員会」, 常任委員, 西日本高速道路株式会社。
2006.2- 「三田市新環境基本計画検討委員会」, 委員長, 三田市。
2006.3.10-2006.3.31 「特定外来生物対策委員長会議」, 委員, 兵庫県健康生活部環境局。
相談・指導助言
来訪者55件・電話・FAX相談0件・メール相談0件。

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ
研究員
藤本 真里, Mari FUJIMOTO
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 助手。
昭和36年兵庫県生 大阪市立大学生生活科学部卒 日本造園学会, 日本都市計画学会, 社会経済システム学会, 環境情報センター等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部 事業室
なし
2. 研究開発会議
なし

<研究開発>

1. 調査研究
特別課題研究(個人研究)
 1. 住民主導・行政支援型のまちづくり活動支援に関する研究
 2. 地域に根ざした環境教育の手法に関する研究共同研究
総合共同研究「武庫川流域の山林と湿地」, 研究分担者。
部門研究「都市公園をフィールドとした実践重視型人材養成のための連携システムに関する研究」, 研究代表者。
その他著作
藤本真里(2005)三田のまちづくりの担い手たち, 2004年度三田市民大学報告集, 5-11。
藤本真里(2005)協議会の設立に携わって, まちづくり交流誌 Echo, 2005 No.99, 2。
助成を受けた研究
兵庫県から今後の環境学習のあり方について提言・啓発する活動・コベルコ環境基金 研究分担者(金額500万円/500万円)。

2. 資料収集・整理

- 資料収集
2006.3 しそ森林王国における地域資源写真収集。宍粟市。

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業
セミナー
館主催セミナー
2005.4 大阪人間科学大学の新入生のみなさんへ, 講師, 大阪人間科学大学新入生研修, 博物館(400人)。
2006.3 ひょうご公園フォーラム, コーディネーター, 兵庫県阪神北県民局と共催, 三田市。(120人)
2005.11 「有馬富士公園における運営の特徴と課題」, 講師および企画, 有馬富士公園公開セミナー, 兵庫県阪神北県民局

と共催, 三田市。(10名)

館外講演など

2005.7 「市民参加による公園マネジメントの実際」, 講師, 最新緑化技術コース, 兵庫県立淡路景観園芸学校, 三田市。(10名)

2005.8 「兵庫県猪名川町の取り組み」, 発表者, 全国川サミット, 全国川サミット連絡協議会他, 猪名川町。(800人)

2005.9 「住民参加のまちづくりで大切なこと」, 講師, 相生まちづくり塾, 相生市, 相生市。(20人)

2005.11 「都市と公園」, 講師, NPOシニア自然大学講座(星組), NPOシニア自然大学, 大阪市。(40人)

2006.2 「有馬富士公園運営について」実践編(ワークショップ)」, 講師, マイスターコースファシリテーション入門, NPOシニア自然大学, 三田市。(40人)

2006.2 パネルディスカッション「地域における人づくりを考える」, コーディネーター, 阪神北地域夢会議・さわやかフォーラム, 阪神北地域ビジョン委員会他, 川西市。(200人)

キャラバン事業

主担当

淡路

ミニキャラバン事業

2005.4 有馬富士フェスティバル(分担者), 有馬富士フェスティバル実行委員会, 有馬富士公園。

2005.10 有馬富士フェスティバル(分担者), 有馬富士フェスティバル実行委員会, 有馬富士公園。

研修生等の受入

博物館実習

2005.8.15-8.19 神戸芸術工科大学1名・関西学院大学1名・フェスティバル等

2005.10 ひとつはフェスティバル, 「わっなげ」, 分担者。

2. シンクタンク事業

受託研究

「ミツカン吉川ピオトップ整備・運営に関する研究」, 株式会社中塾酢店(兵庫県立大学で受託)。

行政等支援

委員会等 (計17件)

2001.4 - 有馬富士公園運営・計画協議会コーディネーション部会, 部会長, 兵庫県。

2005.7 - 10 第5回ひょうごフローラフェスタ実行委員会幹事会, 幹事, 兵庫県。

2002.10 - 農業農村環境配慮検討委員会, 委員, 兵庫県。

2001.8 - 阪神北地域ビジョン委員会・専門委員, 阪神北県民局。

2002.11 - 2006.3 安室川自然再生検討会, 委員, 兵庫県西播磨県民局。

2000.11 - 千種川圏域清流づくり委員会, アドバイザー, 西播磨県民局。

1998.11 - さとやまづくり推進協議会ワーキング会議, 委員, 中播磨県民局。

2005.2 - 尼崎の森中央緑地 植栽検討部会, 委員, 兵庫県阪神南県民局。

2006.2 - 三田市新環境基本計画検討委員会, 委員, 三田市。

2005.4 - 篠山チルドレンズミュージアム運営委員会, 委員長, 篠山市。

2002.10 - 神戸市まちづくり専門委員会, 委員, 神戸市。

2005.6 - 2009.5 三木市都市計画審議会, 委員, 三木市。

2003.11 - 2005.10 尼崎市都市計画審議会, 委員, 尼崎市。

2003.4 - 宝塚市都市景観デザイン審査会, 委員, 宝塚市。

1998.4 - 豊中市まちづくり専門家会議, 委員, 豊中市。

2005.6 - 豊中市廃棄物減量等推進審議会, 委員, 豊中市。

2005.4-2006.3 まちづくりアドバイザー, 豊中市。

相談・指導助言

来訪者 70件, 210名。電話・FAX相談80件, メール相談90件。

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ/企画調整室
研究員

赤澤 宏樹, Hiroki AKAZAWA

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 講師。
昭和45年大阪府生。大阪府立大学大学院農学研究科修士課程修了。農学博士。日本造園学会, 日本都市計画学会, 環境情報センター, 人間・植物関係学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部 事業室

企画・調整室

2. 研究開発会議

なし

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究(個人研究)

1. コミュニティ・ランドスケープの形成に関する基礎的研究

2. 多自然居住地域におけるまちづくりに関する研究

共同研究

総合共同研究「武庫川流域の山林と湿地」, 研究分担者。

部門研究「都市公園をフィールドとした実践重視型人材養成のための連携システムに関する研究」, 研究分担者。

論文・著書

赤澤宏樹・奥川良介・加我宏之・忽那裕樹・近藤秀樹・小西弘明・長濱伸貴・野口健一郎・野田奏栄・花村周寛・武藤克夫・山崎亮・山本聡(2006) マゾヒスティック・ランドスケープ。252P, 学芸出版社, 京都。

赤澤宏樹(2005)兵庫県下における中山間地域の現状と特徴的な発展事例, 地域の再生と創造~持続可能な地域社会を創る~報告論文集, 25-28, 奈良県立大学。

研究発表

赤澤宏樹(2005)兵庫県下における中山間地域の現状と特徴的な発展事例, 第4回地域創造に関する全国ネットワーク研究交流会, 奈良県。

赤澤宏樹・松本勝正・森下敦・本位田有恒・西村正次郎・佐々木宏二・中橋文夫・堤幸一・吉見れい(2005) 国営明石海峡公園神戸地区アクションリサーチ(AR)計画~公園整備過程における管理運営試行調査, 平成17年度日本造園学会関西支部大会, 大阪府。

学会役員など

日本造園学会, 総務委員会幹事。

日本造園学会, 平成16・17年度造園作品選集刊行委員。

日本造園学会, 論文校閲委員。

人間・植物関係学会, 監査

助成を受けた研究

近隣コミュニティの緑化活動および支援制度による規範的緑地計画に関する研究~米国コミュニティガーデン活動を事例として~。文部科学省科学研究費若手研究(B), 研究代表者(金額90万円/250万円)。

GISと市民活動を組み合わせた園芸・緑化活動のユニバーサル化に関する研究。文部科学省科学研究費萌芽研究。研究分担者(180万円/400万円)。

兵庫県から今後の環境学習のあり方について提言・啓発する活動。コベルコ環境基金 研究分担者(金額500万円/500万円)。

海外調査

2006.2 アメリカ・ニューヨーク市。

2. 資料収集・整理

資料収集

アメリカのコミュニティ・ガーデン。

兵庫県下における古写真(阪神南地域, 但馬地域など)。

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

赤澤宏樹, 2005.10, 「名所図絵に見る兵庫津と景観」, 県立神

戸生活創造センター（全1回, 10名）.
赤澤宏樹, 2005.8, 「名所図絵に見る淡路島の歩き方」, 国立淡路青年の家（全1回, 3名）.
館外講演など
2005.5 「公園の市民活動」, 国営明石海峡公園フレンズ, 講師, 国営明石海峡公園淡路地区（15名）.
2005.9 「コミュニティガーデンってなに? - ゼロからはじめる地域コミュニティづくり - 」, カルチャータウンコミュニティガーデンづくりプロジェクト記念講演会, 講師, 三田市（50名）.
2005.11 「NYのコミュニティガーデン~市民が勝ち取った緑~」, 阪神シニアカレッジ国際コース 講師 尼崎勤労会館（50名）.
2005.11 「コミュニティと共に成長するランドスケープ」, 緑水会講演会, 講師, ホテルモントレ（40名）.
非常勤講師など
2005.4 - 2005.9 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学.
2005.4 - 2005.9 「中山間地域振興論」, 奈良県立大学.
2005.8 「博物館事前実習」, 神戸大学.
2005.9 - 2006.3 「農業と社会」, 奈良県立大学.
キャラバン事業
主担当
淡路地区「見つめよう淡路, 考えようAWAJI」
副担当
沼島キャラバン
セミナー担当
赤澤宏樹, 2005.8 「名所図絵に見る淡路島の歩き方」, 国立淡路青年の家（全1回, 3名）.
学校教育支援
トライやるウィーク
2005.6 狭間中学校・藍中学校（計4名）.
学校団体対応等
2005.5 神戸芸術工科大学環境・建築デザイン学科1年生（30名）.
2005.7 神戸芸術工科大学環境・建築デザイン学科4年生（3名）.
2005.12 狭間小学校（37名）.
研修生等の受入
博物館実習
2005.8.15-8.19 神戸芸術工科大学1名. 関西学院大学1名.
フェスティバル等
2005.10 ひとつはくフェスティバル, 「わっなげ」分担者.
2. シンクタンク事業
収蔵庫・ジーンファームの公開
環境系収蔵庫等の案内, 2回, 6名.
行政等支援
委員会等（計13件）
2000.10- ひょうごエコ市民ネットワーク, 理事.
2003.7- 人口減少社会の展望研究プロジェクト, プロジェクトメンバー, 兵庫県県民政策部.
2003.10- 兵庫県立西武庫公園再生計画策定協議会, 委員, 兵庫県阪神南県民局.
2003.1- 有馬富士公園運営・計画協議会場所づくり部会, 委員, 兵庫県県土整備部.
2003.8- 尼崎 21世紀の森づくり協議会森部会, アドバイザー, 兵庫県県土整備部.
2004.4- 尼崎 21世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県県土整備部.
2004.4- 国営明石海峡公園神戸地区マネージメントプラン検討委員会ラウンドテーブル, ファシリテーター, (社)日本公園緑地協会.
2004.12- 宝塚市都市景観デザイン審査会, 委員, 宝塚市.
2005.1- 国営明石海峡公園「神戸地区」マネージメントプラン検討委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.
2005.4- 国営明石海峡公園「神戸地区」マネージメントプラン検討委員会アクションリサーチ部会, 部会長, 国土交通省近畿地方整備局.
2005.2- 尼崎の森中央緑地植栽計画検討会, 委員, 兵庫県阪

神南県民局.
2005.2- 尼崎の森中央緑地植栽勉強会, コーディネーター, 兵庫県阪神南県民局.
2005.4- 国営明石海峡公園フレンズ, 会長, 国営明石海峡公園事務所.
相談・指導助言
来訪者 22件, 47名. 電話・FAX 相談 32件, メール相談 42件.
学会開催等支援
日本造園学会関西支部, デザインワークショップ LANDSCAPE EXPLORER, 企画メンバー.
3. 特別プロジェクト
ネクストミュージアムプロジェクト
とりまとめ担当

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ
研究員
嶽山 洋志, Hiroshi TAKEYAMA
昭和51年大阪府生. 大阪府立大学大学院農学生命科学研究科修士課程修了. 日本造園学会, 都市計画学会, こども環境学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部 事業室
なし
2. 研究開発会議
研究開発会議事務局担当, 研究部資料担当.

<研究開発>

1. 調査研究
特別課題研究(個人研究)
 1. 多自然居住地域における環境管理システムの構築
 2. 子どもの遊び場に関する研究
 3. 学校ピオトープのランドスケープエコロジー共同研究総合共同研究「武庫川流域の山林と湿地」, 研究分担者.
部門研究「都市公園をフィールドとした実践重視型人材養成のための連携システムに関する研究」, 研究分担者.
論文・著書
嶽山洋志・中瀬勲(2005) GPS 搭載携帯電話と Web-GIS によるまちづくりに関わる意識啓発システムの構築とその効果に関する研究 - 進修小学校での先行の実践授業からの考察 - . 都市計画論文集 No40,199-204.
野上加代・嶽山洋志(2005)学校内の巨木におけるチョウとトンボの出現と巨木の温度環境との関係について. 環境情報科学論文集 19,19-24.
その他著作
嶽山洋志(2005)平成16年度阪神・淡路大震災10周年記念研究セミナー報告書, P16-17.
中瀬勲・嶽山洋志(2005)ひょうごグリーンネットワーク運動の総括, p9-13.
中瀬勲・嶽山洋志(2005)今,博物館がおもしろい. 公園緑地 Vol.66, p52-55.
Isao Nakase・Takashi Kyakuno・Hiroshi Takeyama(2006) Regional Planning for Rural Area in TAMBA, Hyogo, Japan. BBEC 4th International Conference 2006, p45.
西上ありさ・山崎亮・清水郁郎・羽田野泰明・嶽山洋志(2006) いえしまをつくる25の方法, 家島町
嶽山洋志(2006) gakikura concept book, p28.
嶽山洋志・加藤亮・新宅麻由(2006)公園はステージ! ~個人的な楽しさが社会を変え、そして文化を生む。成熟社会への地域づくりへ向けた「私の夢・兵庫の未来」作文・小論文・論文表彰作品集, p31-40.
研究発表
Hiroshi Takeyama・Isao Nakase(2005) A Study of

Environmental Management System and Role of Museum in nature-rich area . 大邱ハンイ大学校シンポジウム, 大邱 .

嶽山洋志・中瀬勲(2005)GPS 搭載携帯電話と Web-GIS によるまちづくりに関わる意識啓発システムの構築とその効果に関する研究 - 進修小学校での先行的実践授業からの考察 - . 都市計画学会, 千葉県 .

野上加代・嶽山洋志(2005)学校内の巨木におけるチョウとトンボの出現と巨木の温度環境との関係について . 第 19 回環境研究発表会, 東京都 .

嶽山洋志(2006)フランス・エコミュゼから学ぶ中山間地域の環境マネジメントシステムの提案 . 平成 17 年度農村計画学会近畿地区セミナー, 神戸市 .

Hiroshi Takeyama・Takashi Kyakuno・Isao Nakase(2006) Regional Planning for Rural Area in TAMBA, Hyogo, Japan . BBEC 4th International Conference 2006, Kota Kinabali, Sabah, Malaysia .

学会役員など

こども環境学会 2006 年度こども環境学会大会実行委員 .

助成を受けた研究

公園内での持続的経済活動とその支援策に関する研究 . 日本公園緑地協会, 研究代表者(金額 50 万円 / 50 万円).

兵庫県から今後の環境学習のあり方について提言・啓発する活動 . コベルコ環境基金 研究分担者(金額 500 万円 / 500 万円).

プレイパーク活動を通じた多世代交流の促進 . 阪神北県民局, 分担者(金額 35 万円 / 35 万円).

有馬富士公園あそびの王国における遊びを通じた環境啓発活動 (財)ひょうご環境創造協会, 分担者(金額 15 万円 / 15 万円).

海外調査

2005.10 韓国・テグ市におけるグリーンツーリズム .

2006.2 マレーシア・サバ州 .

2. 資料収集・整理

資料収集

兵庫県のレッドデータブック記載の景観写真 . 神戸市, 三田市, 竹野町など .

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

嶽山洋志, 2005.4, 「有馬富士公園あそびの王国におけるプレイヤー達」, ハニーFMラジオブチセミナー (全 3 回).

嶽山洋志, 2005.4, 「チョウチョ捕獲大作戦」, 有馬富士公園 (15 名).

嶽山洋志・赤澤宏樹, 2005.8, 「公園の模型をつくろう」, 人と自然の博物館 (15 名).

嶽山洋志, 2005.8, 「竹野エコツアー」, いろりの会・人と自然の博物館 (37 名).

嶽山洋志, 2005.8, 「ガキクラキャンプ」, ガキッコクラブ・人と自然の博物館 (30 名).

嶽山洋志, 2005.9, 「コーヒー堆肥をつくろう」, ガキッコクラブ・人と自然の博物館 (16 名).

嶽山洋志, 2005.11, 「アイスブレイクの手法」, 有馬富士公園公開セミナー (10 名).

嶽山洋志, 2005.11, 「三田ミステリーツアー～三田のはてなを探せ!」, 人と自然の博物館 (7 名).

中西明徳・嶽山洋志・八木剛, 2005.12, 「チョウの翅でオリジナルシールをつくろう!」, 人と自然の博物館 (6 名).

嶽山洋志, 2005.12, 「企画の実践」, 有馬富士公園公開セミナー (12 名).

館外講演など

2005.4 「人と自然の博物館の取り組み」, 講師, 淡路景観園芸学校, 人と自然の博物館 (20 名).

2005.5 「フランスにおけるエコミュージアムの試み」, 講師, 阪神シニアカレッジ (55 名).

2005.7 「みどりのNPO」, 講師, 大阪市 (100 名).

2006.1 「人と自然の博物館における環境学習の取り組み」, 講師, 兵庫県青少年本部 (9 名).

非常勤講師など

2005.4.26-2004.6.28 「兵庫・地方及び広域計画論」, 淡路景観園芸学校 .

2005.4.26-2004.6.28 「地方及び広域計画論」, 淡路景観園芸学校 .

ミニキャラバン事業

2005.4, ありまふじフェスティバル(分担者), ありまふじフェスティバル実行委員会, 有馬富士公園 .

2005.10, ありまふじフェスティバル(分担者), ありまふじフェスティバル実行委員会, 有馬富士公園 .

2005.10-11, 竹野町文化祭(代表者), 豊岡市竹野町地域市民文化祭実行委員会, 竹野町 .

地域研究員養成事業

成果発表

2006.2 共生の広場 「進修火の鳥会流まちおこし舞台裏」, 進修火の鳥会(指導・協働)

学校教育支援

トライやるウィーク

2005.6.7-6.10 上野台中学校・藍中学校・けやき台中学校(計 3 名).

学校団体対応等

2005.12 大阪府立大学地域環境科学科 3 年生 (10 名).

研修生等の受入

博物館実習

2005.8.15-8.19 神戸芸術工科大学 1 名 . 関西学院大学 1 名 . 卒論生等

2005.4-2006.3 関西学院大学大学院 院博士 1 名 指導補助 . フェスティバル等

2005.10 ひとつはくフェスティバル, 「わっなげ」, 分担者 .

展示

企画展

2005.10.22- 企画展「はてなの世界」(分担者).

2. シンクタンク事業

収蔵庫・ジーンファームの公開

環境系収蔵庫等の案内, 2 回, 17 名 .

行政等支援

委員会等 (計 3 件)

2003.6- 家島振興計画プレーントラスト, プレーン, 家島町役場企画振興課 .

2005.3- 21 世紀文明研究委員会, 研究協力者, 阪神・淡路大震災記念協会 .

2005.7- 有馬富士公園公開セミナーのあり方検討会実施作業部会, メンバー, 兵庫県三田土木事務所 .

相談・指導助言

来訪者 50 件, 100 名 . 電話・FAX 相談 0 件, メール相談 1 件

学会開催等支援

子ども環境学会関西大会

ガキッコクラブ総会開催 (19 名).

3. 特別プロジェクト

ネクストミュージアムプロジェクト .

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン研究グループ / 研究開発部門

主任研究員

田原 直樹, Naoki TAHARA

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 教授 . 昭和 28 年福岡県生 . 大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了 . 工学博士 . 日本造園学会, 環境情報科学センター, 日本都市計画学会等所属 .

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部事業室

なし

2. 研究開発会議

総括

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究(個人研究)

1. 歴史的緑の研究

2. 空間文化の研究

共同研究

総合共同研究「武庫川流域の山林と湿地」, 研究分担者.

部門研究「兵庫県南部における都市ヒートアイランド実態調査研究」, 研究分担者.

論文・著書

宮崎ひろ志・新元美香・客野尚志・田原直樹(2006)「神戸市における百葉箱を用いたヒートアイランド実態調査 夏季高温域の形成と風況との関連」. 人と自然, No.13(印刷中).

研究発表

田原直樹(2005)新しい「都市プラン」論の地平全体討論コメント. 人文地理学会, 歴史地理部会, 大阪大学, 豊中市.

学会役員など

日本造園学会, 校閲委員.

日本造園学会, 国際委員.

環境情報科学センター, 校閲委員.

日本都市計画学会, 校閲委員.

日本都市計画学会関西支部, 幹事・国際交流委員.

日本建築学会, 校閲委員.

助成を受けた研究

兵庫県から今後の環境学習のあり方について提言・啓発する活動, コベルコ環境基金 研究分担者(金額500万円/500万円).

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.5-11 名所写真. 尼崎市, 伊丹市, 神戸市.

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

田原直樹, 2005.4, 「都市の歩き方・名所探訪編 大阪梅田境界を歩く」, 大阪市 (15名).

田原直樹, 2005.4, 「都市の歩き方・名所探訪編 尼崎境界を歩く」, 尼崎市 (15名).

田原直樹, 2005.5, 「都市の歩き方・名所探訪編 伊丹境界を歩く」, 伊丹市 (15名).

田原直樹, 2005.5, 「都市の歩き方・名所探訪編 西宮境界を歩く」, 西宮市 (15名).

田原直樹, 2005.10, 「都市の歩き方・名所探訪編 住吉・岩屋界隈を歩く」, 神戸市 (15名).

田原直樹, 2005.10, 「都市の歩き方・名所探訪編 兵庫界隈を歩く」, 神戸市 (10名).

田原直樹, 2005.10, 「都市の歩き方・名所探訪編 長田界隈を歩く」, 神戸市 (10名).

田原直樹, 2005.11, 「都市の歩き方・名所探訪編 須磨界隈を歩く」, 神戸市 (10名).

田原直樹, 2006.2, 深田公園うきうき探検隊, 博物館 (13名).

館外講演など

2005.4 「環境と共生する都市づくり」, (社)神戸新聞文化センター第16期さわやか大学, 講師, 神戸市教育会館 (180名).

2005.5 「環境と共生—都市に何人住めるか—」, 兵庫県阪神シニアカレッジ, 講師, 尼崎中小企業センター (55名).

2005.7 ネットデイシンポジウム in ひょうご, パネルディスカッション, コメンテータ, 兵庫県公館 (100名).

2005.9 中播磨地域ビジョン推進フォーラム, 中播磨地域ビジョン委員会・中播磨県民局, コーディネータ, 姫路市勤労市民会館 (150名).

2005.9 「名所図会に見る六甲の景観」, 兵庫県立大学, 講師, 兵庫県立大学神戸キャンパス (19名).

2005.10 「博物館のマネジメント 変貌する博物館」, 平成17年度近畿地区教育研究(修)所連盟教科等部会B分科会(算

数・数学, 理科), 講師, 兵庫県立人と自然の博物館 (10名).

2005.11 「摂津名所図会にみる200年の変遷」, 兵庫県阪神シニアカレッジ, 講師, 宝塚市阪神シニアカレッジ (145名).

2006.1 「近世における緑地のあり方とその変容」, はりま産学交流会, 講師, 姫路商工会議所 (20名).

2006.2 「摂津名所図会にみる200年の変遷」, 兵庫県阪神シニアカレッジ, 講師, 宝塚市阪神シニアカレッジ (155名).

2006.2 中播磨地域ビジョンフォーラム, 中播磨地域ビジョン委員会・中播磨県民局, コメンテータ, 姫路商工会議所 (150名).

2006.2 「あるある? さようのまちたんけん!」, 佐用町生涯学習課, 講師, 佐用町文化情報センター (15名).

非常勤講師など

2005.10 - 2006.3 「都市設計論及び演習」, 兵庫県立大学.

2005.4 - 2006.3 大学院修士課程総合文化プログラム(環境システム科学群)所属学生に対する研究指導, 放送大学.

2005.4 - 2006.3 「景観計画演習」, 兵庫県立淡路景観園芸学校.

2006.2 平成17年度景観園芸演習発表会, 選考委員, 兵庫県立淡路景観園芸学校.

研修生等の受入

博物館実習

2005.8.15-8.19 神戸芸術工科大学1名・関西学院大学1名.

フェスティバル等

2005.10 ひとつはくフェスティバル, 「わっなげ」, 分担者.

展示

ミニ企画等

2006.3.25 - 4 ミニ展示「佐用まるごと美術館「子どもアートスクール」の世界」(責任者).

2. シンクタンク事業

自然環境情報調査

「明治26年陸軍測量図を用いた明治期土地利用の電子情報化」. (委託先: 大阪府立大学大学院農学生命科学研究科上楠木研究室).

収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 3回, 30名.

行政等支援

委員会等 (計10件)

2005.4 - 揖保川流域委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.

2005.4 - 兵庫県土地収用事業認定審議会, 委員, 兵庫県.

2005.5 - 中播磨地域ビジョン委員会, 専門委員, 兵庫県.

2005.4 - 姫路市都市景観審議会, 委員, 姫路市.

2005.4 - 姫路市都市計画審議会, 委員, 姫路市.

2005.4 - 有馬富士公園運営・計画協議会, 委員, 兵庫県公園協会.

2006.2 - 丹波OB大学運営委員会, 委員, (財)丹波の森協会.

2005.4 - 2006.3 三田ものづくり産業活性化委員会, 委員長, 三田市商工会.

2005.4 - 2006.3 宝塚ブランド(発掘・創出)特別委員会, 委員, 宝塚市商工会議所.

2005.8 横浜市立金沢動物園のレビュー, 講師, 横浜市環境創造局.

相談・指導助言

来訪者5件, 15名. 電話・FAX相談5件, メール相談5件.

3. 特別プロジェクト

ネクストミュージアムプロジェクト

資料作成, 今年度報告書執筆担当

自然・環境マネジメント研究部

コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ

研究員

宮崎 ひろ志, Hiroshi MIYAZAKI

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 講師.

昭和34年兵庫県生、神戸大学工学部環境計画学科卒業、博士(工学)(神戸大学)、日本建築学会、日本リモートセンシング学会、IAUC: International Association for Urban Climate, 空気調和・衛生工学会等所属。

< 事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事 >

1. 事業推進部
なし
2. 研究開発会議
なし

< 研究開発 >

1. 調査研究
特別課題研究(個人研究)
 1. 熱環境評価に基づいた都市・建築のあり方に関する研究
 2. GIS及びリモートセンシングデータを活用した都市環境情報解析に関する研究
 3. 環境共生型の都市計画手法に関する研究
 4. 防災都市計画支援空間データベース開発に関する研究共同研究
総合共同研究「武庫川流域の山林と湿地」, 研究分担者。
部門研究「兵庫県南部における都市ヒートアイランド実態調査研究」, 研究代表者。

論文・著書

宮崎ひろ志・新元美香・客野尚志・田原直樹(2006)「神戸市における百葉箱を用いたヒートアイランド実態調査 夏季高温域の形成と風況との関連」, 人と自然, No.13。

Takahiro Tanaka, Masakazu Moriyama, Hiroshi Miyazaki (2006) "Detailed analysis of summer radiative temperature in Osaka central area using airborne thermal image and GIS", First Workshop of the EARSeL Special Interest Group on Urban Remote Sensing, P10。

Takashi Kyakuno, Masahiro Sotoma, Hiroshi Miyazaki and Masakazu Moriyama (2005) An Evaluation of Urban Land Use Regulations from View of Urban Surface Albedo. Journal of Asian Architecture and Building Engineering, 4(2), 517-524。

客野尚志・宮崎ひろ志(2005)「都市域における SAR データのテクスチャ解析とその土地被覆との関係 神戸・阪神間地区を事例に」, 日本建築学会計画系論文集 No.590, 111-118。研究発表

宮崎ひろ志(2005)「神戸地域における都市ヒートアイランド実態調査 小学校百葉箱を利用した夏季気温測定」, 日本建築学会大会, 近畿大学, 東大阪市。

助成を受けた研究

兵庫県から今後の環境学習のあり方について提言・啓発する活動。コベルコ環境基金, 研究分担者(金額500万円/500万円)。

< 事業推進 >

1. 生涯学習支援事業
セミナー
館主催セミナー
宮崎ひろ志 2005.8, ミュージアムハイスクール夏休み集中講座「衛星地球観測入門 ~人工衛星からなにが見えるの?」, 博物館・兵庫県立尼崎小田高等学校 (全1回, 9名)。
宮崎ひろ志・客野尚志 2005.8, 教職員セミナー「体感! 楽しく学べる環境問題」, 博物館 (全1回, 53名)。
客野尚志・宮崎ひろ志・長谷川太一 2005.7, 「レッツチャレンジ~自然環境調査入門~ 身近な環境を調査しよう」, 博物館 (全2回, 18名)。
宮崎ひろ志 2005.7, 兵庫県立大学公開講座「ウルトラマン養成講座入門編 地球環境問題の傾向と対策」, 博物館・兵庫県立大学, 兵庫県但馬文教育 (全1回, 50名)。
宮崎ひろ志 2005.10, 「六甲あるし」, 兵庫県立大学公開講座六甲山学, 講師
宮崎ひろ志 2006.3, 「六甲の謎を探る 1 六甲開祖之碑のナゾ」, 六甲の森のなかまたち交流会, 講師・司会, コープこうべ生活文化センター (全1回, 38名)。
館外講演など
2005.10 「阪神タイガースと都市環境」, 西宮市生涯学習大

学「宮水学園」, 講師, 宮水学園 (62名)。

2005.6 「兵庫県におけるヒートアイランド現象について ~サクラの開花日調査と小学校百葉箱調査の結果から~」, ヒートアイランド対策県民フォーラム, 講師, 兵庫県中央労働センター (200名)。

2005.6 「エコロジー建築について」, 第1回神戸市建築・設備職研修, 講師, 神戸市職員人材開発センター (80名)。

2005.6 「環境創造 これからのパブリックデザイン」平成17年度兵庫県地域高齢者大学丹波 OB 大学大学院「地域活動実践講座」, 講師, 丹波の森公苑 (21名)。

2005.10 「宝塚の風と環境のはなし」, 宝塚市環境衛生推進協議会研修会, 講師, 宝塚市立西公民館 (100名)。

2005.11 「環境リーダー入門講座」宝塚市民環境大学, 講師, 宝塚市立男女共同参画センター (30名)。

2005.11 「地域環境力の向上」ひょうご防災リーダー講座, 講師, 兵庫県広域防災センター (120名)。

2005.11 「中播磨の熱環境から21世紀の都市計画を考える」中播磨都市計画連絡協議会, 講師, 姫路市自治福祉会館 (18名)。

2005.12 「サクラ開花日で都市環境を測る」, 西宮市生涯学習大学「宮水学園」, 講師, 宮水学園 (62名)。

2005.12 「六甲山の変遷と西宮市の環境」, 西宮自然保護境界, 講師, 西宮市貝類館 (40名)。

2006.01 「人工衛星で診断 -世界の都市環境くらべ-」, 兵庫県阪神シニアカレッジ, 講師, ソリオ2 (160名)。
非常勤講師など

2005.4-7 「リモートセンシングによる環境解析」, 兵庫県立大学環境人間学科。

2005.7 「自然とデザイン」, 神戸芸術工科大学。

2005.12 「身近な環境問題」, 兵庫県立農業高等学校。

2006.1-2 「GISを使った都市環境調査」, 兵庫県立神戸高等学校。

キャラバン事業

副担当

神戸地域 テーマ「見直そう!六甲山の自然と文化」

リサーチプロジェクト

2005.3-4, 「サクラ開花日でヒートアイランド実態調査」(運営・企画, 実施)

セミナー担当

2005.10 「昭和初期の六甲山を探る」(講師, 企画・運営)

2005.10 「六甲山のグリーンベルトを歩く 神戸市灘区観音寺川地区」(企画)

ミニキャラバン事業

2005.7, 震災10年エコ・エネ建築フェア(担当者), 震災10年エコ・エネ建築フェア実行委員会, 神戸市立農業公園。

セミナー担当

2005.7, 「かやぶきのおうちにあそびに行こう」(講師・企画・運営)

地域研究員養成事業

展示制作

2005.7, 「なるほど! かやの断熱はすごいぞ」(神戸市立農業公園・企画・制作)

セミナー担当

2005.10 実践神戸学 「昭和初期の六甲山を探る」(講師・企画・運営)

2005.10 実践神戸学 「昭和初期の六甲山を探る」(企画・運営)

成果発表

2005.10 実践神戸学 「昭和初期の六甲山を探る」(企画・運営)

2006.2 共生の広場 「昭和初期の六甲山を探る」, 実践神戸学(指導・協働・運営)

学校教育支援

学校団体対応等

2005.4 大阪府立泉北高等学校。

2005.5 雲雀ヶ丘学園中学校。

2005.7 神戸市中学校理科部会。

2005.10 愛媛県立松山南高等学校。

2005.10 神戸市立乙木小学校。

2005.11 小野市立番中小学校。
2005.11 姫路市立峰相小学校。
2006.2 国立台湾師範大学工業科学技術教育学部教育部(10名)。
講師派遣等
2006.1「環境の時代」,兵庫県立西宮香風高等学校(160名)。
研修生等の受入
博物館実習
2005.8.15-8.19,神戸芸術工科大学1名。関西学院大学1名。
フェスティバル等
2005.10 ひとつはくフェスティバル,「わっなげ」,分担者。

2. シンクタンク事業

受託研究
「六甲山を舞台とした住民活動に関する調査研究」,神戸県民局(分担者)。
収蔵庫・ジーンファームの公開
環境系収蔵庫等の案内,2回,10名。
行政等支援
委員会等(計5件)
2005.3-12 「グリーンパーキング効果検証委員会」,委員,兵庫県県土整備部技術企画担当課。
2005.4 「スーパーサイエンスハイスクール委員会」,委員,尼崎小田高等学校。
2005.9 「丹波市都市計画審議会」,座長,丹波市建設部都市計画課。
2005.11-12 「兵庫県立塚口病院屋上緑化評価委員会」,兵庫県病院局。
2006.2 「神戸市環境教育研究会」,神戸市教育委員会学校整備課。
相談・指導助言
来訪者2件,6名。電話・FAX相談12件,メール相談1件。学会開催等支援
2006.3 「六甲の森のなかつち交流会」開催。38名。

3. 特別プロジェクト

ネクストミュージアムプロジェクト
建築企画計画資料作成担当

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ
主任研究員
客野 尚志, Takashi KYAKUNO
昭和46年京都府生。大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。日本建築学会,日本都市計画学会,日本造園学会,環境・水資源学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部

なし

2. 研究開発会議

研究開発会議事務局幹事(研究開発会議の進行管理,総合共同研究・部門研究の調整など),研究担当,紀要編集委員,研究会集進行および調整

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究(個人研究)

1. 都市の土地利用変化とその環境に対する影響の評価に関する研究

2. 数理モデルによる人工衛星データの環境解析技術の開発
共同研究

総合共同研究「武庫川流域の山林と湿地」,研究分担者。

総合共同研究「兵庫県における外来種対策」,研究分担者。

部門研究「兵庫県南部における都市ヒートアイランド実態調査研究」,研究分担者。

論文・著書

客野尚志・宮崎ひろ志(2005)都市域における SAR データのテクスチャ解析とその土地被覆との関係 神戸・阪神間地区を事例に,日本建築学会計画系論文集, No.590, 111-116。

客野尚志(2005)夏期の昼間および夜間のヒートアイランドに対する都市の土地被覆と土地利用の影響 -観測点からの距離区分からの考察-,都市計画論文集, 40-3, 679-674。

Takashi Kyakuno, Masahiro Sotoma, Hiroshi Miyazaki and Masakazu Moriyama (2005) An Evaluation of Urban Land Use Regulations from View of Urban Surface Albedo. Journal of Asian Architecture and Building Engineering, 4(2), 517-524。

客野尚志(2005)明治期から現在までの神戸・阪神間の水際線構成と臨海部の土地利用変化,日本都市計画学会第3回関西支部研究発表会講演概要集, 5-8。

宮崎ひろ志・新元美香・客野尚志・田原直樹(2006)「神戸市における百葉箱を用いたヒートアイランド実態調査 夏季高温域の形成と風況との関連」,人と自然, No.16, 21-33。その他著作

客野尚志(2005)マルチフラクタル解析による都市部の空間構造の解析-AsterのNDVI画像を用いて,日本建築学会学術梗概講演集, D-1分冊, 587-588。

客野尚志(2005)都市空間に生きる「水」,神戸新聞11月7日号朝刊全県版「論」。

Isao Nakase, Takashi Kyakuno and Hiroshi Takeyama (2006) Regional Planning for Rural Area in TAMBA, Hyogo, Japan. BBEC 4th International Conference 2006, p45。

中瀬勲・客野尚志(2005)『流域環境保全と市民活動』『自然と人間が無事に行きつづけられる地域環境づくり』国際シンポジウム,文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業,日本大学生物資源学部, 13-18。

研究発表

客野尚志(2005)明治期から現在までの神戸・阪神間の水際線構成と臨海部の土地利用変化,日本都市計画学会第3回関西支部研究発表会,大阪市立大学文化交流センター,大阪市。

客野尚志(2005)マルチフラクタル解析による都市部の空間構造の解析-AsterのNDVI画像を用いて,日本建築学会,近畿大学,東大阪市。

客野尚志(2005)夏期の昼間および夜間のヒートアイランドに対する都市の土地被覆と土地利用の影響 -観測点からの距離区分からの考察,日本都市計画学会,千葉大学,千葉市。

学会役員など

日本建築学会,環境工学委員会空間データ利用小委員会・委員。

日本都市計画学会,査読部会。

日本造園学会,校閲委員。

日本土木学会環境システム研究,査読委員。

助成を受けた研究

兵庫県から今後の環境学習のあり方について提言・啓発する活動。コベルコ環境基金 研究分担者(金額500万円/500万円)。

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.7-9 都市環境計画に資する各地の気温データ。

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

客野尚志,2005.6,「数字とキーワードでみる地球環境問題」,博物館(全1回,7名)。

客野尚志・宮崎ひろ志・長谷川太一,2004.7,「レッツ・チャレンジ自然環境調査入門 2-1.身近な環境を調査しよう~都市環境を調べる~」,博物館(全2回,18名)。

客野尚志,2005.8,「MHS 夏休み集中講座 この暑さどうなってるの? ~ヒートアイランド問題を考える」,博物館(全1回,8名)。

宮崎ひろ志・客野尚志・長谷川太一,2004.8,「体感!楽しく学べる環境問題」,博物館(全1回,53名)。

客野尚志・長谷川太一・宮崎ひろ志,2004.8,「太陽の力を測ろう」,博物館(全1回,24名)。

客野尚志, 2005.8, 「地球と環境」, 博物館 (全1回, 総計90名)。

客野尚志, 2005.10, 「地球温暖化・ヒートアイランドの現状について」, 博物館 (全1回, 30名)。

客野尚志, 2006.2, 「20世紀の地球温暖化と将来予測」, 博物館 (全1回, 35名)。

館外講演など

2005.11 「身近な環境を測ろう」, 宝塚市民大学「環境リーダー入門講座」(宝塚市環境局), 宝塚ソリオ (50名)。

2005.12 「この暑さどうなってるの - ヒートアイランド問題を考える - 」, 阪神シニアカレッジ, 講師, 宝塚ソリオ (160名)。

2005.12 「この暑さどうなってるの - ヒートアイランド問題を考える - 」, 阪神シニアカレッジ, 講師, 宝塚ソリオ (155名)。

キャラバン事業

主担当

中播磨地区(姫路市)

副担当

姫路市学校キャラバン

展示作成

姫路の夏季の気温分布(中播磨地区(姫路市))

リサーチプロジェクト

姫路の夏季の気温分布

セミナー担当

客野尚志, 2005.10, 「太陽の力を測ろう!」, 姫路市伊勢自然の里・環境学習センター (全1回, 11名)。

学校セミナー担当

客野尚志, 2005.11, 「環境の温度を測ってみよう」, 姫路市立飾磨小学校 (175名)。

客野尚志, 2005.11, 「環境の温度を測ってみよう」, 姫路市立山田小学校 (73名)。

客野尚志, 2006.2, 「校内の環境測定」, 西宮市立山口小学校 (99名)。

学校教育支援

トライやるウィーク

2005.6.7-6.10 上野台中学校・藍中学校・けやき台中学校(計3名)。

サイエンスショー

2005.11 「手作り百葉箱をつくろう」, 博物館 (51名)。

学校団体対応等

2005.5 雲雀丘学園中学校 (14名)。

2005.8 滋賀県立彦根東高校 (30名)。

2005.10 宝塚市立宝梅中 (24名)。

2005.10 兵庫県立播磨農業高校 (41名)。

2005.11 家島町立家島中 (58人)。

2005.11 姫路市立八木小学校 (50人)。

研修生等の受入

博物館実習

2005.8.15-8.19 神戸芸術工科大学1名・関西学院大学1名。

フェスティバル等

2005.10 ひとくフェスティバル, 「わっなげ」, 分担者。

2. シンクタンク事業

収蔵庫・ジーンファームの公開

環境系収蔵庫等の案内, 1回, 5名。

行政等支援

相談・指導助言

来訪者2件, 2名・電話・FAX相談2件, メール相談0件。

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ

研究部長

服部 保, Tamotsu HATTORI

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 教授。

昭和23年大阪府生。神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修

了。学術博士。日本生態学会, 日本造園学会, 植生学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門 総合調整担当

2. 研究開発会議

予算取りまとめ, 部門研究調整担当

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究(個人研究)

1. 各種植生の保全・復元・創出に関する研究

2. 森づくりに関する総合的な研究

3. 里山, 草原, 照葉樹林の生物多様性保全に関する研究

共同研究

総合共同研究「武庫川流域の里山と湿原の原状と保全への課題()」, 研究分担者。

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究代表者。

論文・著書

服部 保・南山典子・松村俊和(2005)猪名川上流域の池田炭と里山林の歴史。植生学会誌, 22:41-52。

Ishida, H., Hattori, T. and Takeda, Y. (2005) Comparison of species composition and richness among primeval, natural, and secondary lucidophyllous forests on Tsushima Island, Japan. Vegetation Science, 22:1-14.

Ishida, H., Hattori, T. and Takeda, Y. (2005) Comparison of species composition and richness between primary and secondary lucidophyllous forests in two altitudinal zones of Tsushima Island, Japan. Forest Ecology and Management, 213:273-287.

Ishida, H., Hattori, T. & Hashimoto, Y. (2005) Comparison of species composition and richness among primeval, natural, and secondary lucidophyllous forests in southeastern Kyushu, Japan. Vegetation Science, 22: 71-86.

Ishida, H. & Hattori, T. (2006) Species-area relationships of fragmented lucidophyllous forests in Japan. Nature and Human Activities, 10: 35-43.

服部 保・南山典子・橋本佳延・石田弘明(2006)八重山諸島における照葉二次林の種組成および種多様性。人と自然, No.16: 1-7。

橋本 佳延, 服部 保, 小館 誓治, 石田 弘明, 鈴木 武(2006)タケ類天狗巣病発症による竹林の衰退と種組成の変化。ランドスケープ研究, 69(5): 503-506。

栃本大介・石田弘明・服部 保・福井 聡・浅見佳世・武田義明(2006)六甲山におけるブナ・イヌブナ個体群の現状とブナ林の復元可能性。ランドスケープ研究, 69(5): 491-496。

服部 保(2005)照葉樹林。福嶋 司編, 植生管理学, 朝倉書店, 57-68。

服部 保(2005)里山林(薪炭林)の現状と課題。石井 実監修, 生態学からみた里やまの自然と保護, 講談社サイエンティフィク, 159-164。

服部 保(2005)近畿の照葉樹林。日本自然保護協会編, 植物群落モニタリングのすすめ, 文一総合出版, 114-118。

その他著作

服部 保・南山典子・松村俊和・赤松弘治・一ノ瀬友博(2006)ゴメラ島(カナリア諸島)の照葉樹林。人と自然, No.16: 9-20。

橋本佳延・服部 保(2006)兵庫県におけるトウネズミモチの植栽分布。人と自然, No.16: 93-98。

田村和也・服部 保(2006)対馬における照葉樹林の埋土種子相。人と自然, No.16: 43-49。

服部 保(監)(2005)三田の里山林再生ガイドブック。第29回全国育樹祭三田市実行委員会。

服部 保(監)(2006)猪名川の野草教室。国土交通省猪名川河川事務所。

服部 保(2005)里山林管理の手法とその成果。山田の里だよりNo.2: 1。

服部 保(2005)里山の現状と里山管理の方向。プランタNo.101: 4-10。

服部 保(2005)豊かな里山づくり。ささゆり No.3: 16-17。

服部 保 (2005) 兵庫方式による里山林管理。緑の相談所だより No.1: 1。

服部 保 (2005) 縄文の森・照葉樹林。緑の相談所だより No.2: 1。

服部 保 (2006) 照葉樹林の着生植物。緑の相談所だより No.3: 1。

服部 保 (2006) 草原、特にチガヤ草原について。緑の相談所だより No.4: 1。

服部 保・石田弘明・橋本佳延・南山典子 (2006) ジーンバンク活動記録 No.3, 兵庫県立人と自然の博物館 自然・環境再生研究部, 76p。

服部 保 (2006) 里山林から環境・文化林への3段階。大阪みどりのトラスト協会 No.51: 1-2。

研究発表

橋本 佳延・服部 保・小館 誓治・石田 弘明・鈴木 武 (2005) 竹林の天狗巢病による衰退と種多様性の変化。植生学会第10回大会, 広島大学東千田校舎, 広島市。

学会役員など

社叢学会, 理事。

植生学会, 運営委員。

助成を受けた研究

生物多様性の視点からみた照葉樹林のデータベース作成と保全対策。日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)(2), 研究代表者 (金額 120 万円 / 400 万円)。

大阪湾沿岸域における海浜植物の海流散布のメカニズムとその保全・再生に関する研究。日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)(1), 研究分担者 (金額 150 万円)。

照葉人工林に関する研究。大阪ガス (株) 研究助成, 研究代表者 (金額 50 万円)。

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.4-2006.3 植物および植生景観の映像資料収集。神戸市, 宝塚市, 伊丹市, 三田市, 川西市, 赤穂市, 山口県, 島根県, 鹿児島県, 宮崎県, 沖縄県, 青森県。

2005.4-2006.3 照葉樹林の映像資料収集。沖縄県, 鹿児島県, 宮崎県, 山口県, 島根県。

整理同定担当資料

植物および植生景観の映像資料収集, 照葉樹林の映像資料収集

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

服部 保, 2005.6 「照葉樹林から里山へ、里山から文化林へ」, 博物館 (70 名)。

服部 保, 2005.10 「里山の植物・講義と観察」, 博物館 (54 名)。

館主催特注セミナー

服部 保, 2005.7 「里山の保全に向けて」, シニア自然大学, 博物館 (58 名)。

服部 保, 2005.7 「生物種の絶滅から里山の保全へ」, シニア自然大学, 博物館 (63 名)。

服部 保, 2005.10 「猪名川上流域の里山について」, 川西里山クラブ, 博物館 (13 名)。

服部 保, 2005.10 「みのお森の学校」, NPO 法人みのお山麓保全委員会, 博物館 (22 名)。

服部 保, 2006.2 「兵庫県における外来種対策」, 国土緑化環境協会, 博物館 (32 名)。

館内依頼講演

2005.4 「講演 森づくりの基礎知識」, 講師, 尼崎 21 世紀の森 中央緑地を育てる勉強会, 兵庫県阪神南県民局 (70 名)。

2005.6 「講演 研究機関としての博物館の役割」, 講師, 神戸シルバーカレッジ (100 名)。

2005.9 「講演 生物多様性保全の最前線のみよう」, 講師, ラスタ自然文化塾, 伊丹市立生涯学習センター (14 名)。

2005.11 「講演 森づくりの第一歩」, 講師, 尼崎の森中央緑地森を育てる勉強会 (50 名)。

館外講演など

2005.4 「講演 伊丹とその周辺の自然を学ぶ」, 講師, ラスタ自然文化塾, 伊丹市立生涯学習センター (10 名)。

2005.4 「講演 猪名川自然林の基礎知識」, 講師, 猪名川自然林サポーター養成講座, 尼崎市, (20 名)。

2005.4 「講演 一庫里地里山」, 講師, 川西再発見 (150 名)。

2005.4 「講演 松尾湿原の保全」, 講師, 宝塚市自然保護協会 (30 名)。

2005.5 「講演 森林のはたらし・照葉樹林と里山林の保全」, 講師, 神戸市シルバーカレッジ (100 名)。

2005.5 「講演 里山について」, 講師, 有馬温泉里山再生検討会, 兵庫県神戸県民局 (30 名)。

2005.5 「講演 里山について」, 講師, 森を育てよう, なか・やちよの森公園運営協議会 (50 名)。

2005.5 「講演 生物種の絶滅と生物多様性保全」, 講師, うれしの学園生涯大学講座, 県立嬉野台生涯教育センター (70 名)。

2005.6 「講演 身近な自然を通して自然との共生を考える」, 講師, 雲雀丘学園中学校 (120 名)。

2005.6 「講演 変わりゆく里山」, 講師, 大学連携ひょうご講座, ひょうご大学連携事業推進機構事務局 (50 名)。

2005.6 「講演 里山林の基礎知識」, 講師, 森林ボランティア講座, ひょうご森の倶楽部 (50 名)。

2005.7 「講演 里山の現状と保全」, 講師, 西播磨高齢者文化大学講座, 兵庫県立西播磨文化会館 (120 名)。

2005.7 「講演 森林と人間文化」, 講師, 森のインストラクター養成講座, (社) 兵庫みどり公社 (20 名)。

2005.7 「講演 里山林の活用と管理」, 講師, 森林ボランティア講座, ひょうご森の倶楽部 (50 名)。

2005.7 「講演 里山整備の取組みについて」, 講師, 森林ボランティアリーダー養成スクール, 近畿中国森林管理局 (30 名)。

2005.7 「講演 種の絶滅から身近な自然の保全」, 講師, 伊丹市の会 (10 名)。

2005.7 「講演 里山林について」, 講師, 篠山市立村雲小学校 (10 名)。

2005.8 「講演 里山のおはなし」, 講師, 緑の教室, 三田市 (50 名)。

2005.8 「六甲山のブナを考える学習会」, 司会, ひょうご環境学校事業, 兵庫県 (35 名)。

2005.9 「実習 社叢の見方」, 講師, 第2回社叢インストラクター養成セミナー, 社叢学会 (15 名)。

2005.9 「講演 里山についての基礎知識」, 講師, 第9回里山管理体験教室・森の学校, 三田市 (15 名)。

2005.9 「講演 植生調査・里山管理」, 講師, 第9回里山管理体験教室・森の学校, 三田市 (15 名)。

2005.9 「講演 照葉樹林の語源と照葉樹林の種多様性」, 講師, 社叢学会関西定例研究会 (25 名)。

2005.9 「講演 市民参加による里山林管理の課題」, 講師, 森林ボランティア大会, 兵庫県豊かな森づくり室 (250 名)。

2005.9 「講演 猪名川流域の里山」, 講師, 猪名川流域エコバスツアー, 兵庫県阪神北県民局 (120 名)。

2005.9 「講演 里山の再生と菊炭」, 講師, 菊炭体験講座, シニア自然大学 (20 名)。

2005.10 「里山シンポジウム」, パネリスト, 近畿中国森林管理局 (400 名)。

2005.10 「講演 河川の植物群落と外来種問題」, 講師, 平成17年度河川講習会, 兵庫県まちづくり技術センター (100 名)。

2005.10 「講演 植生調査・里山管理」, 講師, 第9回里山管理体験教室・森の学校, 三田市 (15 名)。

2005.10 「講演 野草の話・植栽教室」, 講師, 2005 (秋) 猪名川の野草教室, 国土交通省猪名川河川事務所 (400 名)。

2005.10 「講演 身近な里山林から災害に強い里山林へ」, 講師, 新ひょうごの森づくりフォーラム, 兵庫県阪神北県民局 (30 名)。

2005.10 「講演 里山と生態系保全」, 講師, 宝塚市環境市民大学 (20 名)。

2005.11 「講演 六甲山の植生のお話」, 講師, 六甲山の植生調査, 国土交通省六甲砂防事務所 (50名).

2005.11 「講演 一庫の里山について」, 講師, クヌギを植えて里山を造ろう大作戦, 一庫ダム管理所 (60名).

2005.11 「講演 植生調査」, 講師, 猪名川自然林サポーター養成講座, 尼崎市 (25名).

2005.11 「講演 丹波の植生と植栽樹木について」, 講師, 丹波みどりの景観学習会, 兵庫県丹波県民局 (20名).

2005.11 「講演 里山の現状と今後の里山林管理のあり方」, 里山管理リーダー養成講座, (財)大阪みどりのトラスト協会 (20名).

2005.11 「講演 みのお森の学校」, 講師, NPOみのお山麓保全委員会 (20名).

2005.11 「講演 植物群集の保護と管理」, 講師, みどりのヘリテージマネージャー, 兵庫県 (20名).

2005.11 「講演 里山林について」, 講師, 丹波並木道中央公園第4回森づくり分科会 (20名).

2005.12 「講演 自然との共生」, 講師, ラスタ自然文化塾, 伊丹市立生涯学習センター (10名).

2006.1 「講演 農地法面植生の保全と外来植物」, 講師, 平成17年度特定課題研修会, 兵庫県土地改良事業団体連合会 (50名).

2006.2 「講演 日本の里山, 日本一の里山」, 講師, 里山よ元気を出してくれ, ひょうご森の倶楽部 (450名).

2006.2 「実習 野鳥の島再生植栽作業」, 講師, 昆陽池公園再生植栽事業, 伊丹市みどり課 (100名).

2006.3 「講演 六甲山をフィールドとする環境教育・学習について」, 講師, 六甲山環境学習フォーラム, 兵庫県 (100名).

2006.3 「講演 有馬・六甲の自然」, 講師, 有馬学セミナー, 有馬温泉観光協会 (100名).

非常勤講師など

2005.4-2006.3 大学院研究指導業務, 放送大学客員教授.

2005.5 人と自然の共生(分担講義), 兵庫県立大学.

2005.9 共生生物学(分担講義), 兵庫県立大学.

キャラバン事業

副担当

2005.12 西播磨地区「ひとつはくキャラバン in あこう」セミナー担当

2005.12 西播磨地区「生島照葉樹林を未来に伝える」セミナー(講師)

研修生等の受入

卒論生等

2004.4 放送大学大学院修士全科生1名.

フェスティバル等

2005.10 ひとつはくフェスティバル, 「タネで遊ぼう!」(分担者).

2. シンクタンク事業

受託研究

オグラコウホネ等管理委託, 兵庫県丹波県民局.

平成17年度自然環境調査補足業務, 三田市.

尼崎の森中央緑地流域産種子採取業務, 兵庫県阪神南県民局.

尼崎の森中央緑地流域産種子採取業務における地域性苗木栽培業務, 兵庫県阪神南県民局.

収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファーム等の案内, 28回, 80名.

行政等支援

委員会等 (計49件)

1994.5 猪名川総合開発事業余野川ダム環境調査検討委員会, 委員, 国土交通省猪名川総合開発工事事務所.

1996.5 宝塚市環境審議会, 委員, 宝塚市.

1996.7 兵庫県緑化推進協会運営協議会, 委員, (社)兵庫県緑化推進協会.

1996.9 明日の東播磨海岸を考える懇談会, 委員, 国土交通省姫路河川国道事務所.

1996.10 宝塚市文化財審議会, 委員, 宝塚市.

1997.9 兵庫県環境影響評価審査会, 委員, 兵庫県県民生活部.

1999.4 岬町多奈川地区多目的公園計画に係わる土砂採取事業環境監視データ解析検討委員会, 委員(財)関西空港調査会.

2000.10 有馬富士公園運営・計画協議会, 委員, 兵庫県阪神北県民局.

2001.2 宝塚市環境影響評価専門委員会, 委員, 宝塚市.

2001.2 北近畿豊岡自動車道(八鹿日高道路)技術検討委員会, 委員, 国土交通省豊岡河川国道事務所.

2001.9 自然環境保全基礎調査・植生調査に係わる近畿ブロック調査会議, 委員, 環境省.

2002.1 林田川水環境緊急改善推進協議会, 専門委員, 国土交通省姫路河川国道事務所.

2002.2 中山荘園古墳整備委員会, 委員, 宝塚市.

2002.3 ささやまの森公園運営協議会, 委員, (財)丹波の森協会.

2002.7 玄武洞公園整備事業検討会, 委員, 豊岡市.

2002.9 新ひょうごの森づくり推進協議会, 委員, 兵庫県農林水産部.

2002.12 兵庫県環境審議会, 特別委員, 兵庫県.

2002.12 青野ダム多自然型魚道管理検討委員会, 委員長, 兵庫県阪神北県民局.

2003.1 円山川水系自然再生計画検討委員会, 委員, 兵庫県但馬県民局.

2003.3-2007.3 円山川流域委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.

2003.3 ゆめさきの森公園運営協議会, 委員, ゆめさきの森公園運営協議会.

2003.3 一庫ダム水源地域ビジョン策定協議会委員会, 委員, (独)水資源機構.

2003.9 里山再生推進モデル事業検討委員会, 委員長, 近畿中国森林管理局.

2003.12-2005.12 日本ユネスコ国内委員会自然科学小委員会, 調査委員, 文部科学省.

2004.1 猪名川自然環境委員会, 委員, 国土交通省猪名川河川事務所.

2004.3 神戸地区稀少植物等の保全対策検討会, 委員, 日本緑化センター.

2004.4 加古川下流河口干潟保全調査結果報告会, 委員, 国土交通省姫路河川国道事務所.

2004.10-2006.3 第29回全国育樹祭三田市実行委員会, 委員, 三田市.

2004.11 国営明石海峡公園 公園事業座談会, 委員, (社)日本公園緑地協会.

2004.11-2006.3 北摂地域里地里山保全再生モデル事業懇談会, 専門委員, (財)自然環境研究センター.

2004.12 六甲山自然保護センター運営協議会, 委員, 兵庫県神戸県民局.

2005.2-2006.3 第29回全国育樹祭三田市実行委員会, 里山・森林保全推進専門委員会, 委員長, 三田市.

2005.2-2006.3 第29回全国育樹祭三田市実行委員会, 幹事会, 委員, 三田市.

2005.2-2006.3 加古川河道整備検討会, 委員, 国土交通省姫路河川国道事務所.

2005.2-2006.3 尼崎の中央緑地植栽計画検討会, 委員長, 兵庫県阪神南県民局.

2005.4-2006.3 有馬温泉里山再生検討会, 委員, 兵庫県神戸県民局.

2005.5 宝塚西谷地区湿原群研究協議会, 委員, 兵庫県阪神北県民局.

2005.6-2005.10 阪神野外CSR施設基本計画検討会議, 委員, (社)兵庫みどり公社.

2005.6-2007.6 猪名川上流広域ごみ処理施設環境保全委員会, 委員, 猪名川上流広域ごみ処理施設組合.

2005.6-2006.3 国指定史跡八上城跡保存管理計画策定委員会, 委員, 篠山市.

2005.6 慶野松原保存管理計画策定委員会, 委員長, 南あわじ市.

2005.7-2007.3 近畿地方整備局事業評価監視委員会, 委員, 国土交通省近畿地方整備局.

2005.8 伊丹市昆陽池公園水辺環境再生調査検討会議, 座

長,伊丹市.
2005.9- 里山管理ガイドライン市民懇話会,座長,NPO山麓委員会.
2005.12- 阪神野外CSR施設基本設計検討会議,委員,(社)兵庫みどり公社.
2005.12- 六甲山系グリーンベルト整備事業景観アセスメント手法検討会,委員,国土交通省六甲砂防事務所.
2005.12- 六甲山系グリーンベルト樹林整備マニュアル改訂検討ワーキング,委員,国土交通省六甲砂防事務所.
2006.2-2006.3 生態系保全対策検討委員会,委員,兵庫県自然環境保全課.
2006.2- 三田市新環境基本計画検討委員会,委員,三田市.アドバイザー(計12件)
1992.7- 国土交通省河川水辺の国勢調査,アドバイザー,国土交通省近畿地方整備局.
1993.7- 一庫ダム河川水辺の国勢調査,アドバイザー,(独)水資源機構.
1995.8- 自然環境アドバイザー,アドバイザー,国土交通省近畿地方整備局.
1998.8- 環境アドバイザー,アドバイザー,(財)ひょうご環境創造協会.
2005.4- 六甲山系グリーンベルト整備事業,景観アドバイザー,国土交通省六甲砂防事務所.
2005.4-2007.3 近畿地方整備局景観アドバイザー,アドバイザー,国土交通省近畿地方整備局.
2005.5-2005.8 阪神野外CSR施設基本計画策定業務,アドバイザー,(社)兵庫みどり公社.
2005.6-2006.3 菅生ダムにおける「ダム水辺の生物調査」,アドバイザー,兵庫県中播磨県民局.
2005.6-2006.3 ひょうごの川・自然環境調査(矢田川),アドバイザー,兵庫県但馬県民局.
2005.6-2006.3 ひょうごの川・自然環境調査(明石川),アドバイザー,兵庫県神戸県民局.
2005.6-2006.3 ひょうごの川・自然環境調査(加古川),アドバイザー,兵庫県東播磨県民局.
2005.12- 里山林等再生事業及び里山林等整備事業,アドバイザー,(社)兵庫みどり公社.
相談・指導助言
来訪者 210 件,497 名.電話・FAX 相談 50 件,メール相談 20 件.

自然・環境再生研究部 植生創出研究グループ 研究員

小館 誓治, Seiji KODATE
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 助手.
昭和 37 年福岡県生.神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了.学術博士.日本生態学会,森林立地学会,植生学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部
企画調整室
2. 研究開発会議
なし

<研究開発>

1. 調査研究
特別課題研究(個人研究)
 1. 森林群落における植生と土壌に関する研究
 2. 環境保全に関する土壌生態学的研究共同研究
総合共同研究「武庫川流域の里山と湿原の原状と保全への課題()」,研究分担者.
部門研究「21 世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」,研究分担者.
論文・著書
橋本佳延・服部 保・小館誓治・石田弘明・鈴木 武(2006)

タケ類天狗巢病発症による竹林の衰退と種組成の変化.ランドスケープ研究,69(5):503-506.

その他著作

- 小館誓治(2005)薬用植物.宝塚市大事典.111-114.
小館誓治(2005)有害植物.宝塚市大事典.115-118
研究発表
橋本佳延・服部 保・小館誓治・石田弘明・鈴木 武(2005)竹林の天狗巢病による衰退と種多様性の変化.植生学会第10回大会,広島大学,広島市.
小館誓治(2005)夏期の異常乾燥による樹木枯死と土壌撥水性について.外生菌根の基礎研究手法.菌学教育研究会つくばセンター,つくば市.
小館誓治(2006)マツ枯れ発生地土壌環境.マツ枯れと土壌撥水性との関係.日本ペドロロジー学会2006年大会.日本大学,藤沢市.
学会役員など
植生学会,庶務幹事および表彰委員代行.
助成を受けた研究
シダ植物の埋土胞子相の研究.日本学術振興会科学研究補助金萌芽研究.研究分担者(金額80万円).

2. 資料収集・整理

- 資料収集
2005.4-2006.3 植物・植生・景観などの写真撮影・資料収集.
三田市,神戸市など.
2005.4-2006.3 土壌標本の収集.宝塚市.
整理同定担当資料
土壌断面映像資料.

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

- 小館誓治,2005.5,「有馬富士公園「森の見方・感じ方」(春)」,有馬富士公園(18名).
小館誓治,2005.5,「六甲山「森の植物」観察会(春)」,六甲山(25名).
小館誓治,2005.8,あわじ自然環境セミナー「淡路島のマツ枯れを調べる」,国立淡路青年の家(4名).
小館誓治・毛利敏治,2005.8,教職員セミナー「植物の生育環境を知る」,人と自然の博物館(46名).
小館誓治,2005.9,六甲山学「六甲の森林とナマズ石」,兵庫県立大学神戸キャンパス(17名).
小館誓治,2005.10,「有馬富士公園「森の見方・感じ方」(秋)」,有馬富士公園(13名).
小館誓治,2005.11,「六甲山「森の植物」観察会(秋)」,六甲山(24名).
小館誓治,2006.2,「森をはぐくむ土のはなし」,神戸学習プラザ(22名).

館外講演など

- 2005.9 平成17年度土壌・農業・病害虫対策研修会「土壌に関する基礎知識と森林土壌の調べ方について」,講師,日本造園修景協会(57名).
2005.11 第53回全国博物館大会「地域連携」,パネリスト,日本博物館協会(150名).
キャラバン事業

リサーチプロジェクト

- 2005.10 淡路地区「マツ枯れ」

セミナー担当

- 2005.10 南あわじ市立御原中学校1年生(80名)
2006.2 西宮市立山口小学校6年生(115名)
学校教育支援

トライやるウィーク

- 2005.6.1 ゆりのき台中学校3名.

学校団体対応等

- 2005.11 姫路市立峰相小学校5年生(5名).
2005.7 神戸大学農学部植物資源学科3年生(25名).

講師派遣等

- 2005.5 「里山の樹木の観察法」,祥雲館高等学校1年生(320

名)。
2005.6 「里山の現状と問題点」, 祥雲館高等学校 1 年生 (320 名)。

2006.1 理系生物特別講義「植物の観察の仕方」, 姫路飾西高等学校 2 年生 (21 名)。

フェスティバル等

2005.10 ひとつはフェスティバル, 「タネであそぼう！」(分担者)。

2005.11 深田公園探検隊「ドングリ・いろいろな色の葉」, 深田公園・人と自然の博物館 (12 名)。

2. シンクタンク事業

収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファーム案内, 4 回, 44 名。

生物系収蔵庫等案内, 1 回, 25 名。

行政等支援

相談・指導助言

電話・FAX 相談 15 件。

植生創出研究グループ/シンクタンク事業室

研究員

石田 弘明, Hiroaki ISHIDA

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 講師。
昭和 46 年兵庫県生 神戸大学大学院教育学研究科修士課程修了。
農学博士。日本生態学会, 植生学会, 植物地理・分類学会, 造園学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部シンクタンク事業室

なし

2. 研究開発会議

資料担当

2006 年 2 月 1 日より, マレーシア国立サバ大学との国際交流事業の一環として, サバ大学に滞在中。

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究(個人研究)

1. 植生に関する保全生態学的研究

2. 植生の多様性に関する研究

共同研究

総合共同研究「武庫川流域の里山と湿原の原状と保全への課題()」, 研究分担者。

部門研究「21 世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者。

論文・著書

Ishida, H., Hattori, T. & Takeda, Y. (2005) Comparison of species composition and richness among primeval, natural, and secondary lucidophyllous forests on Tsushima Island, Japan. *Vegetation Science*, 22: 1-14.

Ishida, H., Hattori, T. & Takeda, Y. (2005) Comparison of species composition and richness between primary and secondary lucidophyllous forests in two altitudinal zones of Tsushima Island, Japan. *Forest Ecology and Management*, 213: 273-287.

Ishida, H., Hattori, T. & Hashimoto, Y. (2005) Comparison of species composition and richness among primeval, natural, and secondary lucidophyllous forests in southeastern Kyushu, Japan. *Vegetation Science*, 22: 71-86.

Ishida, H. & Hattori, T. (2006) Species-area relationships of fragmented lucidophyllous forests in Japan. *Nature and Human Activities*, 10: 35-43.

石田弘明 (2005) 孤立照葉樹林の生態的特性解析とその保全に関する研究。博士論文, 東京農工大学。

栃本大介・石田弘明・服部 保・福井 聡・浅見佳世・武田義明 (2006) 六甲山におけるブナ・イヌブナ個体群の現状とブナ林の復元可能性。ランドスケープ研究, 69(5): 491-496。

橋本佳延・服部 保・小籠誓治・石田弘明・鈴木 武 (2006) タケ類天狗巣病発症による竹林の衰退と種組成の変化。ランドスケープ研究, 69(5): 503-506。

石田弘明 (2005) 宝塚の里山。104-106, 宝塚市大事典編集委員会編『宝塚大事典』, 大阪書籍。

その他著作

石田弘明 (2005) 里山の分断・孤立化による生物多様性(種多様性)の問題。植物の自然誌プラント, 101: 11-17。

服部 保・石田弘明・橋本佳延・南山典子 (2006) ジーンバンク活動記録 NO.3, 兵庫県立人と自然の博物館 自然・環境再生研究部, 76p。

服部 保・南山典子・石田弘明・橋本佳延・小籠誓治・鈴木武 (2006) 武庫川流域に残る 2 つの湿原。武庫川散歩:53-60。

研究発表

橋本佳延・服部 保・小籠誓治・鈴木 武・石田弘明 (2005) 竹林の天狗巣病による衰退と種多様性の変化。第 10 回植生学会大会, 広島大学, 広島市。

栃本大介・服部 保・石田弘明・武田義明・福井 聡 (2005) 六甲山におけるイヌブナの分布・個体群構造・結実サイズ。第 10 回植生学会大会, 広島大学, 広島市。

学会役員など

植生学会, 庶務幹事。

植生学会, 表彰委員。

助成を受けた研究

生物多様性の視点からみた照葉樹林のデータベース作成と保全対策。日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)(2), 研究分担者(金額 120 万円 / 400 万円)。

大阪湾沿岸域における海浜植物の海流散布のメカニズムとその保全・再生に関する研究。日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)(1), 研究分担者(金額 150 万円)。

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.6-10 植物・植生・景観等に関する写真・標本収集。三田市, 宝塚市, 温泉町, 徳島県。

受贈担当資料

2005.8 足立 清コレクション。266 点。

整理同定担当資料

植物・植生映像資料。

種子標本。

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

石田弘明, 2005.7, 「身近な植物の不思議な生態」, 博物館 (20 名)。

石田弘明, 2005.7-8, 「タネで遊ぼう!」, 博物館 (全 2 回, 100 名)。

石田弘明, 2005.8, 「夏休み子ども理科相談室」, 博物館 (全 2 回, 2 名)。

石田弘明, 2005.10, 「猪名川の植物を観察しよう!」, 伊丹市 (20 名)。

館外講演など

2005.7 「講演 照葉樹林の現状とその保全」, 講師, シニア自然大学, NPO 法人シニア自然大学 (40 名)。

2005.9 「講演 身近な植物の不思議な生態」, 講師, シニア自然大学, NPO 法人シニア自然大学 (60 名)。

2005.9 「講演 さんの自然 - 植生の過去・現在・未来 -」, 講師, 三田学入門講座, 三田市中央公民館 (70 名)。

2005.9 「講演 宝塚の里山の植物とその重要性」, 講師, ふれあい講座, 宝塚市中筋山手自治会 (30 名)。

2005.11 「講演 植物の不思議」, 講師, シニア自然大学, NPO 法人シニア自然大学 (60 名)。

2005.11 「スーパーサイエンスハイスクール体験研修」, 講師, 大分県立大分舞鶴高等学校 (全 2 回, 40 名)。

2005.11 「講演 身近な植物の不思議な生態」, 講師, シニア自然大学, NPO 法人シニア自然大学 (30 名)。

非常勤講師など

2005.5 「植物社会のしくみ」, 神戸芸術工科大学.
2005.5 「人と自然の共生」(分担講義), 兵庫県立大学.
学校教育支援
トライやるウィーク
2005.6 三田市ゆりのき台中学校 3 名.
研修生等の受入
博物館実習
2005.8.15 神戸芸術工科大学芸術工学部 1 名, 近畿大学農学部 1 名, 高知大学農学部 1 名.
フェスティバル等
2005.4 たんぼぼカーニバル, 「風に乗って飛ぶタネの模型をつくろう!」(責任者).
2005.10 ひとつはくフェスティバル, 「タネで遊ぼう!」(責任者).

2. シンクタンク事業

受託研究
平成 17 年度自然環境調査補足業務, 三田市(分担者).
収蔵庫・ジーンファームの公開
ジーンファームの案内, 4 回, 50 名.
行政等支援
委員会等(計 1 件)
2005.8 県立母と子の鳥の環境教育プログラムに関する指導・助言. 県立母と子の鳥.
相談・指導助言
来訪者 6 件, 9 名. 電話・FAX 相談 5 件, メール相談 2 件.

3. 特別プロジェクト

ネクストミュージアム・プロジェクト
展示基本構想の検討担当
サバ・プロジェクト
ボルネオ島生物多様性・生態系保全プログラム(JICA 国際協力事業)の保全生物学専門家として, マレーシア国立サバ大学熱帯生物学・保全研究所に 1 年間滞在(2006.2.1 から 2007.1.31)

自然・環境再生研究部
植生創出研究グループ/シンクタンク事業室
研究員
橋本 佳延, Yoshinobu HASHIMOTO
昭和 51 年愛知県生. 神戸大学大学院総合人間科学研究科修士課程修了. 学術修士. 日本生態学会, 植生学会, 環境教育学会, 造園学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部シンクタンク事業室
キャラバン担当
2. 研究開発会議
なし

<研究開発>

1. 調査研究
特別課題研究(個人研究)
 1. 国内における外来樹木の侵入に関する研究
 2. 里山の生物多様性保全に関する研究共同研究
総合共同研究「武庫川流域の里山と湿原の原状と保全への課題」, 研究分担者.
総合共同研究「兵庫県における外来種対策」, 研究分担者.
部門研究「21 世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.
論文・著書
橋本 佳延・服部 保・小館 誓治・石田 弘明・鈴木 武(2006) タケ類天狗巣病発症による竹林の衰退と種組成の変化. ランドスケープ研究, 69(5): 503-506.
Ishida, H., Hattori, T. & Hashimoto, Y. (2005) Comparison of species composition and richness among primeval, natural, and secondary lucidophyllous forests in southeastern Kyushu,

Japan. Vegetation Science, 22: 71-86.

その他著作
橋本佳延・服部 保(2006) 兵庫県におけるトウネズミモチの植栽分布. 人と自然, No.16, 93-98.
橋本佳延(2005) 帰化植物. 宝塚市大事典, 109-110.
服部 保・石田弘明・橋本佳延・南山典子(2006) ジーンバンク活動記録 NO.3, 兵庫県立人と自然の博物館 自然・環境再生研究部, 76p.
研究発表
橋本 佳延・服部 保・小館 誓治・石田 弘明・鈴木 武(2005) 竹林の天狗巣病による衰退と種多様性の変化. 植生学会第 10 回大会, 広島大学東千田校舎, 広島市.
橋本佳延(2006) 国内における外来樹木ニワウルシ(シンジュ)の野外逸出, 第 53 回 日本生態学会大会, 新潟コンベンションセンター, 新潟市.

2. 資料収集・整理

資料収集
2005.4-2006.3 里山における植物および植生景観の映像資料収集(芦屋市, 三田市, 宝塚市, 川西市, 養父市, 京都府, 鹿児島県, 高知県, 長崎県, 宮崎県).
2005.4-2006.3 河川における植物および植生景観の映像資料収集(伊丹市).
整理同定担当資料
里山・河川映像資料.

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業
セミナー
館主催セミナー
橋本佳延, 2005.4.3, 「早春の里山を観察しよう」(13 名).
橋本佳延, 2005.4.16, 「春の六甲山ハイキング」(17 名).
橋本佳延・長谷川太一, 2005.8.18, 「校庭の樹木を活用しよう」(42 名).
橋本佳延, 2005.9.24, 「ともに考える外来植物との付き合い方 1」(5 名)館内・伊丹市猪名川河川敷.
橋本佳延, 2005.10.8, 「ともに考える外来植物との付き合い方 2」(5 名)館内.
橋本佳延, 2005.10.22, 「秋の六甲山ハイキング」(17 名).
橋本佳延, 2005.7.13, 「ともに考える外来植物との付き合い方」(14 名)(特注セミナー).
橋本佳延, 2005.10.5, 「ひとつはくにとつてのキャラバン事業」(16 名)(特注セミナー).
館外講演など
2005.9.11 シンポジウム「自然史博物館ってこんなところ」, パネリスト, 「自然の博物館」をつくる会(80 名).
2005.12.10 「里山管理実習」, 講師(20 名).
キャラバン事業
担当
2005.12 西播磨地区「ひとつはくキャラバン in あこう」
展示作成
2005.12 西播磨地区「生島に生える植物たち」
リサーチプロジェクト
2005.12 西播磨地区「ピラカンサ」
セミナー担当
2005.4 有馬富士フェスティバル・ひとつはくキャラバン ミニセミナー「春の花をながめてみよう」, 講師(10 名)
2005.4 有馬富士フェスティバル・ひとつはくキャラバン ミニセミナー「春の花をながめてみよう」, 講師(3 名)
2005.10 中播磨キャラバンセミナー「ともに考える外来植物とのつきあい方」(22 名)
ミニキャラバン事業
2005.4, 有馬富士フェスティバル・ひとつはくミニキャラバン(担当).
学校教育支援
トライやるウィーク
2005.6.1 ゆりのき台中学校 3 名.
学校団体対応等
2005.8.4 兵庫県立三田祥雲館高校生(4 名).

研修生等の受入

博物館実習

2005.8.18-19 神戸芸術工科大学芸術工学部学生 1名 近畿大学農学部学生 1名, 高知大学農学部学生 1名.

卒論生等

2005.4-2006.3 神戸大学発達科学部卒論生, 1名.

フェスティバル等

2005.11 ひとつはフェスティバル, ステージ運営(責任者).

展示

ミニ企画等

2005.4-2006.3 里山管理紹介ビデオ「ともに育む植物豊かな里山」作成 担当.

2. シンクタンク事業

収蔵庫・ジーンファームの公開

ジーンファームの案内, 2回, 15名.

行政等支援

相談・指導助言

来訪者 1件, 1名. 電話・FAX 相談 3件, メール相談 0件.

3. 特別プロジェクト

子どもの居場所づくり事業 ひとつはキャラバンスクール主担当

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ

研究員

鈴木 武, Takeshi SUZUKI

姫路工業大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 助手.
昭和37年千葉県生. 東京大学大学院理学研究科博士課程単位修得退学. 理学博士. 日本植物学会, 日本植物分類学会, 種生物学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部

なし

2. 研究開発会議

研究担当

<研究開発>

1. 調査研究

特別課題研究(個人研究)

1. 絶滅危惧植物の遺伝子多様性の保全の研究

2. 野生植物の集団構造に関する考察

共同研究

総合共同研究「武庫川流域の里山と湿原の原状と保全への課題」, 研究分担者.

部門研究「21世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者.

論文・著書

Suzuki, T., Watanabe, I. & Shiraiwa, T. (2005) Allozyme Types of Water Fern *Azolla japonica* and its Relatives (Azollaceae) Growing in Japan. *Acta Phytotax. Geobot* 56(1): 71-83.

橋本 佳延・服部 保・小館 誓治・石田 弘明・鈴木 武(2006) タケ類天狗巣病発症による竹林の衰退と種組成の変化. *ランドスケープ研究*, 69(5): 503-506.

その他著作

鈴木武(2005)「兵庫県でのタンポポ分布」, (タンポポ調査近畿2005報告書)タンポポ調査近畿2005実行委員会.

研究発表

橋本 佳延・服部 保・小館 誓治・石田 弘明・鈴木 武(2005) 竹林の天狗巣病による衰退と種多様性の変化. 植生学会第10回大会, 広島大学東千田校舎, 広島市.

学会役員など

日本植物分類学会, 図書幹事(2005.1より).

兵庫植物同好会, 会計.

助成を受けた研究

シダ植物の埋土孢子相の研究. 日本学術振興会科学研究補助金萌芽研究, 研究分担者(金額50万円/70万円).

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.4-5 兵庫県内のタンポポ. 神戸市, 春日町, 竹野町など.

整理同定担当資料

シダ植物標本.

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

2005.4.27, 「宝塚のシダを見る」(36名).

2005.6, 「裏六甲のシダを見る」(43名).

2005.9, 「ベニシダとイタチシダを見る」(25名).

2005.11, 「表六甲のシダを見る」(20名).

2006.2, 「水生シダ植物オオアカウキクサを見る」(23名).

館外講演など

2005.4 「但馬のタンポポ」, 講師, 竹野スノーケル・ビジターセンター (10名).

2005.4 「神戸市西区のタンポポ」, 講師, 神戸市立埋蔵文化財センター, タンポポ調査近畿実行委員会 (8名).

2005.4 「オオアカウキクサの分類」, 講師, 人と自然の博物館, 兵庫水辺ネットワーク (50名).

2005.4 「北播磨のタンポポ」, 講師, 黒田庄町公民館, 北播磨田園空間博物館 (40名).

2005.4 「中播磨のタンポポ」, 講師, ゆめさきの森公園 (18名).

2005.4 「近畿のタンポポ」, 講師, 三重県立上野森林公園 (13名).

2005.4 「伊丹のタンポポ」, 講師, 伊丹市立昆虫館, タンポポ調査近畿実行委員会 (9名).

2005.4 「神戸のタンポポ」, 講師, 神戸市立青少年科学館, タンポポ調査近畿実行委員会 (287名).

2005.4 「神戸のタンポポ」, 講師, あいな里山公園, 農都ネットこうべ (23名).

2005.4 「尼崎のタンポポ」, 講師, 尼崎都市緑化植物園, タンポポ調査近畿実行委員会 (19名).

2005.4 「宝塚のタンポポ」, 講師, 宝塚市立少年自然の家, 宝塚自然保護協会 (21名).

2005.5 「丹波のタンポポ」, 講師, 県立たんばの森公苑, タンポポ調査近畿実行委員会 (21名).

2005.5 「タンポポの同定」, 講師, 賢明女子学院, タンポポ調査近畿実行委員会 (20名).

2005.5 「水辺の植物」, 講師, ひょうご講座 (80名).

2005.6 「近畿のタンポポ」, 講師, 県立祥雲館高校, 兵庫県生物部会丹波支部 (30名).

2005.6 「青垣町のシダ植物」, 講師, 青垣いきものふれあいの郷 (20名).

2005.7 「シダ植物について」, 講師, 阪神シニアカレッジ (60名).

2005.10 「山南町のシダ」, 講師, 青垣いきものふれあいの郷 (15名).

2006.1 「森北の植物」, 講師, 神戸市東灘区森北町内会 (20名).

2006.3 「神戸のタンポポ」, 県立須磨東高校, 兵庫県生物部会神戸支部 (30名).

2006.3 「兵庫のタンポポ」, 頌栄短大, 兵庫植物同好会 (40名).

非常勤講師など

2005.18 「シダ植物のかたち」, 講師, 神戸芸術工科大学.

キャラバン事業

主担当

2005.10 神戸キャラバン(責任者). 県立神戸生活創造センターなど

学校教育支援

トライやるウィーク

2005.5.31 ゆりのき台中学校 3 名。
学校団体対応等
2005.5 「綾部のタンポポ」綾部市立綾部小学校 (159 名)。
2005.5 「タンポポの分類」県立宝塚北高校 (80 名)。
2005.11 「オニバスについて」三田市立松が丘小学校 (40 名)。
講師派遣等
2005.5 「宝塚のタンポポ」,宝塚市立すみれが丘小学校(150 名)。
2005.5 「但馬のタンポポ」,香美町立小代中学校 (10 名)。
2005.8 「遺伝子でみるシダとタンポポ」,六甲学院(15 名)。
遠隔授業
2005.11 「アイガモ農法について」,島根県立江津高校など。
研修生等の受入
博物館実習
2005.8.18-19 神戸芸術工科大学芸術工学部学生 1 名 近畿大学農学部学生 1 名, 高知大学農学部学生 1 名。
卒論生等
神戸市立六甲アイランド高校神戸学調査,「六甲アイランドのタンポポ」(5 名)。
姫路市立姫路高校生物部「姫路のタンポポ」(5 名)。
フェスティバル等
2005.4 たんぼウィーク,「タンポポをよく見よう」。
2005.8 ナイトミュージアム,「コウモリ声を聞こう」。
2005.10 ひとつはくフェスティバル,「カエデやマツのタネを作って飛ばそう!」(分担者)。

2. シンクタンク事業

受託研究
「六甲山における市民団体活動に関する調査」。(分担者)神戸県民局。
自然環境情報調査
タンポポ。
収蔵庫・ジーンファームの公開
ジーンファーム案内, 3 回, 30 名。
生物系収蔵庫等案内, 1 回, 10 名。
行政等支援
相談・指導助言
電話・FAX 相談 30 件。

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ

研究員

澤田 佳宏, Yoshihiro SAWADA

昭和 44 年兵庫県生。岐阜大学大学院連合農学研究科博士課程修了。博士(農学)。植生学会, 日本生態学会等所属。

< 研究開発 >

1. 調査研究

特別課題研究 (個人研究)

1. 海岸植生の保全に関する研究
2. 草原植生の多様性と人間活動に関する研究
3. 外来種が山火事跡地の植生回復に及ぼす影響の研究

共同研究

部門研究「21 世紀の森構想支援のための都市林および里山林の生態学的研究」, 研究分担者。

論文・著書

澤田佳宏・津田智 (2005) 日本の暖温帯に生育する海浜植物 14 種の海流散布の可能性。植生学会誌, No.22, 53 - 61。

澤田佳宏・津田智 (2005) 日本の暖温帯に生育する海浜植物 14 種の永続的シードバンク形成の可能性。植生学会誌, No.22, 135-146。

津田智・澤田佳宏・安立美奈子・津田美子 (2005) 岩手県久慈市における 1983 年の山火事による落葉広葉樹林焼失地の植生。植生学会誌, No.22, 63-68。

澤田佳宏 (2006) 海浜における人為攪乱後の植生回復の可能性。学位論文。岐阜大学大学院連合農学研究科。

研究発表

SAWADA, Y. and TSUDA, S. (2005) "Vegetation establishment following a disturbance of breakwater construction on coastal dunes in Japan." IX International Congress of Ecology, Palais des Congress de Montreal, MONTREAL.

澤田佳宏・窪田圭多・津田智 (2006) 山火事による二次林焼失地への牧草播種が植生回復に及ぼす影響。第 53 回日本生態学会大会, 新潟コンベンションセンター, 新潟市。

2. 資料収集・整理

資料収集

2005.11-2006.3 植物および植生景観の映像資料収集。大阪府, 宮崎県, 長崎県, 沖縄県。

整理同定担当資料

植物および植生景観の映像資料

< 事業推進 >

1. 生涯学習支援事業

キャラバン事業

展示作成

2005.12 西播磨地区「生島に生える植物たち」

2. シンクタンク事業

行政等支援

相談・指導助言

電話・FAX 相談 1 件。

生涯学習課

ミュージアムティーチャー

足立 勲 Isao ADACHI

環境省自然公園指導員、兵庫県自然保護指導員

1938 年生まれ、元公立小学校・中学校教員 (理科担当)

日本理科教育学会、日本環境教育学会、兵庫県生物学会等所属

関西学院大学教職教育研究センター(理工学部)非常勤講師

< 事業推進 >

生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

足立 勲 2005.4.23~1, 21「ミュージアムスクール」(全 8 回、125 名) 講師

大谷 剛・沢田佳久・足立 勲、2005.7.23「甲虫、ハチ、アブの標本作り体験」(12 名) 講師

大谷 剛・沢田佳久・足立 勲、2005.7.24「チョウ・ガの標本作り体験」(16 名) 講師

足立 勲、2005.07.30~8.28「昆虫標本づくり実演」(68 名) 講師

足立 勲、八木剛、2005.8.16 教職員夏季セミナー(香美町立兎塚小学校)「授業に役立つ生物調査法 ミヤマカネを素材として」(13 名) 講師

足立 勲、大谷剛、沢田佳久 2005.8.18 教職員夏季セミナー「生物の採集と標本作成(昆虫)」(19 名) 講師

足立 勲・長谷川太一・毛利敏治、2004.8.24「夏休み子ども相談室」(64 名) 講師

足立 勲、研究員 2005.08.25~28「夏休み子ども相談室」(180 名) 講師

八木 剛・足立 勲、2005.10.2「みやまかねさわやかハイキング」(34 名) 講師

その他の生涯学習支援事業

2005.4.14 大阪府農と緑の総合事務所主催、職員研修「プラスチック封入標本作成講座」(34 名) 講師

2005.04.30 他 5 回「みやまかね祭実行委員会」委員

2005.05.29, 6.11 北播磨キャラバン、講座「昆虫採集と標本作成」(104 名) 講師

2005.07.22 宝塚市立平井人権文化センター「自然学習リー

ダー研修」(16名)講師
2005,07,26~27 宝塚市仁川、逆瀬川(32名)「ミヤマアカネ・マーキング調査」講師
2005,08,02 兵庫県立教育研修所「観察実験講座」講師
2005,08,04 ハニーFM「夏休み理科相談」出演(2週分収録)
2005,8,26 小野市河合子ども居場所づくり事業「セミの抜け殻で環境調べ」(29名)講師
2005,8,29 宝塚市「みやまあかね祭」(467名)企画運営スタッフ
2005,10,01 小野市河合コミュニティーセンター「プラスチック封入標本づくり」(30名)講師
2005,11,3 サイエンスショー(45名)、実習「植物をハガキにラミネート」講師
2006,02,19 サイエンスショー(45名)、実習「植物をハガキにラミネート」講師
2005,5,15 京都YMC A(32名)、講義「昆虫と遊ぼう」講師
2006,2,11 共生の広場「あだち式プラスチック封入標本のつくりかた」展示
学校教育支援
トライやるウィーク
2005,6,7~6,10 上月啓輔、足立勲、毛利敏治 生徒の指導(4名)
ゲストティーチャー
2005,5,20 宝塚市立西山小学校4年(112名)、総合的な学習の時間「逆瀬川探検」講師
2005,6,03 宝塚市立西山小学校3年(76名)、総合的な学習の時間「ホタルと水」講師
2005,7,15 宝塚市立宝塚第一小学校4年(133名)、野外実習「支多々川探検」講師
2005,7,05 宝塚市立西山小学校6年(72名)、総合的な学習の時間「ミヤマアカネ調査」講師
2005,7,12 宝塚市立仁川小学校5年(112名)、総合的な学習の時間「ミヤマアカネ調査」講師
2005,9,20 宝塚市立宝塚第一小学校4年(133名)、野外実習「昆虫標本づくり」講師
2005,10,25 宝塚市立西山小学校4年(72名)、総合的な学習の時間「ミヤマアカネ調査」講師
2005,12,02 宝塚市立宝塚第一小学校4年(133名)、講義「ミヤマアカネリサーチプロジェクト」講師
2006,2,17 宝塚市立西山小学校、仁川小・第一小・仁川3校交流授業(320名)、総合的な学習の時間「ミヤマアカネ・リサーチ・プロジェクト発表会」講師
学校団体対応等
2005,5 宝塚市立すみれが丘小学校3年(120名)講義「昆虫の秘密」講師
2005,4 神戸市立沢池小学校3年(130名)、講義「昆虫の秘密」講師
2005,4 三田市立広野小学校4年(60名)講義「昆虫と自然環境」講師
2005,4 川西市立加茂小学校5年(102名)展示解説、講師
2005,5 神戸市立有野台小学校3・4年(101名)、川西市立賀茂小学校5年(106名)、野外活動「ネイチャーテレーリング」講師
2005,5 神戸市立筑紫が丘小学校1~6年(65名)、講義「ばくもわたしも昆虫博士」講師
2005,5 宝塚市立仁川小学校5年(107名)、宝塚市立西山小学校4年(79名)、講義「生き物調査を楽しむ」講師
2005,5 宝塚市立仁川小学校5年(112名)、宝塚市立西山小学校4年(79名)、講義「生き物調査を楽しむ」講師
2005,5 宝塚市立すみれが丘小学校3年(120名)講義「昆虫の秘密」講師
2005,5 宝塚市立宝塚第一小学校4年(139名)、講義「ミヤマアカネを探そう」講師
2005,5 伊丹市立開明中学校1年(242名)、講義「自然環境と指標昆虫」講師
2005,6 関西学院大学中学部(28名)、講義「昆虫採集と標本作り」講師
2005,6 明和幼稚園(244名)、講義「昆虫と遊ぼう」講師
2005,6 関西学院大学中学部(29名)、講義「昆虫採集と標本作り」講師

2005,6 明石市立花園小学校3年(65名)、講義「昆虫のふしぎ」講師
2005,7 宝塚市立宝塚第一小学校4年(133名)、講義「支多々川探検」講師
2005,8 河合こどもの居場所づくり(31名)、講義「セミの抜け殻で環境調べ」講師
2005,9 北摂第一幼稚園(96名)、実習「こんちゅうのおうちをつくろう」講師
2005,9 川西市立多田東小学校(149名)、他、展示解説、講師
2005,9 香美町立小代中学校1~3年(71名)、他、展示解説、講師
2005,9 高砂市立伊保南小学校3~4年(122名)、他、展示解説、講師
2005,9 関西学院大学中学部(29名)、実習「プラスチック標本づくり」講師
2005,10 加古川市立神野小学校4年(107名)、講義「昆虫のくらしと環境」講師
2005,10 宝塚市立西山小学校2年(90名)、実習「葉脈標本づくり」講師
2005,10 明石市立王子小学校5年(56名)、他、展示解説、講師
2005,10 神戸市立井吹東小学校5年(50名)、他、展示解説、講師
2005,10 神戸市立東落合小学校5年(80名)、展示解説、講師
2005,11 宝塚市立すみれが丘小学校3年(117名)、他、展示解説、講師
2005,11 加古川市立加古川小学校5年(150名)、展示解説、講師
2005,11 姫路市立八木小学校5年(150名)、展示解説、講師
2005,10 神戸市立糺台小学校4年(80名)、他、展示解説、講師
2005,12 兵庫県立篠山鳳鳴高校(6名)、実習「プラスチック標本づくり」講師
2006,01 兵庫県立篠山鳳鳴高校(6名)、実習「プラスチック標本づくり」講師
2006,02 丹波市立大路小学校(36名)、展示解説、講師
2006,03 北摂第一幼稚園(85名)、実習「葉脈標本づくり」講師

相談、指導、教材作成等

・総合的な学習に関する教師及び児童生徒からの質問、相談及び指導 62件
・実習生の指導、ボランティア、一般市民の相談及び指導 41件
・ワークノートなど教材・教具作成業務 35件
・電話相談 65件

生涯学習課

ミュージアム・ティーチャー

長谷川 太一 Taichi Hasegawa

1941年兵庫県生まれ、大阪府立大学農学部卒業、元兵庫県立高等学校教員(生物担当)・高等学校長

<事業推進>

生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

2005,4 ミュージアムスクール(以下MSと呼ぶ)「実体顕微鏡の世界・生物編」小学生2名

2005,5 MS「水生昆虫を探そう」三田市弥生が丘深田公園参加16名 足立勲・長谷川太一・毛利敏治

2005,6 MS講師「植物の標本をつくろう」(1)小学生10名 講師:長谷川太一・石田弘明研究員

2005,7 MS講師「植物の標本をつくろう」(2)小学生10名 講師:長谷川太一・石田弘明研究員

2005,7 高校連携セミナー:「身近な環境を調査しよう~都市環境を調べる~(1)」フィールド実習「放射温度計」講師(客

野尚志・宮崎ひろ志研究員)の補助 受講生 20 名
 2005,7 「エコ・エネ建築フェアー」神戸市立農業公園 実習「放射温度計は便利」講師 受講生 150 名
 2005,8 ひとつはく東播磨キャラバン「プラスチック封入標本をつくろう(昆虫編)」講師 参加者 22 名 明石市立博物館
 2005,8 ミュージアムハイスクール(以下MHSと呼ぶ)「デジタル植物図鑑に挑戦～校内の樹木図鑑をつくろう～」県立神戸高等学校にて実施 講師
 2005,8 MHS「デジタル植物図鑑に挑戦～校内の樹木図鑑をつくろう～」県立尼崎小田高等学校にて実施 講師
 2005,8 MHS「兵庫の野生動物の今を探る～解剖実験に挑戦」講師(横山真弓研究員)の補助 参加 20 名
 2005,8 夏季教職員セミナー「太陽の力を測ろう」講師(客野尚志・宮崎ひろ志研究員)の補助 受講生 20 名
 2005,8 夏季教職員セミナー「比較骨学実習」講師(三枝春生研究員)の補助 受講生 10 名
 2005,8 夏季教職員セミナー「校庭の樹木を活用しよう」講師(橋本佳延研究員・長谷川太一)三田市立八景中学校にて実施 受講生 50 名
 2005,9 高校連携セミナー:「身近な環境を調査しよう～都市環境を調べる～(2)」講師(客野尚志・宮崎ひろ志研究員)の補助 受講生 20 名
 2005,10 MS「植物画を描こう」参加:小中学生 20 名 講師(高橋晃研究員・長谷川太一・植物画の画家)
 2005,10 MS「植物画を描こう」2日目 参加:小中学生 20 名 講師
 2005,10 ひとつはく姫路キャラバン「葉脈の芸術」講師 参加者 12 名 姫路市立伊勢自然の里環境学習センター
 2005,10 ひとつはくフェスティバル 05 :「葉の芸術コーナーの指導」と「骨格標本の展示」
 2005,11 ひとつはくサイエンスショースタッフ 並びに「けもの歯」の模型づくり指導
 2005,12 MS「野草やつる植物を生かそう～草木染めとリースづくり～」参加者 20 名 講師
 2005,12 ひとつはくサイエンスショースタッフ 「けもの歯」の模型切抜き 指導
 2006,3 MS「プラスチック封入標本をつくろう(植物編)(1)」講師 小学生 22 名
 2006,3 MS「プラスチック封入標本をつくろう(植物編)(2)」講師 小学生 22 名
 学校教育支援
 ゲストティーチャー(学校団体)
 2005,4 講話:園田学園女子大学短期大学部学生 94 名「自然の便りを受け取る」講師
 2005,4 野外実習:兵庫県立西宮甲山高等学校 1 年生 160 名 八チ北高原「自然の便りと樹木の観察」講師(以下兵庫県立は県立のみで記す)
 2005,4 講義・実習:大阪府立泉北高等学校 理系 1 年生 120 名「哺乳類の骨格」「樹木の観察」講師
 2005,4 実験実習:神戸朝鮮初中級学校 1 年生 40 名「実体顕微鏡の世界」
 2005,5 講義:姫路市立曾左小学校 5 年生 118 名「けもの歯からの便り」講師
 2005,5 講義・実習:県立宝塚北高等学校 グローバルサイエンス 1 年生 40 名「樹木の見方・見え方・調べ方」講師 深田公園で実習
 2005,5 実験実習:西播磨朝鮮初中級学校 1~3 年生 93 名「景色の温度を測る」「けもの歯」「葉脈標本作製と観察」講師
 2005,6 講義:伊丹市立昆陽の里小学校 4 年生 114 名「けもの歯からの便り」講師
 2005,6 講義:明石市立山手小学校 5 年生 130 名「けもの歯からの便り」と「植物観察のポイント」講師
 2005,6 講義:武庫川女子大学付属高等学校 1 年 180 名「野生動物の骨と歯は語る」講師
 2005,6 講義:武庫川女子大学付属高等学校 1 年 136 名「歯と葉は語る」講師
 2005,6 講義:武庫川女子大学付属高等学校 1 年 135 名「植物の見方・見え方」講師
 2005,6 講義:私立雲雀丘学園中学部 2 年生 186 名「けもの歯からの便り」講師
 2005,6 講義:姫路市立青山小学校 5 年生 142 名「けもの歯からの便り」と「植物観察のポイント」講師
 2005,7 講義・実習:県立西宮北高等学校 サイエンスコミュニケーション 1 年生 40 名「景色の温度を測る」講師
 2005,8 支援・指導:県立宝塚高等学校グループ「選択生物課題学習」の指導・援助
 2005,8 実習:県立柏原高等学校 ベーシックサイエンスコース 1 年生 40 名「実体顕微鏡観察」講師
 2005,8 実習:滋賀県立彦根東高等学校 スーパーサイエンスコース 1 年生 40 名「実体顕微鏡観察」講師
 2005,8 「夏休み子ども理科相談会」全般担当講師(実習室)
 2005,8 講義:和歌山県立海南高等学校 総合科学コース 2 年生 40 名「哺乳類の骨は語る」講師
 2005,9 講義:滝川第二中学校 1 年生 83 名「けもの歯を診断する」講師
 2005,9 体験実習:高砂市立北浜小学校 6 年生 56 名「葉脈のしおりづくり」講師
 2005,10 講義:山崎町立城下小学校 3 年生 48 名「けもの骨をみれば」講師
 2005,10 出前授業・実習:県立篠山鳳鳴高等学校 総合的な学習「校庭の樹木」1 年生 13 名
 2005,10 講義・実習:明石市立錦浦小学校 5 年生 143 名「温度で見た深田公園の景色」講師
 2005,10 講義:神戸市立神陵台小学校 4 年生 74 名「けもの歯をみれば」講師
 2005,10 講義:西宮市立苦楽園小学校 3~4 年生 186 名「けもの歯と骨からみえるもの」講師
 2005,10 講義:百合学院中学校 1 年生 68 名「けもの歯と骨の特徴」講師
 2005,11 講義:香寺町立香呂小学校 2 年生 89 名「けもの歯をみれば」講師
 2005,11 体験実習:宝塚市立西谷小学校 3 年生 20 名「葉脈のしおりづくり」講師
 2005,11 講義・実習:大阪府立北野高等学校・理系 1 年生 40 名「哺乳類の歯式と生活様式および骨格について」講師
 2005,11 講義:姫路市立峰相小学校 5 年生 60 名「環境学習」講師
 2005,11 講義:丹波市立神楽小学校 3 年生 20 名「ビデオ学習」解説
 2005,11 講義:神戸市立六甲山小学校 3~6 年生 20 名「けもの歯をみれば」講師
 2005,12 講義:県立吉川高等学校 2 年生 24 名「高校生が納得する環境学習」講師
 2006,1 講義:明石市立大久保南小学校 5 年生 178 名「地球規模で考える環境学習」講師
 2006,2 体験実習:川西市立清和台小学校 4 年生 79 名「葉脈のしおりづくり」講師
 2006,3 体験実習:北摂第一幼稚園 年長組 96 名「けもの歯の切り抜き工作」講師
 ゲストティーチャー(その他)
 2005,7 団体対応講義:京都府農林部「デジタル植物図鑑を地域活動に活かす」講師 受講者 30 名
 2005,7 子ども会体験実習:「伊保中部子ども会」99 名「葉脈のしおりづくり」講師
 2005,7 子ども会体験実習:「明石・林崎三丁目子ども会」32 名「葉脈のしおりづくり」講師
 2005,8 団体対応体験実習:「宝塚市立ひらひら人権文化センター」46 名「葉脈のしおりづくり」講師
 2005,8 団体対応発表・講義:国立淡路青年の家「自然系博物館での環境学習」講師 受講生 10 名
 2005,8 子ども会体験実習:「尼崎・久久知名神子ども会」42 名「葉脈のしおりづくり」講師
 2005,8 団体対応体験実習:「オービッツ学習塾」24 名「葉脈のしおりづくり」講師
 2006,2 団体対応体験実習:たつの市児童科学館「葉の芸術・葉脈のしおり」講師 参加 15 名
 2006,2 団体対応出前授業:神戸市西山児童館「いきもの・

いのち そして環境」講師 参加 50 名

生涯学習課

ミュージアムティ - チャ -

毛利 敏治 Toshiharu Mouri

1937 年生まれ

元公立小学校、中学校教員（理科担当）

<事業推進>

1、生涯学習支援事業

セミナー

館主催セミナー

2005,4,11 「ミュージアムスクール」(全 14 回 131 名)講師、足立 勲、長谷川太一、毛利敏治、大谷 剛、沢田佳久、上月啓輔他

2005,8,25-28 「夏休み子ども理科相談室」(84 名)講師、足立勲、長谷川太一、毛利敏治、大谷 剛、沢田佳久、上月啓輔他

2005,8,16 教職員セミナー「植物の生育環境を知る」(43 名)講師 小舘誓治、毛利敏治

学校教育支援

トライやるウィーク

2005,6,7,10 上月啓輔、足立勲、毛利敏治、大谷剛、沢田佳久他 生徒指導

学校対応等

2005,4,28 神戸朝鮮初中級学校(40 名)実習「葉脈標本しおり」講義「植物の話」講師

2005,5,10 神戸市立有野台小学校 4 年(106 名)実習「ネイチャーターリング」講師

2005,5,17 宝塚市雲雀ヶ丘小学校 3 年(151 名)実習「ネイチャーターリング」講師

2005,5,17 滝野南小学校 5 年(81 名)実習「葉脈標本づくり」講師

2005,5,25 伊丹市立桜台小学校 4 年(162 名)講義「環境の話」講師

2005,5,26 神徳館保育所(101 名)実習「ネイチャーターリング」講師

2005,5,27 神戸市立有馬中学校 2 年(112 名)講義「環境の話」講師

2005,5,27 尼崎市立花西小学校 5 年(109 名)講義「環境の話」講師

2005,6,2 北六甲台小学校 3 年(103 名)実習「ネイチャーターリング」講師

2005,7,1 明石市立林小学校 5 年(102 名)実習「ネイチャーターリング」講師

2005,5,17 小野市立来住小学校 6 年(39 名)実習「葉脈標本づくり」講師

2005,8,9 養父市立閑宮小学校 5 年(49 名)講義「環境の話」講師

2005,9,15 川西市立多田東小学校 3 年(140 名)講義「植物の話」講師

2005,9,27 県立神戸養護学校 6 年(54 名)実習「葉脈標本づくり」講師

2005,9,30 猪名川町立白金小学校 3 年(97 名)講義「植物の話」講師

2005,9,30 猪名川町立白金小学校 4 年(84 名)講義「環境の話」講師

2005,9,30 高砂市立伊保南小学校 3,4 年(121 名)実習「ネイチャーターリング」講師

2005,10,7 神戸市立井吹東小学校 3 年(169 名)講義「植物の話」講師

2005,10,7 神戸市立西脇小学校 5 年(101 名)講義「環境の話」講師

2005,10,12 宝塚市立宝塚小学校 4 年(145 名)実習「葉脈標本づくり」講師

2005,9,30 神戸市立有瀬小学校 4 年(190 名)実習「ネイチャーターリング」講師

2005,10,14 市川町立川辺小学校 4 年(43 名)講義「環境の話」

講師

2005,10,14 池田市立石橋小学校 4 年(92 名)実習「ネイチャーターリング」講師

2005,10,18 池田市立呉服小学校 4 年(72 名)実習「ネイチャーターリング」講師

2005,10,21 北摂第一幼稚園(94 名)講義「知っているかなこんな話」講師

2005,10,21 長坂中学校 2 年(6 名)講義「植物の話」講師

2005,10,26 明石市立中崎小学校 4 年(49 名)講義「環境の話」講師

2005,11,9 家島中学校(57 名)実習「葉脈標本づくり」講師

2005,11,10 姫路市立八木小学校 3 4 年(55 名)実習「葉脈標本づくり」講師

2005,11,16 北摂第一幼稚園(115 名)実習「クリスマスリースづくり」講師

2005,11,18 神戸市立東落合小学校 5 年(76 名)実習「ネイチャーターリング」講師

2005,11,22 吹田市立桃山台小学校 5 年(49 名)講義「環境の話」講師

2005,11,25 神戸市立糺台小学校 4 年(84 名)実習「ネイチャーターリング」講師

2005,11,26 神戸市立六甲山小学校 3,4 年(32 名)講義「植物の話」講師

2005,11,30 篠山市立西紀小学校 6 年(16 名)実習「葉脈標本づくり」講師

2005,12,1 三田市立けやき台小学校 5 年(30 名)指導助言「総合的な学習の時間川について」講師

2005,12,2 篠山市立福住小学校 6 年(11 名)実習「葉脈標本づくり」講師

2005,12,13 三田市立狭間小学校 5 年(31 名)講義「総合的な学習の時間深田公園の植物観察」講師

2006,2,16 神戸海星女学院マリア幼稚園(23 名)実習「葉脈標本づくり」講師

2006,2,17 川西市立清和台小学校 4 年(77 名)講義「環境の話」講師

2006,2,19 丹波市立大路小学校 4 年(43 名)実習「葉脈標本づくり」講師

2006,2,23 神戸市立有馬小学校 1,2 年(12 名)実習「葉脈標本づくり」講師

2006,2,28 西宮市立東山台小学校 6 年(52 名)実習「葉脈標本づくり」講師

2006,3,1 南あわじ市立松帆小学校 6 年(39 名)実習「葉脈標本づくり」講師

2006,3,2 北摂第一幼稚園(園児 90 名、保護者 90 名)実習「葉脈標本づくり」講師

その他の生涯学習支援

2005,4,17 香呂駅前子ども会(63 名)実習「葉脈標本づくり」講師

2005,5,14 松ヶ丘子ども会(43 名)実習「ネイチャーターリング」講師

2005,6,1 東神吉南少年西井の口子ども会(210 名)講義「環境の話」講師

2005,6,4 河合子ども会(40 名)実習「葉脈標本づくりと植物観察」講師

2005,6,5 加古郡川端子ども会(43 名)実習「葉脈標本づくり」講師

2005,7,9 西山児童館エコクラブ(19 名)実習「葉脈標本づくり」講師

2005,7,16 富士ヶ丘子ども会(40 名)実習「ネイチャーターリング」講師

2005,7,23 今津ファイターズ(37 名)講義「植物の話」講師

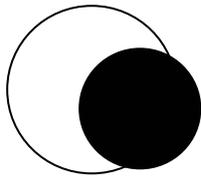
2005,7,28 三木小学校アフタースクール(35 名)実習「葉脈標本づくり」講師

2005,8,1 三田市役所文化課国際交流韓国北済州郡(12 名)講義「展示解説」講師

2005,8,15 三田市役所文化課国際交流韓国北済州郡(5 名)講義「展示解説」講師

2005,8,28 中内神子子ども会(21 名)実習「葉脈標本づくり」講師

2005,11,3 サイエンスショー(40名)実習「葉脈標本しおり
づくり」講師
2005,11,8 阪神北教育事務所「初任者研修」(109名)実習「葉
脈標本しおりづくり」講師
2005,11,26 泉南市立青少年センター(32名)実習「葉脈標本
づくり」講師
2006,2,19 サイエンスショー(40名)実習「葉脈標本しおり
づくり」講師
2006,2,26 篠山自然の会(11名、)展示解説 講師
2006,3,23 すずかけ台小学校(児童クラブ)(53名、)実習「葉
脈標本づくり」講師
2006,3,28 広野小学校(児童クラブ)(21名、)実習「葉脈標
本づくり」講師



博物館事業報告に関連する資料

セミナー一覧

平成 17 年度は下記のような様々な分野・対象のセミナーを実施しました（キャラバンを除く）。

実施日	タイトル	対象	のべ 参加者数	担当・講師
4月9日	早春の里山を観察しよう	小学生～大人、教員	13	橋本佳延
4月9日	都市の歩き方・名所探訪編 大阪梅田界隈を歩く	大人、教員	20	田原直樹
4月16日	外来種問題を考える～有馬富士の自然を守るためには～	高校生～大人、教員	20	横山真弓・外山・ステーブ ブラウン
4月16日	春の六甲山ハイキング	小学生～大人、教員	17	橋本佳延
4/23～5/8(全4回)	ため池を探る	高校生～大人、教員	83	田中哲夫・佐藤裕司・三橋弘宗
4月23日	実態顕微鏡の世界(生物編)	小学生～中学生	2	上月啓輔・長谷川太一
4月23日	春の昆虫探検	小学生～中学生	7	上月啓輔・MT
4/23～12/10(全6回)	姫螢189研究会	大人、ファミリー	55	八木 剛・安岡拓郎
4/23,24(全2回)	植物リサーチクラブ1 早春の八チ北高原	高校生～大人、教員	30	布施静香・高野温子
4月23日	都市の歩き方・名所探訪編 尼崎界隈を歩く	大人、教員	17	田原直樹
4/24～3/12(全10回)	ユース昆虫研究室	中学生	177	八木 剛
4月27日	宝塚のシダをみる	大人、教員	32	鈴木 武
4月29日	石の観察と見分け方講座 近畿の火山と玄武岩	小学生～大人	16	先山 徹
5月5日	植物化石採集会	ファミリー	29	半田久美子
5月8日	植物化石クリーニング体験講座	小学生～大人、教員	15	半田久美子
5月8日	春の石めぐりハイキング 神鍋山の火山岩	小学生～大人、教員	31	加藤茂弘・先山 徹
5月14日	草や木と仲良くなるうシリーズ1	小学生～中学生	11	上月啓輔・MT
5月14日	有馬富士公園「森の見方・感じ方」(春)	中学生～大人、教員	17	小館誓治
5月14日	都市の歩き方・名所探訪編 伊丹界隈を歩く	大人、教員	18	田原直樹
5月14日	コケ学散歩1	小学生～大人	15	秋山弘之
5月15日	ハチらしくないハチ:ハバチ学入門	小学生～大人、教員	9	中西明德
5月15日	フラワータウンはどんなところにつられたレッツ・チャレンジ? 自然環境調査入門?	小学生～大人	8	小林文夫
5/18,6/22(全2回)	1-1.身近な環境を調査しよう? 三田のホタルを調べる?	高校生～大人、教員	35	平松紳一・八木 剛
5月21日	六甲山「森の植物」観察会(春)	中学生～大人、教員	25	小館誓治
5/22～9/4(全4回)	もいちどは始める昆虫採集	高校生～大人、教員	11	沢田佳久
5/22～11/19(全5回)	トンボとりインストラクター養成講座	高校生～大人、教員	13	八木 剛
5月28日	都市の歩き方・名所探訪編 西宮界隈を歩く	大人、教員	13	田原直樹
5月28日	水生昆虫を探そう	小学生～中学生	17	上月啓輔・MT
6/3～6/24(全4回)	鳥の世界を知る 生態、人とのかわり鳥の社会、餌と性	高校生～大人、教員	138	江崎保男
6月5日	植物化石の名前を調べよう	中学生～大人、教員	11	半田久美子
6/11～9/4(全3回)	初級鳴く虫インストラクター養成講座	中学生～大人、教員	42	大谷 剛
6月12日	石灰岩でペーパーウェイトを作ろう	中学生～大人	8	小林文夫
6月12日	兵庫の自然(昆虫シリーズ)より	小学生～大人、教員	14	中西明德
6月18日	数字とキーワードでみる地球環境問題	高校生～大人、教員	7	客野尚志
6月19日	照葉樹林から里山へ、里山から文化林へ	中学生～大人、教員	70	服部 保
6/25,7/2(全2回)	植物の標本をつくろう その1	小学生～中学生	6	上月啓輔・長谷川太一
6/25,7/2(全2回)	昆虫の採集と標本づくり	小学生～中学生	26	上月啓輔・MT・大谷 剛・沢田佳久
6月29日	裏六甲のシダをみる	大人、教員	38	鈴木 武
7月2日	植物リサーチクラブ2 植物用語の基礎知識	高校生～大人、教員	22	高橋晃・高野温子・布施静香
7月2日	夏のキノコ探検隊1	小学生～大人、教員	11	秋山弘之
7月3日	身近な植物の不思議な生態	中学生～大人、教員	21	石田弘明
7月3日	夏のキノコ探検隊2	小学生～大人、教員	13	秋山弘之
7月9日	徹底解説!ニホンジカ 進化・形態・生理そして社会的課題 シカ類の進化と形態	高校生～大人、教員	43	坂田宏志・三枝春生・横山真弓
7月10日	化石に親しむ	小学生～大人	21	古谷 裕
7月10日	徹底解説!ツキノワグマ-進化・形態・生理・生態そして社会的課題 ツキノワグマの進化と形態	高校生～大人、教員	38	横山真弓・三枝春生・坂田宏志

7月13日	レッツ・チャレンジ? 自然環境調査入門? 2-1.身近な環境を調査しよう? 都市環境を調べる?	高校生~大人、教員	18 平松紳一・客野尚志・宮崎ひろし
7月16日	ひょうご自然環境セミナー 兵庫の風景	一般	20 中瀬 勲
7月16日	淡路自然環境セミナー 淡路島の大地のなりたち	一般	8 加藤茂弘
7月23日	淡路自然環境セミナー 淡路島にいた象と恐竜	一般	5 三枝春生
7月23日	コウチュウ・ハチ・アブの標本作り体験	中学生~大人、教員	20 大谷 剛・沢田佳久・足立 勲
7月23日	化石標本の作り方	小学生~大人	23 松原尚志
7月24日	チョウ・ガの標本作り体験	中学生~大人、教員	12 大谷 剛・沢田佳久・足立 勲
7月30日	歯のレプリカを造りながら学ぶ動物の進化	小学生~大人	17 三枝春生
7/30,8/27(全2回)	セミの抜け殻探検 その1	小学生~中学生	18 上月啓輔・MT
7月31日	石の観察と見分け方講座-火打石になる石・チャート-	小学生~大人	33 先山 徹
8月6日	淡路自然環境セミナー 淡路島のマツ枯れを調べる	一般	3 小館誓治
8月8日	MHS夏休み集中講座 デジタル植物図鑑に挑戦? 校内の樹木図鑑をつくらう	高校生、教員	5 平松紳一・長谷川太一
8月8日	MHS夏休み集中講座 植物の戦略? 植物のふしぎと魅力に迫る	高校生、教員	4 平松紳一・布施静香
8月8日	MHS夏休み集中講座 地球温暖化と海面上昇? 映画は現実になるか?	高校生、教員	7 平松紳一・佐藤裕司
8月8日	MHS夏休み集中講座 兵庫の野生動物の今を探る? 標本で見る動物の姿	高校生、教員	9 平松紳一・横山真弓
8月9日	MHS夏休み集中講座 デジタル植物図鑑に挑戦? 校内の樹木図鑑をつくらう	高校生、教員	7 平松紳一・長谷川太一
8月9日	MHS夏休み集中講座 植物の戦略? 植物のふしぎと魅力に迫る	高校生、教員	9 平松紳一・布施静香
8月9日	MHS夏休み集中講座 この暑さどうなってるの?? ヒートアイランド問題を考える	高校生、教員	8 平松紳一・客野尚志
8月9日	MHS夏休み集中講座 衛星地球観測入門	高校生、教員	9 平松紳一・宮崎ひろ志
8月10日	MHS夏休み集中講座 兵庫の野生動物の今を探る? 解剖実験に挑戦	高校生、教員	7 平松紳一・横山真弓
8月11日	土の中のむし	小学生~中学生	8 沢田佳久
8/13~9/19(全4回)	上級鳴く虫インストラクター養成講座	中学生~大人、教員	42 大谷 剛
8/19~10/28(全10回)	造園・景観学講座	大人、教員	296 中瀬 勲
8月20日	ひょうご自然環境セミナー-縄文海進と神戸	一般	17 佐藤裕司
8月20日	あわじ自然環境セミナー 名所図絵に見る淡路島の歩き方	一般	2 赤澤宏樹
8月20日	化石のレプリカをつくらう	小学生~大人	17 松原尚志
8月20日	石の観察と見分け方講座 -入門編-	小学生~大人	25 先山 徹
9/2~10/21(全7回)	六甲山学 名所図絵に見る六甲の景観	高校生~大人、教員	11 田原直樹・小林文夫・
9/3,4(全2日)	ベニシダとイタチシダをみる	中学生~大人、教員	44 鈴木 武
9月7日	レッツ・チャレンジ? 自然環境調査入門? 2-2.身近な環境を調査しよう? 都市環境を調べる?	高校生~大人、教員	18 平松紳一・客野尚志・宮崎ひろ志
9月10日	車軸藻(しゃじくも)の世界? ペットボトルで育ててみよう?	小学生~大人、教員	16 佐藤裕司
9月19日	親と子の鳴く虫の夕べ	ファミリー	28 大谷 剛
9/24,10/8(全2回)	ともに考える外来植物との付き合い方	小学生~大人、教員	10 橋本(延)
9月24日	ひょうご自然環境セミナー-神戸駅周辺の鳴く虫	一般	19 大谷 剛
10/1,2(全2回)	植物画を描こう その1	小学生~中学生	26 上月啓輔・長谷川太一・高野温子・布施静香・高橋 晃
10月1日	植物リサーチクラブ3 秋の水草	高校生~大人、教員	4 高橋 晃
10月1日	秋のキノコ探検隊1	小学生~大人、教員	15 秋山弘之
10月1日	都市の歩き方・名所探訪編 住吉岩屋界隈を歩く	大人、教員	12 田原直樹
10月2日	里山の植物・講義と観察	中学生~大人、教員	54 服部 保
10月2日	みやまあかねハイキング	ファミリー	36 八木 剛・足立 勲
10月2日	秋のキノコ探検隊 上級編	小学生~大人	9 秋山弘之
10月2日	フラワータウンはどこなところにつくられた	小学生~大人	7 小林文夫
10月2日	猪名川の植物を観察しよう	中学生~大人、教員	20 石田弘之
10/5,12(全2回)	身近な環境を調査しよう? ピオトープ池を調べる?	高校生~大人、教員	42 平松紳一・田中哲夫・佐藤裕司
10月8日	人類とゾウの700万年	小学生~大人、教員	7 三枝春生
10月8日	秋のキノコ探検隊2	小学生~大人、教員	14 秋山弘之
10月8日	ひょうご自然環境セミナー-名所図絵に見る兵庫津と景観	一般	8 赤澤宏樹
10月9日	有馬富士公園「森の見方・感じ方」(秋)	中学生~大人、教員	13 小館誓治
10月9日	ゴリラの再野生化と熱帯雨林の明日	高校生~大人、教員	5 三谷雅純
10月9日	虫の体を調べよう	小学生~中学生、ファミリー	5 沢田佳久

10月10日	ゴリラの再野生化と熱帯雨林の明日	高校生～大人、教員	5 三谷雅純
10月10日	秋の石めぐりハイキング 甲山周辺の岩	小学生～大人	33 先山 徹・加藤茂弘
10月15日	草や木と仲良くなるシリーズ2-葉脈標本しおりづくり	小学生～中学生	40 上月啓輔・MT
10月15日	食べる昆虫学に挑戦	小学生～大人、教員	13 中西明德
10月8日	ひょうご自然環境セミナー	一般	8 鈴木 武・赤澤宏樹
10/22,29(全2回)	プラスチック封入標本をつくろう(昆虫編)	小学生～中学生	38 上月啓輔・MT
10月22日	秋の六甲山ハイキング	小学生～大人、教員	17 橋本(延)
10月29日	都市の歩き方・名所探訪編 兵庫界隈を歩く	高校生～大人、教員	7 田原直樹
11月2日	表六甲のシダをみる	大人、教員	18 鈴木 武 八木 剛・前藤 薫・竹 田真木生・城所久良 子・内藤親彦・安岡拓 郎・香川理威・山西
11/4～1/20(全10回)	昆虫科学スペシャル講座	高校生～大人、教員	395 小館誓治 11 田原直樹 17 沢田佳久 10 鈴木 武・西田 勝 6 田原直樹 17 先山 徹
11月5日	六甲山「森の植物」観察会(秋)	中学生～大人、教員	24 小館誓治
11月12日	都市の歩き方・名所探訪編 長田界隈を歩く	大人、教員	11 田原直樹
11/13,20(全2回)	立体写真撮影入門	中学生～大人、教員、ファミリー	17 沢田佳久
11月19日	ひょうご自然環境セミナー 星空観察	一般	10 鈴木 武・西田 勝
11月26日	都市の歩き方・名所探訪編 須磨界隈を歩く	大人、教員	6 田原直樹
11月27日	石の見分け方講座 顕微鏡で見る鉱物	小学生～大人	17 先山 徹
12/3,4(全2回)	チョウの翅の模様でオリジナルシールをつくろう!	中学生～大人、教員	12 中西明德・嶽山洋志・ 八木 剛
12月10日	野草やつる植物を生かそう? 草木染めとリースづくり	小学生～中学生	18 上月啓輔・長谷川太一
12月23日	石の観察と見分け方講座 鉱物の色	小学生～大人	22 先山 徹
1月21日	バードウォッチングと巣箱作り	小学生～中学生	5 上月啓輔・MT 江崎保男・坂田宏志・ 164 田中哲夫・藤木(京大 大学院)
1/27～3/3(全5回)	生態学講座一人と自然の共生のための基礎知識一	高校生～大人、教員	
2月4日	地球温暖化・都市環境を考える 地球温暖化過去の学ぶ	一般	30 佐藤裕司
2月10日	森をはぐくむ土のはなし	高校生～大人、教員	22 小館誓治
2月11日	歴史に探る自然の営み	高校生～大人、教員	6 三谷雅純
2月12日	歴史に探る自然の営み	高校生～大人、教員	6 三谷雅純
2月18日	地球温暖化・都市環境を考える 20世紀の地球温暖化と将来予測	一般	35 客野尚志
2月22日	レッツ・チャレンジ? 自然環境調査入門? 4.わたしにとっての自然環境問題	高校生～大人、教員	15 平松紳一
2月25日	地球温暖化・都市環境を考える 都市が暑くなる ヒートアイランドと生活	一般	30 宮崎ひろ志
2月25日	水生シダ植物オオアカウキクサをみる	中学生～大人、教員	22 鈴木 武
2/26～3/26(全3回)	古生代の放散虫を調べる	中学生～大人、教員	50 吉谷 裕
3月4日	コケ学散歩2	小学生～大人	17 秋山弘之
3月5日	アフリカの大地に人類の謎を探る	中学生～大人、教員	16 加藤茂弘
3/11,18(全2回)	プラスチック封入標本をつくろう(植物編)	小学生～中学生	12 上月啓輔・長谷川太一
(特注セミナー)			
7月13日	ともに考える外来植物の付き合い方	一般団体	14 橋本佳延
7月12日	里山の保全について	一般団体	58 服部 保
7月14日	生物種の絶滅から里山の保全へ	一般団体	63 服部 保
9月1日	野生動物対策について	一般団体	33 坂田宏志
10月5日	地球温暖化・ヒートアイランドの現状についてほか	一般団体	16 客野尚志
10月5日	猪名川流域の里山について	一般団体	13 服部 保
11月8日	淡水藻と里地の水環境	一般団体	25 佐藤裕司
11月19日	昆虫の研究	一般団体	17 大谷 剛
10月15日	里山管理入門	一般団体	22 服部 保
11月29日	環境と昆虫	一般団体	62 大谷 剛
12月9日	地震の実験教材	一般団体	28 先山 徹
2月10日	外来生物について	一般団体	32 服部 保

企画展等一覧（平成17年度）

下記のような企画展、ミニ企画展ならびに関連講座を企画展示室・ミニ企画展示室・3階ギャラリー・4階ひとくサロンで開催した。

【企画展】

期 間	テーマ	入場者数	担当者(所属)、順不同(*代表者)
2005.3.12-6.12	神戸の植物化石	14741	*半田久美子・松原尚志・古谷裕・三枝春生(以上人博)
2005.7.10-9.25	コウノトリの野生復帰と自然再生	22237	*江崎保男・田中哲夫・三橋弘宗(以上人博)・NPO法人コウノトリ市民研究所・豊岡市コウノトリ文化館・東京学芸大学環境教育実践施設
2005.10.22-2006.1.22	見逃すな! はてなの世界	21090	*高野温子・秋山弘之・高橋晃・布施静香・横山真弓・先山徹・嶽山洋志(以上人博)
2006.2.18-6.11	古生代の世界	2859(3月3日まで)	*古谷裕・小林文夫・三枝春生・半田久美子・沢田佳久(以上人博)

【ミニ企画展(臨時に企画される小規模な展示)】

期 間	テーマ	担当者(所属)	展示場所
2005.4.28-5.5	たんぽぽのボトルフラワー	加藤茂弘(以上人博)・堀正和(人と自然の会)	4階ひとくサロン
2005.4.28-5.5	たんぽぽをよくみよう	加藤茂弘・鈴木武(以上人博)	4階ひとくサロン
2005.7.31-9.3	ドリームスタジオ100ヒストリー	佐竹千代子(人と自然の会)	3階小企画展示室
2005.8.1-8.31	超高解像度人間大昆虫写真展	秋山弘之(以上人博)・国際花と緑の博覧会記念協会	3階小企画展示室
2005.8.25-8.31	2m望遠鏡「なゆた」の紹介	加藤茂弘(以上人博)・内藤博之・時政典孝(以上西はりま天文台)	3階休憩コーナー横
2005.10.27-2006.4.17	ナノテクノロジー展示解説	秋山弘之(以上人博)・つくば科学万博記念財団	4階ひとくサロン
2006.9.28-10.5	三田市立中学校理科自由研究作品展	上月啓輔(以上人博)・三田市中学校理科部会	4階ひとくサロン
2006.1.18-1.22	淡路島産貝形虫化石に関する研究成果のパネル展示と解説	松原尚志(以上人博)	2階化石工房前
2006.2.23-2.25	この声だーれ? - 分散マイクスピーカによる展示解説システム -	先山徹・秋山弘之(以上人博)・溝口博(東京理科大学)・楠房子(多摩美術大学)・稲垣成哲(神戸大学)	3階小企画展示室
2006.3.29-4.2	佐用まるごと美術館 - 子どもアートスクール」の世界	田原直樹(以上人博)・岸本秀子(佐用町生涯学習課)	4階ひとくサロン

【資料・トピックス展示(新着資料や研究員による発見などのトピックスを展示)】

期 間	テーマ	担当者(所属)	展示場所
2005.8.15-2005.12.15	兵庫県からヤコウタケ発見	秋山弘之(以上人博)	3階トピックスコーナー
2005.12.20-2006.3.20	藤本義昭コレクション	高橋晃・高野温子・布施静香(以上人博)	3階トピックスコーナー

企画展関連講座

【企画展「神戸の植物化石」】

実施日	タイトル	受講者数	講師・担当
2005.5.29	企画展講座「神戸層群の化石の世界」	32	松原尚史・三枝春生（以上人博）・植村和彦（国立科学博物館）・高岡得太郎（神戸植物化石を考える会）
2005.4.17	ギャラリートーク	7	松原尚史（人博）
2005.5.15	ギャラリートーク	2	三枝春生（人博）
2005.5.5	植物化石採集会	20	半田久美子（人博）
2005.5.8	植物化石クリーニング講座	6	半田久美子（人博）
2005.6.5	植物化石の名前を調べよう	8	半田久美子（人博）

【企画展「コウノトリの野生復帰と自然再生」】

実施日	タイトル	受講者数	講師・担当
2005.8.28	企画展講座「鳥類を蘇らせる方法」	169	岩槻邦男・江崎保男（以上人博）・長谷川博（東邦大学）・中村浩志（信州大学）・山岸哲・尾崎清明（以上山科鳥類研究所）
2005.7.17	ギャラリートーク コウノトリと川・田んぼ	25	江崎保男（人博）
2005.8.21	ギャラリートーク 豊岡の地形とコウノトリ	20	小林文夫（人博）
2005.9.18	ギャラリートーク 川と田んぼの自然再生	15	田中哲夫（人博）

【企画展「見逃すな！はてなの世界」】

実施日	タイトル	受講者数	講師・担当
2005.11.3	企画展講座「生き物の関係を探る」	36	高野温子・横山真弓（以上人博）・酒井章子（京都大学）
2005.11.23	三田ミステリーツアー ～まちの中のはてなを探せ～	17	嶽山洋志（人博）
2005.12.18	はてな探偵団 ～動物のはてな探しに行こう～	5	横山真弓（人博）
2006.1.15	早押し音あてクイズ	7	大谷剛（人博）

【企画展「古生代の世界」】

実施日	タイトル	受講者数	講師・担当
2006.2.26	ギャラリートーク		古谷裕（人博）
2006.3.5	ギャラリートーク		古谷裕（人博）
2006.3.26	ギャラリートーク		古谷裕（人博）

生徒・学生等の受け入れ状況

【トライやる・ウィーク】

期 間	学 校 名	人 数	担 当 部 課 室 名
2005.5.31～6.3(1期)	八景中学校	3	自然・環境再生研究部
	長坂中学校	1	自然・環境マネジメント研究部
	富士中学校	3	総務課
	ゆりのき台中学校	4	生涯学習課
2005.6.7～6.10(2期)	藍中学校	3	自然・環境マネジメント研究部
	けやき台中学校	3	自然・環境評価研究部
	狭間中学校	3	情報管理課
	上野台中学校	3	

【博物館実習】

期 間	学 校 名	人 数	担 当 研 究 部 名
	神戸芸術工科大学	2	
	南九州大学	1	
	高知大学	1	
	近畿大学	1	
	龍谷大学	1	自然・環境評価研究部 1 3名
	北里大学	1	自然・環境評価研究部 2 2名
	武庫川女子大学	1	自然・環境マネジメント研究部 1 3名
	大阪教育大学	1	自然・環境マネジメント研究部 2 2名
	京都教育大学	1	自然・環境再生研究部 3名
	神戸学院大学	1	
	奈良教育大学	1	
	関西学院大学	1	

学校教育支援プログラム

【スクールパートナー推進事業 夏季教職員セミナー】

実施日	セミナー名	参加人数
2005.8.15	・「体の不自由な子ども達の野外活動」入門	37
	・体感!楽しく学べる環境問題	53
2005.8.16	・植物の生育環境を知る	43
	・大量絶滅と生物の進化	50
	・公園の模型を作ろう	14
	・授業に役立つ生き物調査法	13
2005.8.17	・水生昆虫の調べ方	40
	・人為と生態系	43
	・太陽の力を測ろう	24
	・比較骨学実習 パート2	11
2005.8.18	・校庭の樹木を活用しよう	42
	・ビオトープ池を考える	45
	・地層の見方・調べ方	30
	・生物の採集と標本作製(昆虫)	19
2005.8.19	・地震の実験教材をつくろう	26
	・石の見分け方入門	19
	・DNAに触れる	19
	・野生動物との共存を考える授業づくり	40

【遠隔授業実施状況】

実施日	相手校	学習内容	授業者	参加人数	利用回線の種類
2005.5.25	京都府亀岡市立安詳小学校 2年生 生活科「おしえておしえて!生き物のこと」	虫のクイズや実物を見たりして、虫について興味や関心を持つ	大谷	110	ISDN回線
2005.10.14	・岡山県立瀬戸南高等学校3年生 ・鳥取県立倉吉農業高校3年生	三県(岡山・鳥取・兵庫)連携IT交流事業 MCUを用いた多地点接続による遠隔交流授業	三橋 鈴木	26	兵庫県高速ネットワーク
2005.10.28	・川西市立北陵小学校6年生 ・川西市立緑台小学校5年生 ・川西市立川西北小学校5年生 ・川西市立桜が丘小学校4年生	総合的な学習の時間「猪名川プロジェクト」 調査の結果や自分たちにできることをみんなに伝えよう	三橋	252	WEB上のMeeting Plaza利用
2006.1.19	・岡山県立瀬戸南高等学校3年生 ・鳥取県立倉吉農業高校3年生	三県(岡山・鳥取・兵庫)連携IT交流事業 課題研究発表交流会	三橋	26	兵庫県高速ネットワーク
2006.2.2	ドイツ・デュッセルドルフ日本人学校 小学部5年生	海外の日本人学校との初めてのテレビ会議の実施 理科「トリビアの泉風 昆虫の知識」	大谷	32	WEB上のMeeting Plaza利用
2006.2.10	ドイツ・デュッセルドルフ日本人学校 中学部1年生	ドイツと日本の時差8時間を超えての実施 理科「地震と断層の学習」	先山	29	WEB上のMeeting Plaza利用

平成16～17年度2年間学校団体連続入館状況

学 校 名	校種	地域	来館回数	筑紫が丘小学校	小	神戸市	2
				中崎小学校	小	明石市	2
若草保育園	保	三田市	2	中番小学校	小	小野市	2
東条保育園	保	東条町	2	長尾小学校	小	神戸市	3
緑ヶ丘保育園	保	東条町	2	天王小学校	小	大阪府	2
安倉幼稚園	幼	宝塚市	2	東佐井寺小学校	小	大阪府	2
北摂第一幼稚園	幼	三田市	8	東条東小学校	小	東条町	5
保育園・幼稚園 合計 (5校)			16	藤原台小学校	小	神戸市	2
				美座小学校	小	宝塚市	2
あかしあ台小学校	小	三田市	4	富士小学校	小	三田市	6
けやき坂小学校	小	川西市	2	宝塚小学校	小	宝塚市	2
けやき台小学校	小	三田市	3	宝塚第一小学校	小	宝塚市	2
すずかけ台小学校	小	三田市	6	峰相小学校	小	姫路市	4
すみれが丘小学校	小	宝塚市	3	北条小学校	小	加西市	2
つつじが丘小学校	小	三田市	2	北浜小学校	小	高砂市	2
ゆりのき台小学校	小	三田市	2	北六甲台小学校	小	西宮市	2
粟賀小学校	小	神埼町	2	弥生小学校	小	三田市	3
伊保小学校	小	高砂市	2	有岡小学校	小	伊丹市	2
井吹東小学校	小	神戸市	2	有瀬小学校	小	神戸市	2
荻野小学校	小	伊丹市	2	有野小学校	小	神戸市	2
加茂小学校	小	川西市	2	有野台小学校	小	神戸市	2
花里小学校	小	伊丹市	2	来住小学校	小	小野市	2
学園小学校	小	三田市	3	立花西小学校	小	尼崎市	2
錦浦小学校	小	明石市	2	林小学校	小	明石市	2
金楽時小学校	小	尼崎市	2	小 学 校 合 計 (71校)			171
広野小学校	小	三田市	3				
香呂小学校	小	香寺町	2	関西学院中学部	中	西宮市	8
高津橋小学校	小	神戸市	2	関西大倉中学校	中	大阪府	2
昆陽里小学校	小	伊丹市	2	神戸朝鮮初中級学校	中	神戸市	2
桜台小学校	小	伊丹市	2	滝川第二中学校	中	神戸市	2
三輪小学校	小	丹波市	2	塚口中学校	中	尼崎市	2
山口小学校	小	西宮市	2	宝梅中学校	中	宝塚市	2
山手小学校	小	明石市	2	中 学 校 合 計 (6校)			18
山手台小学校	小	大阪府	2				
春日小学校	小	大阪府	2	海南高等学校	高	和歌山県	2
勝原小学校	小	姫路市	2	三田祥雲館高等学校	高	三田市	7
松が丘小学校	小	三田市	6	泉北高等学校	高	大阪府	3
飾磨小学校	小	姫路市	2	武庫川女子大学附属高等	高	西宮市	5
神楽小学校	小	丹波市	3	舞子高等学校	高	神戸市	2
神津小学校	小	伊丹市	2	福崎高等学校	高	福崎町	2
神野小学校	小	加古川市	2	兵庫県立大学附属高等学	高	赤穂郡	2
神陵台小学校	小	神戸市	2	宝塚北高等学校	高	宝塚市	2
仁川小学校	小	宝塚市	3	北野高等学校	高	大阪府	2
瑞穂小学校	小	伊丹市	2	網干高等学校	高	姫路市	2
生瀬小学校	小	西宮市	2	高 等 学 校 合 計 (10校)			29
西山小学校	小	宝塚市	4				
西南小学校	小	大阪府	2	関西学院大学	大	三田市	9
石橋小学校	小	大阪府	2	神戸芸術工科大学	大	神戸市	2
川辺小学校	小	市川町	2	神戸大学	大	神戸市	6
多田東小学校	小	川西市	2	大阪人間科学大学	大	大阪府	2
大久保南小学校	小	明石市	2	兵庫教育大学	大	社町	2
大阪教育大学附属池田小学校	小	大阪府	2	兵庫県立大学	大	姫路市	7
大池小学校	小	神戸市	2	大 学 合 計 (6校)			28
滝野南小学校	小	滝野町	2				
沢池小学校	小	大阪府	2	その他 学 校 合 計 (0校)			0
段上西小学校	小	西宮市	2	合 計 (98校)			262

来館一般団体一覧

団体名	地域		
[県内]			
兵庫水辺のネットワーク	神戸市	ひよどり台エコタウンクラブ	神戸市
ガッツクラブ	神戸市	東亜経理専門学校	神戸市
医師会看護専門学校	神戸市	西区連合婦人会	神戸市
西神戸医療センター	神戸市	汎太平洋フォーラム	神戸市
オスモスポーツクラブ	神戸市	深江南町2丁目子ども会	神戸市
西神南シニアクラブ	神戸市	神戸市立道場児童館	神戸市
日下部子ども会	神戸市	尼崎21世紀の森	尼崎市
成徳町づくり協議会	神戸市	潮江中社会福祉協会	尼崎市
神戸市シルバーカレッジ	神戸市	名神町南団地自治会	尼崎市
グループLIFE	神戸市	塚口児童ホーム父母の会	尼崎市
西山児童館エコクラブ	神戸市	和楽有会	尼崎市
神戸市中学校理科研究会	神戸市	塚口ドルフィンズ	尼崎市
三ツ星ベルト株式会社	神戸市	小田南左門殿子ども会	尼崎市
フィールドオブゆう	神戸市	久久知名神子ども会	尼崎市
南落合寿楽会	神戸市	潮江診療所	尼崎市
神戸動植物環境専門学校	神戸市	小園歩こう会	尼崎市
神戸YMCA	神戸市	本五旭自治会	尼崎市
寺一睦会	神戸市	尼崎鹿児島県人会・芋つる会	尼崎市
特別養護老人ホーム岩岡の郷	神戸市	大物連合婦人会	尼崎市
北神戸PFC	神戸市	利昌工業株式会社尼崎工業	尼崎市
自立センター兵庫	神戸市	大庄会	尼崎市
泉が丘ひふみ会	神戸市	尾浜公民館グループ連絡会	尼崎市
天が岡シニア倶楽部	神戸市	JA兵庫六甲武庫支店	尼崎市
明石ダイヤハイッツ自治会	神戸市	尼崎ユネスコ協会	尼崎市
垂水区域が丘2丁目自治会	神戸市	一期会	尼崎市
デイサービスふるさと	神戸市	尼崎ボランティア連絡協議会	尼崎市
中央元気会	神戸市	清川町内会婦人部	尼崎市
クヅカひまわりクラブ	神戸市	段上校区老人会	西宮市
デイサービスセンターふるさと	神戸市	アサヒカルチャーセンター	西宮市
デイサービスセンターふるさと	神戸市	神戸婦人大学	西宮市
本庄中学校PTA	神戸市	今津ファイターズ	西宮市
デイサービスセンターふるさと	神戸市	鳴尾東少年野球クラブ	西宮市
JA兵庫六甲	神戸市	くれよん	西宮市
デイサービスセンターふるさと	神戸市	名塩家庭防火クラブ	西宮市
日立京阪神戸日栄会	神戸市	NPOはらっぱ	西宮市
多井畑東町とんぼ子ども会	神戸市	西宮市母子福祉センター婦人共励会	西宮市
1デイサービスセンターふるさと	神戸市	名塩盛友会	西宮市
上高丸婦人会消費者学級	神戸市	生瀬地区家庭防火クラブ	西宮市
デイサービスセンターふるさと	神戸市	西宮大社公民館活動推進委員会	西宮市
重池ふれあいまちづくり協議会	神戸市	名塩増田	西宮市
学園東町シニアクラブ	神戸市	前浜キングス	西宮市
リバーサイドパレス自治会	神戸市	芦屋市消費者協会	芦屋市
しおかぜ子ども会	神戸市	芦屋川探検隊	芦屋市
新多聞婦人会	神戸市	伊丹市農会長会視察研修会	伊丹市
特別養護老人ホーム岩岡の郷	神戸市	松が丘子ども会	伊丹市
菅野長寿会	神戸市	阪神住宅自治会	伊丹市
長田寿会	神戸市	鴻池小地区社会福祉協議会	伊丹市
春日台キッズクラブ	神戸市	すみれ教室	伊丹市
神戸市医師会看護専門学校第一看護学科	神戸市	伊丹ライオンズクラブ	伊丹市
神戸長田ライオンズクラブ	神戸市	端原3丁目自治会	伊丹市
COOP深江	神戸市	ラストホール	伊丹市
老人クラブ花山会	神戸市	伊丹市傷痍軍人会	伊丹市
南北会	神戸市	伊丹北中学校PTA	伊丹市
シルバースティアじさい	神戸市	伊丹レックスヤンション自治会	伊丹市
東神戸医療互助組合	神戸市	兵庫県司法書士会伊丹支部	伊丹市
運転ボランティア「わかば」	神戸市	摂陽東地区会	伊丹市
六甲道駅北地区まちづくり連合協議会	神戸市	広畑子ども会	伊丹市
やすらぎ介護センター谷上	神戸市	広畑自治会	伊丹市
やすらぎ介護センター谷上	神戸市	みやのまち3号館自治会	伊丹市
つつじが丘子ども会	神戸市	北原自治会	伊丹市
いるかの会	神戸市	伊丹市長沢自治会	伊丹市
やすらぎ介護センター谷上	神戸市	伊丹市西安堂寺自治会	伊丹市
やすらぎ介護センター谷上	神戸市	荻野小地区社会福祉協議会	伊丹市
筒井台自治会	神戸市	伊丹市立東中学校PTA	伊丹市
		梅ノ木子ども会	伊丹市
		松崎中学校PTA	伊丹市

伊丹市陶芸クラブ	伊丹市	いなみ野学園OB明石会	明石市
荒牧自治会六組	伊丹市	荷山町南自治会	明石市
花友クラブ	宝塚市	オースタウン子ども会	明石市
宝塚コープ委員会	宝塚市	碩友会	明石市
ひょうごシニアクラブ	宝塚市	藤江校区コミュニティー推進協議会	明石市
シニアクラブめふ	宝塚市	山角子ども会	加古川市
阪神シニアカレッジ	宝塚市	別府西新野辺子ども会	加古川市
御殿山東子ども会	宝塚市	横大路婦人会	加古川市
いわつ外科リハビリテーション	宝塚市	東神吉南少年団西井ノ口子ども会	加古川市
いわつ外科リハビリテーション	宝塚市	MOA自然農法ファミリー農園	加古川市
ひらい人権文化センター	宝塚市	いなみの学園	加古川市
キンダーキッズ宝塚	宝塚市	加古の里大学	加古川市
宝塚市農業改良普及センター	宝塚市	MPR少年団	加古川市
小林団地自治会	宝塚市	浜の宮口里東子ども会	加古川市
宝塚キントーン作業所	宝塚市	伊保中部子ども会	加古川市
兵庫県政を考える宝塚の会	宝塚市	尾上グリーンハイツ町内会	加古川市
空手道拳真館	宝塚市	鳥が岡老人クラブ	加古川市
ゆずり葉コミュニティー	宝塚市	黒深町内会	加古川市
宝塚コミュニティー美座	宝塚市	睦会	加古川市
いきいきシニアゼミナール	宝塚市	神吉南町内会	加古川市
福井老人クラブ連合会	宝塚市	東神野老人クラブ	加古川市
ガールスカウト兵庫第66団	宝塚市	KMH会	加古川市
阪神北教育事務所初任者研修	宝塚市	ひょうき団地町内会	加古川市
風の子ども会	宝塚市	いなみの老人大学	加古川市
スポーツ21アクラ	宝塚市	阿弥陀中子ども会	高砂市
阪神北地域ビジョン委員会	宝塚市	西之丁子ども会	高砂市
宝塚山びこ友の会	宝塚市	岸子ども会	高砂市
青少年育成市民会議	川西市	高砂プロバスクラブ	高砂市
ハピネス川西	川西市	JA兵庫南女性会普根支部	高砂市
大和子ども会	川西市	稲美ぼっかばか	稲美町
川西市婦人共励会	川西市	養老子ども会	稲美町
川西里山クラブ	川西市	川端子ども会	稲美町
鶯自治会	川西市	見谷婦人会	稲美町
川西市火打自治会	川西市	野寺子ども会	稲美町
南野坂子ども会	川西市	播磨町民生委員児童委員協議会	播磨町
富士老人クラブ	三田市	本荘東第2子ども会	播磨町
中央デイサービスセンター	三田市	大中東子ども会	播磨町
富士丘1丁目子ども会	三田市	播磨町消費者協会	播磨町
三田フットボールクラブ	三田市	古田東自治会	東播磨
三田市役所文化課	三田市	大村病院	三木市
三田市役所文化課	三田市	三木東高校PTA	三木市
中内神子ども会	三田市	三木市教育委員会人権教育推進室	三木市
トークゆうゆう	三田市	三木市別所町婦人会	三木市
老人保健施設アルカディア	三田市	久次子ども会	三木市
生涯学習サポートクラブ	三田市	小野市本町老人クラブ	小野市
子育て応援団	三田市	中番小学校PTA	小野市
三田市地域子育て支援センター	三田市	コミュニティーセンターきすみの	小野市
宝塚三田病院	三田市	コミュニティーセンター河合	小野市
特別養護老人ホームつくし園	三田市	市場地区現代セミナー	小野市
スイートポテト	三田市	兵庫青野ヶ原病院	小野市
SAS伊藤	三田市	兵庫青野ヶ原病院	小野市
せいふう	猪名川町	兵庫青野ヶ原病院	小野市
せいふう	猪名川町	兵庫青野ヶ原病院	小野市
猪名川荘苑子ども会	猪名川町	金園会	小野市
せいふう	猪名川町	東高室子ども会	加西市
せいふう	猪名川町	豊倉町子ども会	加西市
猪名川町子ども会連絡協議会	猪名川町	繁盛下老人会	加西市
新沢野老年クラブ	明石市	玉野町子ども会	加西市
SBT OB会	明石市	坂本町婦人会	加西市
鳥羽子ども会	明石市	古坂子ども会	加西市
東松江子ども会	明石市	北条団地子ども会	加西市
スカイハイツ子ども会	明石市	繁昌ハイツ子ども会	加西市
林崎3丁目子ども会	明石市	アカンア	加西市
シングル会	明石市	朝妻町婦人会	加西市
高丘台住宅自治会	明石市	九合地区老人クラブ	加西市
高丘7丁目自治会	明石市	ゆうゆう会	加西市
東播建設主婦の会	明石市	加西市善防公民館	加西市
高齢者大学二見学級	明石市	在田地区老人クラブ	加西市
食カレッジあかし	明石市	北条地区老人クラブ	加西市

加西市老人クラブ連合会	加西市	河東地区婦人会	宍粟市
杉原地区愛育会	加美町	土万地区婦人会	宍粟市
俵田婦人会	八千代町	森のインストラクター養成講座	宍粟市
横谷婦人会	東条町	今宿子ども会	宍粟市
社町三区子ども会	社町	山崎町下比地子ども会	宍粟市
うれしの学園生涯大学環境創造コース	社町	サンスイミングスクール	宍粟市
滝野町暮らしの会	滝野町	宍粟市千種文化協会	宍粟市
河高老人クラブ	滝野町	わくわく栄養講座	宍粟市
下蒲田子ども会	姫路市	川戸子ども会	宍粟市
サンスイミングスクール	姫路市	安志南子ども会	安富町
郷土史研究会	姫路市	安志東子ども会	安富町
日赤西播磨地区御一行	姫路市	兵庫は大きな博物館	佐用町
姫路御立子ども会	姫路市	金屋子ども会	佐用町
城乾友の会	姫路市	佐用町公民館江川分館高齢者学級	佐用町
英賀清水町子ども会	姫路市	徳久子ども会	佐用町
東新町子ども会	姫路市	西はりま天文台子どもツアー	佐用町
鍛冶内子ども会	姫路市	下宿子ども会	南光町
矢倉西子ども会	姫路市	岩見子ども会	御津町
丸尾町希望学級学習会	姫路市	森のワクワク倶楽部	上郡町
丸山子ども会	姫路市	上郡町役場健康福祉課介護保険係	上郡町
灘児童センター母親クラブ	姫路市	落地婦人会	上郡町
高岡新町子ども会	姫路市	杉子ども会	篠山市
広畑区・大津区地域づくり推進協議会	姫路市	篠山自然の会	篠山市
姫路市立美術館友の会	姫路市	成松中町公民館	丹波市
勝原区大谷子ども会	姫路市	春日町老人クラブ	丹波市
才子子ども会	姫路市	横田子ども会	丹波市
好古園大学校陶芸科36期生親睦会	姫路市	領町子ども会	丹波市
熊見子ども会	姫路市	石田商工会	丹波市
大関子ども会	姫路市	氷上町商工会東支部	丹波市
北新在家自治会	姫路市	畑内婦人会	丹波市
飯田子ども会	姫路市	丹波市更生保護女性会	丹波市
西田中子ども会	姫路市	中野子ども会	丹波市
好古学園大学校陶芸科35期親睦会	姫路市	瀬戸公民館ふれあい推進部会	豊岡市
しらさぎハイタウンA棟自治会	姫路市	但馬山友会	豊岡市
姫路建設組合	姫路市	豊岡市港地区公民館	豊岡市
北河原町子ども会	姫路市	土淵区生活部	豊岡市
姫路市立かしのき里	姫路市	但東町資母地区区長会	豊岡市
志吹婦人会	姫路市	愛工房	豊岡市
睦町子ども会	姫路市	たんと夢ホテルの会	豊岡市
清住園	姫路市	豊岡市但馬研究会	豊岡市
付城子ども会	姫路市	三坂地区子ども会	豊岡市
清住園	姫路市	創造学院書道4教室	豊岡市
清住園	姫路市	末広会	豊岡市
清住園	姫路市	竹野学園	豊岡市
白浜子ども会	姫路市	日高西中学校PTA	豊岡市
西川辺子ども会	市川町	養父市大谷町大月子ども会	養父市
香呂駅前子ども会	香寺町	養父公民館	養父市
夢前町連合婦人会正副支部長研修会	夢前町	高柳スポーツクラブ歩こう会	養父市
兵庫西JA女性会夢前支部	夢前町	中口鉄也米地子ども会	養父市
双葉子ども会	相生市	大塚子ども会	養父市
中芝町自治会	相生市	寺内子ども会	朝来市
大道子ども会	龍野市	三菱マテリアルテクノ(株)生野事業所	朝来市
中垣内中子ども会	龍野市	和田山町商工会女性部	朝来市
栄町子ども会	龍野市	安木老人会	香住町
吉美子ども会	龍野市	村尾区婦人研修会	香美町
誉田地区婦人会	龍野市	八井谷区民ふれあい旅行	香美町
小神子ども会	龍野市	久谷子ども会	浜坂町
西播磨高齢者文化大学	龍野市	温泉支部婦人会	温泉町
土師すくね会	龍野市	千原子ども会	温泉町
赤とんぼ会	龍野市	二日市子ども会	新温泉町
たつの市上中霞城子ども会	たつの市	洲本市青少年補導委員会	洲本市
新宮小学校西町西子ども会	新宮町	都志新在家子ども会	洲本市
新宮町下野田子ども会	新宮町	淡路景観園芸学校	淡路市
峰の会	福崎町	淡路景観園芸学校	淡路市
西光寺子ども会	福崎町	淡路景観園芸学校	淡路市
湯の内子ども会	赤穂市	斗ノ内浜子ども会	淡路市
高齢者大学塩屋学園	赤穂市	淡路手をつなぐ育成会	淡路市
上浜市子ども会	赤穂市	高萩婦人会	南あわじ市
磯釜子ども会	赤穂市	カプスカウト篠山第一団	篠山市

[県外]		泉南市立青少年センター	大阪府
大住クラブ	大阪府	茨木市立障害者サービスセンター	大阪府
東中浜第5町会	大阪府	大阪北YMCA	大阪府
お花・味覚・休日のひととき	大阪府	吹六地区福祉委員会	大阪府
ちびっこランドみてじま園	大阪府	大阪府高等学校地学教育研究会	大阪府
西淡路希望の家	大阪府	茨木市障害者サービスセンター	大阪府
社団法人東淀川納税協会	大阪府	日本海洋科学専門学校	大阪府
伏尾台小学校PTA	大阪府	長池地区自治振興委員会	大阪府
梅香小学校PTA	大阪府	三津屋北四・五振興町会	大阪府
栄養推進協議会しょうぶの会	大阪府	ナカムラチャイルドスポーツ	大阪府
シニア自然大学花組	大阪府	北京都地学研究会	京都府
シニア自然大学 風組	大阪府	福知山市母子寡婦福祉会	京都府
シニア自然大学	大阪府	大阪府地球温暖化防止活動推進センター	京都府
静岡大学山岳会関西支部	大阪府	福知山市南佳屋野町児童館	京都府
太西会保護者会	大阪府	前田児童館	京都府
佃中学校PTA	大阪府	京田辺市社会福祉協議会	京都府
むぎの会	大阪府	第二さつき障害者作業所	京都府
高槻市立柳川中学校PTA	大阪府	綾部市障害者青年学級	京都府
大阪市立玉造小学校PTA	大阪府	久御山町ふれあい交流館ゆうホール	京都府
摂津市いきいきカレッジふれあいの里	大阪府	大和ハウス工業滋賀支部協会	滋賀県
NPO法人みのお山麓保全委員会	大阪府	草津市草津学区民児協	滋賀県
花園高校PTA	大阪府	和賢会	和歌山県
八尾市立亀井中学校PTA	大阪府	御所市民生児童委員会	奈良県
東大阪東部民商共済部	大阪府	ふれあいの里福祉会ひだまり	奈良県
島田地区連合会	大阪府	矢掛町役場	岡山県
御崎5丁目女性部	大阪府	郡家西パーシモンズ	島根県
阿部野食品衛生協会阿部野区都市環境研究会	大阪府	鳥取自然保護の会	鳥取県
NPO法人シニア自然大学「つちのこ探検隊」	大阪府	オービッツ学習塾	徳島県
島本町教育委員会社会教育	大阪府	NPO法人エコロジカルコミュニティ	北海道
吹田第五中学校PTA	大阪府		

来館学校団体一覧

学校名	地域		
[県内]			
小学校			
藤原台小学校	神戸市	長尾南小学校	宝塚市
有野台小学校	神戸市	狭間小学校	三田市
筑紫が丘小学校	神戸市	母子小学校	三田市
長尾小学校	神戸市	富士小学校	三田市
道場小学校	神戸市	つつじが丘小学校	三田市
井吹西小学校	神戸市	松が丘小学校	三田市
糺台小学校	神戸市	学園小学校	三田市
鹿の子台小学校	神戸市	富士小学校	三田市
檉野台小学校	神戸市	小野小学校	三田市
井吹東小学校	神戸市	けやき台小学校	三田市
西脇小学校	神戸市	三田市連合小学校	三田市
白川小学校	神戸市	すずかけ台小学校	三田市
有瀬小学校	神戸市	あかしあ台小学校	三田市
港島小学校	神戸市	松が丘小学校	三田市
六甲アイランド小学校	神戸市	武庫小学校	三田市
神陵台小学校	神戸市	清和台小学校	三田市
有野小学校	神戸市	ゆりのき台小学校	三田市
乙木小学校	神戸市	松が丘小学校	三田市
東落合小学校	神戸市	弥生小学校	三田市
神出小学校	神戸市	広野小学校	三田市
六甲山小学校	神戸市	加茂小学校	川西市
住吉小学校	神戸市	けやき坂小学校	川西市
ランネットグローバルスクール	神戸市	多田東小学校	川西市
大池小学校	神戸市	陽明小学校	川西市
有馬小学校	神戸市	広野小学校	川西市
高津橋小学校	神戸市	白金小学校	猪名川町
長尾小学校	神戸市	山手小学校	明石市
本多聞小学校	神戸市	花園小学校	明石市
多聞南小学校	神戸市	林小学校	明石市
立花西小学校	尼崎市	王子小学校	明石市
園田南小学校	尼崎市	錦浦小学校	明石市
金楽時小学校	尼崎市	中崎小学校	明石市
大島小学校	尼崎市	高丘東小学校	明石市
段上西小学校	西宮市	花園小学校	明石市
北六甲台小学校	西宮市	大久保南小学校	明石市
生瀬小学校	西宮市	尾上小学校	加古川市
苦楽園小学校	西宮市	神野小学校	加古川市
山口小学校	西宮市	北浜小学校	高砂市
船坂小学校	西宮市	伊保南小学校	高砂市
東山台小学校	西宮市	伊保小学校	高砂市
精道小学校	芦屋市	蓮池小学校	播磨町
川西小学校	川西市	上吉川小学校	吉川町
瑞穂小学校	伊丹市	北条小学校	加西市
荻野小学校	伊丹市	来住小学校	小野市
神津小学校	伊丹市	中番小学校	小野市
池尻小学校	伊丹市	大部小学校	小野市
桜台小学校	伊丹市	三木小学校	三木市
有岡小学校	伊丹市	滝野南小学校	滝野町
花里小学校	伊丹市	東条東小学校	東条町
昆陽里小学校	伊丹市	飾磨小学校	姫路市
天神川小学校	伊丹市	曾左小学校	姫路市
すみれが丘小学校	宝塚市	青山小学校	姫路市
長尾台小学校	宝塚市	勝原小学校	姫路市
仁川小学校	宝塚市	余部小学校	姫路市
西山小学校	宝塚市	峰相小学校	姫路市
宝塚第一小学校	宝塚市	八木小学校	姫路市
雲雀丘学園小学校	宝塚市	山田小学校	姫路市
宝塚小学校	宝塚市	香呂小学校	香寺町
西山小学校	宝塚市	川辺小学校	市川町
すみれが丘小学校	宝塚市	粟賀小学校	神崎町
西谷小学校育成会	宝塚市	龍田小学校	太子町
美座小学校	宝塚市	神戸小学校	宍粟市
		安富南小学校	安富町
		城下小学校	山崎町
		三日月小学校	三日月町
		関宮小学校	養父市

生野小学校	朝来市	保育園・幼稚園	
賀集小学校	南あわじ市	神徳館保育園	神戸市
松帆小学校	南あわじ市	湊川保育園	神戸市
城南小学校	篠山市	頌栄保育園	神戸市
西紀小学校	篠山市	同朋住吉台保育園	神戸市
福住小学校	篠山市	三田こぼと保育園	三田市
神楽小学校	丹波市	若草保育園	三田市
三輪小学校	丹波市	やまぼうし保育園	宝塚市
大路小学校	丹波市	光明保育所	小野市
中学校		緑ヶ丘保育園	東条町
歌敷山中学校	神戸市	東条保育園	東条町
有馬中学校	神戸市	八多幼稚園	神戸市
滝川第二中学校	神戸市	西舞子幼稚園	神戸市
大成中学校	尼崎市	神陵台幼稚園	神戸市
百合学院中学校	尼崎市	魚崎幼稚園	神戸市
塚口中学校	尼崎市	明和幼稚園	尼崎市
関西学院中学部	西宮市	神戸海星女学院マリア幼稚園	西宮市
雲雀丘学園中学校	宝塚市	安倉幼稚園	宝塚市
宝梅中学校	宝塚市	BLKids宝塚幼稚園	宝塚市
長坂中学校	三田市	母子幼稚園	三田市
三田市連合中学校	三田市	北摂第一幼稚園	三田市
富士中学校	三田市	三田川田学園やよい幼稚園	三田市
家島中学校	家島町	リンデン学園緑ヶ丘幼稚園	三木市
小代中学校	香美町	社幼稚園	社町
今田中学校	篠山市	各種学校等	
篠山東中学校	篠山市	神戸朝鮮初中級学校	神戸市
高等学校		西播朝鮮初中級学校	姫路市
六甲アイランド高校	神戸市	[県外]	
須磨東高等学校	神戸市	小学校	
神戸北高等学校	神戸市	山手台小学校	大阪府
舞子高等学校	神戸市	追手門学院小学校	大阪府
伊川谷北高等学校	神戸市	沢池小学校	大阪府
楠高等学校	神戸市	玉島小学校	大阪府
市立尼崎高等学校	尼崎市	西南小学校	大阪府
武庫川女子大学附属高等学校	西宮市	大池小学校	大阪府
西宮北高等学校	西宮市	石橋小学校	大阪府
宝塚北高等学校	宝塚市	呉羽小学校	大阪府
宝塚高等学校	宝塚市	東佐井寺小学校	大阪府
三田祥雲館高等学校	三田市	春日小学校	大阪府
有馬高等学校	三田市	天王小学校	大阪府
播磨農業高等学校	加西市	大阪教育大学附属池田小学校	大阪府
吉川高等学校	三木市	東奈良小学校	大阪府
網干高等学校	姫路市	桃山台小学校	大阪府
福崎高等学校	福崎町	山田第一小学校	大阪府
上郡高等学校	上郡町	高鷲小学校	大阪府
兵庫県立大学附属高等学校	赤穂郡	綾部小学校B	京都府
篠山鳳鳴高等学校	篠山市	綾部小学校A	京都府
柏原高等学校	丹波市	朱雀第三小学校	京都府
大学		中学校	
神戸芸術工科大学	神戸市	開明中学校	大阪府
神戸大学	神戸市	清風南海中学校	大阪府
甲南大学	神戸市	関西大倉中学校	大阪府
園田学園女子大学短期大学部	尼崎市	高等学校	
甲南大学	芦屋市	泉北高等学校	大阪府
関西学院大学	三田市	北野高等学校	大阪府
兵庫教育大学	社町	彦根東高等学校	滋賀県
兵庫県立大学	姫路市	海南高等学校	和歌山県
特殊教育諸学校		松山南高等学校	愛媛県
県立神戸養護学校	神戸市	オール・セインツ高等学校	マレーシア
のじぎく養護学校	神戸市	大学	
		大阪人間科学大学	大阪府
		大阪府立大学	大阪府

共催および協力事業等

(他施設、他団体との連携事業)

【キャラバン事業】

地域名	開催場所(展示)	開催期間	テーマ	ビジター数
阪神北	4.23,24	県立有馬富士公園	ひとはくミニキャラバン in あり まふじフェスティバル'05 春	13743
淡路	5.11.~24.	三原ショッピングプラザパルティ	ひとはくがやってくる 05 in 南 あわじ	2347
阪神北	7.13~8.31	伊丹市昆虫館	水辺をおびやかす外来生物たち、水生 昆虫が大集合	30208
神戸	7.17(A) 9.3~10.10(B) 10.14~10.24(C)	神戸市立農業公園(A) コープこうべ生活文化センター(B) 県立神戸生活創造センター(C)	見直そう!!六甲山の自然と文化	5738
北播磨	7.20~8.21	北播磨交流の祭典「くつろぎ舞台」 北はりま田園空間博物館	北播磨と世界の昆虫たち展	6906
但馬	8.5~22	但馬文教府	化石と大地の環境学習	1893
阪神北	8.6	猪名川町文化体育館(イナホール)	全国川サミット in 猪名川町	800
東播磨	8.6~9.4	明石市立文化博物館	昆虫大集合!明石と世界の昆虫たち	7548
阪神北	9.7~13	伊丹市立鴻池小学校	ひとはくがやってくる in いたみ もっと理科が好きになる	945
淡路	10.1~10	淡路ワールドパーク ONOKORO	世界の甲虫展	30493
中播磨	10.8~20(A) 11.2~14(B)	姫路市伊勢自然の里(A) 姫路市環境ふれあいセンター(B)	外国からつれてこられた生きもの	2092
丹波	10.12~21	ささやまの森公園	野生動物とのつきあい方を考える	828
阪神南	10.13~11.29	西宮市 貝類館	日本列島をめぐる海の変遷 ~貝化石でたどる 3000 万年~	1912
淡路	10.13~23	沼島ターミナルセンター	南あわじ市立沼島中学校	2895
阪神北	10.22,23	県立有馬富士公園	ひとはくミニキャラバン in あり まふじフェスティバル'05 秋	10000
中播磨	10.24~31	姫路市立飾磨小学校	ひとはくがやってくる in ひめじ もっと理科が好きになる	1303
淡路	10.24~11.6	国立青年淡路の家	見つめよう淡路、考えよう Awaji	8462
阪神南	11.5 2.22~3.1	西宮市立山口小学校	ひとはくがやってくる in にしの みや もっと理科が好きになる	1330
丹波	11.14~18	篠山市立城北小学校	ひとはくがやってくる in ささや ま もっと理科が好きになる	677
中播磨	11.16~24	姫路市立山田小学校	ひとはくがやってくる in ひめじ もっと理科が好きになる	565
西播磨	12.9~18	赤穂市立図書館	海に浮かぶ森~生島照葉樹林~	1162
中播磨	2.8~20	姫路市立鞆台小学校	ひとはくがやってくる in ひめじ もっと理科が好きになる	1435

1. 三田市(阪神北)

キャラバン参画者の所属

ありまふじフェスティバル'05 春実行委員会

有馬富士公園運営・計画協議会

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
春のむしを探しに行こう	4.23,24 10:30-11:30	有馬富士公園	30	有馬富士公園内を散策し、講師が捕まえた昆虫について解説する	大谷剛(人博)
春の花をながめに行こう	4.23,24 14:00-15:00	有馬富士公園	13	有馬富士公園内を散策し、そこに咲く植物の花や新緑について解説する	橋本佳延(人博)

2. 南あわじ市(淡路)

キャラバン参加者の所属

南あわじ市教育委員会

南あわじ地学の会

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
南あわじ市の化石発掘体験会	5.14 9:00~15:30	淡路ふれあい公園	31	淡路ふれあい公園内の発掘残土置き場で、翼竜、その他の化石を探索する	古谷裕、松原尚志(人博)
南あわじ市の化石発掘体験会	5.21 9:00~15:30	淡路ふれあい公園	37	淡路ふれあい公園内の発掘残土置き場で、翼竜、その他の化石を探索する	三枝春生、半田久美子(人博)

3. 伊丹市(阪神北)

キャラバン参加者の所属

伊丹市昆虫館

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
封入標本の作製講座(その1)	8.7 13:00~16:00	伊丹市昆虫館	25	プラスチック樹脂の中に標本を封じ込めて、標本を作製します。	三橋弘宗(人博)
水生昆虫紙芝居! ぶくぶくあわわ	8.14 13:30~15:00	伊丹市昆虫館	150	水の中のミノムシ、トビケラを題材とした紙芝居	フロアスタッフ(人博)
封入標本の作製講座(その2)	8.27 13:00~16:00	伊丹市昆虫館	25	プラスチック樹脂の中に標本を封じ込めて、標本を作製します	三橋弘宗(人博)
水生昆虫紙芝居! ぶくぶくあわわ	8.27 13:30~15:00	伊丹市昆虫館	160	水の中のミノムシ、トビケラを題材とした紙芝居	フロアスタッフ(人博)
【講座】外来種問題を考える:兵庫	9.2 18:00~20:00	伊丹市昆虫館 映像ホール	32	外来種問題についての解説。	坂田宏志(人博)
県で分布拡大中! アライグマとヌートリア					

4. 神戸市(神戸)

キャラバン参加者の所属

六甲の森のなかまたち、六甲山自然保護センターを活用する会、こうべ森の学校、こうべ森の小学校、農都共生ネットこうべ、ブナを植える会、コープこうべ生活文化センター、神戸市立六甲アイランド高校、国土交通省六甲砂防事務所、神戸市立青少年科学館、神戸市小学校教育研究会理科部会、芦屋市立美術博物館、神戸市立博物館、高知県立牧野植物園、県立神戸生活創造センター、県立六甲山自然保護センター、兵庫県神戸県民局、兵庫県立兵庫工業高校、神戸新聞社 写真部

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
「かやぶき民家	7.17	神戸農業公園	219	かやぶき民家についての学習	宮崎ひろ志、

たんけん隊！」	10:00～、14:00 ～の2回				長谷川太一 (人博)
土石流実験装置デ モ	10.1 13:00～、14:00 ～、15:00～	コープこうべ生 活文化センター 中庭	103	土石流と砂防堰堤の効果を模型実験装 置で解説	国土交通省 六甲砂防事 務所
昭和初期の六甲山 を探る	10.1 13:30～16:00 10.15 12:30～15:00 10.22 10:00～16:00 10.29 13:00～16:00	県立神戸生活創 造センター(1日 1日、29日) 六甲山自然保護 センター(10月 15日、22日)	120	昭和11年の六甲山観光地図をもとに昭 和初期の六甲山上の歴史を知り、自らの 目と足で現地を調査。	宮崎ひろ志 (人博) 森地一夫
田んぼの学校で稲 刈り	10.9 9:30～	神戸市北区山田 町藍那	100	稲刈り体験	農都共生ネ ットこうべ
六甲山グリーンベ ルトを歩く灘区観 音寺地区	10.20 10:00～12:00	摩耶ケーブル駅 集合	16	六甲山グリーンベルトとして整備予定 地を実際に歩いて観察する	鈴木 武(人 博)ほか
六甲山リレートー ク「六甲山と阪神 間文化」	10.23 13:30～16:30	県立神戸生活創 造センター4階	25	六甲山での人と自然の関わり、阪神間 モダニズム文化の影響について	田井玲子(神 戸市立博物 館)、明尾圭 造(芦屋市立 美術博物館)

5. 西脇市(北播磨)

キャラバン参画者の所属

NPO 法人 北はりま田園空間博物館、ひとはく連携活動グループ“テネラル”、西脇市動植物生態調査研究
グループ、兵庫県北播磨県民局

セミナー名	実施日・時間	会場	参加 人数	内容	講師
虫取りと標本づく り 1回目(その 1)	5.28 9:30～15:00	田園空間博物館	27	昆虫採集と標本の作製指導	中西明德、八木剛、布 施静香(人博) 吉田峰規、山下大輔、 松井勇磨(テネラル) 藤原進、松尾隆人
虫取りと標本づく り 1回目(その 2)	6月11日(土) 13:00～16:00	田園空間博物館	24	ラベル作成と昆虫箱内への標 本配列の指導	中西明德、足立勲(人 博)、吉田峰規、山下 大輔、松井勇磨(テネ ラル)
虫取りと標本づく り 2回目(その 1)	7月16日(土) 9:30～15:00	田園空間博物館	27	昆虫採集と標本の作製指導	中西明德、足立勲(人 博)、吉田峰規、山下 大輔、松井勇磨(テネ ラル)
虫取りと標本づく り 2回目(その 2)	7月30日(土) 13:00～16:00	田園空間博物館	27	ラベル作成と昆虫箱内への標 本配列の指導	中西明德(人博) 吉田峰規、山下大輔、 松井勇磨(テネラル)

6. 豊岡市(但馬)

キャラバン参画者の所属

但馬文教府ギャラリー実行委員会、但馬文教府

セミナー名	実施日・時間	会場	参加 人数	内容	講師
拡大して楽しむ小さ	8.7	県立但馬文教府	118	化石についての解説	佐藤裕司(人博)

な化石の世界	10:00～15:00				
手作りグッズで地震 を知ろう	8.7	県立但馬文教府	95	大地についての解説	先山徹（人博）
	10:00～15:00				

7. 猪名川町（阪神北）

キャラバン参画者の所属

全国川サミット連絡協議会、全国川サミット in 猪名川実行委員会、猪名川町
国土交通省、一庫ダム管理所

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
川のしくみ展示解説	8.5	猪名川町文化体育館（イナホール）	50	川のしくみに関する展示の解説	三橋弘宗（人博）

8. 明石市（東播磨）

キャラバン参画者の所属

明石市立文化博物館、明石市中学校理科教材開発グループ、
明石市立文化博物館ボランティア

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
明石自然探検隊第1回	4.23 9:00～15:00	明石市立文化博物館・明石公園	13	明石公園で昆虫採集	明石市理科教材開発研究グループ
明石自然探検隊第2回	5.28 9:00～15:00	明石市立文化博物館・明石公園	15	明石公園で昆虫採集	明石市理科教材開発研究グループ
明石自然探検隊第3回	6.25 9:00～15:00	明石市立文化博物館・明石公園	30	明石公園で昆虫採集	明石市理科教材開発研究グループ
明石自然探検隊第4回	7.9 9:00～15:00	明石市立文化博物館・明石公園	31	明石公園で昆虫採集	明石市理科教材開発研究グループ
封入標本をつくろう-1/2	7.10 10:00～15:00	明石市立文化博物館	7	封入標本となる昆虫を採取する	沢田佳久
デジタル紙芝居「ぶくぶくあわわ」	8.20 13:30～、 15:30～	明石市立文化博物館	244	水生昆虫の一生を描いた紙芝居を上映	沖原 恵 矢野早紀
封入標本をつくろう-2/2	8.7 10:00～15:00	明石市立文化博物館	6	封入標本をつくる	長谷川太一

9. 伊丹市（阪神北）

キャラバン参画者の所属

伊丹市立鴻池小学校

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
水生昆虫の調べ方・見てみよう水生昆虫のすがた	9.13	伊丹市立鴻池小学校	92	水生昆虫の調べ方を解説した後、封入標本を使って観察する授業。	三橋弘宗（人博）

10. あわじ市（淡路）

キャラバン参画者の所属

淡路ワールドパーク ONOKORO

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
-------	--------	----	------	----	----

竹細工で昆虫を作る う	10.1,2, 8,9, 10 11:00～15:00	淡路ワールドパーク ONOKORO	300	竹材を使って、さまざま な昆虫をつくります	福谷千秋
----------------	--------------------------------	----------------------	-----	--------------------------	------

11. 姫路市（中播磨）

キャラバン参画者の所属

姫路市環境局、姫路市小学校教育研究会理科部会、播磨ウエットランドリサーチ、伊勢自然の里・環境学習センター施設ボランティア、姫路市水族館

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
太陽の力を測ろう！	10.9 14:00～15:30	姫路市伊勢自然の 里・環境学習センター	11	太陽の力をいろいろな 方法で測定します。	客野尚志（人博）
ともに考える外来植 物との付き合い方	10.16 13:00～14:00	姫路市伊勢自然の 里・環境学習センター	22	外来植物をテーマに外 来種問題を考えます。	橋本佳延（人博）
葉脈標本づくり	10.16 14:30～16:00	姫路市伊勢自然の 里・環境学習センター	21	葉脈標本づくり通じて、 植物を学びます。	長谷川太一（人博）

12. 篠山市（丹波）

キャラバン参画者の所属

ささやまの森公園、ささやまの森公園活動スタッフ、関西ワイルドライフ研究会、古市小学校、ひとはく丹波キャラバン実行委員会

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
野生動物とのつきあ い方を考える	10.1 13:30～16:00	ささやまの森公園 森の道場	27	野生動物と人との軋轢 についての講演と、パネ ルディスカッション	高田義秀、原田 寛、前中清一、坂田 宏志、江崎保男（人 博）
ジビエの会 料理教 室	10.16 10:00～13:00	ささやまの森公園 森の道場	14	シカ肉料理料理実習、試 食会	ささやまの森公園 活動スタッフ 他
解剖実習 野生動物 の体のしくみを探る う	10.16 14:00～16:00	ささやまの森公園 森の道場	10	篠山に住む野生動物の 解剖実習。	横山真弓（人博） 木下裕美子（関西ワ イルドライフ研究 会）

13. 西宮市（阪神南）

キャラバン参画者の所属

西宮市貝類館、西宮市総合企画局 文化まちづくり部 文化大学交流科、産業技術総合研究所 地質情報研究部門、瑞浪市化石博物館、中川町自然誌博物館、島根大学総合理工学部地球資源環境学科、千葉県立中央博物館

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
化石巻貝ピカリアの レプリカを作ろう	10.23 11:00～12:00 13:30～14:30	西宮浜公民館	56	ピカリアのレプリカ(複 製標本)づくり	松原尚志（人博）
化石巻貝ピカリアの レプリカを作ろう	11.23 11:00～12:00 13:30～14:30	西宮浜公民館	37	ピカリアのレプリカ(複 製標本)づくり	松原尚志（人博）

14. 南あわじ市（淡路）

キャラバン参画者の所属

南あわじ市立沼島中学校

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
「トリビアの泉」風昆虫の知識	10.18	南あわじ市立沼島中学校	70	昆虫の基礎知識を「トリビアの泉」風に解説する授業。	大谷 剛(人博)
「化石鑑定会」と化石の話	10.18	南あわじ市立沼島中学校	51	淡路の地層・化石を解説した後、南あわじ市内の中学校に保存されている化石を鑑定する授業。	古谷 裕(人博)

15. 有馬富士フェスティバル 秋

キャラバン参画者の所属

ありまふじフェスティバル 05 秋実行委員会、有馬富士公園運営・計画協議会

セミナーは雨天のため中心

16. 姫路市(中播磨)

キャラバン参画者の所属

姫路市立飾磨小学校

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
環境を考える「景色の温度を測ろう」	11.1	姫路市立飾磨小学校	175	都市のヒートアイランドを解説した後、放射温度計を使って校内を観測する授業。	客野尚志(人博)

17. 南あわじ市(淡路)

キャラバン参画者の所属

国立淡路青年の家、南あわじ地学の会、南あわじ市

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
「マツ類の特徴およびマツ枯れのはなし」	10.27 13:25 ~ 15:00	南あわじ市立御原中学校	86	「植物の観察の仕方」を紹介。またマツ類の特徴およびマツ枯れについて写真および標本を用いながら講演。	小館誓治(人博)
淡路島の大地のなりたち	7.16 13:30 ~ 15:00	国立淡路青年の家		淡路島の地形・地層の成り立ちを説明し、南海地震の際に必要な知識について解説した。	加藤茂弘(人博)
淡路島にいた象と恐竜	7.23 13:30 ~ 15:00	国立淡路青年の家		淡路島で発見された象と恐竜の化石について、発掘の様子や化石の詳細について講演。	三枝春生(人博)

淡路島のマツ枯れを調べる	8.6 13:30 ~ 17:00	国立淡路青年の家		マツ類の特徴およびマツ枯れについて写真および標本を用いながら講演をした。	小館誓治(人博)
--------------	----------------------	----------	--	--------------------------------------	----------

名所図絵に見る淡路島の歩き方 8.20 13:30～15:00 国立淡路青年の家 西国名所図会を用いて名所図会の読み方を解説し、「淡路名所図会」を題材に江戸期の淡路島の様子を解説した。 赤澤宏樹（人博）

18．西宮市（阪神南）

キャラバン参画者の所属

西宮市立山口小学校

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
「タネを飛ばそう」	11月5日（土）	西宮市立山口小学校	250	フタバガキのタネやイロハモミジのタネなど翼を持つ種子の模型を紙で作り、風洞実験装置内で飛ばす実験。	平松紳一（人博）
「景色の温度を測ろう」	2月23日（木）	西宮市立山口小学校	118	都市のヒートアイランドを解説した後、放射温度計を使って校内を観測する授業。	客野尚志（人博）
「里山ってどんな山？」	2.23	西宮市立山口小学校	99	里山の樹木について解説した後、校内の学校林の中で、樹木を観察。	小館誓治（人博）
「ホタルのふしぎ」	2.23	西宮市立山口小学校	90	県内のホタルについて紹介し、ホタルを始め昆虫の観察の方法を解説する授業。	八木 剛（人博）

19．篠山市（丹波）

キャラバン参画者の所属

篠山市立城北小学校

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
「野生動物とのつきあい方を考える」	11.15	篠山市立城北小学校	66	はく製の展示を見ながら、身近にすんでいる野生動物とのつきあい方について解説する。	坂田宏志（人博）

20．姫路市（中播磨）

キャラバン参画者の所属

姫路市市立山田小学校

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
環境を考える「景色の温度を測ろう」	11.22	姫路市市立山田小学校	73	都市のヒートアイランドを解説した後、放射温度計を使って校内を観測する授業。	客野尚志（人博）

21．赤穂市（西播磨）

キャラバン参画者の所属

赤穂市教育委員会、赤穂市立坂越幼稚園、赤穂市立坂越小学校、赤穂市立坂越中学校、坂越地区連合自治

会、赤穂市文化財ボランティア

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
生島照葉樹林を未来に伝える	12.18 13:30～14:30	赤穂市立図書館 視聴覚室	29	生島照葉樹林の生態と保全活動について	服部保(人博)

22. 神戸市(神戸)

キャラバン参加者の所属

神戸市立糺台小学校

セミナー名	実施日・時間	会場	参加人数	内容	講師
「神戸層群の化石採集」	2.14	神戸市立糺台小学校	32	露頭で化石の採集しながら神戸層群について解説する教員向け研修会。	半田久美子(人博)

【アウトリーチプログラム(出店など)】

No.	地域	タイトル	実施場所	実施期間	博物館の関わり方	連携施設・団体	内容種別
1	鳥取県	第4回ホタル不思議なヒメボタル	鳥取市歴史博物館	2005.6.3-6.19	協力	鳥取市歴史博物館(主催)	館外展示
2	東播磨地域	いなみ野ため池博覧会<感!ためいけ博>リレー展示	播磨町中央公民館,市ノ池公園管理棟,加古川市総合文化センター,明石市役所,稲美町郷土資料館,明石マイカル	2005.7.1-13, 9.13-25, 10.10-20, 11.3-17, 12.17-22, 2006.1.7-22	協力	兵庫県東はりま県民局,いなみ野ため池ミュージアム推進実行委員会(主催)	館外展示
3	神戸市	特別展「クマ展」～クマと人との共存を考えよう～	神戸市立王子動物園	2005.9.10-12.6	協力	神戸市立王子動物園(主催)	館外展示
4	三田市	三田農業祭りテーマ館	県立有馬富士公園	2005.11.5-6	協力	三田農業祭り実行委員会(主催)、三田市、兵庫県農業改良普及センター、J A兵庫六甲(共催)	館外展示
5	淡路市	淡路夢舞台ラン展2006	兵庫県立淡路夢舞台温室 奇跡の星の植物館	2006.1.21-2.26	協力	(財)淡路花博記念事業協会、兵庫県立淡路夢舞台温室奇跡の星の植物館、日本・蘭協会(主催)、財団法人高知県牧野記念財団、高知県立牧野植物園、財団法人鳥取観光事業団、とっとり花回廊、財団法人徳島河野洋ラン振興財団(協力)、国土交通省近畿地方整備局国営明石海峡後援事務所、(財)公園緑地管理財団明石海峡公園管理センター、本州四国連絡高速道路株式会社神戸管理センター、(財)日本花の会、(社)日本植物園協会、日本ハンギングバスケット協会、淡路島観光連盟、(財)兵庫県園芸・公園協会、(株)夢舞台(後援)	館外展示
6		国立民族学博物館特別展「みんなくきすワールド:こどもとおとなをつなぐもの」	国立民族学博物館	2006.3.16-5.30	協力	国立民族学博物館(主催)	館外展示

【有馬富士公園との連携】

No.	タイトル	実施場所	実施期間	博物館の 関わり方	連携施設・団体	内容 種別
1	キッピー山の里山工房	有馬富士自然学 習センター	2005.4.1-17	共催	有馬富士自然学習センター(主催)	館外 展示
2	外来種問題を考える～有馬富士公 園の自然を守るために～	有馬富士公園パ ークセンター	2005.4.16	主催	有馬富士公園パークセンター(共催)	館外 セ ミ ナ ー
3	あそびの王国オープニング	県立有馬富士公 園	2005.4.23-24	共催	県立有馬富士公園(共催)	館外 セ ミ ナ ー
4	有馬富士フェスティバル	県立有馬富士公 園	2005.4.23-24, 10.23-24	共催	ありまふじフェスティバル 05春 実行委員会、ありまふじフェスティ バル 05秋実行委員会、有馬富士 公園運営・計画協議会(兵庫県、三 田市、兵庫県園芸・公園協会、住民 委員等)(主催)	館外 展 示
5	有馬富士公園「森の見方・感じ方」 (春)	県立有馬富士公 園・有馬富士自然 学習センター	2005.5.14	共催	三田市立有馬富士自然学習センター (共催)	館外 セ ミ ナ ー
6	企画展「さんだ水辺の生き物展」	有馬富士自然学 習センター	2005.7.20-9.24	共催	有馬富士学習センター(主催) NPO 法人野生生物を調査研究する会(共 催) 杉本純一(協力)	館外 展 示
7	有馬富士公園「森の見方・感じ方」 (秋)	県立有馬富士公 園・有馬富士自然 学習センター	2005.10.9	主催	三田市立有馬富士自然学習センター (共催)	館外 セ ミ ナ ー

【県民、NPO等との連携事業(キャラバン、アウトリーチプログラムを除く)】

No.	タイトル	実施場所	実施期間	博物館の 関わり方	連携施設・団体	内容 種別
1	神戸の遺跡が語る災害の記録	神戸市青少年 科学館	2005.3.19-5.8	共催	神戸市教育委員会、神戸市立青少年 科学館(主催)神戸市立埋蔵文化財 センター、株式会社サンテレビジ ョン(協力)	館外展 示
2	タンポポ調査・近畿2005	近畿全域	2005.4.1-2006.3.31	共催	タンポポ調査・近畿2005実行委 員会	事業連 携
3	兵庫水辺ネットワーク交流会	人博	2005.4.9	協力	兵庫水辺ネットワーク(主催)	シンポ
4	六甲山魅力再発見	六甲山自然保 護センター	2005.4.16, 5.14, 6.18, 7.16, 8.20, 9.17, 10.16, 11.19, 12.17, 2006.1.14, 2.18, 3.18	協力	六甲山自然保護センターを活用する 会(主催)	館外セ ミナ ー
5	ドリームスタジオ	人博	2005.4.17, 5.15, 6.19, 7.17, 8.21, 9.18, 10.16, 11.20, 12.18, 2006.1.15, 2.19, 3.19	共催	人と自然の会(主催)	館外セ ミナ ー
6	ユース昆虫研究室	人博、神戸市 立森林植物園	2005.4.24, 5.8, 6.12, 7.2-3, 7.22-25, 8.27, 9.24-25, 12.11, 2006.2.12, 3.12	主催	神戸市森林植物園(共催)	館外セ ミナ ー
7	2005丹波の森 春のフェ スティバル	丹波の森公苑	2005.5.1-5	共催	丹波の森公苑(主催)	館外展 示
8	平成17年度地域団体活動パワ ーアップ事業	-	2005.5.29-2006.2.26	協力	ひとはく連携グループ「ガキッコク ラブ」(主催)	協働
9	自然学校～兵庫の自然学習と	人博、八千北	2005.6.23, 26, 27	協力	神戸市立道場小学校(主催)	館外セ

	昆虫採集～	高原					ミナー
10	ひとはく博士と行く 八チ北高原サマースクール 05	八チ北高原	2005.7.10,23-25,8.27	共催	ひとはく連携活動グループ run plaza(主催) ひとはく連携活動グループ テネラル(協力)		館外セミナー
11	震災10年 エコ・エネ建築フェア	さんちかホール, 須磨海浜水族園, 神戸ウイングスタジアム, 農業公園内茅葺き民家	2005.7.14-17	協力	神戸市		館外セミナー
12	兵庫自然環境セミナー	県立神戸生活創造センター	2005.7.16, 8.20, 9.24, 10.8	主催	県立神戸生活創造センター、神戸市立青少年科学館(主催)		館外セミナー
13	アジアのワンダフルデザイン	奇跡の星植物館	2005.7.16-9.26	共催	財団法人淡路花博記念事業協会 兵庫県立淡路夢舞台温室 奇跡の星植物園(主催)、インドネシア総領事館、タイ国政府観光庁、国土交通省近畿地方整備局国営明石海峡公園事務所、財団法人公園緑地管理財団明石海峡公園管理センター、(株)夢舞台(後援)		館外展示
14	たかつき子ども自然体験学校	大阪府衛生課 医地域交流支援センター	2005.7.17	協力	特定非営利活動法人 たかつき(主催)		館外セミナー
15	芦屋川で遊ぼう、学ぼう	芦屋市公民館・芦屋川・人と自然の博物館	2005.7.18, 8.22, 9.11	共催	芦屋川に魚を増やそう会(主催)、特定非営利活動法人さんびいす(共催)		館外セミナー
16	life-size 超高解像度人間大昆虫写真展	人博	2005.7.31-9.1	共催	財団法人 国際花と緑の博覧会記念協会(主催)		館内展示
17	夏休み虹っ子講座「トリビア博士に学ぶ昆虫大百科」	生活協同組合 コープこうべ 協同学苑	2005.8.4	協力	生活協同組合 コープこうべ 協同学苑(主催)		館外セミナー
18	夏休み昆虫標本づくり体験 - サマーアドベンチャーin 奥米地	養父市奥米地 ほたるの館周辺	2005.8.4-8.5	共催	養父市立養父公民館(主催)		館外セミナー
19	教科・領域研修講座 生活	神戸市立神出自然植物園	2005.8.18	協力	神戸市小学校教育研究会 生活部(主催) 神戸市総合教育センター・生活部(共催)		館外セミナー
20	三田市民大学	湊川短期大学	2005.8.20, 8.24, 8.27, 8.31, 9.3	協力	湊川短期大学、三田市、三田市教育委員会(主催)		館外セミナー
21	竹野エコツアー	竹野町	2005.8.20-8.21	共催	竹野町御用地館 いろりの会(主催) 竹野スノーケルセンター、竹野町公民館、run run plaza(協力)		館外セミナー
22	「親子で生まれ自然あそび塾『昆虫を探して標本をつくらう』」	しあわせの村	2005.8.21	協力	NPO法人 社会還元センター グループわ(主催)		館外セミナー
23	兵庫県産シカ肉・骨の製品開発とその普及活動		2005.8.24-2006.3.31	共催	特定非営利活動法人 Knots		研究開発
24	観望会 05 星空を見てみよう	人博	2005.8.24-8.31	共催	兵庫県立西はりま天文台公園・西はりま天文台(主催)		展示、館内セミナー
25	ガキッコクラブキャンプ	伊丹野外活動	2005.8.27-8.28	共催	がきっこくらぶ(共催)		館外セ

		センター				ミナー
26	みやまあかね祭り	宝塚ゴルフ倶楽部	2005.8.29	共催	やまあかね委員会(主催)(社)宝塚ゴルフ倶楽部、宝塚市立西山小学校、宝塚市立仁川小学校、コミュニティ西山(協力)、兵庫県、宝塚市、宝塚市教育委員会(後援)	館外イベント
27	六甲山学	兵庫県立大学神戸キャンパスセミナールーム	2005.9.2, 9.9, 9.16, 9.30, 10.7, 10.14, 10.21	主催	兵庫県立大学(共催)	館外セミナー
28	国際協力機構(JICA)の研修員受け入れ事業	人博	2005.9.2	協力	名古屋大学農学国際教育協力研究センター 協力ネットワーク開発研究領域(主催)	館外セミナー
29	SANDA SUMMER STAGE 2005	深田公園	2005.9.3	協力	SHINY(主催)SSC、三田市商工会青年部(共催)、三田市(後援)	その他
30	ジャイム・レルネル氏講演会「都市の鍼治療」	明治学院大学白金キャンパス	2005.9.27	後援	明治学院大学経済学部(主催)、明治学院大学(共催)	館外セミナー
31	平成17年度 河川講習会 第二回講習会「生物からみた河川環境」	兵庫県県土整備部土木局河川計画課	2005.10.6	協力	兵庫県県土整備部土木局河川計画課(主催) 兵庫県立大学、九州大学(協力)	館外セミナー
32	平成17年度第一回博物館スタッフのための技術講習会「初心者向け鳴く虫聞き分け講座」	萩博物館	2005.10.9	共催	NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク(共催)	館外セミナー
33	森のセミナー 鳴く虫を知ろう	姫路市自然観察の森	2005.10.16	協力	姫路市立自然観察の森(主催)	館外セミナー
34	第6回構造色シンポジウム	大阪大学大学院生命機能研究科 ナノバイオロジ棟3階	2005.10.21	共催	日本鱗翅学会(共催)	館外シンポジウム
35	兵庫県立 自然・環境科学研究所公開セミナー「どう考える! 2つの野生化 コウノトリと外来生物」		2005.10.21	協力	兵庫県立大学 自然・環境科学研究所(主催)	館外セミナー
36	昆虫科学スペシャル講座	県立神戸学習プラザ	2005.11.4, 11.11, 11.18, 11.25, 12.2, 12.9, 12.16, 2006.1.6, 1.13, 1.20	主催	神戸大学農学部昆虫科学研究室(協力)	館外セミナー
37	小部の秋を楽しむついでい - 自然ふれあいコンサート	神戸市立小部小学校講堂	2005.11.12	協力	小部っ子スポーツアーククラブ(主催)	館外イベント
38	2005 竜山石シンポジウム「私たちの竜山石を語ろう～伝統文化を活かしたまちづくりをめざして～」	高砂市福祉保健センター中ホール	2005.11.12, 11.13	共催	2005 竜山石シンポジウム実行委員会、高砂市、高砂市教育委員会(主催)(財)高砂市施設利用振興財団、兵庫県教育委員会、兵庫県立人と自然の博物館、兵庫県立歴史博物館(共催)、宝殿石材事業協同組合、高砂竜山石の文化会、高砂市高齢者大学松陽学園(協力)、地域活性化実行委員会、兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所、明石市教育委員会、加古川市教育委員会、稲美町教育委員会、播磨町教育委員会、三木市教育委員	館外シンポジウム

					会、小野市教育委員会、西脇市教育委員会、加西市教育委員会、加東郡教育委員会、兵庫考古楽クラブ、兵庫考古学談話会(後援)	
39	北淡活断層シンポジウム2006	北淡震災記念公園セミナーハウス	2006.1.14, 1.15	共催	北淡活断層シンポジウム実行委員会(主催) 活断層研究会、産業総合研究所活断層研究センター(共催) 兵庫県・兵庫県教育委員会、淡路市・淡路市教育委員会、株式会社ほくだん(後援)	館外シンポジウム
40	阪神・淡路大震災犠牲者追悼の集い =あなたの思いをともしてくださいます。~失った命の数を口ウソクの灯火に込めて~	伊丹市昆陽池公園	2006.1.16, 1.17	協力	ボランティア団体 ユー・アイ・アソシエーション(主催)	館外イベント
41	平成17年度 特定課題研修会(農山村と生物多様性)	兵庫県土地改良会館 6階会議室	2006.1.25	協力	水土里ネット兵庫(兵庫県土地改良事業団体連合会)(主催)	館外セミナー
42	語ろうかい「里山よ。元気を出してくれ。」日本一の里山を未来に伝えるために	アステホール	2006.2.4	共催	NPO 法人 ひょうご森の倶楽部(主催) 環境省(共催) 国土緑化推進機構、兵庫県、阪神北県民局、川西市、一庫公園、一庫ダム管理所、川西里山クラブ、ひとくらクラブ、菊炭友の会、川西再発見、能勢電鉄、里と水辺研究所、自然環境研究センター(後援)	館外セミナー
43	地球温暖化・都市環境を考える	神戸生活創造センター	2006.2.4, 2.18, 2.25	主催	県立兵庫生活創造センター(共催)	館外セミナー
44	第2回 県土を学ぼう! キッズプロジェクト年次発表会~私のかわ・みなと・まち~	三木市文化会館	2006.2.16	共催	兵庫県県土整備部(主催) 財団法人兵庫県まちづくり技術センター(共催) 兵庫県教育委員会義務教育課(後援)	館外シンポジウム
45	セツブンソウの自生地を訪ねる	兵庫県立人と自然の博物館 小セミナー室, 野外	2006.3.3	協力	ひとはく連携活動グループ 希少植物研究会(主催)	館外セミナー
46	展示交流員養成講座の開催	県立有馬富士公園	2006.3.18	協力	展示交流員「キッピーフレンズ」(主催) 三田市立有馬富士自然学習センター	館外セミナー
47	「かわいい虫をみつけよう!! ~」	深田公園	2006.3.21	共催	(主催) ひとはく連携活動グループ run run plaza	館外展示

サイエンスショー2005 出展者一覧

No	タイトル	所属	氏名	備考
1	カラフル浮沈子をつくろう!	県立神戸北高等学校	森井清博	理科部生徒 11/3
2	炎のアート「同時6色炎色反応」	県立神戸北高等学校	吉田耕三	理科部生徒 11/3
3	接着剤で動く船をつくろう!	県立神戸高塚高等学校	浮田 裕	11/3
4	豆腐をつくろう	県立御影高等学校 県立須磨東高等学校	清水敏一・矢田部直之 橋本喜一	11/3
5	およげ! ぼくらのツマヨウジ	県立須磨東高等学校	岸本 浩	サイエンス同好会生徒 11/3
6	かんたんな紙飛行機と発射台	県立宝塚東高等学校	吉田英一	11/3
7	台所で遺伝子を取り出してみよう	県立尼崎小田高等学校	中西敏昭・菊田りか	11/3
8	環境・ぼくたち・未来	県立尼崎小田高等学校	中西敏昭・菊田りか	11/3
9	のり巻きの海苔はなぜ黒いのか?	甲南大学	道之前允直	有志学生 11/3、12/18
10	空気のおもしろ実験ショー & スーパーエアロケット工作	神戸市水の科学博物館 神戸市立二葉小学校	齋藤賢之輔 澤田由希子	11/3
11	エコ発電機を体験しよう	龍野児童科学館	上田智勝	11/3
12	ケイ藻の世界	県立神戸高等学校	稲葉浩介	12/18
13	マイナス196度の世界	県立明石高等学校 県立舞子高等学校	東田純一 山口正義	有志生徒 12/18
14	伊川の野草の吸光スペクトルを観察しよう	県立伊川谷北高等学校	谷 良夫・那須久代・名生修子	12/18
15	小型ホバークラフトをつくろう	県立三田祥雲館高等学校	景山嘉祐・三戸尚美	理科部生徒 12/18、2/19
16	入浴剤で飛ばすロケット	県立有馬高等学校	谷川康智	科学部生徒 12/18
17	ブラナリア再生の秘密	県立有馬高等学校	土居恭子	科学部生徒 12/18
18	いい音のするブンブンゴマを作ろう!	神戸市水の科学博物館 神戸市立板宿小学校	齋藤賢之輔 浄徳直美	12/18
19	木彫るだー!	西宮市立山口小学校	渋谷 訓・園田重雄・中谷京子 名本真紀・武内智子・大藪奈々子 山家玄行・杉山利彦・越智吉則 坂本香織・住谷 淳	2/19
20	骨で遊ぼう!	県立神戸高等学校	稲葉浩介	2/19
21	ブタの眼を解剖しよう!	県立鈴蘭台西高等学校	繁戸克彦	2/19
22	カタラーゼを語ろうぜ!	県立伊川谷北高等学校	谷 良夫・那須久代・名生修子	有志生徒 2/19
23	心臓いろいろ 聴診器をつくろう!	神戸市立楠高等学校	山本恵昭・丸田理恵	理科部生徒 2/19
24	分光器をつかって光を調べてみよう!	県立宝塚高等学校	篠谷和彦・高島陽子	2/19
25	簡単なカメラづくりにチャレンジ!	県立柏原高等学校	尾松浩明	有志生徒 2/19
26	電池のしくみを調べよう!	県立柏原高等学校	小西邦和	2/19
27	山芋を触ると「かゆくなる」のはなぜ?	甲南大学	道之前允直	有志学生 2/19
28	おもしろレーシングカーをつくろう!	神戸市水の科学博物館 神戸市立板宿小学校 芦屋市立朝日ヶ丘小学校	齋藤賢之輔 浄徳直美 神原佐知子	2/19
29	紙トンボをつくろう!	啓林館 大阪本社	桜木輝秀・岡本吉弘・堀純一郎 柏本 洸	2/19
30	バランストンボをつくろう!	株式会社ケニス	中山政宏・玉谷勝彦	2/19
31	光の不思議を体験しよう!	株式会社ケニス	中山政宏・玉谷勝彦	2/19
32	押し花でアート	人と自然の会	花工房	12/18、2/19
33	はんどメイドde石けん	人と自然の会	Teamカフェ・オ・レ	12/18
34	星座万華鏡をつくろう	人と自然の会	星の会	2/19
35	植物をハガキにラミネート	人と自然の博物館	足立 勲	11/3、12/18、2/19
36	比べてみよう! けもの歯	人と自然の博物館	長谷川太一	11/3、12/18、2/19
37	巨大葉脈標本をつくろう	人と自然の博物館	長谷川太一	11/3
38	葉脈標本でしおりをつくろう!	人と自然の博物館	毛利敏治	11/3、2/19
39	偏光板で遊ぼう!	人と自然の博物館	先山 徹	11/3
40	手作り百葉箱をつくろう	人と自然の博物館	客野尚志	11/3
41	お部屋で川虫はいかが? 顕微鏡写真でオリジナルカードをつくろう	人と自然の博物館	三橋弘宗・本田 毅・松野葉月 久加朋子・下野優子・野村理絵	11/3、12/18、2/19
42	タネを飛ばそう	人と自然の博物館	橋本佳延	11/3、12/18、2/19
43	ウミホタルのふしぎ	人と自然の博物館	平松紳一	11/3
44	スーパーボールをつくろう	人と自然の博物館	平松紳一	12/18
45	のぞいてみようミクロの世界	人と自然の博物館	高橋 晃・小館誓治・沢田佳久 先山 徹・古谷 裕	2/19

ひとはくフェスティバル'05 参画団体リスト (順不同)

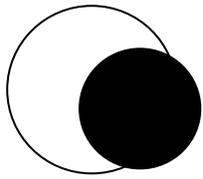
実行委員会・後援・協賛

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. NPO 法人 人と自然の会 2. ボーイスカウト三田第1団 3. ハニーFM 三田 82.2MHz 4. 三田市商工会 5. JA 兵庫六甲 6. 三田市多世代交流館 7. 三田市フラワータウン市民センター 8. 株式会社北摂コミュニティ開発センター 9. 兵庫県阪神北県民局 10. 三田市 11. 三田市教育委員会 12. 財団法人 丹波の森協会 13. 財団法人 ひょうご環境創造協会 14. 株式会社 丸優 15. (株)ほくだん | <ol style="list-style-type: none"> 10. 篠山チルドレンズミュージアム「ミュージアムクラブ」 11. テネラル 12. Run Run Plaza 13. 日本科学未来館ボランティア 14. 三田マッキントッシュユーザーズグループ(SMUG) 15. 三田親と子の劇場 16. 神戸市須磨海浜水族園ボランティア 17. 西宮市貝類館 18. 考古楽倶楽部 19. 伊丹市昆虫館友の会 20. キッズプラザ大阪 21. 国立民族学博物館 22. みんぱくミュージアムパートナーズ 23. ひとはくミュージアムティーチャーズ 24. 九州国立博物館 25. 関西ワイルドライフ研究会 26. 骨骨倶楽部 27. グリーングラス |
|--|---|

イベント・ステージ開催団体

出店団体

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 三田市吹奏楽団 2. キッズダンススクール Windy 3. One x One 4. 4 ラブ 5. 笑季舞 6. 松野葉月 7. 全国育樹祭室 8. 大阪コミュニケーションアート専門学校ドルフィントレーナーコース 9. 大阪コミュニケーションアート専門学校環境教育イベントゼミ | <ol style="list-style-type: none"> 1. あみゅーず倶楽部 2. ガールスカウト兵庫県第90団(三田) 3. ガールスカウト兵庫県第95団(淡路) 4. 社会福祉法人 まほろば 5. 小規模作業所 のぞみ 6. 新生ミツカン吉川ピオトップ研究会 7. 中播磨さとやまづくり推進協議会事務局 8. 氷上町 つたの会 9. ヒバリヒルズ 10. フラワータウン市民センターまつり実行委員会 11. 山名酒造 |
|---|---|



利用案内

観覧時間 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分）

休館日 毎週月曜日（祝日・休日の場合はその翌日）
 年末年始（12月28日～1月2日）
 臨時休館日（1月24日～2月10日を予定）

観覧料 観覧料（平成17年4月1日現在）

区分	個人	団体（20人以上）
大人*	200円	150円
高・大学生	150円	100円
小・中学生（県外）	100円	70円
小・中学生（県内）**	無料	

*：障害者（介護者1名を含む）及び県内在住の65歳以上の方は半額

**：県内在住・在学の小・中学生はココロカードの提示により無料

ホロンピアホール

文化活動、学習等の催しに利用できます。（客席数500）

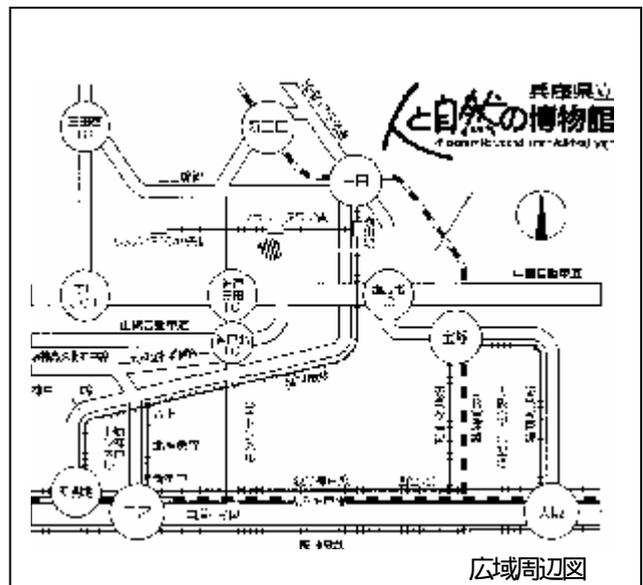
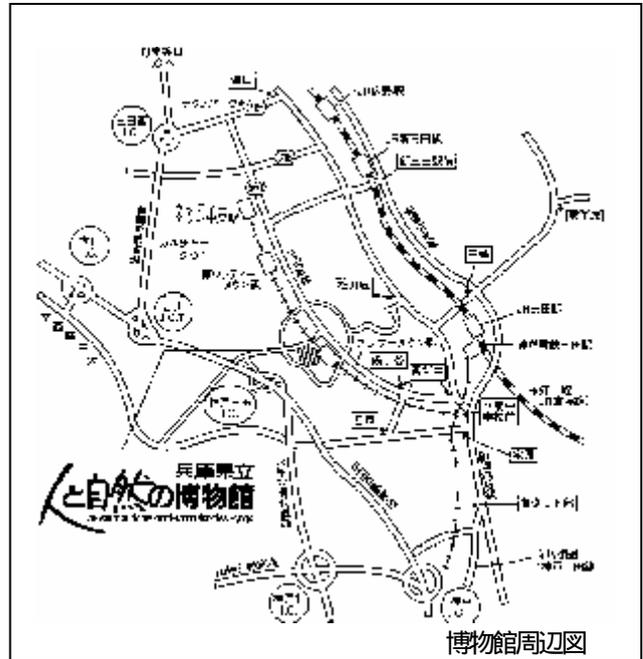
使用料（平成17年4月1日現在）

時間帯	9時～12時	13時～17時	9時～17時
（土日祝）	5,500円	7,000円	12,500円
（平日）	4,400円	5,600円	10,000円

なお、附属設備の料金については別に定めます。

交通 神戸電鉄フラワータウン駅下車すぐ。
 神姫バスフラワータウンセンター前下車すぐ。
 中国自動車道神戸三田より5分。

駐車場 バス 13台 無料（要予約）
 乗用車 100台 1回 500円
 （博物館ご利用の場合）
 （近隣商業施設と共用）



編集委員

江崎 保 男
小 館 誓 治
赤 澤 宏 樹
高 野 温 子

表紙イラスト

イザワ イツハ

編集後記

より多くみなさまに人と自然の博物館の事業や研究の内容についてご理解をいただければと願っています。編集にあたっては、嶽山洋志氏、中西佳之氏、村本恵子氏に多大な協力を頂きました。記して感謝申し上げます。

館 報 2005

編集・発行 兵庫県立人と自然の博物館
〒669 - 1546 兵庫県立三田市弥生が丘6丁目
TEL (079) 559 - 2001 (代表)
* 博物館ではインターネットでも情報を提供しています。
URL <http://www.hitohaku.jp/>

発行年月日 平成 18 年 12 月 15 日
印 刷 交友印刷株式会社